文学部専門科目

教　育　学　科

教育学部専門科目

教　育　学　科

（授業科目名五十音順）

科目名	ICT活用の理論と実践	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1. 教育現場におけるICT利活用や情報活用能力育成の意義や理論について理解する
2. ICTを活用した学習指導の基礎的知識・技能を習得する

[授業概要]
教育現場におけるICTの利活用について、その歴史的経緯、現状、今後の方向性を理解していきます。主に授業における児童生徒及び教員によるICT活用を取り上げながら、情報社会を生きていくために必要な資質・能力である情報活用能力についてその構成要素及び具体的な指導法、教育課程上の位置づけについて学習してもらいます。さらに、生成AIの教育利用についても実際に使いながら学んでもらいます。
小中学校勤務歴31年の者が教育現場におけるICTの利活用についてアシストします。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
事前・事後学修として、配布資料の通読、授業のレポートや小テスト等に取り組んでもらう場合があります。また、実践的な学修課題として動画教材やWebテストの制作を行う予定です。
これらの事前・事後学修、課題制作を授業外において、1回あたり平均2時間程度取り組むように努力してください。

[授業計画]
1.オリエンテーション：現代社会におけるICT活用の意義と理論の概要
2.ICT活用による学習指導や校務の推進の理論と実践①（デジタル教材の作成と利用等）
3.ICT活用による学習指導や校務の推進の理論と実践②（遠隔授業、LMSによる学習履歴の活用、統合型校務支援システム等）
4.教師のICT活用指導力及び情報活用能力育成の基礎的な指導法の概要
5.情報活用能力育成の理論と実践①（情報モラル、各教科等における指導事例）
6.情報活用能力育成の理論と実践②（プログラミング教育、STEAM教育等）
7.まとめ（生成AIの教育利用について）

科目名	ICT活用の理論と実践	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
小レポート等（20%）、成果物【動画・Webテスト作成】（30%）、授業中の活躍度（20%）、最終レポート（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画を立案し適切に評価することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:特に指定しませんが、必要なときは授業内で紹介します。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:教室の未来を拓く タブレットPCで育む豊かな学びの手引き: 学びの変革をもたらすタブレットPCの教室革命 著者名:編者：山崎宣次 著者：加藤直樹、及川浩和他 出版社名:Amazon Kindle ISBN:979-8301212710

科目名	ICT活用の理論と実践	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1. 教育現場におけるICT利活用や情報活用能力育成の意義や理論について理解する
2. ICTを活用した学習指導の基礎的知識・技能を習得する

[授業概要]
教育現場におけるICTの利活用について、その歴史的経緯、現状、今後の方向性を理解していきます。主に授業における児童生徒及び教員によるICT活用を取り上げながら、情報社会を生きていくために必要な資質・能力である情報活用能力についてその構成要素及び具体的な指導法、教育課程上の位置づけについて学習してもらいます。さらに、生成AIの教育利用についても実際に使いながら学んでもらいます。
小中学校勤務歴31年の者が教育現場におけるICTの利活用についてアシストします。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
事前・事後学修として、配布資料の通読、授業のレポートや小テスト等に取り組んでもらう場合があります。また、実践的な学修課題として動画教材やWebテストの制作を行う予定です。
これらの事前・事後学修、課題制作を授業外において、1回あたり平均2時間程度取り組むように努力してください。

[授業計画]
1.オリエンテーション：現代社会におけるICT活用の意義と理論の概要
2.ICT活用による学習指導や校務の推進の理論と実践①（デジタル教材の作成と利用等）
3.ICT活用による学習指導や校務の推進の理論と実践②（遠隔授業、LMSによる学習履歴の活用、統合型校務支援システム等）
4.教師のICT活用指導力及び情報活用能力育成の基礎的な指導法の概要
5.情報活用能力育成の理論と実践①（情報モラル、各教科等における指導事例）
6.情報活用能力育成の理論と実践②（プログラミング教育、STEAM教育等）
7.まとめ（生成AIの教育利用について）

科目名	ICT活用の理論と実践	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
小レポート等（20%）、成果物【動画・Webテスト作成】（30%）、授業中の活躍度（20%）、最終レポート（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画を立案し適切に評価することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:特に指定しませんが、必要なときは授業内で紹介します。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:教室の未来を拓く タブレットPCで育む豊かな学びの手引き: 学びの変革をもたらすタブレットPCの教室革命 著者名:編者：山崎宣次 著者：加藤直樹、及川浩和他 出版社名:Amazon Kindle ISBN:979-8301212710

科目名	異文化理解教育	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	交流体験学習	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1)英語が使われている国や地域の歴史、社会、文化について基本的な内容を理解する。
2)世界の文化の多様性や異文化コミュニケーションの現状と課題を理解する。
3)多様な文化的背景を持った人々との交流を通して、文化の多様性及び異文化交流の意義について体験的に理解する。

[授業概要]
異文化理解や異文化コミュニケーションの基本的知識を習得する。文化の違いによる考え方、言語行動、また非言語コミュニケーションにも着目し、その重要性を認識する。テキストに沿って講義を中心に進めるが、Active Learning型の授業を実践するため、グループワークやディスカッション、スピーチ発表等を取り入れる。また、神戸市内在住のさまざまな国籍の外国人との交流を通して、異文化体験学習を実施する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
日頃から異文化理解に関係する国際ニュース等に関心を持つこと。また、日本におけるニュース等が他国でどのように享受されているかにも関心を持つこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 文化とは①＜世界における多様化と自国における多様化＞
3. 文化とは②＜トータルカルチャーとサブカルチャー＞
4. 文化とは③＜異文化適応＞
5. 発表「わたしの異文化体験」
6. 英語が使われている国や地域を中心とした異文化理解①＜行動・視点・環境＞
7. 英語が使われている国や地域を中心とした異文化理解②＜固定観念＞
8. 英語が使われている国や地域を中心とした異文化理解③＜差別＞
9. 英語が使われている国や地域を中心とした異文化理解④＜価値観＞
10. 非言語コミュニケーション
11. 交流体験学習①＜Culture Exchange＞(所管:神戸市教育委員会)
12. 交流体験学習②＜Culture Exchange＞(所管:神戸市教育委員会)
13. 多文化共生社会の実現／まとめ
※進捗状況により、計画の一部を変更する場合がある。

科目名	異文化理解教育	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
定期試験（50%）、授業中の課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：定期試験

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちの実態に即して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：授業中の課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

[教科書（ISBN）]
書籍名:グルーバルな時代を生きるための異文化理解入門 著者名:原沢 伊都夫 出版社名:研究社 ISBN:9784327377342

[参考書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領解説　外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692

科目名	英語音声学	前期	2 単位
サブタイトル	「ローマの休日」で学ぶ「音変化の7つのルール」	講義	
担当者	水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.英語音声学の基礎知識を学ぶ。
2.リスニング力を実践的に高める

[授業概要]
「ローマの休日」の「ディクテーション」を通して「音変化の7つのルール」を学びながら「リスニング力」を実践的に高めていく。リスニング力を高めるには「速読」のトレーニングが効果的であることから，簡単な英語で書かれた読み物をたくさん読むトレーニングも行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
復習に重点を置く。
授業で学んだ「音変化の 7 つのルール」を活かしながら，Youtube の「Nas Daily」にある動画をたくさん聞いて「聞き取る力」を高める。

[授業計画]
毎回，授業は次の2つのパートから構成される。
1. 速読トレーニング
2.「ローマの休日」を，名場面ごとに，本授業のために開発したエクセルのアプリを使い「ディクテーション」をしながら，以下の「音変化の7つのルール」を学んでいく。
第 1 ルール　音が弱くなる
第 2 ルール　音が短くなる
第 3 ルール　音がつながる
第 4 ルール　音が消える
第 5 ルール　音が抜け落ちる
第 6 ルール　音がとなりの音に似る
第 7 ルール　音が別の音に代わる

1. 音が弱くなる①
2. 音が弱くなる②
3. 音が短くなる①
4. 音が短くなる②
5. 音がつながる①
6. 音がつながる②
7. 音が消える①
8. 音が消える②
9. 音が抜け落ちる①
10. 音が抜け落ちる②
11. 音がとなりの音に似る①
12. 音がとなりの音に似る②
13. 音が別の音に変わる①

科目名	英語音声学	前期	2 単位
サブタイトル	「ローマの休日」で学ぶ「音変化の7つのルール」	講義	
担当者	水野　邦太郎		

[成績評価方法]
① 速読トレーニングにおける True/False Questions の正解数と関連するタスク (50%)
②「ローマの休日」のディクテーションの正解数と関連するタスク (50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中及び、manaba 掲示板を利用して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:① 速読トレーニングにおける True/False Questions の正解数と関連するタスク
②「ローマの休日」のディクテーションの正解数と関連するタスク

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:① 速読トレーニングにおける True/False Questions の正解数と関連するタスク
②「ローマの休日」のディクテーションの正解数と関連するタスク

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:① 速読トレーニングにおける True/False Questions の正解数と関連するタスク
②「ローマの休日」のディクテーションの正解数と関連するタスク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:① 速読トレーニングにおける True/False Questions の正解数と関連するタスク
②「ローマの休日」のディクテーションの正解数と関連するタスク

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:① 速読トレーニングにおける True/False Questions の正解数と関連するタスク
②「ローマの休日」のディクテーションの正解数と関連するタスク

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	英語科概説	後期	2 単位
サブタイトル	英語を教える、特に楽しくてためになる英語の教え方ってどんな方法なのかを一緒に考えていきましょう	講義	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]			
PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
①小学校における外国語活動・外国語科に必要な第二言語の習得に関する理解を深める。②英語に関する専門的な知識や技能の基礎を身に付ける。③マザーグースやチャンツなどを歌えるようになる。④子どもにストリーテリングができるようになるための基礎力を身に着け、絵本が読めるようになる。

[授業概要]
担当者が長年教育現場で培ってきた英語授業の実践を通して教授法の基礎について多角的にまなぶ。英語科教育の意義、目標、カリキュラムを概観し、小学校英語科教育について、小・中学校の接続も踏まえながら、効果的な学習法、指導法についても考察を行う。楽しくてためになる英語授業をみんなで一緒に考えていくことになるので、つねに考えることが重要である。受講生の人数が多いので、とくにあなたの主体性と積極性が求められている。授業では英語独自の音声やリズムを体得することになる。質問やリクエストをどんどんすることを主体的で積極性があるものとして評価する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
教科書、参考文献等は自主的に学習して授業に臨んでください。毎回の授業ではあなたの考えや意見が求められますので、英語の教え方について深く考えるようにしてください。疑問点を事前につかんでおくこと。事後にはノート作成を行いましょう（2時間程度）。

[授業計画]
ここには各回のテーマについて記述しています。受講生の希望等により変更することもあります。
1. コミュニケーション能力（日本における外国語教育）
2. 第二言語習得論
3. 英語の音声と文字
4. 異文化理解
5. 英語の発音と綴りの関係
6. 英語の書き方、ローマ字表記
7. 英語の語彙と文法
8. 相互作用の中で生じる発話の意味と働き
9. 現代社会における英語
10. 児童文学、絵本を選ぶ視点
11. ICTの活用
12.　指導案、あるいは英語教育教材についての討議
13. まとめ

科目名	英語科概説	後期	2 単位
サブタイトル	英語を教える、特に楽しくてためになる英語の教え方ってどんな方法なのかを一緒に考えていきましょう	講義	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
振り返りシート及び授業への貢献度（60%） 指導案作成あるいは英語教育教材作成、レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：授業への貢献度、と振り返りシートの記述により評価する。

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：最終レポート、指導案で評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献度、と振り返りシートの記述により評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献度、と振り返りシートの記述により評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：最終レポート、あるいは指導案で評価する。

[教科書（ISBN）]
書籍名:電子黒板への招待　その提示力を生かした授業を考える 著者名:齋藤由紀 出版社名:関西学院大学出版会 ISBN:978-4-86283-204-7

[参考書（ISBN）]

科目名	英語科教育特別演習Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	英語文法力を向上させて英語授業力の基礎を身に着けて応用できるようになろう	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
英語文法について、理解不足がないようにする。文法項目を教える際にどのような方法が考えられるのかについてアイデアを提案できるようになる。ICT機器の活用についても習熟し、使えるようになることを増やす。

[授業概要]
授業担当者は教育現場での長年の教授歴をもつので、実践的に展開する授業である。毎回いくつかの英語文法を復習しながら、理解不足の点がないかどうかを確認テスト等により明確化していきます。文法を理解するために説明以外の方法についてアイデアを出し合い、実際に受講生同志で教えてみるレベルも実施しながら、よりよい英語授業法への深い考察を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
テキストの指定範囲を毎回学習してくる。質問があればまとめておく。授業後は、理解不足の点について復習を行う。各回、予習復習合わせて2時間程度の学習が必要です。

[授業計画]
取り上げる予定の主な文法項目について書いています。受講生のみなさんのリクエストなどにより変更する場合もありますので、リクエストしてください。
1. 現在時制
2. 過去時制
3. 完了時制
4. ここまでの振り返り（クイズ1）
5. 名詞と冠詞
6. 形容詞、分詞の修飾
7. ここまでの振り返り（クイズ2）
8. 不定詞
9. 動名詞
10. ここまでの振り返り（クイズ3）
11. 助動詞
12. 文の構成
13. 確認テストとう総復習、今後へ向けて

科目名	英語科教育特別演習Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	英語文法力を向上させて英語授業力の基礎を身に着けて応用できるようにな ろう	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
授業への積極的参加度（授業中の取り組み、発言、ペアならびにグループ活動への取り組み）(30%)、振り返りクイズ作成(30%)、確認テスト(40%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
テストについては毎回解説等を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：振り返りクイズの作成、確認テストにより評価する。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：授業への積極的参加態度で評価する。

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：授業への積極的参加態度、振り返りクイズの作成、確認テストにより評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への積極的参加態度により評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への積極的参加態度により評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：振り返りクイズの作成、確認テストにより評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業への積極的参加態度と振り返りクイズの作成、確認テストにより評価する。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	英語科教育特別演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	Graded Readers を活用した授業の理論と実践	演習	
担当者	水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.Graded Readers の文化的・教育的価値を理解する。
2.Graded Readers を活用した様々な授業実践を知り、自らの授業でどのように活用したいかを考える。
3.Graded Readers を毎週読み、教室で読んだ本について語り合い、その良さを経験する。

[授業概要]
教科書に沿って、Graded Readersの読書の本質を理解し、授業におけるGraded Readers の効果的な活用方法を検討していく。
一方、受講者全員でGraded Readers を読み語り合いながら「読書コミュニティ」を築いていく。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎週、予習復習合わせて2時間程度。
授業後に「振り返りリポート」をA4 で1枚にまとめ、次回の授業開始時に提出する。
Graded Readers を図書館から借りて読み、「ブックレヴュー」を書き「ブクログ」に投稿する。

[授業計画]
1.試みられることの少なかったアプローチ―多読とは
2.リーディングの認知的視点
3.学習意欲ーリーディングの秘密の花園
4.多読のカー調査・研究からの洞察
5.多読と第二言語教育カリキュラム
6.本物崇拝と平易化神話
7.LLL: Language Learner Literature
8.プログラムの立案ーカリキュラムの決定
9.魅力ある教材ー読み物とステップアップ
10.オリエンテーション
11.読者のコミュニティを構築する
12.リーディング・コミュニティの実際
13.プログラム評価

科目名	英語科教育特別演習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	Graded Readers を活用した授業の理論と実践	演習	
担当者	水野　邦太郎		

[成績評価方法]
・毎回、授業の開始時に提出する前回の授業の「振り返りレポート」(50%)
・読んだGraded Readers の冊数と、ブクログに投稿した「ブックレヴュー」の質と量
(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中及び、manaba 掲示板を利用して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:・毎回、授業の開始時に提出する前回の授業の「振り返りレポート」
・読んだGraded Readers の冊数と、ブクログに投稿した「ブックレヴュー」の質と量

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:・毎回、授業の開始時に提出する前回の授業の「振り返りレポート」
・読んだGraded Readers の冊数と、ブクログに投稿した「ブックレヴュー」の質と量

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:・毎回、授業の開始時に提出する前回の授業の「振り返りレポート」
・読んだGraded Readers の冊数と、ブクログに投稿した「ブックレヴュー」の質と量

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:・毎回、授業の開始時に提出する前回の授業の「振り返りレポート」
・読んだGraded Readers の冊数と、ブクログに投稿した「ブックレヴュー」の質と量

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:・毎回、授業の開始時に提出する前回の授業の「振り返りレポート」
・読んだGraded Readers の冊数と、ブクログに投稿した「ブックレヴュー」の質と量

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:・毎回、授業の開始時に提出する前回の授業の「振り返りレポート」
・読んだGraded Readers の冊数と、ブクログに投稿した「ブックレヴュー」の質と量

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:・毎回、授業の開始時に提出する前回の授業の「振り返りレポート」
・読んだGraded Readers の冊数と、ブクログに投稿した「ブックレヴュー」の質と量

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	英語科教育法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校外国語教育の変遷、小学校の外国語活動や外国語科の目標と内容、及び、小・中・高等学校との連携と小学校の役割、課題について理解を深め、教授法の背景にある理論を踏まえた上で、児童の興味・関心・意欲を高める授業を自ら考え展開していくことができる。

[授業概要]
小学校学習指導要領をもとに、外国語活動や外国語科の目標と内容、及び、小学校と中学校との接続について理解を深め、児童の興味・関心・意欲を高める授業を自ら考え展開していく。小学生の発達段階に相応しい授業を考え、指導計画を立て、指導案を作成し、模擬授業を実践する。クラスルームイングリッシュを身につけ、模擬授業の中で使用する。模擬授業実践後には、クラス全体で振り返りと意見交換を行う。課題改善に取り組み、自らの指導力を磨いていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
学習指導要領をよく読み、課題に取り組んでおくこと。また、疑問点を整理しておくこと。

[授業計画]
1. 小学校学習指導要領における外国語活動と外国語科について
   ICTの効果的な活用・教材研究・学習指導案の作成、評価について
2. 外国語活動の教材分析
3. 外国語活動における教材の開発
4. 模擬授業・振り返り ①　第一・第二グループ
5. 模擬授業・振り返り ②　第三グループ・第四グループ
6. 模擬授業・振り返り ③　第五グループ・第六グループ
7. 外国語科の教材分析
8. 外国語科における教材の開発
9. 模擬授業・振り返り ①　第一・第二グループ
10. 模擬授業・振り返り ②　第三グループ・第四グループ
11. 模擬授業・振り返り ③　第五グループ・第六グループ
12. 小学校外国語活動・外国語科における振り返り
13. まとめ
※進捗状況により、計画の一部を変更する場合がある。

科目名	英語科教育法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
定期試験（30%）、課題への取り組み姿勢（40%）、模擬授業（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：定期試験、模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：定期試験、課題への取り組み姿勢、模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：定期試験、模擬授業

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：定期試験、課題への取り組み姿勢、模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：課題への取り組み姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：定期試験、課題への取り組み姿勢、模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：定期試験、課題への取り組み姿勢、模擬授業

[教科書（ISBN）]
書籍名:Let's Try 1 著者名:文部科学省 出版社名:東京書籍 ISBN:9784487258703
書籍名:Let's Try 2 著者名:文部科学省 出版社名:東京書籍 ISBN:9784487258710
書籍名:CROWN Jr. 5 著者名:酒井 英樹、他36名 出版社名:三省堂 ISBN:9784385706429
書籍名:CROWN Jr. 6 著者名:酒井 英樹、他36名 出版社名:三省堂 ISBN:9784385706436
書籍名:小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051685

[参考書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692

科目名	英語科教育法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校外国語教育の変遷、小学校の外国語活動や外国語科の目標と内容、及び、小・中・高等学校との連携と小学校の役割、課題について理解を深め、教授法の背景にある理論を踏まえた上で、児童の興味・関心・意欲を高める授業を自ら考え展開していくことができる。

[授業概要]
小学校学習指導要領をもとに、外国語活動や外国語科の目標と内容、及び、小学校と中学校との接続について理解を深め、児童の興味・関心・意欲を高める授業を自ら考え展開していく。小学生の発達段階に相応しい授業を考え、指導計画を立て、指導案を作成し、模擬授業を実践する。クラスルームイングリッシュを身につけ、模擬授業の中で使用する。模擬授業実践後には、クラス全体で振り返りと意見交換を行う。課題改善に取り組み、自らの指導力を磨いていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。
学習指導要領をよく読み、課題に取り組んでおくこと。また、疑問点を整理しておくこと。

[授業計画]
1. 小学校学習指導要領における外国語活動と外国語科について
   ICTの効果的な活用・教材研究・学習指導案の作成、評価について
2. 外国語活動の教材分析
3. 外国語活動における教材の開発
4. 模擬授業・振り返り ①　第一・第二グループ
5. 模擬授業・振り返り ②　第三グループ・第四グループ
6. 模擬授業・振り返り ③　第五グループ・第六グループ
7. 外国語科の教材分析
8. 外国語科における教材の開発
9. 模擬授業・振り返り ①　第一・第二グループ
10. 模擬授業・振り返り ②　第三グループ・第四グループ
11. 模擬授業・振り返り ③　第五グループ・第六グループ
12. 小学校外国語活動・外国語科における振り返り
13. まとめ
※進捗状況により、計画の一部を変更する場合がある。

科目名	英語科教育法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
定期試験（30%）、課題への取り組み姿勢（40%）、模擬授業（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：定期試験、模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：定期試験、課題への取り組み姿勢、模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：定期試験、模擬授業

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：定期試験、課題への取り組み姿勢、模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：課題への取り組み姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：定期試験、課題への取り組み姿勢、模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：定期試験、課題への取り組み姿勢、模擬授業

[教科書（ISBN）]
書籍名:Let's Try 1 著者名:文部科学省 出版社名:東京書籍 ISBN:9784487258703
書籍名:Let's Try 2 著者名:文部科学省 出版社名:東京書籍 ISBN:9784487258710
書籍名:CROWN Jr. 5 著者名:酒井 英樹、他36名 出版社名:三省堂 ISBN:9784385706429
書籍名:CROWN Jr. 6 著者名:酒井 英樹、他36名 出版社名:三省堂 ISBN:9784385706436
書籍名:小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051685

[参考書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692

科目名	英語科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校外国語活動、外国語科の単元目標を十分に理解した上で、児童に身につけさせたい資質・能力について深く考えながら教材を開発、活用していくことができる。

[授業概要]
小学校で使用されている外国語(英語)の検定教科書、補助教材、ICT教材を用いて、教材の中身や構成、ねらいを理解し、実際に教科書を使って授業実践を行うことを通して、教材についての理解を深める。授業実践の振り返りの中で互いに意見交換を行いながら、児童の実態に応じた指導の在り方について考え、新学習指導要領における外国語活動及び外国語科で教材を選定、開発する上で必要な視点について学んでいく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
学習指導要領をよく読んでおくこと。検定教科書の内容を確認し、各学年における学習内容について理解を深めておくこと。

[授業計画]
1. 小学校学習指導要領における外国語活動及び外国語科について
   外国語教育における小中の学びの接続
2. 外国語活動・外国語科の目標、教材分析の視点
3. 外国語活動(3年生)における教材の分析
4. 外国語活動(4年生)における教材の分析
5. 外国語科(5年生)における教材の分析
6. 外国語科(6年生)における教材の分析
7. 外国語活動における教材の開発
8. 外国語活動における開発教材を用いた授業実践・検証
9. 外国語活動における教材の改善・提案
10. 外国語科における教材の開発
11. 外国語科における開発教材を用いた授業実践・検証
12. 外国語科における教材の改善・提案
13. まとめ

科目名	英語科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
定期試験（30%）、課題への取り組み姿勢（40%）、授業実践（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：定期試験、授業実践

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：定期試験、授業実践

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：課題への取り組み姿勢

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題への取り組み姿勢、授業実践

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：定期試験、課題への取り組み姿勢、授業実践

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：定期試験、授業実践

[教科書（ISBN）]
書籍名:Let's Try! 1 著者名:文部科学省 出版社名:東京書籍 ISBN:9784487258703
書籍名:Let's Try! 2 著者名:文部科学省 出版社名:東京書籍 ISBN:9784487258710
書籍名:NEW HORIZON Elementary English Course 5 著者名:アレン玉井 光江、他83名 出版社名:東京書籍 ISBN:9784487106851
書籍名:NEW HORIZON Elementary English Course 6 著者名:アレン玉井 光江、他83名 出版社名:東京書籍 ISBN:9784487106875

[参考書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051685
書籍名:中学校学習指導要領解説　外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692

科目名	英語学概論 I	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語という言語の特性について、共時的・通時的観点から、意味論的、統語論的、音韻論的に説明することができるとともに、英語学の知見を英語の指導に活かすことができる。

[授業概要]
英語学に関する各テーマについて理解を深めていく。音韻論、意味論、統語論などの各分野について説明した後に、グループごとでそれぞれのテーマについて調べ、スライドを用いて発表する。発表の準備に際し、専門用語の解説に加え、各テーマの内容について説明を行う。発表後に、クラス全体で、各テーマにおける諸問題について考え、意見交換を行う。英語学における言語の特性の見方を説明すると共に、英語の指導において英語学の知見を活かすことができるように近年の研究成果も提示する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて4時間程度。
授業の中で提示する課題に取り組んでおくこと。

[授業計画]
1. ことばの起源と語族・人間のことばと言語研究
2. 英語の発音とスペリング・英語の語彙の多様性
3. 標準英語の成立・英語のバリエーション・ことばの変化
4. ことばと音声・音の組み合わせとアクセント
5. 単語ができるしくみ・文ができるしくみ・文の内部構造
6. ことばの意味とは
7. 語の間の意味関係・意味の拡張
8. ことばの意味に見られる主観性・ことばの意味とコンテクスト
9. まとまりのある文章・文章中の情報構造
10. ことばのやりとりにおけるルール・コミュニケーションの民俗誌・英語と文化
11 ことばと社会・ことばと国家
12. 日本の英語教育と教授法
13. まとめ

科目名	英語学概論 I	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
定期試験（50%）、授業中の課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法：定期試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：定期試験、授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：定期試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:はじめての英語学 著者名:長谷川 瑞穂 編著 出版社名:研究社 ISBN:9784327401658

[参考書（ISBN）]
書籍名:必要に応じて資料を配付する。著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	英語学概論Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	英語の「最頻出語 2000語」を「自家薬籠中」の物にする	講義	
担当者	水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校と中学校の英語検定教科書は、英語の話し言葉の「90%」を占め，書き言葉の「80%」を占める「最頻出語 2000語」を主に使い書かれている。「最頻出語 2000語」の学習は「英語力の基盤」を成す。そこで，小学校と中学校の教師になるために，2000語の意味と使い方（文法）について「理解」を深め「習熟（定着）」を図り，2000語を「自家薬籠中」の物にする（いつでも好きなように使うことができるようになる)ことを目指す。

[授業概要]
2000語が慣用的に組み合わさった「600 のフレーズ」と「600 のセンテンス」を『改訂第2版クタン【Entry】2000語レベル』を通して学んでいく。2000語の中でも特に「基本語」とよばれる単語の意味と使い方（文法)については，認知言語学の「使用基盤モデル」と「レクシカル・アプローチ」と呼ばれる観点から明示的に説明をし「学びほぐし（unlearn)」を図る。フレーズとセンテンスは，本授業のために開発したエクセルのアプリを使って，「整序英作文」と「ディクテーション」を通じて「耳からインプット」していく。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎週、予習復習合わせて4時間程度。
予習 & 復習:『改訂第2版キクタン【Entry】2000語レベル』のディクテーションを行う。

[授業計画]
前半は「ラウドスピーカー」という教授法で英語の語彙・文法の学び直しを図る。後半は以下のスケジュールで、1-600 の「600 のセンテンス」を，整序問題とディクテーションを通して学期中に「2 Round」繰り返す。

1. 1-100
2. 101-200
3. 201-300
4. 302-400
5.401-500
6. 501-600
7.1-100
8.101-200
9.201-300
10.302-400
11.401-500
12.501-600
13.最終テスト

科目名	英語学概論Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	英語の「最頻出語 2000語」を「自家薬籠中」の物にする	講義	
担当者	水野　邦太郎		

[成績評価方法]
① ラウドスピーカーによる振り返りのレポート(50%)。
②『改訂第2版クタン【Entry】2000語レベル』を使った「整序英作文」の正解数 (50%)。

①と②を 総合的に判断して評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中及び、manaba 掲示板と Padlet を利用して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:レポート
「整序英作文」の正解数

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:レポート
「整序英作文」の正解数

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート
「整序英作文」の正解数

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート
「整序英作文」の正解数

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート
「整序英作文」の正解数

[教科書(ISBN)]
書籍名:『改訂第2版キクタン【Entry】2000語レベル』 著者名:アルク 出版社名:アルク ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	英語カリキュラム論	前期	2 単位
サブタイトル	英語授業の実際を考えていこう	講義	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
英語を教えるときに必要な計画の立て方について論理的に考えられるようになる。授業数、週あたりの授業回数などの要素に加え、文法項目等を難易度別、順に捉えられるようになる。まずは、教科書の細部にわたる考察もできるようになろう。そのことから、どのように学ぶことがより良いといえるのかについて、論理的に説明できるようになる。授業を教授者と学習者の双方の立場から捉えることができるようになる。

[授業概要]
授業担当者は教育現場での教授経験が豊富であるので、それを活かして実線的に指導する。英語をどのように教えていくのが良いのかについて、課題解決型によるグループワークと個人ワークで重層的にまなぶ方式で展開する。小学校での英語活動、英語教育、中学校での英語の授業をするにあたり学習指導要領を読み込むことと教科書を分析することを基礎として英語の教科書を教える方法(カリキュラムを含む)を考察していく。基本グループでの発表をもとに個人活動も相互評価し、最終レポートも加えて評価していく。課題をまずみつけ、それをどのように解決していくのかについて個人レベルをもちよりグループとしてプレゼンテーションしていく。必修授業であるため、集団として「まなび合う」姿勢を重要視していく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業の前には、毎回のテーマについて考え、質問や自分の意見をまとめておくこと。予習段階で個人学習とグループでの学びが必要です。復習時は、学んだことに基づいて、最終レポート等へどのように反映させるのかといったことを含めて考えておくこと。予習復習で2時間程度が必要です。

[授業計画]
1. オリエンテーション、この授業の進め方、グループ決めと発表担当箇所、回の決定等
2. カリキュラムとは？
　グループでの討議、発表手順などの相談:3回目以降はグループの発表を中心に展開する
3. 中学校検定教科書への考察(1):Unit　1を中心に
4. 中学校検定教科書への考察(2):Unit　2を中心に
5. 中学校検定教科書への考察(3):Unit　3を中心に
6. 中学校検定教科書への考察(4):Unit　4を中心に
7. 中学校検定教科書への考察(5):Unit　5を中心に
8. 中学校1年生対象の教科書への洞察、グループ変更、次週以降の学習内容への討議等
9. 中学校検定教科書への考察(6):Unit　6を中心に
10. 中学校検定教科書への考察(7):Unit　7を中心に
11. 中学校検定教科書への考察(8):Unit　8を中心に
12. 中学校2年生、3年生対象の教科書への洞察等
13. まとめならびに最終レポート提出

科目名	英語カリキュラム論	前期	2 単位
サブタイトル	英語授業の実際を考えていこう	講義	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
授業への積極的参加度（30%）、ふりかえりシート（30%）、指導案あるいはレポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回の授業で前回の意見や質問を共有します。指導案や試験は解答、解説を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：授業への積極的参加度合い、ふりかえりシートへの記述内容により評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：授業への積極的参加度合い、ふりかえりシートへの記述内容により評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：指導案あるいは最終レポートで評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への積極的参加度合い、ふりかえりシートへの記述内容により評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への積極的参加度合い、ふりかえりシートへの記述内容により評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：指導案あるいは、最終レポートにより評価する。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	英語圏文学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学を学ぶ	メディア（講義）	
担当者	坂元　敦子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
アメリカ小説・戯曲を読み、作品中に使用されるさまざまな英語表現を学ぶとともに英語の
読解力をつける。 英語で外国文学作品を味わう方法を学ぶ。
アメリカ文学作品と時代背景、またアメリカの社会・文化について理解する。
作品の朗読や台詞の発表を通して、コミュニケーションに役立つ英語を学ぶ。

[授業概要]
【メディア授業】
この授業では、代表的なアメリカ文学作品の一部(抜粋)を英語で読み、その中の英語表現につ
いて学ぶとともに、作品に見られる「アメリカらしさ」とは何かについて考える。作品の背景
となる時代やアメリカの社会・文化に焦点をあて、各自が調べたり発表したりすることによっ
て、異なる文化の理解を目指す。また声に出して台詞や文章を読むことによって、英語による
文学作品を味わい、自然な英語やコミュニケーションに役立つ英語を学ぶ。作品の多くは映画
化されているので、映像作品と原作の違いなどについても考えたい。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
課題とした文学作品を次の授業までに読み、発表する。辞書を使用してテキストを細かく読み、理解してから授業に臨むこと。
また、レポートは字数や形式を守り、作品に関するリサーチをじゅうぶん行うこと。各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
第1回: イントロダクション
第2回: 小説と戯曲、アメリカ文学史概観
第3回: アーヴィング『リップ・ヴァン・ウィンクル』を読む
第4回: アーヴィング『リップ・ヴァン・ウィンクル』の時代背景と社会
第5回: オルコット『若草物語』を読む
第6回: オルコット『若草物語』と南北戦争
第7回: フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』を読む
第8回: フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』と20年代
第9回: フォークナー『響きと怒り』を読む
第10回: フォークナー『響きと怒り』とアメリカ南部
第11回: ウィリアムズ『ガラスの動物園』を読む
第12回: ウィリアムズ『ガラスの動物園』とアメリカの家族
第13回: まとめ

科目名	英語圏文学Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	アメリカ文学を学ぶ	メディア（講義）	
担当者	坂元　敦子		

[成績評価方法]
テスト(30%)、課題(40%)、授業参加(30%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内でおこない、マナバも使用します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:授業中に指示します。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	英語圏文学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	大都市の文化をテーマとする英米の短篇小説を読む（一部フランスをふくむ）	講義	
担当者	野末　紀之		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・フィクションの特徴を理解する。
・時代や作者によって変わる英語の文体の違いを知る。
・文学作品を読み、そのなかから問題を探し、調べ、考え、表現する。

[授業概要]
1840年代、ロンドンやパリなど大都市が生まれると、それに応じた文学作品が出てくる。人びとは他人の視線を気にするようになり、自分をどう価値づけるかに時間と金をそそぐ。彼らは服装や身のこなし、言葉づかいに配慮し、理解できない外国人を危険視するようになる。さまざまな物が商品化され消費の対象となる。そうしたあり方を表現した短篇を読む。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
図書館やインターネットを使用して、講義関連内容の情報を収集し、興味のある文献を読んでおく。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1 イントロダクション
2 ゾラ「引き立て役」を読む
3 ゾラ「広告の犠牲者」を読む
4 ポー「モルグ街の殺人事件」を読む
5 ポー「群集の人」を読む（1）～骨相術と観相術
6 ポー「群集の人」を読む（2）～群集のなかの孤独
7 ポー「群集の人」を読む（3）～犯罪者と探偵
8 ギッシング「ルーとリズ」を読む～都市底辺の女たち
9 ギッシング『余った女たち』より～女ひとりが都市を歩く（1）
10 ギッシング『余った女たち』より～女ひとりが都市を歩く（2）
11 ワイルド「秘密のないスフィンクス」を読む（1）
12 ワイルド「秘密のないスフィンクス」を読む（2）
13 まとめと質疑応答

科目名	英語圏文学Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	大都市の文化をテーマとする英米の短篇小説を読む（一部フランスをふくむ）	講義	
担当者	野末　紀之		

[成績評価方法]
授業への貢献度（10%）、発表（30%）、レポート60%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manabaやメール等でおこなう

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：英米1-1／社会に貢献するための高度な英語運用能力を身に付けている。
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-2／英語圏の文化・文学の特徴や英語を中心とした言語の仕組みについて専門的な知識を身に付けている。
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米1-3／日本語及び英語で書かれた文献から必要な情報を読み取り、収集した情報を論理的に伝えることができる。
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-1／高度な英語運用能力に基づいて自分の考えを英語で発信し、他者に対して説得力のある説明ができる。
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米2-2／英語圏の文化・文学または英語という言語について自ら研究テーマを見つけ、多角的な観点から分析し、新たな視点で考察することができる。
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

学科DP番号／DP内容：英米3-2／英語圏の文化・文学・語学を通して、多様なものの見方や考え方に基づく国際協調の精神を持っている。
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への貢献度、発表、レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	英語圏文学入門	後期	2 単位
サブタイトル	英詩を読む	講義	
担当者	坂本　晃平		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 英語で書かれた文学作品を読み解くにあたって必要となる語学力を高めること。
2. イギリス文学を読み解くにあたって必要となる歴史・文化への造詣を深めること。
3. 英詩に関する基本的な規則を理解し、それらを用いて英詩を分析する技術を高めること。
4. 異なる国の異なる時代の文学作品という他者との出会いを通して、異文化理解力を高めること。
5. 小学校及び中学校にて教科英語を講じるに足る専門性や技能をを修得すること。

[授業概要]
本科目では、英詩を各回一篇ずつ取り上げ、それらをそれぞれの作品が書かれた時代の文化や歴史、社会的背景とも照らし合わせつつ読み解いてゆくことを通して、小中学教科英語を教授するにあたって有用な語学力を修得するのみならず、歴史や文化に関する基礎的知識や異文化理解力をも高めることを目指す。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回の授業について、予習・復習併せて4時間程度を目安とする。予習においては、講義で取り上げる詩作品について解らない単語等を辞書で調べながら読んでくること。復習においては、詩の朗読の練習をしておくこと。

[授業計画]
1. Introduction
2. The Canterbury Tales, General Prologue, opening lines(Geoffrey Chaucer)
3. The Old Vicarage, Grantchester(Rupert Brooke)
4. Richard III (William Shakespeare)
5. Adlestrop(Edward Thomas)
6. Sonnet 18(William Shakespeare)
7. Composed upon Westminster Bridge, September 3, 1802(William Wordsworth)
8. Ode to the West Wind(Percy Bysshe Shelley)
9. MCMXIV(Philip Larkin)
10. Love and Friendship(Emily Bront?)
11. New Year(Carol Ann Duffy)
12. The Haw Lantern(Seamus Heaney)
13. Amoretti LXII(Edmund Spenser)

科目名	英語圏文学入門	後期	2 単位
サブタイトル	英詩を読む	講義	
担当者	坂本　晃平		

[成績評価方法]
毎回の小レポート（30%）、朗読テスト（30%）、期末レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小レポート及び中間レポート、期末レポートのいずれも採点の上、返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：積極的な授業参加（20%）、暗唱テスト（30%）、期末レポート（50%）

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:「英詩とめぐる12か月」『英語教育』'23年4月号-'24年3月号 著者名:廣田篤彦 出版社名:大修館 ISBN:

[参考書（ISBN）]

S64835 [LKH2-043]

科目名	英語コミュニケーション Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル	英語のコミュニケーション能力の基盤となる中学英語を学び直そう!	講義	
担当者	水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中学の検定英語教科書で出会った単語と文法で書かれた英文をスラスラ読め、スラスラス聞けるようになる。

[授業概要]
授業は英語で「話す」「聞く」「読む」「書く」の4技能をバランスよく磨けるように、次のような言語活動が盛り込まれている。ディクテーション、AI を使った音読テスト、ICT を使った音声によるコミュニケーション、速読・多読。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業時間外に、ICC プロジェクトに参加し，同期・非同期で，国内外の高校生や大学学生と「書き言葉」と「話し言葉」の両方の媒体で対話をする。

[授業計画]
毎回の授業は、大きく以下の3本柱で構成される。

1.「ラウドスピーカー」という教授法を使い、中学2年生レベルで書かれた短い英文を身体と心に染み込ませる。最後に Teams の「音読テスト」を受ける。

2. ICC Project に参加し、投稿されたエッセイを読み、音声でコメントしながらコミュニケーションをする

3.『Domo Domo Paradise 1巻～4巻』(全54本のエッセイ)から読みたいエッセイを選んでどんどん読み、内容把握テストを受けて理解度を確認する。

1. オリエンテーション
2. ラウドスピーカー①、ICC への投稿①、Domo Domo Paradise ①
3. ラウドスピーカー②、ICC への投稿 ②、Domo Domo Paradise ②
4. ラウドスピーカー③、ICC への投稿 ③、Domo Domo Paradise ③
5. ラウドスピーカー④、ICC への投稿 ④、Domo Domo Paradise ④
6. ラウドスピーカー⑤、ICC への投稿 ⑤、Domo Domo Paradise ⑤
7. ラウドスピーカー⑥、ICC への投稿 ⑥、Domo Domo Paradise ⑥
8. ラウドスピーカー⑦、ICC への投稿 ⑦、Domo Domo Paradise ⑦
9. ラウドスピーカー⑧、ICC への投稿 ⑧、Domo Domo Paradise ⑧
10. ラウドスピーカー⑨、ICC への投稿 ⑨、Domo Domo Paradise ⑨
11. ラウドスピーカー⑩、ICC への投稿 ⑩、Domo Domo Paradise ⑩
12. ラウドスピーカー⑪、ICC への投稿 ⑪、Domo Domo Paradise ⑪
13. まとめと振り返り

科目名	英語コミュニケーション Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル	英語のコミュニケーション能力の基盤となる中学英語を学び直そう!	講義	
担当者	水野　邦太郎		

[成績評価方法]
① ICC のサイトに投稿したコメントの質と量 (50%)
②『Domo Domo Paradise 1巻～4巻』の理解度テストの正解数(50%)

評価は①②を軸に「ラウドスピーカー」の振り返りレポートや「音読テスト」のスコアも参考にして総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中及び、manaba 掲示板、Padlet を利用して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:① ICC のサイトに投稿したコメントの質と量
②『Domo Domo Paradise 1巻～4巻』の理解度テストの正解数

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法:① ICC のサイトに投稿したコメントの質と量
②『Domo Domo Paradise 1巻～4巻』の理解度テストの正解数

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:① ICC のサイトに投稿したコメントの質と量
②『Domo Domo Paradise 1巻～4巻』の理解度テストの正解数

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:① ICC のサイトに投稿したコメントの質と量
②『Domo Domo Paradise 1巻～4巻』の理解度テストの正解数

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:① ICC のサイトに投稿したコメントの質と量
②『Domo Domo Paradise 1巻～4巻』の理解度テストの正解数

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:① ICC のサイトに投稿したコメントの質と量
②『Domo Domo Paradise 1巻～4巻』の理解度テストの正解数

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	英語コミュニケーションⅡ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中学校外国語科における「話すこと・書くこと」の指導力を高めるために、自らの考えを英語で発信できる語彙や表現力を身につける。

[授業概要]
中学校学習指導要領には「話すこと(やり取り)」と「話すこと(発表)」の違いを明確にして指導することが求められている。このような指導力を身に付けるために、本授業では基本となるモデルプレゼンテーションの構造と英語の論理構成を学びながら、的確なプレゼンテーションが行える力を養成する。個人発表に加え、グループごとに、提示するテーマについて調べたり、パワーポイントで資料を作成したりしながら準備を整え、クラス全員の前で発表を行う。発表時には、ジェスチャー、目線、伝え方など効果的なプレゼンテーションをするためのスキルについて説明する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
次に行うUnitに目を通しておくこと。授業の中で提示する課題に取り組んでおくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション & Presentation Structure プレゼンテーションの構造
2. Presentation Skills プレゼンテーションのスキル
3. Preparing for Your Presentation 情報収集と情報倫理
4. How to Arrange a Presentation Setting プレゼンテーション環境の準備
5. Type 1: Listing 列挙型プレゼンテーション
6. Type 2: Classification 分類型プレゼンテーション
7. Type 3: Process プロセス型プレゼンテーション
8. Type 4: Investigation 調査型プレゼンテーション
9. Review Unit: Giving Your Presentation 報告型プレゼンテーションの実践
10. Persuasion 説得型プレゼンテーション
11. Type 6: Problem and Solution 問題解決型プレゼンテーション
12. Type 7: Cause and Effect 原因・結果型プレゼンテーション
13. まとめ

科目名	英語コミュニケーションⅡ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
定期試験(50%)、授業中の課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:定期試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:定期試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:授業中の課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:定期試験、授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:定期試験、授業中の課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:Winning Presentations 著者名:Akira Morita, Shinichi Harada, Kazuma Kitamura, Sayaka Sugimoto, Bill Benfield 出版社名:SEIBIDO ISBN:9784791934249

[参考書(ISBN)]
書籍名:中学校学習指導要領解説　外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692

科目名	英語史	後期	2 単位
サブタイトル	英語のルーツを探る旅に出よう。現在の英語（語彙）になるまでの英語の成り立ちについて知っていく	講義	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]			
PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語という言語の成り立ちを知ることから、英語という言語への理解を深めていきます。現代の英語がどのように今の形になったのか、ブリテン島をめぐる歴史もわかるようになります。

[授業概要]
英語ってどのようにして成立してきた言葉なのでしょうか。語彙や文法の根にはどのようなことがあるのでしょうか。受講生のみなさんと毎回のテーマについて考え、意見交換をしながら、英語ということばを多面的にとらえていこうという授業です。担当者からは、毎回テーマに沿った資料を配布しますが、受講生のみなさんの興味や関心事を大切にしながら一緒に英語という言語の成り立ちを探っていきましょう。その過程では、英国という国の歴史や文学作品なども知ることが出来るようになると思っています。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
授業計画に沿ったテーマについて、授業前には各自で調べてきてください。授業ではそのことの発表や討議を中心に進めます。授業では質問できるようにしてください。

[授業計画]
1. 英語発達史概観
2. 英語発達史への考察
3. 印欧祖語民族の言語
4. 印欧祖語民族の文化・神話
5. 英語の語源と印欧語比較言語学
6. 英語の語源と印欧語比較言語学への考察
7. 印欧諸語の中の英語：文法的特徴
8. 印欧諸語の中の英語：動詞を中心に①
9. 印欧諸語の中の英語：動詞を中心に②
10. 古英語から現代英語まで：名詞を中心に
11. 古英語から現代英語まで：人称代名詞を中心に
12. 文字と綴りのルーツ
13. まとめ（英語のルーツについてのレポート）

科目名	英語史	後期	2 単位
サブタイトル	英語のルーツを探る旅に出よう。現在の英語（語彙）になるまでの英語の成り立ちについて知っていく	講義	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
授業への主体的参加(60%)、プレゼンテーション、最終レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートについては、後日コメントを付すなどして返却します。授業では毎回意見を発表することがもとめられます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：最終レポートで評価します。

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：授業への主体的参加、プレゼンテーションで評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への主体的参加、プレゼンテーションで評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業への主体的参加、最終レポートで評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業への主体的参加、最終レポートで評価します。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	英語文化教育論	前期	2 単位
サブタイトル	英語で「物語」を味わう	実習	
担当者	水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語で書かれた絵本をはじめとする様々な物語を読み聞くことを通して，英語独自の音やリズム，表現形式，英語文化を五感を総動員して味わう。このような経験を通して，小学校や中学校での英語教育における絵本や児童文学の役割について考える。

[授業概要]
次のようなタスクをすることを通して，英語で書かれた物語を読み合い味わう「洋書読書コミュニティ」を築いていく。

・『やさしい英語で楽しむ世界名作シリーズ（16タイトル）』から読みたい物語を選んで読み，読んだ感想を英文を引用しながら授業のサイトに投稿し感想を共有する。

・小学校や中学校の国語や英語の教科書に出てくる有名な絵本をデイクテーションをしながらじっくりと味わう。自分の感想や解釈を，英文を引用しながら授業のサイトに投稿し感想を共有する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
復習を中心に行う。
授業中にディクテーションした絵本の動画を，Youtube で探して聞き直す。
自分の解釈を込めてオーバーラッピングやシャドイングをしながら物語を味わう。

[授業計画]
毎回，授業は次の2つのタスクをメインに構成される。

1.やさしい英語で楽しむ世界名作シリーズ（16タイトル）から好きな物語を選んで読む。T/F Questions で理解を確認しながら読み進めていく。

2.絵本のディクテーション
The Giving Tree
Swimmy
Peter Rabbit
I'll Always Love You
Badger's Parting Gifts
The Fall of Freddie the Leaf
The Letter
※ いくつかの絵本については「ラウドスピーカー」という教授法によるディクテーションもできれば行いたい。

1. オリエンテーション
2. 世界名作シリーズの読書①、絵本のデイクテーション①
3. 世界名作シリーズの読書②、絵本のデイクテーショ②
4. 世界名作シリーズの読書③、絵本のデイクテーション③
5. 世界名作シリーズの読書④、絵本のデイクテーション④
6. 世界名作シリーズの読書⑤、絵本のデイクテーション⑤
7. 世界名作シリーズの読書⑥、絵本のデイクテーション⑥
8. 世界名作シリーズの読書⑦、絵本のデイクテーション⑦
9. 世界名作シリーズの読書⑧、絵本のデイクテーション⑧
10. 世界名作シリーズの読書⑨、絵本のデイクテーション⑨
11. 世界名作シリーズの読書⑩、絵本のデイクテーション⑩
12. 世界名作シリーズの読書⑪、絵本のデイクテーション⑪
13. まとめと振り返り

科目名	英語文化教育論	前期	2 単位
サブタイトル	英語で「物語」を味わう	実習	
担当者	水野　邦太郎		

[成績評価方法]
①「やさしい英語で楽しむ世界名作シリーズ」における True/False Questions の総正解数 (50%)
②「絵本」のディクテーションの総正解数 + 小学校や中学校での英語教育における絵本や児童文学の役割についてのレポート (50%)

①②と「ラウドスピーカー」による「振り返りのレポート」の質と量も含めて総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中及び、manaba 掲示板と Padlet を利用して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:①「やさしい英語で楽しむ世界名作シリーズ」における True/False Questions の総正解数
②「絵本」のディクテーションの総正解数 + 小学校や中学校での英語教育における絵本や児童文学の役割についてのレポート

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:①「やさしい英語で楽しむ世界名作シリーズ」における True/False Questions の総正解数
②「絵本」のディクテーションの総正解数 + 小学校や中学校での英語教育における絵本や児童文学の役割についてのレポート

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:①「やさしい英語で楽しむ世界名作シリーズ」における True/False Questions の総正解数
②「絵本」のディクテーションの総正解数 + 小学校や中学校での英語教育における絵本や児童文学の役割についてのレポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:①「やさしい英語で楽しむ世界名作シリーズ」における True/False Questions の総正解数
②「絵本」のディクテーションの総正解数 + 小学校や中学校での英語教育における絵本や児童文学の役割についてのレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:①「やさしい英語で楽しむ世界名作シリーズ」における True/False Questions の総正解数
②「絵本」のディクテーションの総正解数 + 小学校や中学校での英語教育における絵本や児童文学の役割についてのレポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:①「やさしい英語で楽しむ世界名作シリーズ」における True/False Questions の総正解数
②「絵本」のディクテーションの総正解数 + 小学校や中学校での英語教育における絵本や児童文学の役割についてのレポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	英文法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
基本的な英文法力を備えた上で、英語で適切に表現できる力を身につけるとともに、TOEIC、英検などの資格試験、大学の原書講読やライティングの授業にも対応できる英語力をつける。英語の文法的特徴に気づく力を高め、将来、教員として英語指導ができる実力と自信を持てるようにする。

[授業概要]
時制、関係詞、態など一つひとつの英文法事項を確認していく。具体的な例文を通して英語の構造や意味の理解を深めるために問題演習と解説を行う。英文法力を高めると同時に、将来、教員として生徒たちに分かりやすく英文法を説明できる力も身につけていく。そのために、グループごとに、英文法の各項目について説明する機会を設ける。説明後には、クラス全体で提示方法等について意見交換を行う。英語の理解度を高めるために、英文は何度も声に出して練習する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各文法項目について、テキストをよく読んでおくこと。基本例文については暗唱し繰り返し声に出して練習すること。

[授業計画]
1. オリエンテーション、動詞の基礎と文型・動詞
2. 時制
3. 助動詞
4. 名詞、冠詞、代名詞、形容詞と副詞
5. 態
6. 否定・疑問
7. 準動詞・接続詞
8. 関係詞
9. 形容詞的修飾語句と副詞的修飾語句
10. 比較
11. 仮定法
12. 倒置、要素の移動、強調、省略
13. まとめ
※進捗状況により、計画の一部を変更する場合がある。

科目名	英文法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
定期試験(50%)、授業中の課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:定期試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:定期試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:定期試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:定期試験、授業中の課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:大学生のための英文法再入門 著者名:町田 健、豊島 克己 出版社名:研究社 ISBN:9784327421939

[参考書(ISBN)]
書籍名:中学校学習指導要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692

科目名	SDGsと教育	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	金岩　俊明、村田　恵子、大西　雅裕、稲垣　善茂、宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
SDGsの概略を理解し、わが国や各地域の取り組みから、地球規模の課題について興味・関心を持ちながら、教員や保育者としての在り方や関わり方について、主体的・対話的に学ぶことができるようにする。

[授業概要]
2030年までの実現が目指されている持続可能な開発目標SDGs。この授業では、その国際目標の歴史・理念、そして日本や諸外国の取組について理解し、教育への展開の可能性を考察することをねらいとしている。貧困、飢餓、保健、教育、ジェンダー、水・衛生、エネルギー、成長・雇用、イノベーション、不平等、都市、生産・消費、気候変動、海洋資源、陸上資源、平和、実施手段、の17の目標の中でも、特にEnvironment（自然環境）、Social（社会）に関わる目標について、ディスカッションやワークショップを行いつつ、学校教育への具体的な展開に向けて考えを深めていく。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
SDGsについての情報、課題についてのニュースについて関心をもっておくこと。さらに、学習指導要領や幼稚園教育要領におけるSDGsとの関係性について予習しておくこと。

[授業計画]
1.SDGsにおける教育（金岩）
2.SDGsにおける経済成長・雇用（金岩）
3.SDGsにおけるイノベーション、平和（金岩）
4.SDGsにおける海洋資源（村田）
5.SDGsにおける陸上資源（村田）
6.SDGsにおけるジェンダー、不平等（大西）
7.SDGsにおける都市（大西）
8.SDGsにおける生産・消費、実施手順（大西）
9.SDGsにおける飢餓（稲垣）
10.SDGsにおける保健（稲垣）
11.SDGsにおける水・衛生（稲垣）
12.SDGsにおけるエネルギー（宮垣）
13.SDGsにおける気候変動（宮垣）

科目名	SDGsと教育	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	金岩　俊明、村田　恵子、大西　雅裕、稲垣　善茂、宮垣　覚		

[成績評価方法]
授業中の課題等（50%）レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックは、授業内で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表・レポート

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法：発表・レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：発表・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表・レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	Oral Presentation Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル	Let's join the Intercultural Classroom Connections (ICC) Project!	演習	
担当者	水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
教師にとって必要不可欠な Oral Presentation の技能を高める。ICC Project に参加し、インターネットを通じて海外の学生に Oral Presentation を行い、自分の英語を「国際共通語」として使い交流する。そして、自分の英語を、人と人との絆を結ぶ媒体として「機能」させる。

[授業概要]
授業時間内・外に，ICC プロジェクトに参加し，同期・非同期で，国内・海外の高校生や大学学生と「国境を越えた対話」をする。ICT と AI を活用してOral Presentation をたくさん行い，これからの英語教育のモデルとなる授業を経験する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業の時間外に、ICC のサイトにアクセスして海外の大学生が投稿した動画を見てプレゼンやコメントを投稿する。

[授業計画]
毎回，授業は以下のように構成される。

1. 4人グループをつくり、各自が ICC に投稿した最新のプレゼン動画を披露し、グループでコメントし合い相互評価を行う。各グループから今週の「ベスト・プレゼン賞」を選ぶ。
2. 自分の動画を「自己評価シート」に基づいて自己評価をする。
3. ICC のサイトに投稿された動画にコメントをする。
4. 次回の動画の原稿を執筆する (2週間に1本のペース、テーマは後期前に交流をする海外の教師と検討して決める)。
5. AI と ICT を活用して、授業外に撮影する Oral presentation の動画のための「練習」をする

1. オリエンテーション
2. テーマ①
3. テーマ①
4. テーマ②
5. テーマ②
6. テーマ③
7. テーマ③
8. テーマ④
9. テーマ④
10. テーマ⑤
11. テーマ⑤
12. テーマ⑥
13. まとめと振り返り

科目名	Oral Presentation Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル	Let's join the Intercultural Classroom Connections (ICC) Project!	演習	
担当者	水野　邦太郎		

[成績評価方法]
① ICC に投稿した動画の質と量 (50%)
② チャンクテストの総スコア(50%)
①と②を総合して評価をする。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中及び、manaba 掲示板と Padlet を利用して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:① ICC に投稿した動画の質と量
② チャンクテストの総スコア

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:① ICC に投稿した動画の質と量
② チャンクテストの総スコア

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:① ICC に投稿した動画の質と量
② チャンクテストの総スコア

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:① ICC に投稿した動画の質と量
② チャンクテストの総スコア

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:① ICC に投稿した動画の質と量
② チャンクテストの総スコア

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:① ICC に投稿した動画の質と量
② チャンクテストの総スコア

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	Oral Presentation Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
プレゼンテーションの組み立て方を身につけ、各テーマについて自分の意見を英語で発信できる。

[授業概要]
プレゼンテーションの組み立て方や表現方法を学び、社会問題や環境問題など様々な話題について、ペアやグループでの意見交換を行い、自らの意見を英語で簡潔にまとめる。効果的なプレゼンテーションに必要なグラフや関連資料などの提示方法、文の構成、表現方法について説明する。実際にスライドを作成し、クラス全員の前で発表を行う。また、発表において話し手と聞き手として質疑応答ができるように適切な表現を身につけていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
毎回発表を行うので、何度も音声を口から出して練習を重ね、準備を整えておくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション & プレゼンテーションの組み立て方
2. プレゼンテーションの構成
3. プレゼンテーションの英語表現
4. 実践 1「テーマ:社会関連」への準備 (1)
5. 実践 1への準備 (2)
6. プレゼンテーション実践 1 と 振り返り
7. 実践 2「テーマ:環境関連」への準備 (1)
8. 実践 2への準備 (2)
9. プレゼンテーション実践 2 と 振り返り
10. 実践 3「テーマ:教育関連」への準備 (1)
11. 実践 3への準備 (2)
12. プレゼンテーション実践 3 と 振り返り
13. まとめ

科目名	Oral Presentation Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
定期試験(50%)、授業中の課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:定期試験

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:定期試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:授業中の課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:定期試験、授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:定期試験、授業中の課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:必要に応じて資料を配付する。著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:中学校学習指導要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692
書籍名:小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051685

科目名	音楽科概説	後期	2 単位
サブタイトル	教育現場で必要な音楽基礎力の養成	講義	
担当者	小林　田鶴子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
教育現場で必要となる音楽の基礎知識を身につけると同時に、音楽に対する視野を広げる。

[授業概要]
教育現場で歌を歌ったり、子どもが楽しめる音楽指導を行うためには、まずは音楽の基礎知識が必要となる。この授業では、まず小学校教育現場で必要な音楽の基礎知識を身につけることを目的とする。 特に音楽を構造的に捉え、楽譜を速く読めるようにすることや、子どもの歌に合わせて伴奏を付けたり自由に演奏できる力を身に付ける。また、様々な音楽を知ることにより、音楽に対する視野を広げるようにする。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
テキスト対応のe-ラーニング教材を活用して、予習・復習うを行うこと。特に理解不足の部分は次回の授業までにきちんと自主学習をし、理解を深めておくこと。また、自分の好きな音楽の特徴について考えてみるようにする。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション（授業の進め方について）、「魅力ある音楽」とは
第2回　譜表と音名、拍子とリズム、記号と標語（子どもの歌を例に）
第3回　音程①（全音階的音程）
第4回　音程②（半音階的音程）
第5回　和声とコードネーム①（三和音の種類、主要三和音）
第6回　和声とコードネーム②（転回形、四和音）
第7回　コード進行と伴奏付け（子どもの歌やアニメソング・小学校唱歌等を題材として）
第8回　音階と調①（長音階）
第9回　音階と調②（短音階・関係調、移調、様々な音階や旋法）
第10回　音楽におけるICTの活用
第11回　音楽史概論・様々なジャンルの曲
第12回　アレンジや即興演奏など
第13回　テストとまとめ

科目名	音楽科概説	後期	2 単位
サブタイトル	教育現場で必要な音楽基礎力の養成	講義	
担当者	小林　田鶴子		

[成績評価方法]
筆記試験（70%）、授業への取り組み（小テストを含む）（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
筆記試験終了後に解答解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちの実態に即して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:この一冊でわかる楽典と音楽実技 著者名:深見友紀子、小林田鶴子 出版社名:音楽之友社 ISBN:978-4-276-10052-7

[参考書（ISBN）]

科目名	音楽科概説	後期	2 単位
サブタイトル	教育現場で必要な音楽基礎力の養成	講義	
担当者	小林　田鶴子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
教育現場で必要となる音楽の基礎知識を身につけると同時に、音楽に対する視野を広げる。

[授業概要]
教育現場で歌を歌ったり、子どもが楽しめる音楽指導を行うためには、まずは音楽の基礎知識が必要となる。この授業では、まず小学校教育現場で必要な音楽の基礎知識を身につけることを目的とする。 特に音楽を構造的に捉え、楽譜を速く読めるようにすることや、子どもの歌に合わせて伴奏を付けたり自由に演奏できる力を身に付ける。また、様々な音楽を知ることにより、音楽に対する視野を広げるようにする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
テキスト対応のe-ラーニング教材を活用して、予習・復習うを行うこと。特に理解不足の部分は次回の授業までにきちんと自主学習をし、理解を深めておくこと。また、自分の好きな音楽の特徴について考えてみるようにする。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション(授業の進め方やテキストの購入方法について)、「魅力ある音楽」とは
第2回　譜表と音名、拍子とリズム、記号と標語(子どもの歌を例に)
第3回　音程①(全音階的音程)
第4回　音程②(半音階的音程)
第5回　和声とコードネーム①(三和音の種類、主要三和音)
第6回　和声とコードネーム②(転回形、四和音)
第7回　コード進行と伴奏付け(子どもの歌やアニメソング・小学校唱歌等を題材として)
第8回　音階と調①(長音階)
第9回　音階と調②(短音階・関係調、移調、様々な音階や旋法)
第10回　音楽におけるICTの活用
第11回　音楽史概論・様々なジャンルの曲
第12回　アレンジや即興演奏など
第13回　テストとまとめ

科目名	音楽科概説	後期	2 単位
サブタイトル	教育現場で必要な音楽基礎力の養成	講義	
担当者	小林　田鶴子		

[成績評価方法]
筆記試験（70%）、授業への取り組み（小テストを含む）（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
筆記試験終了後に解答解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちの実態に即して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:この一冊でわかる楽典と音楽実技 著者名:深見友紀子、小林田鶴子 出版社名:音楽之友社 ISBN:978-4-276-10052-7

[参考書（ISBN）]

科目名	音楽科教育法	前期	2 単位
サブタイトル	児童の感性を育む音楽科の指導法	講義	
担当者	小林　田鶴子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
初等音楽科教育についての知識を身につけるとともに、児童が音楽を通して豊かな感性や創造性を育むことの重要性を知る。
また、教材ならびに指導法の研究を通して、教育現場で必要な技能を修得する。

[授業概要]
初等音楽科教育の目標を理解し、わが国の音楽教育の歴史を学ぶことを通して、今後の音楽科教育の動向や課題について考察する。また、子どもの感性や創造性を育む指導法や教材についての研究を行うとともに、実際に楽器の演奏や弾き歌い、音楽づくりをする。最終的に指導案を作成して模擬授業を行い、教育現場で必要な技能を身につける。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎回の授業に、充分な予習・復習をして臨むこと。課題曲の練習はしっかり行うこと。
共通教材24曲の弾き歌いをみんなの前で演奏する（全員必ず行う）ので練習しておくこと。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション、小学校音楽教育の目的と内容・意義
第2回：小学校音楽科教育の歴史と現在
第3回：音楽科学習指導要領－表現、鑑賞、共通事項・幼稚園教育要領との関係
第4回：音楽科の指導内容①　歌唱と器楽（我が国の楽器・手作り楽器を含む）、ICT機器の活用
第5回：音楽科の指導内容②　音楽づくりの指導法（創造的音楽学習を含む）、ICT機器の活用
第6回：音楽科の指導内容③　鑑賞の指導法（我が国の音楽を含む）、ICT機器の活用
第7回：学習指導案の作成と評価について
第8回：教材研究と模擬授業計画立案、準備
第9回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（歌唱）
第10回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（器楽・音楽づくり）
第11回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（鑑賞）
第12回：教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り（器楽・音楽づくり）
第13回：試験とまとめ

科目名	音楽科教育法	前期	2 単位
サブタイトル	児童の感性を育む音楽科の指導法	講義	
担当者	小林　田鶴子		

[成績評価方法]
試験30%、模擬授業と指導案30%、授業への取り組み40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
筆記試験後に解答解説を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:最新　初等科音楽教育法　2017年告示　小学校学習指導要領準拠 著者名:初等科音楽教育研究会 出版社名:音楽之友社 ISBN:978-4-276-82102-6
書籍名:小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　音楽編 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版 ISBN:978-4-491-03465-2

[参考書(ISBN)]

科目名	音楽科教育法	前期	2 単位
サブタイトル	児童の感性を育む音楽科の指導法	講義	
担当者	小林　田鶴子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
初等音楽科教育についての知識を身につけるとともに、児童が音楽を通して豊かな感性や創造性を育むことの重要性を知る。
また、教材ならびに指導法の研究を通して、教育現場で必要な技能を修得する。

[授業概要]
初等音楽科教育の目標を理解し、わが国の音楽教育の歴史を学ぶことを通して、今後の音楽科教育の動向や課題について考察する。また、子どもの感性や創造性を育む指導法や教材についての研究を行うとともに、実際に楽器の演奏や弾き歌い、音楽づくりをする。最終的に指導案を作成して模擬授業を行い、教育現場で必要な技能を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回の授業に、充分な予習・復習をして臨むこと。課題曲の練習はしっかり行うこと。
共通教材24曲の弾き歌いをみんなの前で演奏する(全員必ず行う)ので練習しておくこと。

[授業計画]
第1回:オリエンテーション、小学校音楽教育の目的と内容・意義
第2回:小学校音楽科教育の歴史と現在
第3回:音楽科学習指導要領－表現、鑑賞、共通事項・幼稚園教育要領との関係
第4回:音楽科の指導内容①　歌唱と器楽(我が国の楽器・手作り楽器を含む)、ICT機器の活用
第5回:音楽科の指導内容②　音楽づくりの指導法(創造的音楽学習を含む)、ICT機器の活用
第6回:音楽科の指導内容③　鑑賞の指導法(我が国の音楽を含む)、ICT機器の活用
第7回:学習指導案の作成と評価について
第8回:教材研究と模擬授業計画立案、準備
第9回:　教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り(歌唱)
第10回:教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り(器楽・音楽づくり)
第11回:教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り(鑑賞)
第12回:教材研究と模擬授業、評価方法等の工夫、振り返り(器楽・音楽づくり)
第13回:試験とまとめ

科目名	音楽科教育法	前期	2 単位
サブタイトル	児童の感性を育む音楽科の指導法	講義	
担当者	小林　田鶴子		

[成績評価方法]
試験30%、模擬授業と指導案30%、授業への取り組み40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
筆記試験後に解答解説を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:最新　初等科音楽教育法　2017年告示　小学校学習指導要領準拠 著者名:初等科音楽教育研究会 出版社名:音楽之友社 ISBN:978-4-276-82102-6
書籍名:小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　音楽編 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版 ISBN:978-4-491-03465-2

[参考書(ISBN)]

科目名	音楽科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル	小学校の音楽教育	演習	
担当者	宮内　晴美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
初等音楽科教育についての知識をつけるとともに、小学校音楽科の教材ならびに指導法の研究を通して、教育現場で必要な技能を習得する。

[授業概要]
教育現場で必要とされる技能や知識を学び、実際にそれらを歌唱したり、演奏したりすることにより、音楽表現に活用できる能力と指導する能力を身に付ける。
児童の発達段階に応じた指導法を学び、現場での指導力を向上させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回の授業に十分な復習をして臨むこと。
また、課題の実技練習をしっかりとすること。
(各回、予習・復習を1時間程度)

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　低学年の音楽的発達と歌唱・器楽の教材研究
第3回　中学年の音楽的発達と歌唱・器楽の教材研究
第4回　高学年の音楽的発達と歌唱・器楽の教材研究
第5回　合唱及び合奏の指導法、指揮法、選曲の注意点、楽譜の選び方
第6回　主要三和音、コードネームを使った伴奏法
第7回　発声法、歌唱・器楽の教材研究のまとめと模擬授業
第8回　音楽づくりの教材研究
第9回　音楽づくり発表会
第10回　鑑賞の教材研究(ICT機器の活用)
第11回　教職に必要な音楽理論の確認
第12回　採用試験対策
第13回　まとめ

科目名	音楽科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル	小学校の音楽教育	演習	
担当者	宮内　晴美		

[成績評価方法]
授業中の課題（30%）、発表（40%）、レポート課題（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
発表は毎回の授業で講評と今後の課題を知らせる。
授業内レポートなどの課題は、次の授業で返却し振り返る。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：授業中の課題、発表、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：授業中の課題、発表、レポート課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：授業中の課題、発表、レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、発表、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、発表、レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業中の課題、発表、レポート課題

[教科書（ISBN）]
書籍名:【改訂版】最新初等科音楽教育法　小学校教員養成課程用 著者名:初等科音楽教育研究会／編 出版社名:音楽之友社 ISBN:9784276821026

[参考書（ISBN）]

科目名	海外語学セミナー	前期	3 単位
サブタイトル		実習	
担当者	本多　明子、齋藤　由紀、水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
海外での研修を通して、異文化理解教育、第二言語習得理論、海外の教育事情等についての理解を深め、多角的な視点から初等教育、及び、中等英語教育について考え、その学びを児童、生徒たちに対する効果的な英語指導に活かすことができる。

[授業概要]
渡航前に教育学科主催の事前研修会に参加し、帰国後には研修レポートを提出する。
また、研修前後に開かれる国際交流推進部のオリエンテーション・結団式・帰国報告会に出席する。

教育学科事前研修会の内容は次のとおりである。
①異文化理解教育について
②海外事情
③第二言語習得理論の実際

帰国後に提出する研修レポートのテーマは「効果的な英語指導についての考察」とする。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
渡航先での研修に備え、各自、必要な語学力を高めておくこと。また、将来教員として英語教育に携わることを見据え、教授内容、教授法等、教育に関する海外事情についても理解しておく。研修後のレポート課題、報告会での発表に備え、研修中に習得したことを纏め準備を整えておくこと。

[授業計画]
1. 事前指導 ① （本多）
2. 事前指導 ② （齋藤）
3. 事前指導 ③ （水野）
4. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
5. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
6. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
7. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
8. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
9. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
10. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
11. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
12. 事後指導 （本多、齋藤、水野）
13. 事後指導・報告会 （本多、齋藤、水野）

科目名	海外語学セミナー	前期	3 単位
サブタイトル		実習	
担当者	本多　明子、齋藤　由紀、水野　邦太郎		

[成績評価方法]
課題（50%）、レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは事前・事後指導の中で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：課題、レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：課題、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：課題、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：課題、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:必要に応じて資料を配付する。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692
書籍名:小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051685

科目名	海外語学セミナー	後期	3 単位
サブタイトル		実習	
担当者	本多　明子、齋藤　由紀、水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
海外での研修を通して、異文化理解教育、第二言語習得理論、海外の教育事情等についての理解を深め、多角的な視点から初等教育、及び、中等英語教育について考え、その学びを児童、生徒たちに対する効果的な英語指導に活かすことができる。

[授業概要]
渡航前に教育学科主催の事前研修会に参加し、帰国後には研修レポートを提出する。
また、研修前後に開かれる国際交流推進部のオリエンテーション・結団式・帰国報告会に出席する。

教育学科事前研修会の内容は次のとおりである。
①異文化理解教育について
②海外事情
③第二言語習得理論の実際

帰国後に提出する研修レポートのテーマは「効果的な英語指導についての考察」とする。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
渡航先での研修に備え、各自、必要な語学力を高めておくこと。また、将来教員として英語教育に携わることを見据え、教授内容、教授法等、教育に関する海外事情についても理解しておく。研修後のレポート課題、報告会での発表に備え、研修中に習得したことを纏め準備を整えておくこと。

[授業計画]
1. 事前指導 ① （本多）
2. 事前指導 ② （齋藤）
3. 事前指導 ③ （水野）
4. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
5. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
6. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
7. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
8. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
9. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
10. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
11. 海外研修（授業・異文化体験活動等）
12. 事後指導 （本多、齋藤、水野）
13. 事後指導・報告会 （本多、齋藤、水野）

科目名	海外語学セミナー	後期	3 単位
サブタイトル		実習	
担当者	本多　明子、齋藤　由紀、水野　邦太郎		

[成績評価方法]
課題（50%）、レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは事前・事後指導の中で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：課題、レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：課題、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：課題、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：課題、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:必要に応じて資料を配付する。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692
書籍名:小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051685

科目名	介護等体験	後期～2026年度 後期	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める	実習	
担当者	宮本　晃郎、田中　裕一、上野　昌稔		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・義務教育に従事予定の教員志望者が、「個人の尊厳及び社会連帯の理念」に関する認識を深めることができる。
・障がい者や高齢者との関わり方を学び、具体的な体験を通して「思いやりの心・共生の精神」の大切さを実感することができる。

[授業概要]
①特別支援学校の校長や教員、社会福祉施設での勤務経験を有している者が、事前指導として介護等体験の意義や基本的な心構え、障がい者や高齢者等との具体的な関わり方などについて指導します。
②文部科学省や教育委員会（兵庫県・神戸市）での勤務経験を有している者が、特別支援教育の概要や社会福祉の概要として、それぞれの重要性と今日的な課題、多様な連携・連帯について指導します。実際の介護等体験については、特別支援学校・社会福祉施設等で、当該職員の指導を受けながら、障がい者・高齢者等とのよりよい関わり方について、体験を通して学びます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
人権教育や特別支援教育、社会福祉施設等について、予習・復習をすること。

[授業計画]
事前指導　※一部を除きメディア授業で実施
1. オリエンテーション……・自由と不自由・多様な子供たち・介護等体験の成立背景と意義等（宮本、教職支援センター）
2. 特別支援教育の概要……・特別支援教育が求められた背景・特別支援教育における現代的諸課題（上野）
3. 特別支援学校の教育……・特別支援学校の教育の特色・障害種別における特別支援学校の教育課程と教育内容（上野）
4. 障害のある児童生徒との関わり方……・主に知的障害、肢体不自由のある児童生徒との関わり方の実際と留意点（上野）
5. 発達障害のある人の特徴と関わり方……・自閉症スペクトラム・注意欠如 多動症・限局性学習症・その他（田中）
6. 障害者施設等の現況……・障害者施設の現状と対応の考え方・高齢者施設を含む社会福祉の動向（田中）
7. 総まとめ及び申請手続き説明会……【対面授業】オリエンテーション （宮本、教職支援センター）

現場体験実習
・社会福祉施設等での体験実習（5日間）
・特別支援学校での体験実習（2日間）

事後指導
・まとめと反省（宮本・教職支援センター）

科目名	介護等体験	後期～2026年度 後期	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める	実習	
担当者	宮本　晃郎、田中　裕一、上野　昌稔		

[成績評価方法]
実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出されたレポートにおいて、卓越した内容など特筆すべきことは事後の学習に生かす。
課題のある内容については、全体として再確認したり、個別に助言したりする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:新フィリア 著者名:著者名１ 出版社名:ジアース教育新社 ISBN:9784863715226
書籍名:よくわかる社会福祉施設　―教員免許志願者のためのガイドブック （第6版） 著者名:増田　雅暢（代表） 出版社名:社会福祉法人全国社会福祉協議会 ISBN:9784793514586

[参考書（ISBN）]

科目名	介護等体験	後期～2026年度 後期	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める	実習	
担当者	宮本　晃郎、田中　裕一、上野　昌稔		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・義務教育に従事予定の教員志望者が、「個人の尊厳及び社会連帯の理念」に関する認識を深めることができる。
・障がい者や高齢者との関わり方を学び、具体的な体験を通して「思いやりの心・共生の精神」の大切さを実感することができる。

[授業概要]
①特別支援学校の校長や教員、社会福祉施設での勤務経験を有している者が、事前指導として介護等体験の意義や基本的な心構え、障がい者や高齢者等との具体的な関わり方などについて指導します。
②文部科学省や教育委員会（兵庫県・神戸市）での勤務経験を有している者が、特別支援教育の概要や社会福祉の概要として、それぞれの重要性と今日的な課題、多様な連携・連帯について指導します。実際の介護等体験については、特別支援学校・社会福祉施設等で、当該職員の指導を受けながら、障がい者・高齢者等とのよりよい関わり方について、体験を通して学びます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
人権教育や特別支援教育、社会福祉施設等について、予習・復習をすること。

[授業計画]
事前指導　※一部を除きメディア授業で実施
1. オリエンテーション……・自由と不自由・多様な子供たち・介護等体験の成立背景と意義等（宮本、教職支援センター）
2. 特別支援教育の概要……・特別支援教育が求められた背景・特別支援教育における現代的諸課題（上野）
3. 特別支援学校の教育……・特別支援学校の教育の特色・障害種別における特別支援学校の教育課程と教育内容（上野）
4. 障害のある児童生徒との関わり方……・主に知的障害、肢体不自由のある児童生徒との関わり方の実際と留意点（上野）
5. 発達障害のある人の特徴と関わり方……・自閉症スペクトラム・注意欠如 多動症・限局性学習症・その他（田中）
6. 障害者施設等の現況……・障害者施設の現状と対応の考え方・高齢者施設を含む社会福祉の動向（田中）
7. 総まとめ及び申請手続き説明会……【対面授業】オリエンテーション （宮本、教職支援センター）

現場体験実習
・社会福祉施設等での体験実習（5日間）
・特別支援学校での体験実習（2日間）

事後指導
・まとめと反省（宮本・教職支援センター）

科目名	介護等体験	後期～2026年度 後期	1 単位
サブタイトル	個人の尊厳や社会連帯の認識を深める	実習	
担当者	宮本　晃郎、田中　裕一、上野　昌稔		

[成績評価方法]
実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出されたレポートにおいて、卓越した内容など特筆すべきことは事後の学習に生かす。
課題のある内容については、全体として再確認したり、個別に助言したりする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習体験記録（40%）、取組姿勢（40%）、レポート等（20%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:新フィリア 著者名:著者名１ 出版社名:ジアース教育新社 ISBN:9784863715226
書籍名:よくわかる社会福祉施設　―教員免許志願者のためのガイドブック （第6版） 著者名:増田　雅暢（代表） 出版社名:社会福祉法人全国社会福祉協議会 ISBN:9784793514586

[参考書（ISBN）]

科目名	カウンセリング	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	松岡　恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
各自の自己理解を深めながら、面接や対人援助技術についての理論・実践の両面から学び、カウンセリングの基本を習得することを到達目標とする。

[授業概要]
公認心理師・臨床心理士・臨床発達心理士資格を有し、その実務経験のある授業担当者が、その経験を活かして、教育・臨床現場などで活用できる心理学の知識や技法をロールプレイや体験を通して学ぶことができる授業を展開します。
教育相談では、教育者が対象の子どもや保護者の心に寄り添いながら、相手が主体的に課題に取り組み、その結果成長できるよう、導き支えることが求められます。そのためには教育者自身が普段から安定した精神状態を保ち、周りの人と信頼関係を築けることが重要です。本授業では心理テストやカウンセリング技法を学ぶことを通して自己理解を深めましょう。
テーマごとにワークシートがあります。授業の内容から自分でテーマに応じた問いや課題を見つけて問題解決する力が伸ばせるように努力してください。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次の授業で取り上げるテーマに沿ってテキストの指定箇所を読んで予習をしてください。また、授業後は、復習として指定箇所の解説文を読み、学習したことを自分なりにノートにまとめてください。各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4 時間程度)。

[授業計画]
1. 教育相談の意義と相談活動
2. 適職探しに役立つキャリアの心理学
3. 自己概念
4. 自分の気持ちの伝え方(アサーション)
5. 論理療法
6. 交流分析
7. 描画法
8. 相手が話したくなる聴き方・話し方
9. 思春期から青年期の発達
10. 芸術療法・遊戯療法(コラージュ療法)
11. コラージュ制作
12. プレゼンテーション
13. 女性のメンタルヘルス

科目名	カウンセリング	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	松岡　恵		

[成績評価方法]
提出物・レポート(40%)、授業態度・発表(20%)、理解度確認テスト(60%)等を総合的に判断して評価する。
・授業中の課題やレポートは、授業内でフィードバックします。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:レポート・発表・提出物、理解度確認テストで評価します。

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:レポート・発表・提出物、理解度確認テストで評価します。

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:発表・提出物で評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート・発表・提出物で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:レポート・発表、理解度確認テストで評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート、発表で評価します。

[教科書(ISBN)]
書籍名:よくわかるアサーション自分の気持ちの伝え方　自分も相手も大切にする、気持ちのよい自己表現 著者名:平木典子／監修　主婦の友社／編 出版社名:主婦の友社 ISBN:9784072850503

[参考書(ISBN)]

科目名	学校インターンシップ Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本　晃郎、金岩　俊明、佐藤　浩樹		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学級経営や授業づくり等を観察し、教師の仕事の概要を把握するとともに、自分なりの将来の教師像を描くことができる。
今後の学校インターンシップ（スクールサポーターや特支ボランティア等）参加への意欲を高めることができる。

[授業概要]
①学校インターンシップやスクールサポーター等を受け入れた校長や教頭、担当としての経験を有する教員が、学校現場体験の意義や心構え・必要な準備等を理解できるように具体的に指導します。
②学校インターンシップ等の事業を推進する教育委員会事務局の経験を有する教員が、教員としての使命感・責任感等の重要性を認識し、教員に求められる資質・能力について理解できるように指導します。

そして、教員の服務や組織の一員としての立場に着目して「自分自身の適性」を考察したり、子供と実際に触れ合うことで「教職のやりがい」を自分なりに見出せるように支援します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習をすること
（訪問前には、学校現場で観察したいこと、学びたいこと、可能なら経験したいことなどを整理する。）
（訪問後には、活動内容や方法、子供の反応塔を振り返り、自分自身が再認識したことや新たな課題など今後の力点をまとめる。）

[授業計画]
第 1 回事前指導①（目的・内容・日程・期間・留意事項・報告書等）・・・・・・宮本
第 2 回事前指導②（実習先の内定・子供理解の例・活動の具体事例 ）・・・・・・宮本
第 3 回学校現場の実情（受入校の校長代表講話・外部特別講師）・・・・・・・・・外部特別講師・宮本
第 4 回先輩学生の体験談（スクールサポーター経験者2～3名）・・・・・・・・・佐藤・宮本
第 5 回学校現場実習①（例；全校挨拶・１年生の見学と参観）
第 6 回学校現場実習②（例；２年生・３年生の見学と参観） ※10～12小学校に受け入れを依頼し各校3人程度に分担する
第 7 回学校現場実習③（例；４年生・５年生の見学と参観） ※割り当てられた1つの学校に毎週木曜日に全6回訪問する
第 8 回学校現場実習④（例；６年生の見学と参観） ※ 受け入れ校には、金岩・佐藤・宮本が分担して訪問する
第 9 回学校現場実習⑤（例；特別支援学級・自校通級指導教室の見学と参観）
第10回学校現場実習⑥（例；専科教室の見学・運動会準備・全校挨拶）
第11回体験交流会（簡易体験記に基づく情報交換、『学びのレポート作成』）・・ 宮本
第12回体験発表会（『学びのレポート』活用、質疑応答等）・・・ 金岩・佐藤・宮本
第13回全体の総括（スクールサポーター制度の説明を含む［神戸市教委］）・・・宮本

科目名	学校インターンシップ Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本　晃郎、金岩　俊明、佐藤　浩樹		

[成績評価方法]
学校現場での実習態度・活動時間（50%）、簡易体験談（10%）、学びのレポート（20%）
学内の学習態度やグループ活動観察記録（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回の課題レポートにおいて、望ましい内容については全体にフィードバックする。
課題の大きいレポートについては、個別に助言を行い、再提出を求める。
実施上の悩みや心配事等については、随時相談に応じていく。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：学校現場での実習態度・活動時間
簡易体験談
学びのレポート
学内の学習態度やグループ活動観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：学校現場での実習態度・活動時間
簡易体験談
学びのレポート
学内の学習態度やグループ活動観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：学校現場での実習態度・活動時間
簡易体験談
学びのレポート
学内の学習態度やグループ活動観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：学校現場での実習態度・活動時間
簡易体験談
学びのレポート
学内の学習態度やグループ活動観察記録

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：学校現場での実習態度・活動時間
簡易体験談
学びのレポート
学内の学習態度やグループ活動観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：学校現場での実習態度・活動時間
簡易体験談
学びのレポート
学内の学習態度やグループ活動観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：学校現場での実習態度・活動時間
簡易体験談
学びのレポート
学内の学習態度やグループ活動観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：学校現場での実習態度・活動時間
簡易体験談
学びのレポート
学内の学習態度やグループ活動観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：学校現場での実習態度・活動時間
簡易体験談
学びのレポート
学内の学習態度やグループ活動観察記録

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	学校インターンシップⅠ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	中川　欣子、上野　昌稔		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学外での実習体験を通して、教職についての理解を深め、その責任感・使命感を体得し、社会性・コミュニケーション力・幼児理解等の必要性を認識することができる。

[授業概要]
・インターンシップに行く前、行った時、行った後の3局面を通して、社会人としてしてのマナーやモラル等を理解するとともに、教員としての資質・能力を高め、職業としての重要性や必要性の理解を深める。
・学校園現場で実習体験を実施するに当たり自分なりの目的意識を明確にもつ。
・子供たちと接する具体的な場面を観察する中で課題解決等の方策を見出す。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
学校園現場で学びたいことを整理し、自分なりの目的意識を明確にもって、訪問に臨むようにしてください。
また、訪問後は、学校園現場での実体験を振り返るとともに、新たな課題を自分なりに整理してください。

[授業計画]
1. オリエンテーション（幼小合同）
2. オリエンテーション
3. 事前指導
4. 事前挨拶
5. 幼稚園実習・記録提出①
6. 幼稚園実習・記録提出②
7. 幼稚園実習・記録提出③
8. 幼稚園実習・記録提出④
9. 幼稚園実習・記録提出⑤
10. 幼稚園実習・記録提出⑥
11. 幼稚園実習・記録提出⑦
12. 幼稚園実習・記録提出・記録まとめ
13. まとめ

科目名	学校インターンシップ Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	中川　欣子、上野　昌稔		

[成績評価方法]
実習態度(60%)、授業態度(20%)、報告書内容(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。
実習における悩み等については、随時相談に応じます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	学校インターンシップⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本　晃郎、金岩　俊明、佐藤　浩樹、上野　昌稔、中川　欣子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教師の職務内容を具体的に学び、教育公務員としての責任の重さを認識したうえで、自分なりの教師像を確立することができる。

[授業概要]
教育委員会事務局や校長・教頭・担当教諭等の経験を有する教員や、現在学校現場に勤務する教員が、次のようなことを指導します。
・学校での現場体験を通して、多様な子供たちの存在と各学校には独自の教育課題があることを理解する。
・学級担任だけでなく、管理職や専科教員、支援員などが学校組織として動いていることを理解する。
・子供理解や地域理解を深めつつ、学校が常に保護者や地域、関係機関と緊密な連携を行っていることを理解する。
・授業の重要性を再認識し、今後の学修における自分自身の課題を明確化する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
事前に学校のホームページや自治体教育委員会のホームページを検索して、必要な情報を収集しておくこと。
事後には、過去の現場体験との違いに着目して、各学校の教育活動の特色を整理するとともに、それぞれの教育的な意義について整理すること。

[授業計画]
事前指導
・幼保と小学校は別々に行う　幼保(大西・山成)　小学校(宮本・金岩・佐藤)
・実習先学校園の確認、活動状況、今後の意思確認、活動上の目標の設定
学校園インターンシップ
＜担当教員は必ず学校園を訪問して学生の活動状況を聴取のうえ把握する＞
・管理職の講話
・担当教員との打ち合わせと指導
・授業中の支援の仕方
・休み時間、放課後の関わり方
・給食の時間の支援や援助
・清掃活動の支援や援助
・教育相談活動の在り方
・大学教員訪問時における指導助言
・反省と課題
・インターンシップの自己評価
事後指導(担当教員)
・インターンシップの報告書作成と自己評価
・学生同士の報告会と課題整理の意見交換
・学校からの報告書をもとに総合評価

科目名	学校インターンシップⅡ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本　晃郎、金岩　俊明、佐藤　浩樹、上野　昌稔、中川　欣子		

[成績評価方法]
活動時間数（60%）、期末レポート（20%）、観察記録（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
不十分なレポート等については、個別に指導を行い再提出を求める。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

S61740 [LKH2-002]

科目名	学校インターンシップⅢ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本　晃郎、金岩　俊明、佐藤　浩樹、上野　昌稔、中川　欣子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教師の職務内容を具体的に学び、教育公務員としての責任の重さを認識したうえで、自分なりの教師像を確立することができる。

[授業概要]
教育委員会事務局や校長・教頭・担当教諭等の経験を有する教員や、現在学校現場に勤務する教員が、次のようなことを指導します。
・学校での現場体験を通して、多様な子供たちの存在と各学校には独自の教育課題があることを理解する。
・学級担任だけでなく、管理職や専科教員、支援員などが学校組織として動いていることを理解する。
・子供理解や地域理解を深めつつ、学校が常に保護者や地域、関係機関と緊密な連携を行っていることを理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
事前に学校のホームページや自治体教育委員会のホームページを検索して、必要な情報を収集しておくこと。
事後には、過去の現場体験との違いに着目して、各学校の教育活動の特色を整理するとともに、それぞれの教育的な意義について整理すること。

[授業計画]
事前指導
・幼保と小学校は別々に行う　幼保（大西・山成）　小学校（宮本・金岩・佐藤）
・実習先学校園の確認、活動状況、今後の意思確認、活動上の目標の設定
学校園インターンシップ
＜担当教員は必ず学校園を訪問して学生の活動状況を聴取のうえ把握する＞
・管理職の講話
・担当教員との打ち合わせと指導
・授業中の支援の仕方
・休み時間、放課後の関わり方
・給食の時間の支援や援助
・清掃活動の支援や援助
・教育相談活動の在り方
・大学教員訪問時における指導助言
・反省と課題
・インターンシップの自己評価
事後指導（担当教員）
・インターンシップの報告書作成と自己評価
・学生同士の報告会と課題整理の意見交換
・学校からの報告書をもとに総合評価

科目名	学校インターンシップⅢ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本　晃郎、金岩　俊明、佐藤　浩樹、上野　昌稔、中川　欣子		

[成績評価方法]
活動時間数（60%）、期末レポート（20%）、観察記録（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
不十分なレポート等については、個別に指導を行い再提出を求める。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

S61750 [LKH3-002]

科目名	学校インターンシップⅣ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本　晃郎、金岩　俊明、佐藤　浩樹、上野　昌稔、中川　欣子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教師の職務内容を具体的に学び、教育公務員としての責任の重さを認識したうえで、自分なりの教師像を確立する。

[授業概要]
教育委員会事務局や校長・教頭・担当教諭等の経験を有する教員や、現在学校現場に勤務する教員が、次のようなことを指導します。
・学校での現場体験を通して、多様な子供たちの存在と各学校には独自の教育課題があることを理解する。
・学級担任だけでなく、管理職や専科教員、支援員などが学校組織として動いていることを理解する。
・子供理解や地域理解を深めつつ、学校が常に保護者や地域、関係機関と緊密な連携を行っていることを理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
事前に学校のホームページや自治体教育委員会のホームページを検索して、必要な情報を収集しておくこと。
事後には、過去の現場体験との違いに着目して、各学校の教育活動の特色を整理するとともに、それぞれの教育的な意義について整理すること。

[授業計画]
事前指導
・幼保と小学校は別々に行う　幼保（大西・山成）　小学校（宮本・金岩・佐藤）
・実習先学校園の確認、活動状況、今後の意思確認、活動上の目標の設定
学校園インターンシップ
＜担当教員は必ず学校園を訪問して学生の活動状況を聴取のうえ把握する＞
・管理職の講話
・担当教員との打ち合わせと指導
・授業中の支援の仕方
・休み時間、放課後の関わり方
・給食の時間の支援や援助
・清掃活動の支援や援助
・教育相談活動の在り方
・大学教員訪問時における指導助言
・反省と課題
・インターンシップの自己評価
事後指導（担当教員）
・インターンシップの報告書作成と自己評価
・学生同士の報告会と課題整理の意見交換
・学校からの報告書をもとに総合評価

科目名	学校インターンシップⅣ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本　晃郎、金岩　俊明、佐藤　浩樹、上野　昌稔、中川　欣子		

[成績評価方法]
活動時間数（60%）、期末レポート（20%）、観察記録（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
不十分なレポート等については、個別に指導を行い再提出を求める。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

S61760 [LKH3-003]

科目名	学校インターンシップⅤ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本　晃郎、金岩　俊明、佐藤　浩樹、上野　昌稔、中川　欣子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
各学校における日々の教育活動や、教職員による多種多様な子供への関わりを観察しながら、学習指導や生徒指導等の具体的なポイントを学び取ることができる。
特別支援教育の視点で子供理解を深めるとともに、ICTの積極的な活用の重要性を認識して、今後の学修における自分自身の力点を見極めることができる。

[授業概要]
教育委員会事務局や校園長・教頭・担当教諭等の経験を有する教員や、現在学校園現場に勤務する教員が、次のようなことを指導します。
・保育力や授業力の向上に直結するような教員の事前準備を具体的に学ぶこと。
・保育や授業における子供とのかかわりや子供同士のつなぎ方について学ぶこと。
・保育や授業後の子供たちの反応や作品などを通して指導や支援の改善を図ること。
・最新の教育動向を学び、現場教員の意見も参考にして新たな研究の視点を得ること。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
事前に学校のホームページを検索して、学校の概要や特色ある教育活動などを把握する。
教育委員会のホームページを検索して、最新の教育動向をつかみ具体的な施策を研究する。
事後には、現場体験から学んだことを自分なりに整理し、不勉強なジャンルについて研究する。

[授業計画]
事前指導
・幼保と小学校は別々に行う　幼保（大西・山成）　小学校（宮本・金岩・佐藤）
・実習先学校園の確認、活動状況、今後の意思確認、活動上の目標の設定
学校園インターンシップ
＜担当教員は必ず学校園を訪問して学生の活動状況を聴取のうえ把握する＞
・管理職の講話
・担当教員との打ち合わせと指導
・授業中の支援の仕方
・休み時間、放課後の関わり方
・給食の時間の支援や援助
・清掃活動の支援や援助
・教育相談活動の在り方
・大学教員訪問時における指導助言
・反省と課題
・インターンシップの自己評価
事後指導（担当教員）
・インターンシップの報告書作成と自己評価
・学生同士の報告会と課題整理の意見交換
・学校からの報告書をもとに総合評価

科目名	学校インターンシップⅤ	前期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本　晃郎、金岩　俊明、佐藤　浩樹、上野　昌稔、中川　欣子		

[成績評価方法]
活動時間数（60%）、期末レポート（20%）、観察記録（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
不十分なレポート等については、個別に指導を行い再提出を求める。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

S61770 [LKH3-004]

科目名	学校インターンシップⅥ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本　晃郎、金岩　俊明、佐藤　浩樹、上野　昌稔、中川　欣子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
各学校における日々の教育活動や、教職員による多種多様な子供への関わりを観察しながら、学習指導や生徒指導等の具体的なポイントを学び取っていく。
特別支援教育の視点で子供理解を深めるとともに、ICTの積極的な活用の重要性を認識して、今後の学修における自分自身の力点を見極めていく。

[授業概要]
教育委員会事務局や校園長・教頭・担当教諭等の経験を有する教員や、現在学校園現場に勤務する教員が、次のようなことを指導します。
・保育力や授業力の向上に直結するような教員の事前準備を具体的に学ぶこと。
・保育や授業における子供とのかかわりや子供同士のつなぎ方について学ぶこと。
・保育や授業後の子供たちの反応や作品などを通して指導や支援の改善を図ること。
・最新の教育動向を学び、現場教員の意見も参考にして新たな研究の視点を得ること。.

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
事前に学校のホームページを検索して、学校の概要や特色ある教育活動などを把握する。
教育委員会のホームページを検索して、最新の教育動向をつかみ具体的な施策を研究する。
事後には、現場体験から学んだことを自分なりに整理し、不勉強なジャンルについて研究する。

[授業計画]
事前指導
　・幼保と小学校は別々に行う　幼保（大西・山成）　小学校（宮本・金岩・佐藤）
　・実習先学校園の確認、活動状況、今後の意思確認、活動上の目標の設定
学校園インターンシップ
　＜担当教員は必ず学校園を訪問して学生の活動状況を聴取のうえ把握する＞
　・管理職の講話
　・担当教員との打ち合わせと指導
　・授業中の支援の仕方
　・休み時間、放課後の関わり方
　・給食の時間の支援や援助
　・清掃活動の支援や援助
　・教育相談活動の在り方
　・大学教員訪問時における指導助言
　・反省と課題
　・インターンシップの自己評価
事後指導（担当教員）
　・インターンシップの報告書作成と自己評価
　・学生同士の報告会と課題整理の意見交換
　・学校からの報告書をもとに総合評価

科目名	学校インターンシップⅥ	後期	1 単位
サブタイトル		実習	
担当者	宮本　晃郎、金岩　俊明、佐藤　浩樹、上野　昌稔、中川　欣子		

[成績評価方法]
活動時間数（60%）、期末レポート（20%）、観察記録（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
不十分なレポート等については、個別に指導を行い再提出を求める。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：活動時間数
期末レポート
観察記録

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

S61780 [LKH3-005]

科目名	家庭科概説	後期	2 単位
サブタイトル	子どもたちのための豊かな衣食住の実現を目指して	講義	
担当者	奥川　あかり		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 小学校家庭科の目標・内容・特質を説明できる
2. 基礎的・基本的な裁縫の技術を習得し、解説できる
3. 伝統的な日常食について説明できる
4. 用具の安全な取扱い、安全・衛生的な実習が実施できる
5. 家庭生活に関わる持続可能な社会の構築を目指した授業設計の重要性を理解している
6. 他教科との関連性にも言及できる

[授業概要]
1. 小学校家庭科の目標・内容・特性を踏まえ、衣食住、環境、消費生活についての基礎的・基本的な知識を身につける
2. 家族・家庭生活の意義や地域の人々との関わりの重要性について理解する
3. 家庭生活の意義を理解し、調理や裁縫などの基礎的・基本的な技術を身に着ける
4. 子どもの目線にたった学習教材を開発する力を養う
5. ひとりの生活者・消費者として健全なライフスタイルを築くための能力を養う
6. 家庭や地域の生活課題を主体的に解決するために生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成する

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の予習・復習を行い、学習内容を基に実生活で問題を発見し、それらを解決するために各自が主体的に問題意識を持って受講すること

[授業計画]
1. ガイダンス（本授業の目標・内容・評価方法・留意点）
   家庭科教育の概念
2. 学習指導要領と授業づくりの実際と年間指導計画の作成
3. 家族と家庭生活を取り巻く現状と課題―地球家族
4. 家族と地域社会―高齢者や乳幼児の関わりと福祉
5. 食生活の現状と課題―和食のマナー
6. 栄養を考えた食事―洋食のマナー
7. 日本の伝統的な日常食の調理―米飯・味噌汁
8. 食生活の現状と課題―食中毒の予防
9. 衣生活の現状と課題―既製服社会と向き合う
10. 衣服の着用と手入れ―手縫いの基礎（玉結び・玉どめ）
11. 住生活の現状とまちづくり―暮らしの安全
12. 環境に配慮した生活―賢い消費者を目指して
13. 総括

科目名	家庭科概説	後期	2 単位
サブタイトル	子どもたちのための豊かな衣食住の実現を目指して	講義	
担当者	奥川　あかり		

[成績評価方法]
評価方法と配点は次の通りです
・試験・・・・・・・・40点[学習目標1・3・5・6]
・活動の記録・・・・・50点[学習目標2・3・4・5]
・調理実習の振り返り・5点[学習目標2・4]
・基礎縫い・・・・・・5点[学習目標2・3]

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業内で行います

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:試験、活動の記録、調理実習、基礎縫い

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:試験、調理実習、基礎縫い

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:活動の記録、調理実習、基礎縫い

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験、活動の記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験、活動の記録

[教科書(ISBN)]
書籍名:初等家庭科教育 著者名:原　清治 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623082049

[参考書(ISBN)]
書籍名:小学校学習指導要領解説　家庭編(平成29年告示) 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:9784491034669
書籍名:わたしたちの家庭科5・6 著者名:鳴海多恵子他 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304081248

科目名	家庭科教育法	前期	2 単位
サブタイトル	対話で学ぶ家庭科の授業	講義	
担当者	奥川　あかり		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 学習指導要領に示された家庭科の目標や内容を理解する
(1)学習指導要領における家庭科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している
(2)個別の学習内容について指導上の留意点を理解している
(3)家庭科の学習評価の考え方を理解している
(4)家庭科と背景となる学問領域との関係を理解し，教材研究に活用することができる
(5)発展的な学習内容について探究し，学習指導への位置付けを考察することができる
2. 基礎的な学習指導理論を理解し，具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける
(1)子供の認識・思考，学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している
(2)家庭科の特性に応じた情報機器と教材の効果的な活用法を理解し，授業設計に活用できる
(3)学習指導案の構成を理解し，具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成ができる
(4)模擬授業の実施とその振り返りを通して，授業改善の視点を身に付けている
(5)家庭科における実践研究の動向を知り，授業設計の向上に取り組むことができる

[授業概要]
1. 家庭科教育の歩みについて学び，小学校家庭科の目標や内容について理解する
2. 学習指導案の作成，模擬授業の実施と振り返りを通じて，実践的・体験的な指導，新たな学習教材の開発，情報機器及び通信機器の活用，目標に準拠した評価(絶対評価)と児童の自己効力感を高めるコメントなど，教師としての資質や能力を養う
3. 児童の立場に立った「わかる授業」を目標にPCK(内容と教え方を網羅した教師に必要な専門職としての力)を育み，効果的な授業が実施できる能力を培う

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の予習・復習を行うとともに模擬授業の内容について評価し、習得したことを生かせるよう学習指導要領及び教科書を読み込んだうえで受講すること

[授業計画]
1. ガイダンス(本授業の目標・内容・評価方法・留意点)
　家庭科教育の理念と意義[1-1]
2. 家庭生活の社会的変化と家庭科教育の歴史[1-4]
　授業計画と学習の改善につなげる授業評価の意味と方法[1-3]
3. 学習指導要領の目標と内容構成，他教科との関連，カリキュラムマネジメント[2-3]
　実験・実習を用いた授業，五感で学ぶ家庭科(課題の発見と授業内容の立案)[2-2]
4. 家族・家庭生活の教材(現状と課題，内容，事例)[1-2, 2-5]
　模擬授業(1)(2)　家族・家庭生活
5. 模擬授業(3)(4)　異なる世代の人々(幼児・高齢者)との関わり
6. 食生活の教材(現状と課題，内容，事例)[1-2, 2-5]
　模擬授業(5)(6)　食生活①
7. 模擬授業(7)(8)　食生活②
8. 衣生活の教材(現状と課題，内容，事例)[1-2, 2-5]
　模擬授業(9)(10)　衣生活①
9. 模擬授業(11)(12)　衣生活②
10. 住生活の教材(現状と課題，内容，事例)[1-2, 2-5]
　模擬授業(13)(14)　住生活・防災教育
11. 消費生活の教材(現状と課題，内容，事例)[1-2, 2-5]
　模擬授業(15)(16)　消費生活
12. 環境の教材(現状と課題，内容，事例)[1-2, 2-5]
　模擬授業(17)(18)　環境・SDGsと国際理解
13. 総括　主体的・対話的に深く学ぶ授業[2-1]家庭科教育の展望[1-5]

科目名	家庭科教育法	前期	2 単位
サブタイトル	対話で学ぶ家庭科の授業	講義	
担当者	奥川　あかり		

[成績評価方法]
評価の方法と配点は次の通りです。
・試験・・・・・・・・・・・40点 ［学習目標1・2］
・小テスト・・・・・・・・・40点 ［学習目標1］
・学習指導案の作成・・・・・5点 ［学習目標2］
・ワークシートの作成・・・・5点 ［学習目標2］
・板書計画と模擬授業の実施・10点 ［学習目標2］
※課題は，提出要件を満たし，かつ期日中に定められた方法で提出することを合格基準とする

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業内で行います

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、小テスト、学習指導案の作成、ワークシートの作成、板書計画と模擬授業の実施

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：学習指導案の作成、ワークシートの作成、板書計画と模擬授業の実施

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：学習指導案の作成、ワークシートの作成、板書計画と模擬授業の実施

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：学習指導案の作成、ワークシートの作成、板書計画と模擬授業の実施

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：学習指導案の作成、ワークシートの作成、板書計画と模擬授業の実施

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験、学習指導案の作成

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：学習指導案の作成、ワークシートの作成、板書計画と模擬授業の実施

[教科書（ISBN）]
書籍名:初等家庭科教育 著者名:原　清治 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623082049

[参考書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領解説　家庭編（平成29年告示） 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:9784491034669
書籍名:わたしたちの家庭科5・6 著者名:鳴海多恵子他 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304081248

科目名	家庭科教育法	前期	2 単位
サブタイトル	対話で学ぶ家庭科の授業	講義	
担当者	奥川　あかり		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 学習指導要領に示された家庭科の目標や内容を理解する
(1)学習指導要領における家庭科の目標及び主な内容並びに全体構造を理解している
(2)個別の学習内容について指導上の留意点を理解している
(3)家庭科の学習評価の考え方を理解している
(4)家庭科と背景となる学問領域との関係を理解し，教材研究に活用することができる
(5)発展的な学習内容について探究し，学習指導への位置付けを考察することができる
2. 基礎的な学習指導理論を理解し，具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける
(1)子供の認識・思考，学力等の実態を視野に入れた授業設計の重要性を理解している
(2)家庭科の特性に応じた情報機器と教材の効果的な活用法を理解し，授業設計に活用できる
(3)学習指導案の構成を理解し，具体的な授業を想定した授業設計と学習指導案を作成ができる
(4)模擬授業の実施とその振り返りを通して，授業改善の視点を身に付けている
(5)家庭科における実践研究の動向を知り，授業設計の向上に取り組むことができる

[授業概要]
1. 家庭科教育の歩みについて学び，小学校家庭科の目標や内容について理解する
2. 学習指導案の作成，模擬授業の実施と振り返りを通じて，実践的・体験的な指導，新たな学習教材の開発，情報機器及び通信機器の活用，目標に準拠した評価(絶対評価)と児童の自己効力感を高めるコメントなど，教師としての資質や能力を養う
3. 児童の立場に立った「わかる授業」を目標にPCK(内容と教え方を網羅した教師に必要な専門職としての力)を育み，効果的な授業が実施できる能力を培う

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の予習・復習を行うとともに模擬授業の内容について評価し、習得したことを生かせるよう学習指導要領及び教科書を読み込んだうえで受講すること

[授業計画]
1. ガイダンス(本授業の目標・内容・評価方法・留意点)
　家庭科教育の理念と意義[1-1]
2. 家庭生活の社会的変化と家庭科教育の歴史[1-4]
　授業計画と学習の改善につなげる授業評価の意味と方法[1-3]
3. 学習指導要領の目標と内容構成，他教科との関連，カリキュラムマネジメント[2-3]
　実験・実習を用いた授業，五感で学ぶ家庭科(課題の発見と授業内容の立案)[2-2]
4. 家族・家庭生活の教材(現状と課題，内容，事例)[1-2, 2-5]
　模擬授業(1)(2)　家族・家庭生活
5. 模擬授業(3)(4)　異なる世代の人々(幼児・高齢者)との関わり
6. 食生活の教材(現状と課題，内容，事例)[1-2, 2-5]
　模擬授業(5)(6)　食生活①
7. 模擬授業(7)(8)　食生活②
8. 衣生活の教材(現状と課題，内容，事例)[1-2, 2-5]
　模擬授業(9)(10)　衣生活①
9. 模擬授業(11)(12)　衣生活②
10. 住生活の教材(現状と課題，内容，事例)[1-2, 2-5]
　模擬授業(13)(14)　住生活・防災教育
11. 消費生活の教材(現状と課題，内容，事例)[1-2, 2-5]
　模擬授業(15)(16)　消費生活
12. 環境の教材(現状と課題，内容，事例)[1-2, 2-5]
　模擬授業(17)(18)　環境・SDGsと国際理解
13. 総括　主体的・対話的に深く学ぶ授業[2-1]家庭科教育の展望[1-5]

科目名	家庭科教育法	前期	2 単位
サブタイトル	対話で学ぶ家庭科の授業	講義	
担当者	奥川　あかり		

[成績評価方法]
評価の方法と配点は次の通りです。
・試験・・・・・・・・・・・40点 ［学習目標1・2］
・小テスト・・・・・・・・・40点 ［学習目標1］
・学習指導案の作成・・・・・5点 ［学習目標2］
・ワークシートの作成・・・・5点 ［学習目標2］
・板書計画と模擬授業の実施・10点 ［学習目標2］
※課題は，提出要件を満たし，かつ期日中に定められた方法で提出することを合格基準とする

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業内で行います

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、小テスト、学習指導案の作成、ワークシートの作成、板書計画と模擬授業の実施

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：学習指導案の作成、ワークシートの作成、板書計画と模擬授業の実施

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：学習指導案の作成、ワークシートの作成、板書計画と模擬授業の実施

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：学習指導案の作成、ワークシートの作成、板書計画と模擬授業の実施

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：学習指導案の作成、ワークシートの作成、板書計画と模擬授業の実施

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験、学習指導案の作成

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：学習指導案の作成、ワークシートの作成、板書計画と模擬授業の実施

[教科書（ISBN）]
書籍名:初等家庭科教育 著者名:原　清治 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623082049

[参考書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領解説　家庭編（平成29年告示） 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:9784491034669
書籍名:わたしたちの家庭科5・6 著者名:鳴海多恵子他 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304081248

科目名	家庭科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル	家庭科を科学する	演習	
担当者	奥川　あかり		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学習指導要領に基づいて対象学年に応じた学習内容と学習教材を開発する能力を身につける

[授業概要]
1. 家庭科概説に準じた家庭科の授業や実習について体験学習や調べ学習を中心に学習する
2. 子どもたちが楽しみながら主体的・対話的に学べる授業や実習の内容を考える
3. 授業開発では適切な教具・教材を作成し、授業実践につなげる

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
作成した学習内容を基に現実の家庭生活の問題発見、さらにこの問題発見から、問題解決に至るにはどのようにすればよいかを理解、行動するかを考える
また、実際に実習や作品を作ることにより、技能を高め、教材開発となるようにする

[授業計画]
1. ガイダンス(グループ分け)
2. 生活を豊かにするための布を用いた製作(手縫いの基礎)
3. 生活を豊かにするための布を用いた製作(ミシン縫いの基礎Ⅰ)
4. 生活を豊かにするための布を用いた製作(ミシン縫いの基礎Ⅱ)
5. 豊かな食生活を送るための調理計画
6. 豊かな食生活を送るための調理実験
7. 豊かな食生活を送るための調理実習
8. 家庭科教育に関する課題の発見Ⅰ
9. 家庭科教育に関する課題の発見Ⅱ
10. 調査結果の発表と授業内容の立案
11. 学習指導案・ワークシート・板書計画の作成
12. 模擬授業の実践・評価・討議Ⅰ
13. 模擬授業の実践・評価・討議Ⅱ
　総括　家庭科教育に関する授業の課題の発見

科目名	家庭科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル	家庭科を科学する	演習	
担当者	奥川　あかり		

[成績評価方法]
課題:50%
発表:50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業内で行います

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:課題、発表

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:課題、発表

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:課題、発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題、発表

[教科書(ISBN)]
書籍名:初等家庭科教育 著者名:原　清治 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623082049

[参考書(ISBN)]

科目名	器楽Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得と音楽を楽しむ。	演習	
担当者	東 恵子、鈴江 美子、山下 佑子、宮内 晴美、久我 裕子、田中 琴弓、山口 雅敏、福田 可織、福田 絵麻、雪原 典子、辻 真理子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	◯
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力や、保育所・幼稚園・小学校での保育・教育に対応できる力を養う。また自分自身が音楽を楽しみながら、こどもと音楽を楽しめる力を身につける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にグループレッスンの形態をとる。
また、到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、オリエンテーション時に説明する。(教科書は必要なものを確認してから購入すること)

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。e-ラーニングの指示がある時はmanabaなどで学習すること。

[授業計画]
第1回 オリエンテーション
第2回 個人レッスン1・音楽の基礎的な内容についてのグループレッスン
第3回 個人レッスン2・歌唱の基礎的な内容についてのグループレッスン
第4回 個人レッスン3・小学校歌唱教材の弾き歌いについてのグループレッスン
第5回 個人レッスン4・こどもの歌の弾き歌いについてのグループレッスン
第6回 個人レッスン5・弾き歌いの伴奏付けについてのグループレッスン
第7回 個人レッスン6・音楽の基礎的な内容についてのグループレッスン
第8回 個人レッスン7・こどもの歌の弾き歌いについてのグループレッスン
第9回 個人レッスン8・小学校歌唱教材のア·カペラについてのグループレッスン
第10回 個人レッスン9・こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのグループレッスン
第11回 個人レッスン10・人前で演奏するためのグループレッスン
第12回 個人レッスン11・人前で演奏するためのグループレッスン
第13回 到達度確認、まとめ

科目名	器楽Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得と音楽を楽しむ。	演習	
担当者	東 恵子、鈴江 美子、山下 佑子、宮内 晴美、久我 裕子、田中 琴弓、山口 雅敏、福田 可織、福田 絵麻、雪原 典子、辻 真理子		

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
（実技テスト60%、その他40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験終了後、掲示板と担当教員から結果と今後の課題を連絡

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験時に評価する

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちの実態に即して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：レッスン時に評価する

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レッスン時に評価する

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レッスン時に評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内に評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業内に評価する

[教科書（ISBN）]
書籍名:標準バイエルピアノ教則本 著者名:バイエル 出版社名:全音出版社 ISBN:9784110000000
書籍名:初等科音楽教育法 著者名:初等科音楽教育研究会 出版社名:音楽之友社 ISBN:978-4-276-82101-9
書籍名:こどものうた100 著者名:小林美実：監修 出版社名:チャイルド本社 ISBN:978-4-804-8186-8
書籍名:この一冊でわかる楽典と音楽実技 著者名:深見友紀子、小林田鶴子 出版社名:音楽之友社 ISBN:978-4-276-10052-7

[参考書（ISBN）]
書籍名:保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集 著者名:茂田すすむ：編著 出版社名:全音出版社 ISBN:978-4111701957

科目名	器楽Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得と音楽を楽しむ。	演習	
担当者	東　恵子、鈴江　美子、山下　佑子、宮内　晴美、久我　裕子、田中　琴弓、山口　雅敏、福田　可織、福田　絵麻、雪原　典子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	◯
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
演奏の基礎技能と人前での表現力や、保育所・幼稚園・小学校での保育・教育に対応できる力を養う。また自分自身が音楽を楽しみながら、こどもと音楽を楽しめる力を身につける。

[授業概要]
音楽の基礎的な技能を習得すると共に、特にピアノ技能、弾き歌い技能を身につける。
音楽の基礎的な部分については、基本的にグループレッスンの形態をとる。
また、到達度確認によって、習得度を確認する。
詳しくは、オリエンテーション時に説明する。（教科書は必要なものを確認してから購入すること）

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
実技授業なので、与えられた課題をやり、必ず予習復習をして臨むこと。レッスン前後の時間がある場合は練習室などでしっかり練習すること。e-ラーニングの指示がある時はmanabaなどで学習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　個人レッスン1・音楽の基礎的な内容についてのグループレッスン
第3回　個人レッスン2・歌唱の基礎的な内容についてのグループレッスン
第4回　個人レッスン3・小学校歌唱教材の弾き歌いについてのグループレッスン
第5回　個人レッスン4・こどもの歌の弾き歌いについてのグループレッスン
第6回　個人レッスン5・弾き歌いの伴奏付けについてのグループレッスン
第7回　個人レッスン6・音楽の基礎的な内容についてのグループレッスン
第8回　個人レッスン7・こどもの歌の弾き歌いについてのグループレッスン
第9回　個人レッスン8・小学校歌唱教材のア･カペラについてのグループレッスン
第10回　個人レッスン9・こどもの歌や小学校歌唱教材のまとめのグループレッスン
第11回　個人レッスン10・人前で演奏するためのグループレッスン
第12回　個人レッスン11・人前で演奏するためのグループレッスン
第13回　到達度確認、まとめ

科目名	器楽Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの基礎技能習得と音楽を楽しむ。	演習	
担当者	東　恵子、鈴江　美子、山下　佑子、宮内　晴美、久我　裕子、田中　琴弓、山口　雅敏、福田　可織、福田　絵麻、雪原　典子		

[成績評価方法]
実技テストの成績とレッスンの状況、クラス授業への取り組みによって総合的に評価する。
（実技テスト60%、その他40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験終了後、掲示板と担当教員から結果と今後の課題を連絡

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験時に評価する

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちの実態に即して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：レッスン時に評価する

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レッスン時に評価する

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レッスン時に評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内に評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業内に評価する

[教科書（ISBN）]
書籍名:標準バイエルピアノ教則本 著者名:バイエル 出版社名:全音出版社 ISBN:9784110000000
書籍名:初等科音楽教育法 著者名:初等科音楽教育研究会 出版社名:音楽之友社 ISBN:978-4-276-82101-9
書籍名:こどものうた100 著者名:小林美実：監修 出版社名:チャイルド本社 ISBN:978-4-804-8186-8
書籍名:この一冊でわかる楽典と音楽実技 著者名:深見友紀子、小林田鶴子 出版社名:音楽之友社 ISBN:978-4-276-10052-7

[参考書（ISBN）]
書籍名:保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集 著者名:茂田すすむ：編著 出版社名:全音出版社 ISBN:978-4111701957

科目名	器楽Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	ピアノおよび弾き歌いの技能習得と音楽を楽しむ。	演習	
担当者	東 恵子、鈴江 美子、山下 佑子、久我 裕子、上原 輝子、田中 琴弓、山口 雅敏、福田 可織、福田 絵麻、雪原 典子、辻 真理子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	◯
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、保育現場に適した楽曲が演奏できるようになる。こどもと音楽を楽しめる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、オリエンテーション時に説明する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。e-ラーニングの指示がある時はmanabaなどで学習すること。

[授業計画]
第1回 オリエンテーション・個人レッスン1
第2回 個人レッスン2・現場で活用できる内容についてのグループレッスン
第3回 個人レッスン3・現場で活用できる歌唱・表現についてのグループレッスン
第4回 個人レッスン4・こどもの歌唱教材の弾き歌いについてのグループレッスン
第5回 個人レッスン5・人前で演奏するためのグループレッスン
第6回 個人レッスン6・人前で演奏するためのグループレッスン
第7回 到達度確認、前半のまとめ
第8回 個人レッスン7・こどもの歌の弾き歌いについてのグループレッスン
第9回 個人レッスン8・こどもの歌唱教材の弾き歌いについてのグループレッスン
第10回 個人レッスン9・こどもの歌のまとめのグループレッスン
第11回 個人レッスン10・人前で演奏するためのグループレッスン
第12回 個人レッスン11・人前で演奏するためのグループレッスン
第13回 到達度確認、後半のまとめ

科目名	器楽Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	ピアノおよび弾き歌いの技能習得と音楽を楽しむ。	演習	
担当者	東 恵子、鈴江 美子、山下 佑子、久我 裕子、上原 輝子、田中 琴弓、山口 雅敏、福田 可織、福田 絵麻、雪原 典子、辻 真理子		

[成績評価方法]
2回の実技テスト(60%)と、レッスンの状況等(40%)によって総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験終了後、掲示板と担当教員から結果と今後の課題を連絡

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:試験時に評価する

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちの実態に即して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:レッスン時に評価する

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:レッスン時に評価する

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:レッスン時に評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内に評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業内に評価する

[教科書(ISBN)]
書籍名:標準バイエルピアノ教則本 著者名:バイエル 出版社名:全音出版社 ISBN:9784110000000
書籍名:こどものうた100 著者名:小林美実 出版社名:チャイルド本社 ISBN:978-4-8054-8186
書籍名:この一冊でわかる楽典と音楽実技 著者名:深見友紀子、小林田鶴子 出版社名:音楽之友社 ISBN:978-4-276-10052-7

[参考書(ISBN)]
書籍名:保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集 著者名:茂田すすむ:編著 出版社名:全音出版社 ISBN:978-4111701957

科目名	器楽Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの技能習得と音楽を楽しむ。	演習	
担当者	東　恵子、鈴江　美子、宮内　晴美、久我　裕子、田中　琴弓、山口　雅敏、福田　可織、福田　絵麻、雪原　典子、辻　真理子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	◯
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
器楽Ⅰで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、小学校・幼稚園の実習等に対応でき、こどもと音楽を楽しめる力をつける。

[授業概要]
器楽Ⅰで習得した音楽の基礎技能を元に、ピアノ技能、弾き歌い技能を伸ばす。実技テストによって、習得度を測る。
詳しくは、オリエンテーション時に説明する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。e-ラーニングの指示がある時はmanabaなどで学習すること。

[授業計画]
第1回　個人レッスン1・オリエンテーション
第2回　個人レッスン2・音楽の現場で活用できる内容についてのグループレッスン
第3回　個人レッスン3・歌唱の現場で活用できる内容についてのグループレッスン
第4回　個人レッスン4・小学校の歌唱教材の弾き歌いについてのグループレッスン
第5回　個人レッスン5・人前で演奏するためのグループレッスン
第6回　個人レッスン6・人前で演奏するためのグループレッスン
第7回　到達度確認、前半のまとめ
第8回　個人レッスン7・音楽の基礎的な内容についてのグループレッスン
第9回　個人レッスン8・小学校の歌唱教材のア・カペラについてのグループレッスン
第10回　個人レッスン9・こどもの歌や小学校の歌唱教材のまとめのグループレッスン
第11回　個人レッスン10・人前で演奏するためのグループレッスン
第12回　個人レッスン11・人前で演奏するためのグループレッスン
第13回　到達度確認、後半のまとめ

科目名	器楽Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの技能習得と音楽を楽しむ。	演習	
担当者	東　恵子、鈴江　美子、宮内　晴美、久我　裕子、田中　琴弓、山口　雅敏、福田　可織、福田　絵麻、雪原　典子、辻　真理子		

[成績評価方法]
2回の実技テスト(60%)と、レッスンの状況等(40%)によって総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験終了後、掲示板と担当教員から結果と今後の課題を連絡

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:試験時に評価する

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちの実態に即して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:レッスン時に評価する

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:レッスン時に評価する

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:試験時に評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内に評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業内に評価する

[教科書(ISBN)]
書籍名:標準バイエルピアノ教則本 著者名:バイエル 出版社名:全音出版社 ISBN:9784110000000
書籍名:初等科音楽科教育法 著者名:初等科音楽教育研究会 出版社名:音楽之友社 ISBN:978-4-276-82101-9
書籍名:こどものうた100 著者名:小林美実:監修 出版社名:チャイルド本社 ISBN:978-4-5054-8186
書籍名:この一冊でわかる楽典と音楽実技 著者名:深見友紀子、小林田鶴子 出版社名:音楽之友社 ISBN:978-4-276-10052-7

[参考書(ISBN)]

科目名	器楽Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの技能習得と音楽を楽しむ。	演習	
担当者	東　恵子、鈴江　美子、山下　佑子、久我　裕子、上原　輝子、田中　琴弓、山口　雅敏、福田　可織、雪原　典子、辻　真理子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	◯
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱで培った音楽基礎的能力をもとに、自分の思いを音で表現できるようになる。また、人前での演奏力を伸ばし、こどもと音楽を楽しめる力を高める。

[授業概要]
保育教育実習などへの実践力をつけるため、ピアノ演奏と弾き歌い及び応用力を養う個人レッスン及びグループ指導を行う。試験は基本的にピアノ演奏と弾き歌い、表現からなっている。到達度確認を2回行う。詳細内容は別記の課題曲、内規などを参照のこと。
(必要教材は1回目の授業時に説明するので、それに従って購入すること)

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回のレッスンに、十分な練習をして臨むこと。また、レッスン前後で時間がある場合は、ピアノ練習室などでしっかり練習すること。e-ラーニングの指示がある時はmanabaなどで学習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション・個人レッスン1
第2回　 個人レッスン2
第3回　 個人レッスン3・現場で活用できる歌唱のグループレッスン
第4回　 個人レッスン4・現場で活用できる表現についてのグループレッスン
第5回　 個人レッスン5・人前で演奏するためのグループレッスン
第6回　個人レッスン6・人前で演奏するためのグループレッスン
第7回　到達度確認、前半のまとめ
第8回　個人レッスン7
第9回　個人レッスン8・その場でこどもに対応できる応用力をつけるグループレッスン
第10回　個人レッスン9・その場でこどもに対応する応用力をつけるグループレッスン
第11回　個人レッスン10・人前で演奏するためのグループレッスン
第12回　個人レッスン11・人前で演奏するためのグループレッスン
第13回　到達度確認、後半のまとめ

科目名	器楽Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの技能習得と音楽を楽しむ。	演習	
担当者	東　恵子、鈴江　美子、山下　佑子、久我　裕子、上原　輝子、田中　琴弓、山口　雅敏、福田　可織、雪原　典子、辻　真理子		

[成績評価方法]
ピアノ及び弾き歌い等の実技テストとレッスン状況によって評価する。(テスト60%、レッスン状況40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験終了後、掲示板と担当教員から結果と今後の課題を連絡

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:試験時に評価する

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:レッスン時に評価する

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:レッスン時に評価する

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:レッスン時に評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内に評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業内に評価する

[教科書(ISBN)]
書籍名:標準バイエルピアノ教則本 著者名:バイエル 出版社名:全音出版社 ISBN:9784110000000
書籍名:ブルクミュラー25の練習曲 著者名:ブルクミュラー 出版社名:全音出版社 ISBN:978-4-11-102010-2
書籍名:ソナチネアルバム1巻 著者名:全音出版部:編 出版社名:全音出版社 ISBN:978-4-11-101211-4
書籍名:こどものうた100 著者名:小林美実:監修 出版社名:チャイルド本社 ISBN:978-4-8054-8186
書籍名:この一冊でわかる楽典と音楽実技 著者名:深見友紀子、小林田鶴子 出版社名:音楽之友社 ISBN:978-4-276-10052-7

[参考書(ISBN)]
書籍名:保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集 著者名:茂田すすむ:編著 出版社名:全音出版社
ISBN:978-4111701957

科目名	器楽Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの技能習得と音楽を楽しむ。	演習	
担当者	東　恵子、鈴江　美子、山下　佑子、宮内　晴美、久我　裕子、田中　琴弓、山口　雅敏、雪原　典子、辻　真理子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	◯
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
器楽Ⅰ、Ⅱ、Ⅲで習得した演奏の基礎技能と人前での表現力をさらに伸ばし、保育・幼稚園の実習等に対応でき、こどもと共に音楽を楽しめる力をつける。また、個性を音楽表現に活かせるようにする。

[授業概要]
保育教育実習などへの実践力をつけ、就職試験に向けての実技の充実をめざす。
授業は、就職試験内容等に対応した4つのコースを設けて各自が選択する。（課題曲は基本的に自由）
グループレッスンは手遊び・ペープサートなど保育現場ですぐに使える内容も行う。
試験はピアノ演奏や弾き歌い、ア･カペラ、表現等を行う。到達度確認を2回行う。
詳細内容は1回目の授業時に説明する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
実技授業なので、必ず予習復習をして臨むこと。また、レッスンの前後は、ピアノ練習室等でしっかり練習すること。e-ラーニングの指示がある時はmanabaなどで学習すること。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション・個人レッスン1
第2回　個人レッスン2
第3回　個人レッスン3・保育、教育現場で活用できる手遊び歌などのグループレッスン
第4回　個人レッスン4・保育、教育現場で活用できる絵描き歌などのグループレッスン
第5回　個人レッスン5
第6回　個人レッスン6・人前で演奏するためのグループレッスン
第7回　到達度確認、前半のまとめ
第8回　個人レッスン7
第9回　個人レッスン8・保育、教育現場ペープサートなどのグループレッスン
第10回　個人レッスン9・保育、教育現場ペープサートなどのグループレッスン
第11回　個人レッスン10
第12回　個人レッスン11・人前で演奏するためのグループレッスン
第13回　到達度確認、後半のまとめ

科目名	器楽Ⅳ	後期	1 単位
サブタイトル	ピアノ及び弾き歌いの技能習得と音楽を楽しむ。	演習	
担当者	東　恵子、鈴江　美子、山下　佑子、宮内　晴美、久我　裕子、田中　琴弓、山口　雅敏、雪原　典子、辻　真理子		

[成績評価方法]
2回の実技テスト(60%)と、レッスンの状況等(40%)によって総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験終了後、掲示板と担当教員から結果と今後の課題を連絡

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:試験時に評価する

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:レッスン時に評価する

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:レッスン時に評価する

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:レッスン時に評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業内に評価する

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業内に評価する

[教科書(ISBN)]
書籍名:こどものうた100 著者名:小林美実 出版社名:チャイルド本社 ISBN:978-4-8054-8186-8
書籍名:標準バイエルピアノ教則本 著者名:バイエル 出版社名:全音出版社 ISBN:9784110000000
書籍名:ブルクミュラー25の練習曲 著者名:ブルクミュラー 出版社名:全音出版社 ISBN:978-4-11-102010-2
書籍名:ソナチネアルバム1巻 著者名:全音出版社:編 出版社名:全音出版社 ISBN:978-4-11-101211-4
書籍名:この一冊でわかる楽典と音楽実技 著者名:深見友紀子、小林田鶴子 出版社名:音楽之友社 ISBN:978-4-276-10052-7

[参考書(ISBN)]
書籍名:保育のためのマーチ、スキップ、ギャロップ、ワルツ、リズム曲集 著者名:茂田すすむ:編著 出版社名:全音出版社 ISBN:978-4111701957

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	穴田　恭輔		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
卒論テーマを設定する。

[授業概要]
前期の「教育学購読」を踏まえて、研究テーマを設定しグループもしくは個人で研究を行う。研究・発表することを通して、教材研や授業づくりが自分で行えるようになるための方法を身につけ、4年次の卒業研究につなげる。
なお、当研究室では、当科目の単位を修得しなければ、次の年の「卒業論文」には進めないのでしっかり学ぶこと。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
発表者は、必ずレジュメを用意する。

[授業計画]
1. 研究テーマの設定①
2. 研究テーマの設定②
3. グループ(もしくは個人)での研究①
4. グループ(もしくは個人)での研究②
5. グループ発表と討議①
6. グループ発表と討議②
7. グループ発表と討議③
8. グループ発表と討議④
9. グループ発表と討議⑤
10. 総括とレポート作成に向けて
11. 最終レポート作成①
12. 最終レポート作成②
13. 最終レポート作成③

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	穴田　恭輔		

[成績評価方法]
発表(50%)、提出物(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:発表、提出物

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:発表、提出物

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:発表、提出物

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:発表、提出物

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:発表、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:発表、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:発表、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:発表、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:発表、提出物

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
興味関心に沿った問題意識を持ち、研究方法について知る。
保育実践力を身につける。

[授業概要]
各自の興味関心に沿いながら、研究を進めていくための具体的方法について学ぶ。卒業研究をすすめるための基盤となる事柄を身につける。また、学外で子どもと触れ合うことを通じて実践力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各自授業内で指示する課題に取り組むこと
各回予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1.子どもをとりまく問題点について考える
2.各自の問題意識を発表及びディスカッション
3.子どもの発達を学ぶ(学外)
4.文献検索及び先行研究検索
5.研究活動における倫理
6.質問紙の作成法
7.観察研究に必要な視点(学外)
8.実験デザイン
9.データのまとめかた
10.データ分析のしかた
11.報告書の作成
12.報告内容発表
13.総括

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[成績評価方法]
課題探究の姿勢30%　受講態度20%　レポート50%
課題探究は内容で評価をする
受講態度は積極性や、行動を評価する
レポートは提出期限、形式を含めて評価する

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポート課題は　翌回返却し、講評する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:課題探究の姿勢　レポート

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:課題探究の姿勢　受講態度

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:課題探究の姿勢　受講態度　レポート

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:課題探究の姿勢　受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題探究の姿勢　受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題探究の姿勢　レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題探究の姿勢　レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題探究の姿勢

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	稲垣　善茂		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校の教育現場で生徒を指導できるよう、算数、理科など基礎学力の向上、小学校学習指導要綱の学習内容にかかわる基本的な原理・原則を理解・習得する。さらに卒業論文を執筆するために必要な基礎学力、専門系学力を向上させる。

[授業概要]
小学校学習指導要綱の学習内容にかかわる基本的な原理・原則を習得・理解する。もちろん小学校3年生から始まる理科のために、小学校教員として必要な理科の基礎学力、応用力、魅力ある教え方の習得を目指す。また、卒業論文執筆に必要な論文(英語・日本語)やエッセイ(英語・日本語)を読み込んで紹介し、基礎学力、専門系学力の向上に努める。論文紹介時は、携帯電話、タブレット、PCの使用を認めている。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
Word, Excel, PowerPointの使用方法になれていることが必要である。また、模擬授業や論文紹介(PowerPoint使用)については、発表担当者が事前の準備をすること(指導案やワークシート、板書計画、論文説明資料:A4表裏1-2枚以内)。予習復習の時間数は各回、合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. エッセイ(英語・日本語)の講読と紹介1
2. エッセイ(英語・日本語)の講読と紹介2
3.エッセイ(英語・日本語)の講読と紹介3
4. エッセイ(英語・日本語)の講読と紹介4
5. 論文(英語・日本語)の講読と紹介1
6. 論文(英語・日本語)の講読と紹介2
7. 論文(英語・日本語)の講読と紹介3
8. 論文(英語・日本語)の講読と紹介4
9. 卒業論文執筆に向けての準備①
10. 卒業論文執筆に向けての準備②
11. 卒業論文執筆に向けての準備③
12. 卒業論文執筆に向けての準備④
13. 卒業論文執筆に向けての準備⑤

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	稲垣　善茂		

[成績評価方法]
課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション, グループワーク（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
指導案、小論文課題、レポート、グループワーク課題などの提出物については、赤字で添削したのち、直接返却しています。また、manabaの小テストによる課題に対しては、課題締め切り後に、ポートフォリオに採点結果と正答が公開されるようになっています。ポートフォリオを確認して復習に利用してください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション, グループワーク（50%）

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション, グループワーク（50%）

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション, グループワーク（50%）

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション, グループワーク（50%）

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション, グループワーク（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション, グループワーク（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション, グループワーク（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション, グループワーク（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション, グループワーク（50%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
子どもを取り巻く環境及び子育て環境について理解し、それらの課題に対しての支援策について実践的、経験的な観点から学ぶことを目標とする。また、4回生の卒業論文を目指して、研究計画書の作成を目指す。

[授業概要]
子どもを育てる環境としての家庭機能は、今日のさまざまな社会変化の中で、多様化、脆弱化してきている。 本演習では、その家庭の今日的状況を踏まえて、子育て支援策の展開、諸機関の機能についてより具体的に学ぶ。その上で学生自身が主体性をもってどのように対応していかなければならないかについて学ぶ。
以上を踏まえて、4回生での卒業論文の前段階として、研究計画書の作成、文献探し、調査方法、草稿、推敲、清書までのプロセスについて学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
3回生前期を踏まえて、後期では、より各学生の興味のある分野を選定する必要がある。そのために自らの研究を進めていく分野について、ある程度限定できるように学修を進めておくこと。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. テーマの理解を深める
3. グループ編成を行う
4. 研究課題の整理、設定①
5. 研究課題の整理、設定②
6. 研究計画の設定
7. フィールドワーク①
8. フィールドワーク②
9. フィールドワーク③
10. 中間まとめ
11. 卒業論文にむけての学習1
12. 文献調査の練習
13. まとめ

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[成績評価方法]
レポートによって評価を行う。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題等は授業内で評価フィードバックします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	乳幼児及び児童(障害のある幼児、児童、を含む)への理解を深め保育者のあり方を考える	演習	
担当者	隠岐　厚美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
乳幼児の発達・障害や保育に関連する問題を理論的・実証的に考える力を養う。

[授業概要]
保育所でのボランティアならびに文献研究を行いながら、各自のテーマ設定に向けて情報収集を行う。さらに「お姉さんとあそぼう」の企画・実践を通して保育実践力を培う。なお、この授業は言語聴覚士兼心理士として発達臨床に携わる教員が担当する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業についての予習復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。
後半は、保育実践に向けて授業外での準備も多くなります
また、発表資料や文献は熟読し、ディスカッションができる準備をすること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 研究の進め方1　卒業研究に向けたテーマ設定
3. 研究の進め方2　個に沿った文献研究の発表
4. 保育研究　ICTを用いて　1　保育実践に関する文献講読
5. 保育研究　ICTを用いて　2　保育実践の企画検討
6. 保育研究　ICTを用いて　3　保育実践のプロットの検討と作成
7. 保育研究　ICTを用いて　4　保育実践の保育教材作成
8. 保育研究　ICTを用いて　5　保育実践の保育教材作成
9. 保育研究　ICTを用いて　6　保育実践の演出とパート練習
10. 総合発表に向けての検討1　保育実践のリハーサル
11. 総合発表に向けての検討2　保育実践の合同リハーサル
12. 発表 「おねえさんとあそぼう」
13. まとめ　実践発表の振り返り

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	乳幼児及び児童(障害のある幼児、児童、を含む)への理解を深め保育者の在り方を考える	演習	
担当者	隠岐　厚美		

[成績評価方法]
「プレゼンテーション(60%)」「参加態度(30%)」「提出物(10%)」

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に口頭でアドバイスやフィードバックを行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:「プレゼンテーション(60%)」「参加態度(30%)」「提出物(10%)」

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:「プレゼンテーション(60%)」「参加態度(30%)」「提出物(10%)」

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:「プレゼンテーション(60%)」「参加態度(30%)」「提出物(10%)」

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:「プレゼンテーション(60%)」「参加態度(30%)」「提出物(10%)」

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:「プレゼンテーション(60%)」「参加態度(30%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:「プレゼンテーション(60%)」「参加態度(30%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:「プレゼンテーション(60%)」「参加態度(30%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:「プレゼンテーション(60%)」「参加態度(30%)」「提出物(10%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:「プレゼンテーション(60%)」「参加態度(30%)」「提出物(10%)」

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	研究テーマのデザインと研究プロジェクト	演習	
担当者	金岩　俊明		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
研究課題を設定し、必要な文献講読や具体的実践を通して、各自の研究デザインを構成し、卒業論文の作成に向けて取り組む。

[授業概要]
教育学講読の内容や、教育実践の課題から、研究課題を明らかにする。文献研究や研究調査を通じて、教師の力量としての教育実践の企画力・表現力の育成に向けた取り組みを行う。また、研究の道筋を定め、議論しながら研究デザインを構築し卒業論文への見通しが持てるようにする。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日常的に、研究テーマに沿った文献研究や資料講読を進めておくこと。受講生の研究テーマについても、自らの視点で論議できるように予習・復習を行うこと。（各回、予習復習合わせて2時間程度）

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 文献紹介①
3. 文献紹介②
4. 文献紹介③
5. 卒論中間発表会への参加
6. 研究プロジェクト①
7. 研究プロジェクト②
8. 研究プロジェクト③
9. 研究プロジェクト④
10. 研究内容プロット及び文献発表①
11. 研究内容プロット及び文献発表②
12. 研究内容プロット及び文献発表③
13. まとめ

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	研究テーマのデザインと研究プロジェクト	演習	
担当者	金岩　俊明		

[成績評価方法]
研究発表（50%）研究プロジェクト及び討議への参加（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題は授業内で評価します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表・レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表・レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：発表・レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：発表・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表・レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
卒業研究に関する活動を進める上で必要な研究テーマの設定、研究方法の選択、研究計画の立案等に関する基礎的な知識・技能を身につけることができる。

[授業概要]
卒業研究のテーマに従って、研究の目的を設定し、研究の背景や先行研究を整理した上で文章化していきます。研究全体の大まかな計画を立案し、設定した研究課題の解決を目指します。
小中学校勤務歴31年の者が教育現場における諸問題について、テーマの決め方などをアシストします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、準備とふりかえりについて4時間程度の学習を求めます。具体的には、各回で指定された課題に取り組み、その成果をプレゼンテーションできるようにしておいてください。

[授業計画]
1.研究テーマの検討
2.研究テーマの発表
3.研究の目標・研究の背景の執筆①
4.研究の目標・研究の背景の執筆②
5.先行研究の整理の執筆①
6.先行研究の整理の執筆②
7.先行研究の整理の執筆③
8.先行研究の整理の執筆④
9.問題の所在・研究のアプローチの執筆①
10.問題の所在・研究のアプローチの執筆②
11.学会発表等の見学やフィールドワーク①
12.学会発表等の見学やフィールドワーク②
13.学会発表等の見学やフィールドワーク③

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
ゼミ活動に対する取り組み（20%）、各回の課題（60%）、課題に関するプレゼンテーション（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:特に指定しませんが、必要なときは授業内で紹介します。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	図書館の教育的価値を証明する	演習	
担当者	坂下　直子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
先行研究批判に基づいて、自分の取り組むべき研究対象と課題の明確化を図る。

[授業概要]
前期の教育学講読で学んだこと、興味を持ったことについて、さらに文献講読を通して理解を深める。各自設定した研究テーマについて先行研究を検索し、読み、考え、自分の研究対象と課題をより明確にする。演習においては、教員が司書としての実務経験にもとづく具体的な知識と技術を生かしてより実践的な指導をする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回、次の文献の指定箇所をしっかり読んでおくこと。
常に自分の卒業論文のテーマについて意識しておくこと。

[授業計画]
1. イントロダクション
2. 文献購読①
3. 文献購読②
4. 文献購読③
5. 文献購読④
6. 文献購読⑤
7. 各自の研究テーマ発表と講評①
8. 各自の研究テーマ発表と講評②
9. 各自の研究テーマ発表と講評③
10. 各自の研究テーマ発表と講評④
11. 各自の研究テーマ発表と講評⑤
12. 各自の研究テーマ発表と講評⑥
13. 学会参加

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	図書館の教育的価値を証明する	演習	
担当者	坂下　直子		

[成績評価方法]
発表（50%）、議論への取り組み度（50%）で総合的に評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
講義内および、manaba,メールで行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤　浩樹		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
教育実習の振り返り等を通して、教育に対する考えつくり、小学校教師としての実践的指導力の基礎を身に付ける。
自分の問題意識を明確化し、卒業研究テーマを仮決定して、文献講読・発表を行って卒業研究に向けての基盤を作る。

[授業概要]
①関心のあるテーマについて文献を読んでレポートを作成し、発表･討議する。
②教育実習を振り返ってレポートを作成・発表する。教師として必要な資質について演習形式で学ぶ。教育実習の学びについてプレゼンテーションする。
③卒業研究の方法について学ぶ。卒業研究テーマを仮決定し、先輩の卒論を紹介をして討議する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
参加者全員がテーマについて問題意識を持って授業に臨むことを期待する。

[授業計画]
1. 文献紹介と討議①
2. 文献紹介と討議②
3. 教育実習の振り返り演習①
4. 教育実習の振り返り演習②
5. 卒論中間発表会参加
6. 教師として必要な資質・能力に関する討議
7. 教育実習からの学びの発表①
8. 教育実習からの学びの発表②
9. 卒業論文作成、研究テーマ設定、文献検索について
10. 先輩の卒論の紹介と討議①
11. 先輩の卒論の紹介と討議②
12. 研究テーマ発表と討議
13. 卒論発表会参加

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤　浩樹		

[成績評価方法]
授業への姿勢（60%）、レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート・発表、授業に取り組む姿勢

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：レポート・発表、授業に取り組む姿勢

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：レポート・発表、授業に取り組む姿勢

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート・発表、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レポート・発表、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート・発表、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート・発表、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート・発表、授業に取り組む姿勢

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	研究デザインの構築	演習	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
研究テーマを設定し、必要な文献講読を行い、テーマに即した具体的な調査方法を構築していく。それらを通じて、卒業論文の作成に向けて取り組む。

[授業概要]
教育学講読の内容や自己経験の課題から、研究テーマを設定する。文献研究や研究調査を通じて、研究の道筋を定め、議論しながら研究デザインを構築し卒業論文への見通しが持てるようにする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
日常的に、研究テーマに沿った文献や資料講読を進めておくこと。同授業の他受講生の研究テーマについても、自らの視点で論議できるように予習・復習を行うこと。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. 研究テーマの発表と文献紹介①
2. 研究テーマの発表と文献紹介②
3. 研究テーマの発表と文献紹介③
4. 研究テーマの発表と文献紹介④
5. 研究テーマの発表と文献紹介⑤
6. 研究計画の作成①
7. 研究計画の作成②
8. 研究計画の作成③
9. 研究計画の発表①
10. 研究計画の発表②
11. 小学校体育科校内研修に見学参加
12. 幼稚園、保育園、こども園の運動遊び実践の見学参加
13. まとめ

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	研究デザインの構築	演習	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
提出課題（30%）、発表（30%）、ディスカッション（20%）、受講態度（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
※課題のフィードバックは授業内で行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：提出課題、発表、ディスカッション、受講態度

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：提出課題、発表、ディスカッション、受講態度

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：提出課題、発表、ディスカッション、受講態度

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：提出課題、発表、ディスカッション、受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：提出課題、発表、ディスカッション、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：提出課題、発表、ディスカッション、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：提出課題、発表、ディスカッション、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：提出課題、発表、ディスカッション、受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：提出課題、発表、ディスカッション、受講態度

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とする。
①ICTの基本概念を具体的な教材に結びつけ、実際の研究と開発に応用するスキルを身につける。
②研究計画を立案し、研究の進行とデータ収集・分析を効果的に実施する能力を向上させる。
③グループワークやディスカッションを通じて、アイディアや知識を共有するスキルを向上させる。

[授業概要]
ICTを活用した教材の理解と開発スキルの向上を目指す。教育の情報化やICTの基本概念を学び、それを具体的な教材の研究・開発に応用する。さらに、開発した教材を用いて実演し、研究計画の策定や実行、グループでの協働とコミュニケーション能力を強化する。文献調査とディスカッションを通じて理論を実践に結びつけ、総合的な発表スキルおよび教材の効果的な運用に関する洞察力を養う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の講義の復習

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.ICTを活用した教材の研究(1)
3.ICTを活用した教材の研究(2)
4.ICTを活用した教材の研究(3)
5.ICTを活用した教材の研究(4)
6.ICTを活用した教材の研究(5)
7.研究計画の作成(1)
8.研究計画の作成(2)
9.研究計画の発表(1)
10.研究計画の発表(2)
11.総合発表に向けて(1)
12.総合発表に向けて(2)
13.総合発表に向けて(3)

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[成績評価方法]
授業への取り組み方や姿勢（30%） 、課題（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	教育と哲学	演習	
担当者	田中　美紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
口頭発表を行い、質疑応答を通してディスカッションする能力が身につく。

[授業概要]
まずルソーが叙述する自然状態あるいは未開状態における人間像を捉え、人類が自然状態から社会状態へ移行するというルソーの歴史観を理解する。さらに自然的教育を賞賛するルソーの教育論の根幹を把握する。次に、ルソーの影響を受けながら「人間」について学ぶことに目覚めたカントの思想を概観する。カントが道徳哲学、教育哲学を通して「人間の学」の構築を目指したことを学び、道徳的理性的人間の養成と自由の確立を目標としたカントの思想を研究する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
問題意識を持ってテキストを予め読んでおくこと。積極的に議論に参加すること。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 導入、教育と哲学
2. ルソーの自然的教育、『エミール』①幼児期
3. ルソーの自然的教育、『エミール』②少年期
4. ルソーの自然的教育、『エミール』③青年期
5. カントの道徳哲学①　『道徳形而上学の基礎づけ』序
6. カントの道徳哲学②　『道徳形而上学の基礎づけ』第1章
7. カントの道徳哲学③　『道徳形而上学の基礎づけ』第2章
8. カントの道徳哲学④　『道徳形而上学の基礎づけ』第3章
9. カントの道徳哲学⑤　『教育学』
10. 各自の発表準備①
11. 各自の発表準備②
12. 学生発表①
13. 学生発表②
.

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	教育と哲学	演習	
担当者	田中　美紀子		

[成績評価方法]
ゼミでの発言・活動（20%）、発表（30%）、レポート（50%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは添削して返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：プレゼンテーション、レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：授業態度

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：授業態度、ディスカッション

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：授業態度、ディスカッション、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業態度、ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：ディスカッション、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:エミール　上 著者名:ルソー, J-J.　出版社名:岩波書店 ISBN:9784003362211
書籍名:道徳形而上学の基礎づけ 著者名:カント 出版社名:岩波文庫 ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	谷山　優子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	模擬授業、場面指導	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・教育実習での経験を生かし、自分に足らない点を意識し、教員としての資質を高める。
・自分のよさを教員としてどう生かすかを考え、実践していく。
・卒業論文作成に向けて、研究テーマを絞り込む。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題（学級づくり、授業づくり、生徒指導、特別支援教育等）への対応を指導する。教育実習を終えて、学校現場が直面する教育課題について自ら関心を持って探究し、どのような教員が求められているのかを考え、自身の資質を高めていく授業を行う。自分のよさを知り、他人の良さに気付き、相手に分かるように表現する力を身に付ける練習を反復し、自信をつける。見聞を広め、様々な体験を進んで行う機会を多く持つことで、教員としての豊かな知識と感性を培う。各自で英語力を高める。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
身の回りの事象に常に関心を持ち、表現を工夫して相手に伝えられるようにしておく。
学外の体験学習（フィールドワーク）に参加する。自身の英語の学習を進める。課題レポートを作成する。
※各回、予習復習合わせて2時間程度おこなうこと

[授業計画]
1. 授業研究「国語」（模擬授業）
2. 授業研究「算数」（模擬授業）
3. 教育実習報告と教育課題①（プレゼンテーション）
4. 教育実習報告と教育課題②（プレゼンテーション）
5. 教育実習報告と教育課題③（プレゼンテーション）
6. 卒業論文のテーマと研究目的の発表①（プレゼンテーション）
7. 卒業論文のテーマと研究目的の発表②（プレゼンテーション）
8. 卒業論文のテーマと研究目的の発表③（プレゼンテーション）
9. 卒業論文のテーマと研究目的の発表④（プレゼンテーション）
10. 教員の資質を高めるフィールドワーク①＜学外＞
11. 教員の資質を高めるフィールドワーク②＜学外＞
12. 信頼される教員とは（ディスカッション）
13. まとめ

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	谷山　優子		

[成績評価方法]
授業中の課題(50%)、授業以外の研究課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中の課題に対してコメント等のフィードバックを返します。
授業以外の探究課題に対して添削等の指導を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	◯

[到達目標]
英語学・英語教育学の知識、理解を深め、卒業論文のテーマを決定し、研究を進めていくことができる。

[授業概要]
英語学、英語教育学に関する各自の設定したテーマについて文献を調べ、必要なデータを収集し分析を行い、理論と実践の両面から理解する。意見交換、報告会を実施しながら課題研究を進めていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
問題解決の見通しを立てて、文献を読むこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 研究テーマに関する文献調査と発表①
3. 研究テーマに関する文献調査と発表②
4. 研究テーマに関する文献調査と発表③
5. 研究テーマに関する文献調査と発表④
6. データの取得方法について
7. データの収集と分析①
8. データの収集と分析②
9. データの収集と分析③
10. データの収集と分析④
11. データ分析結果のまとめ
12. 成果発表会
13. まとめ

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
発表（50%）、研究レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表、研究レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：発表、研究レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：発表、研究レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：発表、研究レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表、研究レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：研究レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表、研究レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:必要に応じて資料を配付する。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051685
書籍名:中学校学習指導要領解説　外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
科学的・研究的な視点から、就学前の保育や教育、子どもの育ちを捉えることのできる高い専門性に裏づけられた実践力の構築を目指す。

[授業概要]
教育学講読において進めてきた学習・研究を土台に、卒業研究に向けた自らの研究課題の模索を意識しつつ、関連する文献や先行研究のリサーチ、フィールドワーク等を実施し、その結果を発表する。また、研究のまとめや報告書、論文の作成の仕方についても学びを深めていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の講義内容を復習し理解して、次回の講義(研究)の予習をしておくこと。日常的に講義(研究)に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度、演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 研究についてのガイダンス
2. 研究課題の模索
3. 研究課題の構想1(発表会)
4. 研究課題の構想2(発表会)
5. 研究方法について学ぶ
6. フィールドワーク等の計画・実施
7. フィールドワーク等のまとめ
8. フィールドワーク等のリポート1(発表会)
9. フィールドワーク等のリポート2(発表会)
10. 研究課題の整理
11. 卒業研究計画についてのプレゼンテーションの準備
12. 卒業研究計画についてのプレゼンテーション1
13. 卒業研究計画についてのプレゼンテーション2

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[成績評価方法]
課題研究の成果（60%）発表（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
適宜指導を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：課題研究、発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：課題研究、発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：課題研究、発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：課題研究、発表を総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題研究、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：課題研究、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題研究、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題研究、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題研究、発表を総合的に評価する。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	村田　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校理科(主に地学・物理分野)の教育課程についての知識を深める。
教員として必要な基礎学力、応用力、実践力を身につける。

[授業概要]
地球の歴史について学ぶことにより、個体地球に関する知識を深める。物理分野(力学など)と地学分野(天体・天気など)の基本的な原理・原則を理解しながら、小学校理科の教育課程の指導方法について議論する。また、教員採用試験に対応できる学力を身につけるために、理科の演習問題に取り組む。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回配布される次回のプリントを読み、おおまかな内容を予習する。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.英語で読む理科①・力学
3.英語で読む理科②・仕事エネルギー
4.英語で読む理科③・電流・電力
5.英語で読む理科④・地層・化石・岩石
6.英語で読む理科⑤・天体
7.英語で読む理科⑥・湿度・天気
8.理科教育に関する論文輪読①
9.理科教育に関する論文輪読②
10.理科教育に関する論文輪読③
11.理科教育に関する論文輪読④
12.理科教育に関する論文輪読⑤
13.理科教育に関する論文輪読⑥

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	村田　恵子		

[成績評価方法]
課題

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に解説

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	美術作品の制作と研究	演習	
担当者	守本　智美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
美術作品を制作し、また各自興味の持てるテーマで美術の研究を行い、豊かな感性を育むことを目的とする。

[授業概要]
美術作品の制作を通して、描き、創造する喜びや楽しさを学ぶます。特にあらゆる美術の基礎となるデッサンには重点を置き、観察力、描写力をつけ、多様な表現を試みます。題材としては主として静物、風景、人物、さらには抽象的なものを取り上げてデッサンの技法の習得を行い、デッサン用具の扱いになれることに主眼を置きます。着色は水彩絵具または油絵具等で行い作品を完成させます。また、好きな作家や作品、その他、技法、材料等をはじめ、美術に関係したことの中から各自興味のあるテーマを設定し研究を行います。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。美術館で本物の作品を鑑賞したり、画集でも授業で関連する内容の作品はよく見て、自分の作品制作や研究に生かすこと。manaba(マナバ)にて授業に必要な連絡をするので、必ずmanabaに登録しておくこと。

[授業計画]
1.はじめに(manaba上にて指示します)
2.デッサン(自由テーマの設定、静物・風景・人物等のジャンルから)
3.デッサン①
4.デッサン②(仕上げ)
5.作品制作①(絵具等による着色)
6.作品制作②(仕上げ)
7.作家・作例研究の方法
8.作家作例研究①(古今東西の作例検討)
9.作家作例研究②
10.研究発表
11.オリジナル作品の制作①
12.オリジナル作品の制作②(仕上げ)
13.まとめ

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	美術作品の制作と研究	演習	
担当者	守本　智美		

[成績評価方法]
レポート(40%)・作品(60%)による総合評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出課題に対してコメントを行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:レポート(40%)・作品(60%)による総合評価。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:レポート(40%)・作品(60%)による総合評価。

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:レポート(40%)・作品(60%)による総合評価。

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:レポート(40%)・作品(60%)による総合評価。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート(40%)・作品(60%)による総合評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:レポート(40%)・作品(60%)による総合評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート(40%)・作品(60%)による総合評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート(40%)・作品(60%)による総合評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート(40%)・作品(60%)による総合評価。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	教育学に関する興味・関心を深める	演習	
担当者	山内　紀幸		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1 自らの研究テーマに関する興味・関心を深める
2 レポートを作成する能力・プレゼンテーションする力を高める
3 実地調査研究の発展的な手法を学ぶ

[授業概要]
自らの研究テーマに関する書物を読解し、その要約を発表させる。発表内容について参加者で討論を行い、関心を焦点化させ、発展的な知識への意欲を高めていくようにする。また、適時、実地調査研究を行い調査研究の発展的な手法を取得できるようにする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
日ごろから教育に関する新聞記事やニュースを見るようにし、興味・関心を喚起する教育問題についてアンテナを張っておくこと。また発表時には、レジュメを作成し、分かりやすい文章づくりを行うこと。授業後は問題となった学習課題について、図書館等で調べること。予習と復習で2時間を充てること。

[授業計画]
1 ガイダンス
2 学外実習① 実地調査研究
3 発表1＆ディスカッション 発表2＆ディスカッション
4 発表3＆ディスカッション 発表4＆ディスカッション 発表5＆ディスカッション
5 発表6＆ディスカッション 発表7＆ディスカッション
6 発表8＆ディスカッション 発表9＆ディスカッション 発表10＆ディスカッション
7 学外実習② 実地調査研究
8 発表11＆ディスカッション 発表12＆ディスカッション
9 発表13＆ディスカッション 発表14＆ディスカッション 発表15＆ディスカッション
10 発表16＆ディスカッション 発表17＆ディスカッション
11 発表18＆ディスカッション 発表19＆ディスカッション 発表20＆ディスカッション
12 学外実習③ 実地調査研究
13 まとめ

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	教育学に関する興味・関心を深める	演習	
担当者	山内　紀幸		

[成績評価方法]
発表内容50%　実施調査レポート30%　討議内容20%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じてフィードバックを行う。オフィスアワーでも対応する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:小レポート

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:小レポート

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:小レポート
ディスカッション

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:小レポート
ディスカッション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:小レポート
ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	英語教育の今日的課題をみつけよう。よりよい英語授業を目指して！	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
日本の英語教育についての課題を発見することができる。できるだけ多くの文献を渉猟することを含めて研究の基礎を身に着ける。

[授業概要]
英語教育の課題を見つけていくことを目標にして進めます。受講生の方には自分が受けてきた英語授業を振り返る中で、どのような授業が行われてきたのか、またそれはなぜそのように行われているのかについて分析していくことから始め、関連する文献でどのようなことが明らかになっているのかを調査してもらいます。研究の骨組みを創っていく授業です。担当者は小学生から大学生まで英語の授業をしている経験がありますので、討議しながら到達目標に向かっていっしょに研究するつもりです。気楽に質問してください。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
授業前には、自分の疑問を洗い出してください。授業後は、気づいたことや見つけたこと、さらなる疑問について整理しておきましょう。図書館の機能を有効活用して、関連分野の文献をたくさん探してきてください。予習復習でおおよそ2時間が必要となるでしょう。

[授業計画]
以下はシラバス執筆時の取り上げる予定テーマです。受講生の興味関心をできるだけ取り上げるつもりです。
1. どのような英語授業を受けてきたのかへの振り返り
2. 英語授業で行われる手法、方略への考察
3. 英語という言語への考察
4. 英語教育　中学校
5. 英語教育　小学校
6. 英語教育　高等学校
7. 英語教育　大学
8. EFLとESL
9. 英語の4技能への考察
10. 教員の役割
11. 今日的英語教育の課題
12. 英語と他教科の連携
13. まとめとしての討議および最終レポート作成

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	英語教育の今日的課題をみつけよう。よりよい英語授業を目指して！	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
授業への主体的参加(60%)、最終レポートあるいはプレゼンテーション（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートについては、コメントを付すことやよりよい内容となるように助言をして返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：最終レポートあるいはプレゼンテーションで評価します。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：授業への主体的参加態度で評価します。

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：授業への主体的参加、プレゼンテーションで評価します。

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：最終レポートで評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業への主体的な参加で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業への主体的参加態度で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：最終レポートで評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：最終レポートおよびプレゼンテーションで評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業への主体的参加で評価します。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	学ばない子どもたち、働かない若者たち	演習	
担当者	水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
将来教師を目指すものとして「どうして子どもたちは学ぶことを止めてしまったのか」という問いについて意見交換をすることができる共通の認識の足場を作る。

[授業概要]
参考書の『下流志向』が問題提起する「学び」に関する論考を軸に、その本の参考文献で取り上げられている様々な文献を読み進めていく。そして「どうして子どもたちは学ぶことを止めてしまったのか」という問いについて多角的に議論していく。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎週、予習復習合わせて2時間程度。
毎週、事前に配布した資料を読み、A4で1枚に要旨とコメントを書く。
授業後、授業の「振り返り」レポートを書き次回の授業で提出する。

[授業計画]
1.学びからの逃走
2.「矛盾」と書けない大学生
3.オレ様化する子どもたち
4.教育サービスの買い手
5.想定外の問い
6.不快貨幣の起源
7.教育の逆説
8.不快という貨幣
9.学びと時間
10.母語の習得
11.変化に抗う子どもたち
12. 学力低下は「努力の成果」
13.授業全体の振り返り

S61688 [LKI3-002]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	学ばない子どもたち、働かない若者たち	演習	
担当者	水野　邦太郎		

[成績評価方法]
レポート (50%)、発表 (50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中及び、manaba 掲示板を利用して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:レポート
発表

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:レポート
発表

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:レポート
発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート
発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート
発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート
発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート
発表

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:下流志向 著者名:内田樹 出版社名:講談社 ISBN:? 4062763990

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	久木山　健一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
各自が心理学の特定テーマに関する理解と知識及びその研究方法論を修得することを到達目標とする。

[授業概要]
各自が関心をもつテーマについて、自分たちで実験や調査を計画立案すると共に、データ収集、データの整理と分析を行い研究レポートを作成する。まず、自分たちが計画した問題(テーマ)や方法(実験、調査内容など)について、互いに議論を行うことで内容を深める。その後、互いに協力して調査や実験を実施し、得られたデータを整理分析し、その結果を報告して相互討議する。さらに、まとめとして研究レポートを作成する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
テーマ確定、資料収集、文献の講読、調査実験、収集データの統計的分析、研究レポートの作成など、各ステップで当面する課題の準備を行うこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 心理学論文作成の方法について
3. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表1
4. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表2
5. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表3
6. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表4
7. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表5
8. 各研究テーマについての心理学研究法に基づくデータ収集および発表6
9. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション1
10. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション2
11. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション3
12. 各研究テーマについてのレポート作成とディスカッション4
13. 全体のまとめ

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	久木山　健一		

[成績評価方法]
発表(30%), 討議への参加態度(20%), レポート(50%)によります。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	子どもたちのための豊かな衣食住の実現を目指して	演習	
担当者	奥川　あかり		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 卒業研究に向けて必要な基礎学力と専門知識を身につける
2. 文献講読や実践を通じて研究テーマを設定できる
3. 研究テーマへの興味関心を深め、要点をまとめられる
4. 研究計画を立案し、研究デザインを構成できる

[授業概要]
1. 教育学講読や教育実践を踏まえて研究テーマを設定する
2. 関心のあるテーマに関する先行研究を理解し、課題を見出す
3. 発表や議論を通じて要点をまとめる力やプレゼンテーション能力を養う
4. 研究デザインを構成し、卒業研究につなげる
5. 設定した研究課題の解決を目指す

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の予習・復習を行い、日常的に家庭生活におけるあらゆる事象に関心と問題意識を持つようにする
自主的に関連する文献講読を進めたうえで先行研究や実践例を調べてから受講すること

[授業計画]
1. オリエンテーション(論文の書き方・研究の進め方)
   研究テーマの探求
2. 先行研究の収集方法
3. 研究デザインの構成Ⅰ
4. 先行研究の収集と分析Ⅰ
5. 先行研究のプレゼンとディスカッションⅠ
6. 先行研究の収集と分析Ⅱ
7. 先行研究のプレゼンとディスカッションⅡ
8. 先行研究の収集と分析Ⅲ
9. 先行研究のプレゼンとディスカッションⅢ
10. 研究テーマに関する社会的背景の整理
11. 研究背景の発表とテーマの再考
12. 研究計画の立案
13. 研究テーマと研究計画の発表と討議

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	子どもたちのための豊かな衣食住の実現を目指して	演習	
担当者	奥川　あかり		

[成績評価方法]
課題:50%
発表:50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業内で行います

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:課題、発表

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:課題、発表

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:課題、発表

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:課題、発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題、発表

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	ダイバーシティのなか、多様な学びの場と共生社会を理解し、学級経営に活かす　卒業論文研究計画書の作成	演習	
担当者	上野　昌稔		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○模擬授業	実習、フィールドワーク	○通級指導
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・インクルーシブ教育システム構築のための多様な学びの場や教育機関の実際を観察し、個別最適な学びについて深く理解する。
・ダイバーシティのなかで芸術活動やイベント活動を通して共生社会を創造しているNPO法人の活動の実際からインクルーシブ教育のこれからを考察し、技能を身につける。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。
・3年生時点での卒業論文研究計画書を作成する。

[授業概要]
・この授業では、学校現場での教員や教育行政（教育委員会、文部科学省）等の経験のある教員が、その経験を活かして、ダイバーシティ（多様性）に対応した学級経営の工夫について指導する。
・共生社会を創造している現場の取り組みを観察し、インクルーシブ教育システムのこれからについて考察する。
・これらの授業を通じて、インクルーシブな社会の基礎となる多様性を認め合うための学級経営を目指す教員となるための資質を涵養する。
・卒業論文に対する研究対象を絞り、先行研究を知り、研究計画書の作成に当たる。
※フィールドワークについては、訪問場所の日程が前後する可能性があります。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
・授業内容に関する基礎となる用語等について調べて理解しておくこと
・授業中に提示する課題に関してレポート、パワーポイント等にして提出
　※各回で示した資料等を確認することなど予習復習を合わせて2時間程度行うこと

[授業計画]
1. インクルーシブ教育システム構築のための多様な学びの場について
2. 多様なニーズのある児童生徒に求められる対応①（自尊感情・自己理解）
3. 多様なニーズのある児童生徒に求められる対応②（コミュニケーションと社会性）
4. 神戸市特別支援教育センター訪問（柔軟な学びの場の変更についての取り組み）
5. 通級指導教室における指導の実際（近隣校での観察）
6. 卒業論文先行研究についてのアウトプット①
7. 卒業論文先行研究についてのアウトプット②
8. 個に応じた多様な学びの場の変更について（その重要性と課題）
9. 卒業論文先行研究を通した研究計画の作成①
10. 多様なニーズのある子どもに対応した模擬授業①
11. 多様なニーズのある子どもに対応した模擬授業②
12. 卒業論文研究計画書についてのアウトプット
13. まとめ

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	ダイバーシティのなか、多様な学びの場と共生社会を理解し、学級経営に活かす　卒業論文研究計画書の作成	演習	
担当者	上野　昌稔		

[成績評価方法]
レポート及び発表内容（40%）、討議内容（40%）、12回目の発表内容（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・ 授業中におけるコメント等によるフィードバック
・オフィスアワーにおける対応
・個別指導

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協調して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:毎回、配布するプリント 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	発達障害のある子どもなどが在籍することを前提にした授業づくり・学級づくりを中心に	演習	
担当者	田中　裕一		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・発達障害のある子どもなどが在籍することを前提にした授業づくり・学級づくりを含む学校教育における現状と課題について学ぶとともに、興味関心のある研究論文等をまとめること等により、卒業論文研究テーマ及び研究目的を設定する。
・自身が学び続ける教員であるために必要な資質を考え、自分に合った方法を考えることができる。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。

[授業概要]
・この授業では、学校現場での教員や教育行政（教育委員会、文部科学省）等の経験のある教員が、その経験を活かして、発達障害のある子どもなどが在籍することを前提にした授業づくり、学級づくりについて指導する。
・発達障害のある子どもなどが在籍することを前提にした授業づくり、学級づくりを行うために必要な教員の資質を検討し、自分自身に合った方法を検討する。
・これらの授業を通じて、インクルーシブな社会の基礎となる多様性を認め合うための、授業づくり、学級づくりを目指す教員となるための資質を涵養する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
・授業中に示した課題に関してレポート、パワーポイント等にしてまとめて提出
　※各回で示した資料等を確認することなど予習復習を合わせて2時間程度行うこと

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 卒業論文テーマに関連する研究論文等の発表、ディスカッション(1)
3. 卒業論文テーマに関連する研究論文等の発表、ディスカッション(2)
4. 卒業論文テーマに関連する研究論文等の発表、ディスカッション(3)
5. 卒業論文テーマに関連する研究論文等の発表、ディスカッション(4)
6. 当事者を支える施設等へのフィールドワーク【学外授業】(1)
7. フィールドワークの感想と討議
8. 当事者を支える施設等へのフィールドワーク【学外授業】(2)
9. フィールドワークの感想と討議
10. 卒業論文テーマと研究目的の発表(1)
11. 卒業論文テーマと研究目的の発表(2)
12. 卒業論文テーマと研究目的の発表(3)
13. まとめ
　※当事者を支える施設等へのフィールドワークの実施時期については、時期が変更となる可能性がある

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル	発達障害のある子どもなどが在籍することを前提にした授業づくり・学級づくりを中心に	演習	
担当者	田中　裕一		

[成績評価方法]
レポート及び発表内容（40%）、討議内容（40%）、授業態度（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・授業中におけるコメント等によるフィードバック
・オフィスアワーにおける対応

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート及び発表内容、討議内容から評価

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート及び発表内容、討議内容、授業態度から評価

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：v

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：レポート及び発表内容、討議内容、授業態度から評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート及び発表内容、討議内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レポート及び発表内容、討議内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート及び発表内容、討議内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート及び発表内容、討議内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート及び発表内容、討議内容、授業態度から評価

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:通常学級の発達障害児の「学び」を、どう保障するか 著者名:田中裕一 出版社名:小学館 ISBN:9784098402137
書籍名:LDの子が見つけたこんな勉強法 著者名:田中裕一・野口晃菜 出版社名:合同出版 ISBN:9784772615396

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉川　芳則		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
国語科教育に関する論文作成に関して、全体と部分との整合性を意識し、学術的観点を踏まえた執筆ができる知識・技能を身に付けることができるようになる。

[授業概要]
自身の卒業論文について、序論、本論、結論の各部分についての具体的な論述のあり方について確認・検討し、論文完成に向けての作業を進める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
事前に配付した資料等を読んで、内容を確認しておいてください。各回の授業中に出されたレポート課題等は、次回までの授業時間外に仕上げておいてください。(各回、予習・復習合わせて4時間程度。)

[授業計画]
1 研究の全体構想について
2 先行研究の整理、扱い方について
3 先行研究の具体的な分析について
4 研究の目的の精査・確認
5 本論部の内容の構成について
6 本論部の内容の多角的な分析について
7 図表、注、文献等の処理・表記の仕方の検討
8 本論部の内容の精査・確認
9 本論部の内容(結果)の執筆
10 本論部の内容(考察)の執筆
11 結論部の内容について
12 序論部の内容について
13 論文全体の整合性について

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉川　芳則		

[成績評価方法]
授業中の課題(50%)レポート(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的には授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度(50%)、授業中の課題(30%)、レポート(20%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題(50%)、レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業態度(50%)、授業中の課題(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業中の課題(50%)、レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業中の課題(50%)、レポート(50%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中川　欣子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
教育保育に関する理論や知識等から実践的に学び設定した研究テーマをもとに、卒業研究に向けた見通しをもち、テーマに即した調査を行い発表する。また、課題研究をとおして、保育実践力を身につける。

[授業概要]
教育学講読や実習等で見つけた自身の課題をもとに設定した研究テーマへの興味関心を深めるとともに、それらの課題を解決するための具体的な方法について学ぶ。また、保育専門者としての自覚し、保育実践力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
日頃から教育保育に関する事柄に興味関心をもち、主体的に課題に取り組んでください。

[授業計画]
1.研究についてのガイダンス
2.研究課題についての構想
3.研究課題についての構想①(発表会)
4.研究課題についての構想②(発表会)
5.研究方法について
6.フィールドワーク等の計画・実施について
7.フィールドワークのまとめ
8.フィールドワークのまとめ(発表会)
9.フィールドワークについて(発表会)
10.研究課題についてのまとめ
11.研究計画についてのプレゼンテーション(準備)
12.研究計画についてのプレゼンテーション①
13.研究計画についてのプレゼンテーション②

科目名	教育学演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中川　欣子		

[成績評価方法]
発表(提出課題)70%　課題取り組みに対する姿勢30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業時間内で行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	穴田　恭輔		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
卒論テーマの設定に向けての基本的な事柄を修得する。

[授業概要]
初等教育における算数教育の課題を知り、それらの課題に対して、各自が解決方法を提案することを通して、算数教育の方法を学ぶ。算数教育へのICT活用、そして小学校で必修化されたプログラミングは「算数におけるプログラミング」として考察することも含む。基本文献を購読し、討論もしくは模擬授業を行う。
なお、当研究室では、当科目の単位を修得しなければ、次の年の「卒業論文」には進めないのでしっかり学ぶこと。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
発表者は、必ずレジュメを用意する。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 算数教育の課題の概観①
3. 算数教育の課題の概観②
4. 算数教育の課題の概観③
5. 基本文献の講読、発表①
6. 基本文献の講読、発表②
7. 基本文献の講読、発表③
8. 基本文献の講読、発表④
9. 基本文献の輪読、発表⑤
10. 基本文献の講読、発表⑥
11. 基本文献の講読、発表⑦
12. 基本文献の講読、発表⑧
13. 基本文献の講読、発表⑨

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	穴田　恭輔		

[成績評価方法]
発表（50%）、提出物（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表、提出物

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：発表、提出物

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表、提出物

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表、提出物

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
子どもや保育をめぐるさまざまな諸問題について関心を持ち、まとめることができる。

[授業概要]
各自問題意識を掘り下げ、その問題に関連する文献を収集し、発表する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業内で指示する課題を完成させてくること。新聞に目を通し、社会問題にも目を向けること。
各回予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1.子どもや保育をめぐる諸問題について考える
2.ディスカッション　視野を広げる
3.関連文献検索方法
4.関連文献収集、読み込み
5.文献紹介
6.文献紹介相互評価
7.ディスカッション
8.問題意識を深化させる
9.関連文献収集
10.文献及び考察まとめ
11.文献及び考察　発表
12.相互評価
13.最終発表

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[成績評価方法]
授業参加態度50%　提出物50%
授業参加態度は積極的な態度や発言について評価をする
提出物は内容は当然のこと、期限や形式についても評価をする

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業参加態度　提出物

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:授業参加態度　提出物

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:授業参加態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業参加態度　提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業参加態度　提出物

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	稲垣　善茂		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校の教育現場で生徒を指導できるよう、国語、英語、算数など基礎学力の向上、小学校学習指導要綱の学習内容にかかわる基本的な原理・原則を理解・習得しながら、模擬授業などで授業実践力を身につけさせる。

[授業概要]
TOEICなどを題材にした英語学習、卒業論文に関わる論文（英語・日本語）やエッセイ（英語・日本語）を読み込んで基礎学力、専門系学力の向上に努める。また、小学校学習指導要綱の学習内容にかかわる基本的な原理・原則を習得・理解する。もちろん小学校3年生から始まる理科のために、小学校教員として必要な理科を中心に、算数、国語、社会、英語の基礎学力、応用力、魅力ある教え方の習得を目指す。さらに、授業指導案作成および模擬授業を行うことにより、具体的な教授方法・授業実践力を身につける。論文紹介時は、携帯電話、タブレット、PCの使用を認めている。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
Word, Excel, PowerPointの使用方法になれていることが必要である。また、模擬授業や論文紹介（PowerPoint使用）については、発表担当者が事前の準備をすること（指導案やワークシート、板書計画、論文説明資料：A4表裏1-2枚以内）。 予習復習の時間数は各回、合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. TOEICなどを題材にした英語学習1
2. TOEICなどを題材にした英語学習2
3. TOEICなどを題材にした英語学習3
4. 模擬授業①
5. 模擬授業②
6. 模擬授業③
7. 模擬授業④
8. エッセイ（英語・日本語）の講読と紹介1
9. エッセイ（英語・日本語）の講読と紹介2
10. エッセイ（英語・日本語）の講読と紹介3
11. 論文（英語・日本語）の講読と紹介1
12. 論文（英語・日本語）の講読と紹介2
13. 論文（英語・日本語）の講読と紹介3

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	稲垣　善茂		

[成績評価方法]
課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション、グループワーク（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
指導案、小論文課題、レポートなどの提出物については、赤字で添削したのち、直接返却しています。また、manabaの小テストによる課題に対しては、課題締め切り後に、ポートフォリオに採点結果と正答が公開されるようになっています。ポートフォリオを確認して復習に利用してください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション、グループワーク（50%）

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション、グループワーク（50%）

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション、グループワーク（50%）

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション、グループワーク（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション、グループワーク（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション、グループワーク（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題提出（50%）、授業中のプレゼンテーション、グループワーク（50%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
保育、教育の専門職活動の基礎的な考え方(理念、思想、理論等)について、より具体的に学ぶことを目標とする。

[授業概要]
本演習授業では、保育、幼児教育等の基礎的な考え方(理念、思想、理論等)を先達の研究業績をまず概観する。その後それを踏まえて学生自身が主体性をもって実践活動に連結し、専門的実践活動の方法を学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
社会福祉学・教育学(保育)の文献資料を選定して、事前に配布する。ゼミの時間にそれを踏まえての議論を行うことにするので、必ず事前に読み込んでくること。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. 研究の方法
3. 研究課題の探索、整理(1)
4. 研究課題の探索、整理(2)
5. 研究課題の探索、整理(3)
6. 図書館での文献資料探索
7. 文献等の講読(1)
8. 文献等の講読(2)
9. 教育、保育、福祉関連での活動実践(1)
10. 教育、保育、福祉関連での活動実践(2)
11. 教育、保育、福祉関連での活動実践(3)
12. 発表、報告、まとめ(1)
13. 発表、報告、まとめ(2)

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[成績評価方法]
ゼミでの学習への取り組み姿勢や課題レポートで評価を行う。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポート等については、添削して返却。面接指導の資料とする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業内でのレポート、諸活動の状況等によって評価する。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	乳幼児及び児童(障害のある幼児、児童、を含む)への理解を深め保育者の在り方を考える	演習	
担当者	隠岐　厚美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
乳幼児の発達・障害や保育に関連する問題を理論的・実証的に考える力をみにつける。

[授業概要]
言語聴覚士兼心理士として乳幼児の発達臨床に携わる教員が　研究の手順、文献等の収集と整理法、主な研究方法を実践的に指導する。具体的には、発表やディスカッションを通して幼児教育研究について知識を深め、効果的なプレゼンテーション能力を身につける。また保育ボランティアに参加し、文献研究と保育実践から卒業研究の方向性を探る。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業についての予習復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。
共通理解のため受講生と選んだ資料および配布された文献は熟読し、ディスカッションができる準備をすること。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 研究の進め方1　テーマについての話し合い
3. 研究の進め方2　文献、資料、データの集め方と整理の方法
4. 研究の進め方3　調査、実験の方法
5. 研究の進め方4　プレゼンテーションと研究のまとめ方
6. グループスタディの発表とディスカッション①
7. グループスタディの発表とディスカッション②
8. グループスタディの発表とディスカッション③
9. 文献研究の発表とディスカッション①
10. 文研研究の発表とディスカッション②
11 .文献研究の発表とディスカッション③
12. 参与観察の発表とディスカッション
13. まとめ　個人発表と後期に向けて

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	乳幼児及び児童(障害のある幼児、児童、を含む)への理解を深め保育者の在り方を考える	演習	
担当者	隠岐　厚美		

[成績評価方法]
「プレゼンテーション(70%)」「提出物(20%)」「授業態度:ディスカッションへの参加度(10%)」

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
原則、授業中に口頭でアドバイスやフィードバックを行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:「プレゼンテーション(70%)」「提出物(20%)」「授業態度:ディスカッションへの参加度(10%)」

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:「プレゼンテーション(70%)」「提出物(20%)」「授業態度:ディスカッションへの参加度(10%)」

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:「プレゼンテーション(70%)」「提出物(20%)」「授業態度:ディスカッションへの参加度(10%)」

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:「プレゼンテーション(70%)」「提出物(20%)」「授業態度:ディスカッションへの参加度(10%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:「プレゼンテーション(70%)」「提出物(20%)」「授業態度:ディスカッションへの参加度(10%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:「プレゼンテーション(70%)」「提出物(20%)」「授業態度:ディスカッションへの参加度(10%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:「プレゼンテーション(70%)」「提出物(20%)」「授業態度:ディスカッションへの参加度(10%)」

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	「学び」としての授業づくり	演習	
担当者	金岩　俊明		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
文献や先行研究から教育論及び授業論の基礎・基本を習得し、生活科をはじめとする学習指導の実践に必要な知識を習得や指導技術を習得する。また、小学校教育現場における諸問題についても見識を深める。

[授業概要]
・テーマ別に文献を講読し、小学校教師としての授業スタイルを確立するための知識や技能を学ぶ。さらに、模擬授業を進めながら論議し、授業の実践力を培う。
・現代の教育課題についての見識をひろげ、小学校教育の在り方を展望する。
・小学校現場での指導経験を生かし、具体的に指導法を教示する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業研究や教育現場の喫緊の問題についてのテーマをも定め、自主的に関連する文献講読を進めておくこと。なお、模擬授業の実施にあたっては、事前にプレ授業等を行い検討課題が提案できるようにしておくこと。(各回、予習復習合わせて4時間程度)

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 文献講読とディスカッション①
3. 文献講読とディスカッション②
4. 文献講読とディスカッション③
5. 文献講読とディスカッション④
6. 文献講読とディスカッション⑤
7. 模擬授業の実践と評価①
8. 模擬授業の実践と評価②
9. 模擬授業の実践と評価③
10. 模擬授業の実践と評価④
11. 模擬授業の実践と評価⑤
12. 模擬授業の実践と評価⑥
13. まとめ

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	「学び」としての授業づくり	演習	
担当者	金岩　俊明		

[成績評価方法]
ディスカッション及び模擬授業実践（100%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題については、授業内で返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表・模擬授業・レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：発表・模擬授業・レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表・模擬授業・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・模擬授業・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表・模擬授業・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表・模擬授業・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表・模擬授業・レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
卒業研究に関する活動を進める上で必要な、情報を収集、分析、整理、表現する力を身につけることができる。

[授業概要]
卒業研究に取り組む上で必要な、ゼミでの学び方や研究の進め方を理解するために文献の探索や要約、分類や学会発表の見学等を行います。その中で卒業研究のテーマを設定していきます。
　小中学校勤務歴31年の者が教育現場における諸問題について、テーマの決め方などをアシストします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、準備とふりかえりについて4時間程度の学習を求めます。具体的には、自身の興味関心に合わせて諸津行論文のテーマと関連のありそうな文献を見つけ出し、精読した上でその内容をプレゼンテーションできるようにまとめておいてください。

[授業計画]
1.ゼミでの学び方
2.論文の書き方
3.文献の集め方
4.研究の進め方
5.卒業論文の書き進め方
6.研究テーマ(仮)の検討
7.研究テーマ(仮)に関連する社会的背景の整理
8.研究テーマ(仮)に関連する先行研究の講読・要約①
9.研究テーマ(仮)に関連する先行研究の講読・要約②
10.研究テーマ(仮)に関連する先行研究の講読・要約③
11.研究テーマ(仮)に関連する先行研究の講読・要約④
12.学会発表等の見学やフィールドワーク①
13.学会発表等の見学やフィールドワーク②

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
ゼミ活動に対する取り組み（20%）、各回の課題（60%）、先行研究のプレゼンテーション（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:特に指定しませんが、必要なときは授業内で紹介します。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	図書館の教育的価値を知る	演習	
担当者	坂下　直子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・広義の教育における図書館の意義を理解する。
・人類の歴史において、知の欲求を充足するために、時空を超えて発展を遂げた図書館が、狭義の教育現場で果たす役割についても理解する。
・文献講読を通して、問題意識を芽吹かせる。

[授業概要]
論文を執筆する際に必要なアカデミック・スキルズを学び、各段階での作業に取り組む。とりわけ本科目においては、各自で参考となる文献を見出し、読解し、要約した内容を発表し合い、参加者全員で討論をする。時には、各図書館種等を訪問し、フィールドワークを行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
保・幼・小・中・高・大の時代に体験した図書館での学びについて想起し、図書館と教育に関する報道から現代的な事項を知って論点を探ってほしい。講義で議論となった点については、webおよび図書館等で調べ、次回の講義で成果を発表し合うので、予習・復習で約2時間を要することとなる。

[授業計画]
1. イントロダクション
2. アカデミック・スキルズ① 知る
3. アカデミック・スキルズ② 調べる
4. アカデミック・スキルズ③ 読む
5. アカデミック・スキルズ④ 考える
6. アカデミック・スキルズ⑤ 整理する
7. アカデミック・スキルズ⑥ 伝える
8. アカデミック・スキルズ⑦ 書く(基礎編・応用編)
9. 文献講読と発表
10. 文献講読と発表
11. 文献講読と発表
12. 文献講読と発表
13. 文献講読と発表

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	図書館の教育的価値を知る	演習	
担当者	坂下　直子		

[成績評価方法]
発表（50%）、議論への取り組み度（50%）で総合的に評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
講義内および、manaba、メールで行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤　浩樹		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
文献の講読を通して、教育および授業について考えを深めることができる。
授業づくりの演習・学級づくりの演習を通して、授業づくり・学級づくりのポイントを理解することができる。
研究的な視点を持って学習指導案を作成し、模擬授業を行うことができる。模擬授業を振り返り、よい授業に必要ことを考えることができる。

[授業概要]
①教育のあり方、教師のあり方、授業のあり方に関わる文献を講読・発表し、ディスカッションする。
②授業づくり演習・学級づくり演習を行い、授業づくり・学級づくりのポイントについて考え、ディスカッションする。
③各自テーマを決めて教材研究を行い、授業案を作成する。模擬授業を行い、ディスカッションする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
発表レポート、模擬授業案作成には、質の高いものを作成しようとする姿勢で取り組むこと。参加者全員がテーマについて問題意識を持って授業に臨むこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 基本文献の講読・発表とディスカッション①
3. 基本文献の講読・発表とディスカッション②
4. 先輩の模擬授業から学ぶ
5. 授業づくり演習①
6. 授業づくり演習②
7. 模擬授業とディスカッション①
8. 模擬授業とディスカッション②
9. 模擬授業の振り返りーよりよい授業とはー
10. 神戸大学附属小学校授業公開Ⅰ参加
11. 学級通信の分析
12. 学級づくり演習
13. まとめ

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤　浩樹		

[成績評価方法]
レポート(40%)、模擬授業への取り組み(40%)、授業への姿勢(20%)。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:レポート・発表、授業に取り組む姿勢

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:レポート・発表、授業に取り組む姿勢

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:レポート・発表、授業に取り組む姿勢

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート・発表、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート・発表、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート・発表、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート・発表、授業に取り組む姿勢

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
保育や教育(特に体育・スポーツ分野)に関する理論や知識、考え方などを経験的・実践的な視点から学ぶことを目標とする。

[授業概要]
文献や先行研究から体育・スポーツに関わる基礎・基本を習得し、小学校の体育授業や幼児期の運動遊びに必要な実践的指導力を高める。また、学校園現場における諸問題についても見識を深める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
教育現場に出向き、子どもの実態を知る。または遊びの現場でこどもと身近に触れ合い子ども理解をする。

[授業計画]
第1回　オリエンテーション: ゼミの進め方について
第2回　体育科教育学(幼児期の運動遊びも含む)についての概説
第3回　体育・スポーツについての概説
第4回　文献講読(1)
第5回　文献講読(2)
第6回　文献講読(3)
第7回　研究テーマについての探求(1)
第8回　研究テーマについての探求(2)
第9回　研究テーマについての探求(3)
第10回　論文の書き方について (1)
第11回　論文の書き方について (2)
第12回　保育教育現場の状況視察(可能であれば見学)
第13回　保育教育現場の状況視察(可能であれば見学)

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
受講態度（授業参加度など）30%、課題内容70%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中、授業前後に行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：受講態度（授業参加度など）、課題内容

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：受講態度（授業参加度など）、課題内容

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：受講態度（授業参加度など）、課題内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度（授業参加度など）、課題内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：受講態度（授業参加度など）、課題内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：受講態度（授業参加度など）、課題内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：受講態度（授業参加度など）、課題内容

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とする。
①教育の情報化と情報技術の基本概念を理解し、教育現場での役割を把握する。
②ICTを活用して保育教材を開発するスキルを向上し、実践的な利用能力を身につける。
③情報収集や調査方法など、研究の進め方について理解を深める。

[授業概要]
教育の情報化と情報技術の基本概念を理解し、ICTを活用した保育教材の開発スキルを向上させる。また、文献調査、研究テーマの発表を通して、総合的な学習スキルを育成し、異なる分野の知識を統合するための学術的なアプローチを習得する。そして、研究と実践を組み合わせ、教育現場における有効な教育方法について検討する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の講義の復習

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 教育の情報化についての概説
3. 情報技術についての概説
4. ICTを活用した保育教材の研究(1)
5. ICTを活用した保育教材の研究(2)
6. ICTを活用した保育教材の研究(3)
7. 研究の進め方1　テーマについての話し合い
8. 研究の進め方2　文献、資料、データの集め方と整理の方法
9. 研究の進め方3　調査、実験の方法
10. 文献講読(1)
11. 文献講読(2)
12. 研究テーマの発表と文献紹介(1)
13. 研究テーマの発表と文献紹介(2)

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[成績評価方法]
授業への取り組み方や姿勢（30%） 、課題（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田中　美紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
文献を精読し解釈する能力を身につけ、問題点を見つけ理路整然と議論をまとめることができる。

[授業概要]
教育学史上で重要な古典的文献をクラスで読みながら、教育学の持つ意義と役割を西洋思想を通して理解し、教育学に関する基礎的知識を得る。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
指定された文献・資料をあらかじめ読んでおくこと。各回、予習復習あわせて2時間程度。

[授業計画]
1. 導入、教育学とは？
2. プラトン『ソクラテスの弁明』①
3. プラトン『ソクラテスの弁明』②
4. プラトン『ソクラテスの弁明』③
5. ルソー『エミール』①
6. ルソー『エミール』②
7. カント『道徳形而上学の基礎づけ』①
8.カント『道徳形而上学の基礎づけ』②
9.カント『道徳形而上学の基礎づけ』③
10. カント『道徳形而上学の基礎づけ』④
11. カント『教育学』①
12. カント『教育学』②
13. カント『教育学』③

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田中　美紀子		

[成績評価方法]
授業での発言・活動（50%）、レポート(50%)。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポートは添削して返却する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：授業態度、個人発表、レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：授業態度、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：個人発表、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業態度、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:ソクラテスの弁明・クリトン（プラトン） 著者名:プラトン 出版社名:岩波書店 ISBN:9784003360118
書籍名:エミール　下 著者名:ルソー, J-J.　出版社名:岩波書店 ISBN:9784003362235
書籍名:道徳形而上学の基礎づけ 著者名:カント 出版社名:岩波文庫 ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	谷山　優子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	模擬授業	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・「これからの社会を生きる力の育成」や「ユニバーサルデザインの授業」について研究し、卒業論文研究に向けてテーマを絞っていく。
・学校現場等で積極的に活動を行い、資質の高い教員としての実践力を身に付けていく。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題（学級づくり、授業づくり、生徒指導、特別支援教育等）への対応を指導する。生徒指導論や教育相談の授業で学んだ理論および指導方法をさらに深める。最新の教育課題について関心を持ち進んで探究し、ディスカッションを通して探究していく。ユニバーサルデザインの授業の視点での指導方法を模擬授業を通して研究する。フィールドワークや体験活動を積極的に取り入れ、知識や見聞を広め、多様性を認め合う社会、多様性を認め合う学級づくりをめざす教員としての資質を涵養する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
関心を持った教育課題を探求し、レポートにまとめ提出するなどおこなう。＜2時間程度＞
各自の卒業論文のテーマに関連する資料を読む。＜2時間程度＞

[授業計画]
1. ユニバーサルデザイン（UD）の授業
2. UD模擬授業とこれからの社会を生きるカディスカッション①
3. UD模擬授業とこれからの社会を生きるカディスカッション②
4. UD模擬授業とこれからの社会を生きるカディスカッション③
5. フィールドワーク①＜学外授業＞
6. ICT・タブレットの授業教材作成①
7. ICT・タブレットの授業教材作成②
8. ICT・タブレットの授業教材作成③
9. 「算数」（低学年）の授業と課題（教育実習に向けて）
10. 「算数」（高学年）の授業と課題（教育実習に向けて）
11. 「国語」の授業と課題（教育実習に向けて）
12. 「道徳」の授業と課題（教育実習に向けて）
13. フィールドワーク②＜学外授業＞

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	谷山　優子		

[成績評価方法]
授業中の課題（口頭試問を含む）（50%）、授業以外の研究課題（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中の課題に対してコメント等のフィードバックを返します。
授業以外の各自の探究課題に対して個別に指導助言、レポートの添削等を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や課題の取り組み、レポート等で評価していく。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語学、英語教育学に関わる論文や文献資料を自ら収集し、それらを読み解き、日本語・英語を使って論理的に説明できると同時に、多角的な視点から意見交換ができる。

[授業概要]
英語学、英語教育学に関するテーマについて文献を調べ、纏め、日本語と英語の両言語を使って発表を行う。その際、文献の探し方、専門用語等について説明する。意見交換をしながら、各テーマに関する学びの理解を深めていく。さらに、模擬授業を実践し、その改善を図っていくことを通して、各自の研究テーマを設定する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
毎回発表を行うので、日本語・英語ともに、何度も音声を口から出して練習を重ね、準備を整えておくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 文献講読と意見交換①
3. 文献講読と意見交換②
4. 文献講読と意見交換③
5. 文献講読と意見交換④
6. 文献講読と意見交換⑤
7. 模擬授業の実践と振り返り①
8. 模擬授業の実践と振り返り②
9. 模擬授業の実践と振り返り③
10. 模擬授業の実践と振り返り④
11. 模擬授業の実践と振り返り⑤
12. 研究テーマについての検討
13. まとめ

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
発表・レジュメ(50%)、レポート(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:発表・レジュメ

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:発表・レジュメ・レポート

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:発表・レジュメ

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:発表・レジュメ

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:発表・レジュメ

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:発表・レジュメ・レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:必要に応じて資料を配付する。著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:小学校学習指導要領　外国語活動・外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051685
書籍名:中学校学習指導要領解説　外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
保育や教育に関する確かな理念を構築し、専門職としての豊かな実践力の基盤となる理論や知識、考え方などを経験的・実践的な視点から学ぶことを目標とする。さらに、今後専門性を高めていくための動機を高め、研究的な視点からそれらを捉えていくための感覚を身につけていく。

[授業概要]
本授業では、実践現場での経験をもとに以下の内容に関するものの中から各自が課題を見つけ出し、反省的な視点から基盤となる文献や先行研究の講読を行う。また、各自が行っている保育や教育現場での自主実習・ボランティア等についての報告を行い、保育・教育の実践力の構築につなげ、共有化を図る。
・顕在的・潜在的カリキュラムに関すること
・保育や教育の内容・方法に関すること
・子どもをとりまくコミュニケーション(主に人(保護者や保育者、周囲の子どもなど)とのかかわり)に関すること
・子どもの心の育ち(道徳性の芽生えなど)に関すること
・幼保小の連携などの保育・教育現場の諸問題に関すること
・保育や教育の改善を目指した研究法に関すること
・諸外国の幼児教育・保育に関すること
・子どもの遊び・遊び集団に関すること
・「資質・能力」を育む保育や教育に関すること　など

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の講義内容を復習し理解して、次回の講義(研究)の予習をしておくこと。日常的に講義(研究)に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度、演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. これまでのボランティア等のフィールドワークについてのリポート
3. 保育・幼児教育の実践への理解を深める1(保育の計画)
4. 保育・幼児教育の実践への理解を深める2(保育の実施と反省)
5. 自らの問題意識と学びの模索
6. 自らの問題意識と学びの方向性の構築(発表会)
7. ボランティア等のフィールドワークについてのリポート1
8. 研究に向けてのガイダンス
9. 保育・幼児教育現場・実践者からの学び(先輩保育者との交流を通して)
10. 研究課題に関する文献等の講読1
11. 研究課題に関する文献等の講読2
12. ボランティア等のフィールドワークについてのリポート2
13. 学びのまとめ(研究発表会)

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[成績評価方法]
レポート課題（60%）発表（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
適宜指導を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート課題、発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：レポート課題、発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート課題、発表を総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート課題、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題、発表を総合的に評価する。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	村田　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校の教育現場で理科を指導できるよう、小学校理科の学習内容にかかわる基本的な原理・原則を理解・習得しながら、授業実践力を身につける。

[授業概要]
小学校理科の学習内容(主に地学・物理分野)にかかわる基本的な原理・原則を習得・理解する。また、個別に小学校理科の授業指導案作成および模擬授業を行うことにより、具体的な教授方法・授業実践力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
模擬授業担当者は、授業前に準備(指導案・ワークシート・板書計画の作成など)をする。担当者以外の人は、模擬授業で扱う単元について予習する。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.小学校理科の教育課程について①
3.小学校理科の教育課程について②
4.模擬授業①
5.模擬授業②
6.実験・観察の技術①
7.実験・観察の技術②
8.実験・観察の技術③
9.小学校理科の教育課程について③
10.小学校理科の教育課程について④
11.小学校理科の教育課程について⑤
12.小学校理科の教育課程について⑥
13.まとめ

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	村田　恵子		

[成績評価方法]
課題（40%）・プレゼンテーション（模擬授業など）（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
指導案・ワークシートなどの添削・修正を繰り返し完成させる。修正箇所については随時説明する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：課題とプレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：課題とプレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：課題とプレゼンテーション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題とプレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：課題とプレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題とプレゼンテーション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：課題とプレゼンテーション

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	美術作品の研究と制作	演習	
担当者	守本　智美		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
美術作品を制作し、また各自興味の持てるテーマで美術の研究を行い、豊かな感性を育むことを目的とする。

[授業概要]
美術作品の制作を通して、描き、創造する喜びや楽しさを学びます。特にあらゆる美術の基礎となるデッサンには重点を置き、観察力、描写力をつけ、多様な表現を試みます。題材としては主として静物、風景、人物、さらには抽象的なものを取り上げてデッサンの技法の習得を行い、デッサン用具の扱いになれることに主眼を置きます。着色は水彩絵具または油絵具等で行い作品を完成させます。さらに、各自の好きなテーマで作品制作を行います。また、好きな作家や作品、その他、技法、材料等をはじめ、美術に関係したことの中から各自興味のあるテーマを設定し研究を行います。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。美術館で本物の作品を鑑賞したり、画集でも授業で関連する内容の作品はよく見て、自分の作品制作や研究に生かすこと。manaba（マナバ）にて授業に必要な連絡をするので、必ずmanabaに登録しておくこと。

[授業計画]
1.はじめに（manaba上にて指示します）
2.デッサンの技法と作例鑑賞
3.デッサン①（静物・風景・人物のジャンルから）
4.デッサン②（制作）
5.各自のテーマを見つけて作品制作①（絵画、デザイン、彫刻、工芸）
6.各自のテーマを見つけて作品制作②（絵画、デザイン、彫刻、工芸）
7.各自のテーマを見つけて作品制作③（絵画、デザイン、彫刻、工芸）
8.各自のテーマを見つけて作品制作（仕上げ）
9.好きな作品を探そう①（日本美術、西洋美術）
10.好きな作品を探そう②（日本美術、西洋美術）
11.好きな作品の研究①（日本美術、西洋美術）
12.好きな作品の研究②（日本美術、西洋美術）
13.まとめ（作品・研究の解説）

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	美術作品の研究と制作	演習	
担当者	守本　智美		

[成績評価方法]
レポート(50%)・作品(50%)による総合評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題作品等に対するコメントを行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:レポート(50%)・作品(50%)による総合評価。

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:レポート(50%)・作品(50%)による総合評価。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:レポート(50%)・作品(50%)による総合評価。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート(50%)・作品(50%)による総合評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート(50%)・作品(50%)による総合評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート(50%)・作品(50%)による総合評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート(50%)・作品(50%)による総合評価。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	教育学に関する興味・関心を深める	演習	
担当者	山内　紀幸		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1 教育学に関する興味・関心を深める
2 簡単なレポートを作成する能力を高める
3 実地調査研究の基本的な手法を学ぶ

[授業概要]
教育学に関する書物を読解し、その要約を発表させる。発表内容について参加者で討論を行い、問題所在の整理、関連事項への関心を高めていけるようにする。また、適時、実地調査研究を行い調査研究の基本的な手法を取得できるようにする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
日ごろから教育に関する新聞記事やニュースを見るようにし、興味・関心を喚起する教育問題についてアンテナを張っておくこと。また発表時には、レジュメを作成し、分かりやすい文章づくりを行うこと。授業後は問題となった学習課題について、図書館等で調べること。予習と復習で2時間を充てること。

[授業計画]
1 ガイダンス
2 学外実習① 実地調査研究
3 発表1＆ディスカッション 発表2＆ディスカッション
4 発表3＆ディスカッション 発表4＆ディスカッション
5 発表5＆ディスカッション 発表6＆ディスカッション
6 学外実習① 実地調査研究
7 学外実習② 実地調査研究
8 発表7＆ディスカッション 発表8＆ディスカッション
9 発表9＆ディスカッション 発表10＆ディスカッション
10 発表11＆ディスカッション 発表12＆ディスカッション
11 学外実習③ 実地調査研究
12 学外実習④ 実地調査研究
13 まとめ

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	教育学に関する興味・関心を深める	演習	
担当者	山内　紀幸		

[成績評価方法]
発表内容50%　実施調査レポート30%　討議内容20%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaを通じてフィードバックを行う。オフィスアワーでも対応する

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:小レポート

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:小レポート

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:ディスカッション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:小レポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	私と英語教育との関わり、視点から英語教育の課題発見へ	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
日本の英語教育をめぐる話題について知り、受講生自身の経験と照らし合わせながら分析を加えることができるようになる。必要な文献を的確に調査し、読解できるようになる。そのことから英語教育について客観的に考える力を身に着けるとともに、日本の英語教育の現状を知り、課題を発見できるようになる。

[授業概要]
これまでに受けてきた英語教育について振り返ることから始めます。どのような授業を受けてきたでしょうか。教科書はどのような内容で構成されていたのでしょうか。英語の授業ではどんな方略が使われていたでしょうか。それらのことを英語教育について書かれた文献と照らし合わせながら、分析を試みてみましょう。そのことから英語教育の課題を発見していくこととします。担当教員は、中学校で英語授業を行っていました。さらに、小学生から大学生まで英語を教えた経験がありますので、それらの経験も活かしながら授業を進めていきます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎回、文献を探して読み、その中からわかったことを発表できるようにしておきましょう。わからない部分は質問することにしてノートに書きだして授業に参加すること。あなたの発見と疑問に基づいて授業では背景にある理論や歴史を考えていくことになります。予習復習合わせて4時間程度の学習が必要になるでしょう。

[授業計画]
以下に毎回取り扱うテーマを設定してありますので、これに基づいて、自習しましょう。これらと並行して受講生に合う英語練習問題にも取り組みます。
1. 英語教育って何：イントロダクション
2. これまでに受けてきた英語教育：自身の興味関心を的確にする
3. 学習者としての英語教育
4. 英語授業での学習方略
5. 英語のリスニング
6. 英語のスピーキング
7. 英語のリーディング
8. 英語のライティング
9. 教科書を分析してみよう
10. 英語の語彙学習
11. 英語文法の学習方法
12. 英語授業の成立とはどのようなこと
13. まとめとしての中間発表、ならびに討議

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	私と英語教育との関わり、視点から英語教育の課題発見へ	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
授業の予習(30%)、復習および自習(30%)、中間発表(40%):予習は文献調査と読解。復習はわかったことや疑問をまとめること、中間発表会を実施しますので、原稿やスライドを作成して発表し、受講生同士の相互評価も行いましょう。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートは、後日添削して返却します。中間発表は学習の総まとめとして行います。相互評価を含めて事後に深化する時間を設けます。あわせて、レポートを提出します。詳細は授業で指示します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業の予習、復習で評価します。

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:授業の予習、復習で評価します。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:授業の予習、復習、中間発表の内容で評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業の予習、復習で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:中間発表、まとめで評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:中間発表、まとめで評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業の予習、復習で評価します。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	「学ぶ」ことの意味を問い直す	演習	
担当者	水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
「学び」に関する様々な考え方を吟味し、「教師」として拠って立つ「学習観」を築く。

[授業概要]
参考書の『「学ぶ」ということの意味』が問題提起する「学び」に関する論考を軸に、その本の参考文献で取り上げられている様々な文献を読み進めながら、「学ぶ」ことの意味を問い直していく。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎週、予習復習合わせて2時間程度。
毎週、事前に配布した資料を読み、A4で1枚に要旨とコメントを書く。
授業後、授業の「振り返り」レポートを書き次回の授業で提出する。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.人はなぜ学ぶのか
3.教えることと学ぶこと
4.学びにおける他者
5.学びのドーナッツ論（1）
6.学びのドーナッツ論（2）
7.「まねる」ことと「学ぶ」こと
8.「なってみる」ことによる学び
9.参加としての学び（1）
10.参加としての学び（2）
11.共同体への参加（1）
12.共同体への参加（2）
13.学びを回復する道

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	「学ぶ」ことの意味を問い直す	演習	
担当者	水野　邦太郎		

[成績評価方法]
レポート (50%)、発表 (50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中及び、manaba 掲示板を利用して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:レポート
発表

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:レポート
発表

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:レポート
発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート
発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート
発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート
発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート
発表

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:「学ぶ」ということの意味 著者名:佐伯 胖 出版社名:?岩波書店 ISBN:4000039326

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	久木山　健一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
各自が自分の興味に関連のある論文を読み込むことを通じてテーマに関する問題意識を高めると共に，論文を問題と目的・方法・結果・考察・文献の構造に沿って理解できるようになり，心理学演習での取り組みに発展させることも目指します。

[授業概要]
ゼミ担当教員の指導のもとに、心理学の各領域に関する論文を講読します。「発達」「認知・学習」「人格（パーソナリティ）」「臨床」「社会」などの領域から，ゼミ担当教員の専門領域を中心に各自が関心をもつ領域・テーマにそった論文をえらび，順番にその内容について発表資料を作成して紹介しあいディスカッションしながら心理学の専門的テーマへの理解を深めていきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
予習:論文を読むために必要な心理学の知識や研究法について幅広く知識を高めておいてください。
復習:論文の中で分からない用語や分析手法があった場合は，逐一調べておいてください。
各回，予習復習合わせて2時間程度の学習が求められます。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 文献検索の方法について
3. 先行研究や最新データについて
4. 心理学研究法(文献研究、事例研究)について
5. 心理学研究法(調査研究、実験研究)について
6. 文献研究についての発表とディスカッション1
7. 文献研究についての発表とディスカッション2
8. 文献研究についての発表とディスカッション3
9. 文献研究についての発表とディスカッション4
10. 文献研究についての発表とディスカッション5
11. 文献研究についての発表とディスカッション6
12. 文献研究についての発表とディスカッション7
13. 各研究テーマのまとめ

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	久木山　健一		

[成績評価方法]
発表(60%), 討議への参加態度(40%)によります。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	子どもたちのための豊かな衣食住の実現を目指して	演習	
担当者	奥川　あかり		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 家族や家庭生活、衣食住をはじめ環境や消費生活における教育論及び授業論の原理・原則を理解する
2. 文献講読を通じて現状を理解し、課題を見出す
3. 調査研究を通じて課題を解決する力を習得する

[授業概要]
1. 家族や家庭生活、衣食住をはじめ環境や消費生活の在り方を文献講読とその要約や発表、討議を通じで展望する
2. 家庭生活に関連する問題を設定し、調査研究する
3. 家庭科教育の現状と課題を理解したうえで課題解決に向けた教材研究や提案を行う
4. 評価や議論を通じて課題を見出す能力と問題解決力を身につける

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の予習・復習を行い、日常的に家庭生活におけるあらゆる事象に関心と問題意識を持つようにする
自主的に関連する文献講読を進めたうえで先行研究や実践例を調べてから受講すること

[授業計画]
1. オリエンテーション(文献の集め方・研究の進め方)
2. 文献講読・発表・討議(1)環境・SDGsⅠ
3. 文献講読・発表・討議(2)環境・SDGsⅡ
4. 文献講読・発表・討議(3)金融教育Ⅰ
5. 文献講読・発表・討議(4)金融教育Ⅱ
6. 文献講読・発表・討議(5)住生活
7. 文献講読・発表・討議(6)衣生活Ⅰ
8. 文献講読・発表・討議(7)衣生活Ⅱ
9. 文献講読・発表・討議(8)衣生活Ⅲ
10. 文献講読・発表・討議(9)食生活Ⅰ
11. 文献講読・発表・討議(10)食生活Ⅱ
12. 文献講読・発表・討議(11)食生活Ⅲ
13. 総括と家庭科教育の課題の発見・発表・討議

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	子どもたちのための豊かな衣食住の実現を目指して	演習	
担当者	奥川　あかり		

[成績評価方法]
課題:70%
発表:30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業内で行います

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:課題、発表

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:課題、発表

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:課題、発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題、発表

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	ダイバーシティ(多様性)の時代に対応した学級経営の視点　卒業論文研究(書き方と調べ方)	演習	
担当者	上野　昌稔		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○ダンス
プレゼンテーション	○学級経営	実習、フィールドワーク	障のある方の進路の
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・ダイバーシティ(多様性)の時代、発達障害等のある子ども、LGBTQ，日本語指導を必要とする子どもなどが在籍することを前提にした学級担任として理解しておくべき知識及び技能を身につける。
・生徒指導と多様性への対応(集団指導と個別指導)、自立活動、表現者としての教師(子どもにとって魅力のある教師とは)、アウトプットの質と量など多面的に学級経営を捉え、学級経営の実際に活かせる技能を身につける。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。
・卒業論文研究計画書作成のための論文の書き方と先行研究の調べ方を学ぶ。

[授業概要]
・この授業では、学校現場での教員や教育行政(教育委員会、文部科学省)等の経験のある教員が、その経験を活かして、発達障害のある子どもなどが在籍することを前提にした授業づくり、学級づくりに関する基本的な事項、対応方法について指導する。
・多面的な学級経営に関して、自らを表現者としてディスカッションを通して、主体性をさらに伸ばしていく。
・ノンバーバルコミュニケーションについては、コンテンポラリーダンスなどの実技を通して、その重要性と効果について実感できる機会を設定し、さらに後期の「教育学演習」において、深く学んでいく。
・これらの授業を通じて、子どもの多様性理解とその対応方法等について学び、インクルーシブな社会の基礎となる多様性を尊重した「令和の時代の学級経営」に対応できる教員となるための資質を涵養する。
・卒業論文の構成と先行研究の調べ方を学び、卒業論文のイメージを掴む。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・授業内容に関する基礎となる用語等について調べて理解しておくこと
・授業中に提示する課題に関してレポート、パワーポイント等にして提出
　※各回で示した資料等を確認することなど予習復習を合わせて2時間程度行うこと

[授業計画]
1. ダイバーシティと学校教育の現状
2. ニューロダイバーシティの考え方とリーダーシップ
3. 卒業論文の構成と書き方
4. 通常の学級における「自立活動」の重要性
5. ユニバーサルデザインと学級経営
6. ノンバーバルコミュニケーションの重要性1(どれだけの情報が伝わるのか)
7. ノンバーバルコミュニケーションの重要性2(心理学的側面からのアプローチ)
8. 表現者としての教師①(コンテンポラリーダンスによるアウトプットを通して)
9. 表現者としての教師②(コンテンポラリーダンス体験)
10. 卒業論文　先行研究の調べ方について
11. 「令和の時代の学級経営」に必要な知識・技能に関する発表(アウトプット)
12. 「令和の時代の学級経営」に必要な知識・技能に関する討議
13. まとめ
※コンテンポラリーダンス体験の実施時期については、時期が変更となる可能性がある

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	ダイバーシティ(多様性)の時代に対応した学級経営の視点　卒業論文研究(書き方と調べ方)	演習	
担当者	上野　昌稔		

[成績評価方法]
レポート及び発表内容(50%)、討議内容(40%)、表現力(10%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
・授業中におけるコメント等によるフィードバック
・オフィスアワーにおける対応

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協調して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:毎回、プリント配布 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	発達障害のある子どもなどが在籍することを前提にした授業づくり・学級づくりを中心に	演習	
担当者	田中　裕一		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・発達障害のある子どもなどが在籍することを前提にした授業づくり・学級づくりを含む学校教育における現状と課題について学ぶとともに、興味関心のある書籍等をまとめること等により、卒業論文研究のテーマを絞り込む。
・発達障害を含む学びに困難を抱える子どもの対応について考え、学校現場において子どもの困難に対応できる実践力を身につける。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。

[授業概要]
・この授業では、学校現場での教員や教育行政（教育委員会、文部科学省）等の経験のある教員が、その経験を活かして、発達障害のある子どもなどが在籍することを前提にした授業づくり、学級づくりに関する基本的な事項、対応方法について指導する。
・授業づくり、学級づくりに関して、興味関心のある書物を講読し、レポート等にまとめ発表する。
・発達障害を含む学びに困難を抱えた経験がある当事者とのディスカッションやそれらの当事者を支える施設等へのフィールドワークを実施する。
・これらの授業を通じて、発達障害を含む学びに困難を抱える子どもの現状とその対応方法等について学び、インクルーシブな社会の基礎となる多様性を認め合うための、授業づくり、学級づくりを目指す教員となるための資質を涵養する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
・授業づくり、学級づくりに関する書物を講読した学びをレポート、パワーポイント等にまとめて提出
・授業中に示した課題に関してレポート、パワーポイント等にして提出
※各回で示した資料等を確認することなど予習復習を合わせて2時間程度行うこと

[授業計画]
1. すべての子どもがわかる授業づくり、多様な子どもが在籍することを踏まえた学級づくりとは何か（1）
2. すべての子どもがわかる授業づくり、多様な子どもが在籍することを踏まえた学級づくりとは何か（2）
3. レポート発表＆ディスカッション（1）
4. レポート発表＆ディスカッション（2）
5. レポート発表＆ディスカッション（3）
6. レポート発表＆ディスカッション（4）
7. 当事者を支える施設等へのフィールドワーク【学外授業】
8. 第10回のフィールドワークの感想と討議
9. レポート発表＆ディスカッション（1）
10. レポート発表＆ディスカッション（2）
11. レポート発表＆ディスカッション（3）
12. レポート発表＆ディスカッション（4）
13. まとめ
※当事者を支える施設等へのフィールドワークの実施時期については、時期が変更となる可能性がある

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル	発達障害のある子どもなどが在籍することを前提にした授業づくり・学級づくりを中心に	演習	
担当者	田中　裕一		

[成績評価方法]
レポート及び発表内容（40%）、討議内容（40%）、授業態度（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・授業中におけるコメント等によるフィードバック
・オフィスアワーにおける対応

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート及び発表内容、討議内容から評価

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：レポート及び発表内容、討議内容から評価

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート及び発表内容、討議内容、授業態度から評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート及び発表内容、討議内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート及び発表内容、討議内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート及び発表内容、討議内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート及び発表内容、討議内容、授業態度から評価

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:通常学級の発達障害児の「学び」を、どう保障するか 著者名:田中裕一 出版社名:小学館 ISBN:9784098402137
書籍名:LDの子が見つけたこんな勉強法 著者名:田中裕一・野口晃菜 出版社名:合同出版 ISBN:9784772615396

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉川　芳則		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
国語科教育に関する論文作成に関する基礎的な事柄について理解を深めると共に、自身の研究のテーマ、構想についての知見を深めることができるようになる。

[授業概要]
国語科教育に関する基本文献の読み方を学ぶと共に、文献の内容を批判的に検討するなかで、自身の研究の領域や関心事についての知見を深める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
事前に配付した資料等を読んで、内容を確認しておいてください。各回の授業中に出されたレポート課題等は、次回までの授業時間外に仕上げておいてください(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。

[授業計画]
1 研究の進め方
2 リサーチ・クエスチョンについての理解
3 文献探索についての理解
4 国語科教育に関する学術論文の読み方 1(「話すこと・聞くこと」領域)
5 国語科教育に関する学術論文の読み方 2(「書くこと」領域)
6 国語科教育に関する学術論文の読み方 3(「読むこと・文学」領域)
7 国語科教育に関する学術論文の読み方 4(「読むこと・説明文」領域)
8 国語科教育に関する学術論文の読み方 4(「語彙」)
9 国語科教育に関する学術論文の読み方 5(「言語文化」)
10 国語科教育に関する基本文献の検討(文学)
11 国語科教育に関する基本文献の検討(説明文)
12 自身が収集した文献の内容検討 1
13 研究の全体構想についてのまとめ

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉川　芳則		

[成績評価方法]
授業中の課題(50%)レポート(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的には授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中川　欣子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
保育に関する理論や知識等を経験的・実践的に学び、保育者(保育士、幼稚園教諭、保育教諭)の専門性を理解し、自身の課題を明確にする。

[授業概要]
文献や先行研究、保育における事例の検討や幼児教育の実情などを通して、教育職及び保育職の専門性についての理解を深め、保育の実践力を高める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
日頃から教育保育に関する事柄に興味関心をもち、主体的に学びを進めてください。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.文献講読と意見交換①
3.文献講読と意見交換②
4.文献講読と意見交換③
5.文献講読と意見交換④
6.保育教育現場の実践者から学ぶ(先輩保育者との交流)
7.保育・幼児教育のじ実践への理解(保育の計画・実施・評価について)
8.模擬保育の実践と振り返り①
9.模擬保育の実践と振り返り②
10.模擬保育の実践と振り返り③
11.模擬保育の実践と振り返り④
12.保育・幼児教育現場の現状について(可能であれば見学)
13.まとめ

科目名	教育学講読	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	中川 欣子		

[成績評価方法]
授業参加態度50%　提出物50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業の中で行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教育課程論	前期	2 単位
サブタイトル	教育課程は学校力を結集したもの。カリキュラム・マネジメントの主役は教職員	講義	
担当者	宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	2分間スピーチ	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
最新の教育課題について事例研究を通して学び、今日的課題への対応について理解できるようになる。
かつてないほどに「教育課程」が注目されている背景をさぐり、「教育課程」とは何かを具体的に整理できるようになる。
教育課程の基準となる学習指導要領について、戦後の教育改革から現在に至る改訂の変遷を大まかにつかみ、未来の学校教育のあり方を考えることができる。
また、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、実際の学校現場における教育課程編成のプロセスを学び、教育課程の創造的編成の基礎を習得できるようになる。

[授業概要]
教育課程には、教育目標や年間学習指導計画、週時程表、生活時間帯など数多くの内容が含まれています。教育課程は、各学校が独自に編成すべきものでsyが、公教育を担っている性格上、守るべき水準があります。しかし、それぞれの学校には、歴史的な経緯や地域性の違いだけでなく、学校規模や施設環境などの違いもあり、何よりも、克服すべき課題が異なります。この課題を克服しようと努力していく過程で、各学校の特色ある教育活動は生まれてくる。
　現場経験（校長、教諭）や教育委員会事務局、教育研修所等の経験のある者が、学習指導要領の改訂の変遷を概観するとともに、今日的な教育課題について事例をもとに、各学校が行う教育課題の克服に向けた大きな計画が「教育課程」にあることを指導します。
　また、教育課程の実施状況に加えて、学校評価や学校運営協議会（コミュニティ・スクール構想）も幅広く学び、教育課程全般の基礎について指導します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと（各回　予習・復習合わせて2時間程度）。
「学習指導要領（平成29年告示）解説・総則編」を中心に「教育課程」の概要を調べておいてください。
授業後は、本時の学習内容について、配付資料や学習指導要領解説・総則編等を参考に復習しておいてください。

[授業計画]
1. 教育課程論　～　ガイダンス、目標　～
2. 教育課程　～　学習指導要領総則より、内容、目的、方法　～
3. 戦前、戦後の教育課程の歩み　～ 戦前戦後の比較、学習指導要領の変遷　～
4. 現行学習指導要領のポイント　～ 主体的対話的で深い学び、令和の日本型学校教育～
5. 教育課程と「教科書の変遷」
6. GIGAスクール構想　～　デジタル化の目的、期待されること　～
7. 特色ある教育活動　～　各学校の特色ある教育活動・学校行事　～
8. 教育課程と教育環境　～　学校・学級、　LHRの工夫　～
9. 健全育成等への取組　～　安全教育、学校規模や生徒の課題等と生徒指導　～
10.「新たな学校評価」 ～ 実施状況調査、「新たな学校評価」のあり方と教育課程編成の関係　～
11.「カリキュラム・マネジメント」 ～　創造的実践、教科横断的な指導、課題　～
12.「社会に開かれた教育課程」～　コミュニティスクール　～
13. まとめ、カリキュラム・マネジメントについて復習

科目名	教育課程論	前期	2 単位
サブタイトル	教育課程は学校力を結集したもの。カリキュラム・マネジメントの主役は教職員	講義	
担当者	宮垣　覚		

[成績評価方法]
・毎回の授業レポート（50%）、理解度確認試験（30%）、発表・課題等を含む授業中の活動（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・毎回の授業レポートは、次回添削して返却します。
・質問や望ましい意見は、要約して次回の講義で紹介・解説をします。
・解決できていない学習上の問題点については、個別に対応します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記の、成績評価方法によって行います。

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記の、成績評価方法によって行います。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記の、成績評価方法によって行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育課程論	前期	2 単位
サブタイトル	教育課程は学校力を結集したもの。カリキュラム・マネジメントの主役は教職員	講義	
担当者	宮垣　覚		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	2分間スピーチ	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
最新の教育課題について事例研究を通して学び、今日的課題への対応について理解できるようになる。
かつてないほどに「教育課程」が注目されている背景をさぐり、「教育課程」とは何かを具体的に整理できるようになる。
教育課程の基準となる学習指導要領について、戦後の教育改革から現在に至る改訂の変遷を大まかにつかみ、未来の学校教育のあり方を考えることができる。
また、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、実際の学校現場における教育課程編成のプロセスを学び、教育課程の創造的編成の基礎を習得できるようになる。

[授業概要]
教育課程には、教育目標や年間学習指導計画、週時程表、生活時間帯など数多くの内容が含まれています。教育課程は、各学校が独自に編成すべきものでsyが、公教育を担っている性格上、守るべき水準があります。しかし、それぞれの学校には、歴史的な経緯や地域性の違いだけでなく、学校規模や施設環境などの違いもあり、何よりも、克服すべき課題が異なります。この課題を克服しようと努力していく過程で、各学校の特色ある教育活動は生まれてくる。
　現場経験（校長、教諭）や教育委員会事務局、教育研修所等の経験のある者が、学習指導要領の改訂の変遷を概観するとともに、今日的な教育課題について事例をもとに、各学校が行う教育課題の克服に向けた大きな計画が「教育課程」にあることを指導します。
　また、教育課程の実施状況に加えて、学校評価や学校運営協議会（コミュニティ・スクール構想）も幅広く学び、教育課程全般の基礎について指導します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと（各回　予習・復習合わせて2時間程度）。
「学習指導要領（平成29年告示）解説・総則編」を中心に「教育課程」の概要を調べておいてください。
授業後は、本時の学習内容について、配付資料や学習指導要領解説・総則編等を参考に復習しておいてください。

[授業計画]
1. 教育課程論　～　ガイダンス、目標　～
2. 教育課程　～　学習指導要領総則より、内容、目的、方法　～
3. 戦前、戦後の教育課程の歩み　～ 戦前戦後の比較、学習指導要領の変遷　～
4. 現行学習指導要領のポイント　～ 主体的対話的で深い学び、令和の日本型学校教育～
5. 教育課程と「教科書の変遷」
6. GIGAスクール構想　～　デジタル化の目的、期待されること　～
7. 特色ある教育活動　～　各学校の特色ある教育活動・学校行事　～
8. 教育課程と教育環境　～　学校・学級、　LHRの工夫　～
9. 健全育成等への取組　～　安全教育、学校規模や生徒の課題等と生徒指導　～
10.「新たな学校評価」 ～ 実施状況調査、「新たな学校評価」のあり方と教育課程編成の関係　～
11.「カリキュラム・マネジメント」 ～　創造的実践、教科横断的な指導、課題　～
12.「社会に開かれた教育課程」～　コミュニティスクール　～
13. まとめ、カリキュラム・マネジメントについて復習

科目名	教育課程論	前期	2 単位
サブタイトル	教育課程は学校力を結集したもの。カリキュラム・マネジメントの主役は教職員	講義	
担当者	宮垣　覚		

[成績評価方法]
・毎回の授業レポート（50%）、理解度確認試験（30%）、発表・課題等を含む授業中の活動（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・毎回の授業レポートは、次回添削して返却します。
・質問や望ましい意見は、要約して次回の講義で紹介・解説をします。
・解決できていない学習上の問題点については、個別に対応します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記の、成績評価方法によって行います。

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記の、成績評価方法によって行います。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記の、成績評価方法によって行います。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法で行います。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	稲垣　善茂		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	◯

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。それらの問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、ディベート、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通して批判的思考力、調査能力、意見表明能力、ICT活用能力の基礎を育む。さらに、入学時に配布された『レポート執筆の基礎』に基づいて、レポートを作成するスキルを身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
以下に記すのは、各クラス共通の授業内容であるが、担当教員の専門分野やクラスの人数によって、各時間の内容、ディベートを行う回数などの変更はあり得る。図書館の利用ガイダンスを受ける日程は、なるべく早いほうが良いが、第2週に限定されない。
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. ディベートの意味と流れ、ディベートのルール
4. ディベートのテーマとグループ決定、ディベートの準備:『レポート執筆の基礎』を基に情報収集・情報整理について学ぶ。
5. ディベートの準備: 各グループで意見表明準備
6. ディベートの実施と反省会
7. グループ別学習:グループ分け、テーマ決定:『レポート執筆の基礎』を基にプレゼンテーションの技術について学ぶ。
8. グループ別学習: 情報収集・情報整理
9. グループ別学習: 発表準備、PowerPointのスライド作成
10. グループ別プレゼンテーション①
11. グループ別プレゼンテーション②
12. レポートの書き方(理論):『レポート執筆の基礎』を基にレポート作成の基礎を学ぶ。
13.レポートの書き方(実践):例あるいは実際のレポートを使って、添削の練習をしながらレポートの書き方・参考文献の引用の仕方等を学ぶ。

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	稲垣　善茂		

[成績評価方法]
担当回のディベートの内容（30%）、グループ別プレゼンテーションの内容（30%）、最終レポート2000字程度（40%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
原則的には、フィードバックは適宜授業時間内で行い、最終レポートのフィードバックは返却、メールまたはKISSシステムを通じて行う。具体的には各担当教員の裁量に任せられる。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：ディベート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：グループワーク

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、グループ研究

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：ディベート、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:レポート執筆の基礎 著者名: 出版社名: ISBN:
書籍名:ディベートの基本が面白いほど身につく本 著者名:太田龍樹 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	隠岐　厚美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	◯

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。それらの問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、ディベート、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通して批判的思考力、調査能力、意見表明能力、ICT活用能力の基礎を育む。さらに、入学時に配布された『レポート執筆の基礎』に基づいて、レポートを作成するスキルを身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
以下に記すのは、各クラス共通の授業内容であるが、担当教員の専門分野やクラスの人数によって、各時間の内容、ディベートを行う回数などの変更はあり得る。図書館の利用ガイダンスを受ける日程は、なるべく早いほうが良いが、第2週に限定されない。
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. ディベートの意味と流れ、ディベートのルール
4. ディベートのテーマとグループ決定、ディベートの準備:『レポート執筆の基礎』を基に情報収集・情報整理について学ぶ。
5. ディベートの準備: 各グループで意見表明準備
6. ディベートの実施と反省会
7. グループ別学習:グループ分け、テーマ決定:『レポート執筆の基礎』を基にプレゼンテーションの技術について学ぶ。
8. グループ別学習: 情報収集・情報整理
9. グループ別学習: 発表準備、PowerPointのスライド作成
10. グループ別プレゼンテーション①
11. グループ別プレゼンテーション②
12. レポートの書き方(理論):『レポート執筆の基礎』を基にレポート作成の基礎を学ぶ。
13.レポートの書き方(実践):例あるいは実際のレポートを使って、添削の練習をしながらレポートの書き方・参考文献の引用の仕方等を学ぶ。

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	隠岐　厚美		

[成績評価方法]
担当回のディベートの内容（30%）、グループ別プレゼンテーションの内容（30%）、最終レポート2000字程度（40%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
原則的には、フィードバックは適宜授業時間内で行い、最終レポートのフィードバックは返却、メールまたはKISSシステムを通じて行う。具体的には各担当教員の裁量に任せられる。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：ディベート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：グループワーク

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、グループ研究

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：ディベート、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:レポート執筆の基礎 著者名: 出版社名: ISBN:
書籍名:ディベートの基本が面白いほど身につく本 著者名:太田龍樹 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	久木山　健一		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	◯

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。それらの問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、ディベート、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通して批判的思考力、調査能力、意見表明能力、ICT活用能力の基礎を育む。さらに、入学時に配布された『レポート執筆の基礎』に基づいて、レポートを作成するスキルを身につける。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
以下に記すのは、各クラス共通の授業内容であるが、担当教員の専門分野やクラスの人数によって、各時間の内容、ディベートを行う回数などの変更はあり得る。図書館の利用ガイダンスを受ける日程は、なるべく早いほうが良いが、第2週に限定されない。
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. ディベートの意味と流れ、ディベートのルール
4. ディベートのテーマとグループ決定、ディベートの準備:『レポート執筆の基礎』を基に情報収集・情報整理について学ぶ。
5. ディベートの準備: 各グループで意見表明準備
6. ディベートの実施と反省会
7. グループ別学習:グループ分け、テーマ決定:『レポート執筆の基礎』を基にプレゼンテーションの技術について学ぶ。
8. グループ別学習: 情報収集・情報整理
9. グループ別学習: 発表準備、PowerPointのスライド作成
10. グループ別プレゼンテーション①
11. グループ別プレゼンテーション②
12. レポートの書き方（理論）:『レポート執筆の基礎』を基にレポート作成の基礎を学ぶ。
13.レポートの書き方（実践）:例あるいは実際のレポートを使って、添削の練習をしながらレポートの書き方・参考文献の引用の仕方等を学ぶ。

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	久木山　健一		

[成績評価方法]
担当回のディベートの内容（30%）、グループ別プレゼンテーションの内容（30%）、最終レポート2000字程度（40%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
原則的には、フィードバックは適宜授業時間内で行い、最終レポートのフィードバックは返却、メールまたはKISSシステムを通じて行う。具体的には各担当教員の裁量に任せられる。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：ディベート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：グループワーク

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、グループ研究

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：ディベート、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:レポート執筆の基礎 著者名: 出版社名: ISBN:
書籍名:ディベートの基本が面白いほど身につく本 著者名:太田龍樹 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田中　美紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	◯

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。それらの問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、ディベート、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通して批判的思考力、調査能力、意見表明能力、ICT活用能力の基礎を育む。さらに、入学時に配布された『レポート執筆の基礎』に基づいて、レポートを作成するスキルを身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
以下に記すのは、各クラス共通の授業内容であるが、担当教員の専門分野やクラスの人数によって、各時間の内容、ディベートを行う回数などの変更はあり得る。図書館の利用ガイダンスを受ける日程は、なるべく早いほうが良いが、第2週に限定されない。
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. ディベートの意味と流れ、ディベートのルール
4. ディベートのテーマとグループ決定、ディベートの準備:『レポート執筆の基礎』を基に情報収集・情報整理について学ぶ。
5. ディベートの準備: 各グループで意見表明準備
6. ディベートの実施と反省会
7. グループ別学習:グループ分け、テーマ決定:『レポート執筆の基礎』を基にプレゼンテーションの技術について学ぶ。
8. グループ別学習: 情報収集・情報整理
9. グループ別学習: 発表準備、PowerPointのスライド作成
10. グループ別プレゼンテーション①
11. グループ別プレゼンテーション②
12. レポートの書き方(理論):『レポート執筆の基礎』を基にレポート作成の基礎を学ぶ。
13.レポートの書き方(実践):例あるいは実際のレポートを使って、添削の練習をしながらレポートの書き方・参考文献の引用の仕方等を学ぶ。

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田中　美紀子		

[成績評価方法]
担当回のディベートの内容（30%）、グループ別プレゼンテーションの内容（30%）、最終レポート2000字程度（40%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
原則的には、フィードバックは適宜授業時間内で行い、最終レポートのフィードバックは返却、メールまたはKISSシステムを通じて行う。具体的には各担当教員の裁量に任せられる。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：ディベート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：グループワーク

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、グループ研究

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：ディベート、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:レポート執筆の基礎 著者名: 出版社名: ISBN:
書籍名:ディベートの基本が面白いほど身につく本 著者名:太田龍樹 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	◯

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。それらの問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、ディベート、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通して批判的思考力、調査能力、意見表明能力、ICT活用能力の基礎を育む。さらに、入学時に配布された『レポート執筆の基礎』に基づいて、レポートを作成するスキルを身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
以下に記すのは、各クラス共通の授業内容であるが、担当教員の専門分野やクラスの人数によって、各時間の内容、ディベートを行う回数などの変更はあり得る。図書館の利用ガイダンスを受ける日程は、なるべく早いほうが良いが、第2週に限定されない。
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. ディベートの意味と流れ、ディベートのルール
4. ディベートのテーマとグループ決定、ディベートの準備:『レポート執筆の基礎』を基に情報収集・情報整理について学ぶ。
5. ディベートの準備: 各グループで意見表明準備
6. ディベートの実施と反省会
7. グループ別学習:グループ分け、テーマ決定:『レポート執筆の基礎』を基にプレゼンテーションの技術について学ぶ。
8. グループ別学習: 情報収集・情報整理
9. グループ別学習: 発表準備、PowerPointのスライド作成
10. グループ別プレゼンテーション①
11. グループ別プレゼンテーション②
12. レポートの書き方(理論):『レポート執筆の基礎』を基にレポート作成の基礎を学ぶ。
13.レポートの書き方(実践):例あるいは実際のレポートを使って、添削の練習をしながらレポートの書き方・参考文献の引用の仕方等を学ぶ。

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
担当回のディベートの内容（30%）、グループ別プレゼンテーションの内容（30%）、最終レポート2000字程度（40%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
原則的には、フィードバックは適宜授業時間内で行い、最終レポートのフィードバックは返却、メールまたはKISSシステムを通じて行う。具体的には各担当教員の裁量に任せられる。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：ディベート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：グループワーク

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、グループ研究

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：ディベート、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:レポート執筆の基礎 著者名: 出版社名: ISBN:
書籍名:ディベートの基本が面白いほど身につく本 著者名:太田龍樹 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	◯

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。それらの問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、ディベート、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通して批判的思考力、調査能力、意見表明能力、ICT活用能力の基礎を育む。さらに、入学時に配布された『レポート執筆の基礎』に基づいて、レポートを作成するスキルを身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
以下に記すのは、各クラス共通の授業内容であるが、担当教員の専門分野やクラスの人数によって、各時間の内容、ディベートを行う回数などの変更はあり得る。図書館の利用ガイダンスを受ける日程は、なるべく早いほうが良いが、第2週に限定されない。
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. ディベートの意味と流れ、ディベートのルール
4. ディベートのテーマとグループ決定、ディベートの準備:『レポート執筆の基礎』を基に情報収集・情報整理について学ぶ。
5. ディベートの準備: 各グループで意見表明準備
6. ディベートの実施と反省会
7. グループ別学習:グループ分け、テーマ決定:『レポート執筆の基礎』を基にプレゼンテーションの技術について学ぶ。
8. グループ別学習: 情報収集・情報整理
9. グループ別学習: 発表準備、PowerPointのスライド作成
10. グループ別プレゼンテーション①
11. グループ別プレゼンテーション②
12. レポートの書き方(理論):『レポート執筆の基礎』を基にレポート作成の基礎を学ぶ。
13.レポートの書き方(実践):例あるいは実際のレポートを使って、添削の練習をしながらレポートの書き方・参考文献の引用の仕方等を学ぶ。

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
担当回のディベートの内容（30%）、グループ別プレゼンテーションの内容（30%）、最終レポート2000字程度（40%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
原則的には、フィードバックは適宜授業時間内で行い、最終レポートのフィードバックは返却、メールまたはKISSシステムを通じて行う。具体的には各担当教員の裁量に任せられる。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：ディベート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：グループワーク

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、グループ研究

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：ディベート、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:レポート執筆の基礎 著者名: 出版社名: ISBN:
書籍名:ディベートの基本が面白いほど身につく本 著者名:太田龍樹 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	奥川　あかり		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	◯

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。それらの問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、ディベート、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通して批判的思考力、調査能力、意見表明能力、ICT活用能力の基礎を育む。さらに、入学時に配布された『レポート執筆の基礎』に基づいて、レポートを作成するスキルを身につける。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
以下に記すのは、各クラス共通の授業内容であるが、担当教員の専門分野やクラスの人数によって、各時間の内容、ディベートを行う回数などの変更はあり得る。図書館の利用ガイダンスを受ける日程は、なるべく早いほうが良いが、第2週に限定されない。
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. ディベートの意味と流れ、ディベートのルール
4. ディベートのテーマとグループ決定、ディベートの準備:『レポート執筆の基礎』を基に情報収集・情報整理について学ぶ。
5. ディベートの準備: 各グループで意見表明準備
6. ディベートの実施と反省会
7. グループ別学習:グループ分け、テーマ決定:『レポート執筆の基礎』を基にプレゼンテーションの技術について学ぶ。
8. グループ別学習: 情報収集・情報整理
9. グループ別学習: 発表準備、PowerPointのスライド作成
10. グループ別プレゼンテーション①
11. グループ別プレゼンテーション②
12. レポートの書き方（理論）:『レポート執筆の基礎』を基にレポート作成の基礎を学ぶ。
13.レポートの書き方（実践）:例あるいは実際のレポートを使って、添削の練習をしながらレポートの書き方・参考文献の引用の仕方等を学ぶ。

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	奥川　あかり		

[成績評価方法]
担当回のディベートの内容（30%）、グループ別プレゼンテーションの内容（30%）、最終レポート2000字程度（40%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
原則的には、フィードバックは適宜授業時間内で行い、最終レポートのフィードバックは返却、メールまたはKISSシステムを通じて行う。具体的には各担当教員の裁量に任せられる。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：ディベート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：グループワーク

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、グループ研究

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：ディベート、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:レポート執筆の基礎 著者名: 出版社名: ISBN:
書籍名:ディベートの基本が面白いほど身につく本 著者名:太田龍樹 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守本　智美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	◯

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。それらの問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、ディベート、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通して批判的思考力、調査能力、意見表明能力、ICT活用能力の基礎を育む。さらに、入学時に配布された『レポート執筆の基礎』に基づいて、レポートを作成するスキルを身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
以下に記すのは、各クラス共通の授業内容であるが、担当教員の専門分野やクラスの人数によって、各時間の内容、ディベートを行う回数などの変更はあり得る。図書館の利用ガイダンスを受ける日程は、なるべく早いほうが良いが、第2週に限定されない。
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. ディベートの意味と流れ、ディベートのルール
4. ディベートのテーマとグループ決定、ディベートの準備:『レポート執筆の基礎』を基に情報収集・情報整理について学ぶ。
5. ディベートの準備: 各グループで意見表明準備
6. ディベートの実施と反省会
7. グループ別学習:グループ分け、テーマ決定:『レポート執筆の基礎』を基にプレゼンテーションの技術について学ぶ。
8. グループ別学習: 情報収集・情報整理
9. グループ別学習: 発表準備、PowerPointのスライド作成
10. グループ別プレゼンテーション①
11. グループ別プレゼンテーション②
12. レポートの書き方(理論):『レポート執筆の基礎』を基にレポート作成の基礎を学ぶ。
13.レポートの書き方(実践):例あるいは実際のレポートを使って、添削の練習をしながらレポートの書き方・参考文献の引用の仕方等を学ぶ。

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	守本　智美		

[成績評価方法]
担当回のディベートの内容（30%）、グループ別プレゼンテーションの内容（30%）、最終レポート2000字程度（40%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
原則的には、フィードバックは適宜授業時間内で行い、最終レポートのフィードバックは返却、メールまたはKISSシステムを通じて行う。具体的には各担当教員の裁量に任せられる。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：ディベート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：グループワーク

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、グループ研究

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：ディベート、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:レポート執筆の基礎 著者名: 出版社名: ISBN:
書籍名:ディベートの基本が面白いほど身につく本 著者名:太田龍樹 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	◯

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。それらの問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、ディベート、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通して批判的思考力、調査能力、意見表明能力、ICT活用能力の基礎を育む。さらに、入学時に配布された『レポート執筆の基礎』に基づいて、レポートを作成するスキルを身につける。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
以下に記すのは、各クラス共通の授業内容であるが、担当教員の専門分野やクラスの人数によって、各時間の内容、ディベートを行う回数などの変更はあり得る。図書館の利用ガイダンスを受ける日程は、なるべく早いほうが良いが、第2週に限定されない。
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. ディベートの意味と流れ、ディベートのルール
4. ディベートのテーマとグループ決定、ディベートの準備:『レポート執筆の基礎』を基に情報収集・情報整理について学ぶ。
5. ディベートの準備: 各グループで意見表明準備
6. ディベートの実施と反省会
7. グループ別学習:グループ分け、テーマ決定:『レポート執筆の基礎』を基にプレゼンテーションの技術について学ぶ。
8. グループ別学習: 情報収集・情報整理
9. グループ別学習: 発表準備、PowerPointのスライド作成
10. グループ別プレゼンテーション①
11. グループ別プレゼンテーション②
12. レポートの書き方（理論）:『レポート執筆の基礎』を基にレポート作成の基礎を学ぶ。
13.レポートの書き方（実践）:例あるいは実際のレポートを使って、添削の練習をしながらレポートの書き方・参考文献の引用の仕方等を学ぶ。

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
担当回のディベートの内容（30%）、グループ別プレゼンテーションの内容（30%）、最終レポート2000字程度（40%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
原則的には、フィードバックは適宜授業時間内で行い、最終レポートのフィードバックは返却、メールまたはKISSシステムを通じて行う。具体的には各担当教員の裁量に任せられる。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：ディベート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：グループワーク

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、グループ研究

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：ディベート、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:レポート執筆の基礎 著者名: 出版社名: ISBN:
書籍名:ディベートの基本が面白いほど身につく本 著者名:太田龍樹 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	◯

[到達目標]
教育をとりまく諸問題の基礎を理解するために、情報を適切に得ることができる。それらの問題に対し、自らの考えを言語化し、適切な方法で伝達することができる。

[授業概要]
本授業では、教育の基礎理論および教育学研究の基礎を学ぶとともに、教育という事象を分析する上で重要となる視点や考え方を養う。加えて、ディベート、ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーションを通して批判的思考力、調査能力、意見表明能力、ICT活用能力の基礎を育む。さらに、入学時に配布された『レポート執筆の基礎』に基づいて、レポートを作成するスキルを身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各自の発表に向けた主体的な取り組みを求める。

[授業計画]
以下に記すのは、各クラス共通の授業内容であるが、担当教員の専門分野やクラスの人数によって、各時間の内容、ディベートを行う回数などの変更はあり得る。図書館の利用ガイダンスを受ける日程は、なるべく早いほうが良いが、第2週に限定されない。
1. オリエンテーション
2. 図書館利用案内・利用実習
3. ディベートの意味と流れ、ディベートのルール
4. ディベートのテーマとグループ決定、ディベートの準備:『レポート執筆の基礎』を基に情報収集・情報整理について学ぶ。
5. ディベートの準備: 各グループで意見表明準備
6. ディベートの実施と反省会
7. グループ別学習:グループ分け、テーマ決定:『レポート執筆の基礎』を基にプレゼンテーションの技術について学ぶ。
8. グループ別学習: 情報収集・情報整理
9. グループ別学習: 発表準備、PowerPointのスライド作成
10. グループ別プレゼンテーション①
11. グループ別プレゼンテーション②
12. レポートの書き方(理論):『レポート執筆の基礎』を基にレポート作成の基礎を学ぶ。
13.レポートの書き方(実践):例あるいは実際のレポートを使って、添削の練習をしながらレポートの書き方・参考文献の引用の仕方等を学ぶ。

科目名	教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
担当回のディベートの内容（30%）、グループ別プレゼンテーションの内容（30%）、最終レポート2000字程度（40%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
原則的には、フィードバックは適宜授業時間内で行い、最終レポートのフィードバックは返却、メールまたはKISSシステムを通じて行う。具体的には各担当教員の裁量に任せられる。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：ディベート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：プレゼンテーション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：グループワーク

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：プレゼンテーション、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、グループ研究

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：プレゼンテーション、ディベート、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：ディベート、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:レポート執筆の基礎 著者名: 出版社名: ISBN:
書籍名:ディベートの基本が面白いほど身につく本 著者名:太田龍樹 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育原理	前期	2 単位
サブタイトル	教育の理念・思想・歴史	講義	
担当者	山内　紀幸		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1 教育概念や教師ー子ども関係、家庭福祉との関わりについて、基本的な知識を身に付けている
2 西洋や日本の教育史や教育思想について、基礎的な事項を理解している
3 教育の制度について理解している
4 授業論や学び論について、概念的に把握している
5 生涯学習社会における教育の現状について理解している

[授業概要]
本授業では、教育を巡る様々な概念（教育、学習、子ども、教師、家庭、福祉、人間形成）について講義した後に、西洋の教育史、西洋の教育思想家の教育思想について理解させる。その後、日本の教育史を学ばせ、現代の教育制度、教育問題や授業論や学び論、生涯学習について基本的な事項を習得させる。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
教育に関する理念や思想を学ぶために、毎回、指定テキストの論考の要約課題を出す。加えて、各回、授業の復習を行うこと。合わせて4時間程度を充てること。

[授業計画]
1.教育の基本理念――語源・目的・目標、教育制度
2.教師と子どもの臨床哲学――信頼される教師
3.人間形成の理論①――エリオット先生の差別授業
4.人間形成の理論②――デーケンの悲嘆のプロセス
5.古代ギリシアの教育――スパルタとアテネ
6.西洋の子ども観――子ども期の発見・近代家族の成立・家族福祉との関わり
7.西洋教育思想①――ソクラテス・コメニウス・ロック・ルソー
8.西洋教育思想②――ペスタロッチ・ヘルバルト・フレーベル・ケイ・デューイ・モンテッソーリ・パーカスト
9.日本の子ども・家族観――子宝思想の誕生・家族観の誕生
10.近代教育制度の成立――森有礼と元田永孚、教育制度の誕生
11.戦後日本教育史――学習指導要領と教育問題
12.授業論――学びの楽しさを生み出す授業
13.学びの空間論――学びのスタイルと学習空間、生涯学習の基本

科目名	教育原理	前期	2 単位
サブタイトル	教育の理念・思想・歴史	講義	
担当者	山内　紀幸		

[成績評価方法]
授業後の小テスト（70%）と課題提出（30%）。課題への講評は授業で行う。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小テストについてはmanabaを通じて採点し、結果を閲覧できるようにする。
要約課題については、授業中に講評を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1
／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：小テスト
総括テスト

学科DP番号／DP内容：教育1-3
／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：小レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。

成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：小テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：小レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：小レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:ちょっと変わった校長式辞集　教育哲学者からのメッセージ 著者名:山内紀幸／著 出版社名:一藝社
ISBN:9784863592377

[参考書（ISBN）]

科目名	教育社会学	前期	2 単位
サブタイトル	「教育」を多面的に考えよう。	講義	
担当者	伴仲　謙欣		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	manaba等を活用して意見交換を行います。	実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
現代社会の変化がもたらす教育的事象・環境への影響について、授業内容の理解を前提にクリティカルな視点を持って自分なりに考えることができる。

[授業概要]
現代社会に暮らす私たちは、幼い頃から公私を問わず、必ず何かしらの「教育的行為」を経験します。「教育」とは「人を人として」育み、社会の一員に迎えるための営みといえるでしょう。つまり「教育」と「社会」は、互いに不可分かつ表裏一体な関係にあり、強い相関を持ちながら刻々と変化していくものです。本講義では、「教育」・「学校」・「社会」という三者を統合的に捉えつつ、教育と社会的事象がどのようにつながりもつのかについて、具体的な事例を踏まえて社会学的観点（クリティカル）から考えていきます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
新聞、その中でも特に教育問題に関する記事を読むことを習慣化してください。（各回、事前・事後学修合わせて4時間程度）。
※可能であれば「教育新聞」を推奨しますが、どの新聞でも構いません。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.教育社会学とは
3.教育と社会化①～社会化の条件～
4.教育と社会化②～社会化の概念～
5.社会における「学校」とは何か?①～制度としての学校～
6.社会における「学校」とは何か?②～学校的コミュニケーション～
7.教育とメディア①～メディアとは～
8.教育とメディア②～メディアと学校～
9.教育と少子化①～少子化とは～
10.教育と少子化②～少子化と学校～
11.学校とこども
12.教育とジェンダー① ～ジェンダーとは～
13.教育とジェンダー② ～ジェンダーと学校～

科目名	教育社会学	前期	2 単位
サブタイトル	「教育」を多面的に考えよう。	講義	
担当者	伴仲　謙欣		

[成績評価方法]
以下の評価項目と割合で総合評価します。
①定期試験(50%)
②各授業回で示す提出物(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出物に対して、毎回の授業中にコメントやおさらい等のフィードバックを行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:・定期試験
・各授業回で示す提出物

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法:各授業回で示す提出物

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:各授業回で示す提出物

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:定期試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:各授業回で示す提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:・定期試験
・各授業回で示す提出物

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:新しい時代の教育社会学 著者名:加野 芳正、越智 康詞 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4623064427
書籍名:よくわかる教育社会学(やわらかアカデミズ ム・わかるシリーズ) 著者名:酒井 朗、中村 ?康、多賀 太 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4623062935
書籍名:半径5メートルからの教育社会学 (大学生の学びをつくる) 著者名:片山　悠樹、内田　良、古田　和久、牧野　智和 出版社名:大月書店 ISBN:978-4272412389

科目名	教育心理学	前期	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習	講義	
担当者	久木山　健一		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・教育活動の中での心理学の有効性の理解
・今自分が受けている教育の意義の理解
・過去自分が受けてきた教育の影響の理解
・学習活動を支えるさまざまな心理的要因の理解

[授業概要]
本授業では教育という現象を心理学的に理解できるようになることを目標として教育心理学のさまざまな理論を概観します。その際、単に理論を知識として学ぶだけでなく、過去から現在までに自分が体験してきた教育活動と関連づけて修得できることを目指します。学習過程、動機づけ、知能と学力、教室の仲間関係、教師と生徒の関係、教育評価などの基礎的な知識に加え、いじめ、不登校などの学校不適応への対応や、心身障害児への対応などの理解も目指します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
予習：授業で学ぶ予定のある内容について各自で事前に予習をしてください。
復習：授業で学んだことを参考に自分自身，自分の受けてきた教育，これから自分が行おうと考えている教育について考察をしてください。
各回、予習復習合わせて4時間程度が求められます。

[授業計画]
1　教育心理学とは（意義，他の学問とのかかわり，研究法など）
2　発達（基本的法則，発達の要因，ピアジェ，エリクソンなど）
3　学習（定義，条件づけ，行動分析，社会的学習，認知論など）
4　動機づけ（コンピテンス，種類，原因帰属，自己調整学習など）
5　知能・記憶・メタ認知（定義，知能テストの種類，記憶，メタ認知など）
6　教授学習過程（授業形態，授業構造，有意味受容学習と発見学習など）
7　教育評価（意義，通知表，評価の時期と方法，相対・絶対評価など）
8　教師（好まれる教師像，ビリーフ，リーダーシップ，ピグマリオン効果など）
9　仲間関係（遊びの発達，仲間関係の理解法，児童期・青年期の仲間関係など）
10　パーソナリティ（定義，類型論，特性論，性格検査の種類など）
11　学校における不適応（いじめ，非行，不登校，学級集団の荒れなど）
12　ストレスと健康（ストレス過程，学校ストレス，PTSD，摂食行動など）
13　発達障害と特別支援教育（種類，特別支援教育，ユニバーサルデザインなど）

科目名	教育心理学	前期	2 単位
サブタイトル	児童生徒の発達と学習	講義	
担当者	久木山　健一		

[成績評価方法]
毎回の小テストおよび授業の感想の提出，定期試験などによって行います。
小テストおよび授業の感想（3割），定期試験（7割）で成績評価します。
ただし，定期試験が実施できない場合は，小テストおよび授業の感想（7割），
最終レポート課題（3割）で成績評価を行います。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは問合せに応じて回答を解説します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:第4版　ようこそ教育心理学の世界へ 著者名:神藤貴昭・久木山健一 出版社名:北樹出版 ISBN:9784779307362

[参考書（ISBN）]

科目名	教育相談	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山　優子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	1分間スピーチ　学外フィールドワーク　出前授業 （ゲストティーチャー）の活用	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・学校における教育相談の意義と課題を理解している。
・教育相談を進める際に必要な基礎的知識（カウンセリングに関す基礎知識を含む）を理解している。
・いじめ、不登校、虐待、非行、発達障害等、最近の教育課題への教育相談の進め方、組織的な取組みや連携の必要性を理解している。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」が身についている。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題（教育相談等）への対応について、学校現場で実際によくある事例を交えて具体的に講義します。 学校現場では、いじめ、不登校、非行、学級崩壊といった教育課題にどう対処するかが重要になっています。児童生徒一人ひとりの発達に即して、好ましい人間関係を育て、生活によく適応させ、自己理解を深めさせ、人格を成長させる力が教員には求められています。学校教育におけるカウンセリングマインドの必要性、教育相談の意義や基本的な技法、教育相談の進め方などをグループワークで学びを深めていくアクティブラーニングで行います。子供の理解や支援の方法を中心に、子供のもつ多様な背景を想像したり、保護者や関係機関との望ましい連携のあり方（相談にのる心構えやカウンセリングの基礎基本を含む）について理解し、実際に日常生活で学んだことを実践していくことをめざしていきます。
テキストは、『生徒指導提要（平成22年3月版）第5章』（文部科学省HPよりダウンロード）を用います。適宜、生徒指導提要改訂版令和4年12月もダウンロード版を併用します。購入する必要はありません。
ノートについては、手書きのノートのはかに、パソコンをノート代わりにしてもかまいません。授業の板書は写真撮影 OKです。ICTを活用して授業を受けてみると、その効果や課題が実感でき、今後の児童生徒への指導に役立つ視点が得られると考えるからです。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
・授業で出された宿題や探究課題について主体的に取り組む（復習と探究）。＜2時間＞
・授業で予告された次回の内容について探究する（反転授業のための予習）。＜2時間＞

[授業計画]
1.教育相談とは、意義と課題（カウンセリング技法：受容、共感の実践演習）
2.相談にのるための「悩みを聴く力」（セルフチェック、グループワーク）
3.予防的・開発的教育相談(リフレーミング１)
4.アセスメント・コーピング（リフレーミング２）
5.進路や生き方（グループエンカウンター１）
6.価値観の違いを認め合う（グループエンカウンター2）
7.相手の主訴を傾聴する（グループエンカウンター3）
8.愛着障害、保護者の障害受容の理解（いじめ、不登校、虐待、非行等）（ディスカッション）
9.好ましい人間関係、アサーショントレーニング（さわやかに断る寸劇）
10.多様な背景を持つ児童生徒の理解　（学外フィールドワーク）
11. 心身の健康について専門知識を持ち相談に生かす（ゲストティーチャーの活用）
12. ケース会議による関係機関・保護者の連携（ロールプレイ）
13. まとめ

科目名	教育相談	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山　優子		

[成績評価方法]
まとめテスト（論述あり）（80%）、授業ごとの小テスト（記述式）（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業ごとの小テスト（記述式）に対して、提示した評価基準でフィードバックをおこないます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

[教科書（ISBN）]
書籍名:『生徒指導提要（平成22年3月版）第5章』（文部科学省HPよりダウンロード） 著者名:文部科学省 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	教育の方法及び技術	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
授業者による一方的な一斉授業だけではなく、真に学習者主体的に学ぶためにはどのような学習方法を仕組むことが大切かを知るとともに、教育の不易と流行について具体的に理解できる。

[授業概要]
古い一方的な教授スタイルのどこが問題であり、何をどう変えることが大切かを様々な視点から考えてもらいます。様々な学習方法（ジグソー法・反転学習・スパイダー討論・PBL等）を実際に体験しながら、学習とは何かを追究します。
　小中学校勤務歴31年の者が教育現場における教育・学習とは何かについてアシストします。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度の主体的な学修を求めます。予習としては、事前に資料を配布する場合は、その資料の内容を大まかに理解しておいてください。復習としては、重要な内容に関して振り返り、自分の言葉で説明できるようにノートにまとめる等してください。

[授業計画]
1.オリエンテーション（13回を見通した内容）
2.教育・勉強・学習・学びとは
3.学習理論の歴史（ジグソー法）
4.映画「Most Likely To Succeed」についての話し合い（反転授業）
5.生成AIの教育利用
6.主体的な学びとは
7.探究的な学び（探究学習）
8.PBL（プロジェクト学習）
9.対話的な学びとは（スパイダー討論）
10.深い学びとは（各教科の「見方・考え方」だけでいいのか）
11.GIGAスクール構想と教育の情報化（オンライン授業も）
12.ICTを活用した学習と実物教材
13.学習評価（自己評価・reflection）・まとめ

科目名	教育の方法及び技術	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
小レポート（30%）、授業中の活躍度（30%）、最終レポート（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画を立案し適切に評価することができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:特に指定しませんが、必要なときは授業内で紹介します。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:教室の未来を拓く タブレットPCで育む豊かな学びの手引き: 学びの変革をもたらすタブレットPCの教室革命 著者名:編者：山崎宣次 著者：加藤直樹、及川浩和他 出版社名:Amazon Kindle ISBN:979-8301212710
書籍名:最新の学習指導要項（小・中） 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	教職実践演習(幼・小・中)	後期	2 単位
サブタイトル	実践力のある小学校教師を目指して	演習	
担当者	佐藤　浩樹、金岩　俊明、穴田　恭輔、小林　田鶴子、住本　純、田中　裕一、吉川　芳則、山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業実践力や児童理解力、心構え等、教員としての職務に必要な資質・能力を整理して、自分にとって何が課題であるかを自覚する。そして、不足している知識や技能を補い、その定着を図り、教員生活を円滑にスタートできるようになる。

[授業概要]
学校見学や現場教師・指導主事等の講義などを通して、学校現場の実情を学び、実務に当たっての心構えを学ぶ。また、指導計画の立案や模擬授業、事例研究などについて、グループ学習や討論を行い、実践力の育成を図る。また、これらの活動を通して、教員としての自己の課題を自覚するとともに、必要な知識・技能の定着を図る。
※小学校教諭免許状取得予定者は必修である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
教職に向けての仕上げであることを意識して、専門科目、学級経営、指導技術等、これまでの学修内容を復習しておく。講義前には、学校園現場での指導を意識して、課題を持って講義に臨むようにすること。

[授業計画]
1. オリエンテーション （佐藤）
2. 教職の意義や教員の役割　外部講師 （田中裕）
3. 学校見学および現場での指導(穴田、新任A)
4. 学校見学および現場での指導(穴田、新任A)
5. 学校見学の感想・課題の話し合い、学級経営案作成 （穴田、新任A）
6. 豊かな感性と創造性を育む小学校音楽教育 （小林）
7. すべての子どもを意識した授業づくりと学級経営のヒント(田中裕)
8. 小学校におけるプログラミング教育 （新任B）
9. 教師の成長と授業リフレクション （住本）
10. 保護者や地域との連携 （金岩）
11. 卒業生を招いたシンポジウム （佐藤）
12. 模擬授業の実践と協議　外部講師 （新任B）
13. 教職への決意・総まとめ （金岩、住本、小林、佐藤）

科目名	教職実践演習(幼・小・中)	後期	2 単位
サブタイトル	実践力のある小学校教師を目指して	演習	
担当者	佐藤　浩樹、金岩　俊明、穴田　恭輔、小林　田鶴子、住本　純、田中　裕一、吉川　芳則、山崎　宣次		

[成績評価方法]
授業内容の理解、ワークシート、レポート(50%)、授業への取組姿勢(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:ワークシート・振り返り、授業に取り組む姿勢、レポート

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:ワークシート・振り返り、授業に取り組む姿勢、レポート

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:ワークシート・振り返り、授業に取り組む姿勢、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:ワークシート・振り返り、授業に取り組む姿勢、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:ワークシート・振り返り、授業に取り組む姿勢、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:ワークシート・振り返り、授業に取り組む姿勢、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:ワークシート・振り返り、授業に取り組む姿勢、レポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教職実践演習(幼・小・中)	後期	2 単位
サブタイトル	実践力のある幼稚園教諭を目指して	演習	
担当者	三宅　茂夫、金岩　俊明、小林　田鶴子、宮本　晃郎、中川　欣子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	ロールプレー等	実務経験のある教員による授業	◯

[到達目標]
保育実践力や幼児理解力、心構え等、教員としての職務に必要な資質・能力を整理して、自分にとって何が課題であるかを自覚する。そして、不足している知識や技能を補い、その定着を図り、教員生活を円滑にスタートできるようになる。

[授業概要]
保育・幼児教育の第一線で活躍する園長や教諭・指導主事等の講義やワークショップなどを通して、幼稚園現場の実情を学び、実務に当たっての心構えを学ぶ。また、保育計画の立案や模擬保育、事例研究などについて、グループ学習や討論を行い、実践力の育成を図る。さらに、これらの活動を通して、教員としての自己の課題を自覚するとともに、必要な知識・技能の定着を図る。
※幼稚園教諭免許状取得予定者は必修である。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
教職に向けての総仕上げであることを意識して、専門科目、学級経営、保育技術等、これまでの学修内容を復習しておく。講義前には、幼稚園現場での指導者としての立場を意識して、課題を持って講義に臨むようにすること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度、演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション(講義の趣旨および計画)(三宅)
2. 教職の意義と教員の役割(指導主事による講義、グループ討議)(外部講師・宮本)
3. 学校園経営と担任の役割(幼稚園長による講義、グループ討議)(外部講師・宮本)
4. 学校園における安全管理／保育環境、事故例とその対応(三宅)
5. 幼稚園教育におけるICT活用およびサウンドエデュケーションの考え方と実際(講義、実習)(小林)
6. 保護者や地域との連携(講義、グループ討議)(三宅)
7. 幼小連携の意味と実態、課題について(講義)(金岩)
8. 社会人としての基本の習得(講義とロールプレイ)(宮本)
9. 幼児・児童理解の方法と対応／特別支援教育の実際(講義、グループ討議)(三宅)
10. 授業・保育の基礎技術／伴奏、弾き歌い(講義、実習)(小林)
11. 教育改革とこれからの学校教育、幼児教育の展望(講義)(三宅)
12. 教職実践演習のまとめ、教職に向けての決意1(発表準備)(三宅)
13. 教職実践演習のまとめ、教職に向けての決意2(発表会)(三宅)

科目名	教職実践演習(幼・小・中)	後期	2 単位
サブタイトル	実践力のある幼稚園教諭を目指して	演習	
担当者	三宅　茂夫、金岩　俊明、小林　田鶴子、宮本　晃郎、中川　欣子		

[成績評価方法]
課題(50%)
発表(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
適宜指導を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:課題及び発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:課題及び発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:課題及び発表を総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題及び発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:課題及び発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題及び発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題及び発表を総合的に評価する。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	教職論	前期	2 単位
サブタイトル	学校の歴史・教師観の変遷・教職の責務と魅力	講義	
担当者	宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校教育全般についての理解を深めるとともに、「教職とは何か」について、教職の意義や役割、資質能力、職務内容等を概観することができる。
期待される教職像を探究し、教職への意識と意欲を高めたうえで、自分自身の教職の適性について考えることができる。

[授業概要]
①現場経験（校長、教頭、教諭）を有する教員が、変化する社会情勢と教育動向を概観しながら、「教育とは」「学校とは」「教育者とは」何かを模索することを指導します。
　そして、リアルな教育実践事例や具体的な問題行動事例をもとに、子供との関係を大切にしながら心と力を育てていく具体的な関わり方について学んでいきます。
②教育委員会事務局（教職員課・指導課）の経験を有する教員が、公教育の重要性を理解しながら、教職に求められる資質・能力について考えることを指導します。
　そして、学校教育は様々な教育施策のもと、保護者や地域、関係機関との連携によって、より豊かな教育活動が実現できることを具体事例をもとに学んでいきます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義について復習・予習をすること
（学んだ後の復習や次回の予習として、最新の教育事情等そのキーワード等について自分なりの課題意識をもつて各自がリサーチすること）

[授業計画]
1. 教育の目的と意義・役割　－人間にとっての教育・忘れられない魅力的な教師－
2. 学校教育と教職の意義等　－家庭教育との違い・学校の種類・教育関係法規－
3. 公教育を担う教職への道　－公務員と民間の違い・教育公務員・教員免許－
4. 教職の役割及び資質能力　－聖職者・労働者・専門職としての教職観の変遷－
5. 教員の資質能力の構造化　－新たな専門職的教職観・学習指導と生徒指導等－
6. これからの授業力の向上　－素材研究・教材研究・発問や板書・ICT活用－
7. これからの指導力の向上　－生徒指導・健康安全指導・特別支援教育の視点－
8. これからの教師力の向上　－行事・校務分掌・保護者対応・関係機関連携等－
9. 信頼される学校力の向上　－情報発信・地域連携・学校評価・教育課程編成－
10. 教育公務員としての教職　－教員採用・研修・教員としてのライフサイクル－
11. 教育新時代における教職　－新たな教育課題・幅広い知見と「チーム学校」－
12. 学び続ける教師への期待　－若手教員の輝きと苦悩・自分自身の適性と力点－
13. 教職論のまとめ　　－すばらしい子供の成長・人間的な魅力ある教師－

科目名	教職論	前期	2 単位
サブタイトル	学校の歴史・教師観の変遷・教職の責務と魅力	講義	
担当者	宮本　晃郎		

[成績評価方法]
・毎時間の課題レポート(40%)
・学習態度(グループ討議や発表を含む)(40%)
・総合的なまとめの試験(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題レポートの内容について望ましいものは、積極的に全体に紹介します。
必要な時には個別にコメントするなどして、フィードバックを行います。
最終的に課題レポートは、全員に返却します。教職支援センター又は研究室にて個別指導もできます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:・毎時間の課題レポート
・学習態度(グループ討議や発表を含む)
・総合的なまとめの試験

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法:・毎時間の課題レポート
・学習態度(グループ討議や発表を含む)
・総合的なまとめの試験

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:・毎時間の課題レポート
・学習態度(グループ討議や発表を含む)
・総合的なまとめの試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:・毎時間の課題レポート
・学習態度(グループ討議や発表を含む)
・総合的なまとめの試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:・毎時間の課題レポート
・学習態度(グループ討議や発表を含む)
・総合的なまとめの試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:・毎時間の課題レポート
・学習態度(グループ討議や発表を含む)
・総合的なまとめの試験

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	グローバルイシューと教育	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤　浩樹、守本　智美、奥川　あかり、山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
グローバルな諸課題に関する教育の内容と重要性について理解する。自分たちの生活とグローバルな諸課題との関連を理解し、課題について追究する。現代に社会における情報技術の重要性を理解し、AIとどのように向き合うか考察する。アートとは何かということについて、社会との関連を考え、より広い視野で理解する。

[授業概要]
この授業では、グローバル時代に生じた国や地域を越えて解決すべき地球規模の問題について教育と関連させて追究し、問題について本質的・実感的に理解し、創造的に解決する姿勢を獲得させることをねらいとしている。衣食住などを通した自分たちの生活と世界的・地球的問題との関連、AI等を中心としたテクノロジー、古今東西の美術作品と社会とのつながり等について具体的事例を取り上げ考察し、ディスカッションやワークショップを取り入れながら学習を進め、考えを深めていく。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
世界的諸課題と教育との関連に関心を持ち、課題に積極的に取り組むようにする。

[授業計画]
1. アートと社会とのつながりについて（守本）
2. アートの目指すもの（守本）
3. 現代アートに挑戦（守本）
4. 子どもの世界認識・世界イメージと教育（佐藤）
5. 世界的諸課題と教育①－食料問題－（佐藤）
6. 世界的諸課題と教育②－環境問題－（佐藤）
7. 世界的諸課題と教育③－人権問題－（佐藤）
8. 世界の暮らしと服育（奥川）
9. 食生活の課題と食育（奥川）
10. 住まいと持続可能な開発のための教育（奥川）
11. 高度情報化社会とデジタルシティズンシップ教育（新任）
12. AIの普及による社会の変革とAIリテラシー教育（新任）
13. 世界的な教育格差の解消とデジタルインクルージョン（新任）

科目名	グローバルイシューと教育	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤　浩樹、守本　智美、奥川　あかり、山崎　宣次		

[成績評価方法]
授業に取り組む姿勢(50%)、課題・レポート(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:レポート、ワークシート・振り返り

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法:レポート、ワークシート・振り返り

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、レポート、ワークシート・振り返り

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、レポート、ワークシート・振り返り

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、レポート、ワークシート・振り返り

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート、ワークシート・振り返り

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	現代教育の課題	前期	2 単位
サブタイトル	□現代教育の課題を理解するための哲学・歴史・思想・方法・実践	講義	
担当者	山内　紀幸		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
□
1.教育概念や人間形成の概念について、基本的な知識を身に着けている。
2.世界の子育てや教育思想について基礎的な事項を理解している。
3.現代的な教育問題について哲学的に考える
4.授業や保育の環境設定について、概念的に把握している。

[授業概要]
現代教育の課題では、教育学を志す学生が知っておくべき、教育課題について、哲学・歴史・思想・方法・実践の視点から理解させる。幼児、児童、生徒、成人のすべての人たちの営みを対象とし、そこに関わる保育者・教育者の使命や責任についても考えていく。授業実践は、ディスカッション、プレゼンテーションなどを行い、各自の問題意識を高めていくようにしていく。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
教育に関する理念や思想を学ぶために、課題を出す。加えて、各回、授業の復習を行うこと。合わせて4時間程度を充てること。

[授業計画]
1.学力の基本概念――見える学力と見えない学力
2.保育者論――保育実践ジャーゴンとその応用
3.人間形成の理論①――豚のPちゃん
4.人間形成の理論②――反抗すること
5.人間形成の理論③――旅をすること
6.縄文教育論――縄文時代の子育て
7.子育て論――世界の子育て
8.教育思想①――＋αの思想家たち
9.教育思想②――完璧マスター
10.現代教育論①――ケアの概念
11.現代教育論②――夜回り先生
12.授業論――思考を促す授業とは
13.学びの環境論――思考を促す保育とは

科目名	現代教育の課題	前期	2 単位
サブタイトル	□現代教育の課題を理解するための哲学・歴史・思想・方法・実践	講義	
担当者	山内　紀幸		

[成績評価方法]
授業後の小テスト（70%）と課題提出（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
小テストについてはmanabaを通じて採点し、結果を閲覧できるようにする。
課題については、manabaから講評を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：小テスト
総括テスト

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法：小レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：小レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	国語科概説(書写を含む。)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	吉川　芳則		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校国語科の目標・内容と具体的な指導方法について、基礎的理解を深めることができるようになる。

[授業概要]
小学校国語科教育の目標・内容・方法等について講述するとともに、内容・領域ごとの教材研究、学習指導案の作成、授業構成のあり方、教科書や情報機器の活用等について、実践事例も対象にして検討を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
『小学校学習指導要領解説 国語編』当該領域の「指導事項」「言語活動」及び対象教材を読んで、内容を確認しておいてください。各回の授業中に出されたレポート課題等は、次回までの授業時間外に仕上げておいてください。(各回、予習・復習合わせて4時間程度。)

[授業計画]
1 小学校国語科の目標
2 小学校国語科の内容、評価
3「話すこと・聞くこと」の指導事項
4「話すこと・聞くこと」の教材、実践とICTの活用
5「書くこと」の指導事項と多様な「書くこと」の学習活動
6「書くこと」の教材、実践とICTの活用
7「読むこと」1(文学教材 1　指導事項)
8「読むこと」2(文学教材 2　学習活動、発問のあり方)
9「読むこと」3(説明文教材 1　指導事項)
10「読むこと」4(説明文教材 2　指導の実際)
11「読むこと」5(説明文教材 3　学習指導案作成上の留意点)
12「我が国の言語文化に関する事項 (「書写」を含む)」1(語彙指導、書写)
13「我が国の言語文化に関する事項」2(読書指導、古典)

科目名	国語科概説(書写を含む。)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	吉川　芳則		

[成績評価方法]
授業中の課題(50%)レポート(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的には授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画を立案し適切に評価することができる。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	国語科概説(書写を含む。)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	吉川　芳則		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校国語科の目標・内容と具体的な指導方法について、基礎的理解を深めることができるようになる。

[授業概要]
小学校国語科教育の目標・内容・方法等について講述するとともに、内容・領域ごとの教材研究、学習指導案の作成、授業構成のあり方、教科書や情報機器の活用等について、実践事例も対象にして検討を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
『小学校学習指導要領解説 国語編』当該領域の「指導事項」「言語活動」及び対象教材を読んで、内容を確認しておいてください。各回の授業中に出されたレポート課題等は、次回までの授業時間外に仕上げておいてください。(各回、予習・復習合わせて4時間程度。)

[授業計画]
1 小学校国語科の目標
2 小学校国語科の内容、評価
3「話すこと・聞くこと」の指導事項
4「話すこと・聞くこと」の教材、実践とICTの活用
5「書くこと」の指導事項と多様な「書くこと」の学習活動
6「書くこと」の教材、実践とICTの活用
7「読むこと」1(文学教材 1　指導事項)
8「読むこと」2(文学教材 2　学習活動、発問のあり方)
9「読むこと」3(説明文教材 1　指導事項)
10「読むこと」4(説明文教材 2　指導の実際)
11「読むこと」5(説明文教材 3　学習指導案作成上の留意点)
12「我が国の言語文化に関する事項 (「書写」を含む)」1(語彙指導、書写)
13「我が国の言語文化に関する事項」2(読書指導、古典)

科目名	国語科概説(書写を含む。)	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	吉川　芳則		

[成績評価方法]
授業中の課題(50%)レポート(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的には授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画を立案し適切に評価することができる。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	国語科教育法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	吉川　芳則		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校国語科の学習指導案を作成したり、授業技術を使ったりするための基礎的な力量を身に付けることができるようになる。

[授業概要]
具体的な小学校の文学教材、説明文教材を用いて、それぞれ指導事項としてのイメージ化の力、論理的思考力の観点から、学習指導案の作成とそれに基づく模擬授業を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
『小学校学習指導要領解説編 国語』当該領域の「指導事項」「言語活動」及び対象教材を読んで、内容を確認しておいてください。各回の授業中に出されたレポート課題等は、次回までの授業時間外に仕上げておいてください。(各回、予習・復習合わせて4時間程度。)

[授業計画]
1 国語科授業づくりと学習指導案の作成
2 文学教材の指導事項としての想像力(イメージ化の力)
3「ごんぎつね」(4年)の学習指導案の作成 1(教材観、児童観、指導観)
4「ごんぎつね」の学習指導案の作成 2(指導計画、評価)
5「ごんぎつね」の学習指導案の作成 3(本時の展開)
6 作成した学習指導案に基づく模擬授業 1(前半グループ)
7 作成した学習指導案に基づく模擬授業 2(後半グループ)
8 説明文教材の指導事項としての論理的思考力
9「和の文化を受けつぐ」(6年)の学習指導案の作成 1(教材観、児童観、指導観)
10「和の文化を受けつぐ」の学習指導案の作成 2(指導計画、評価)
11「和の文化を受けつぐ」の学習指導案の作成 3(本時の展開)
12 作成した学習指導案に基づく模擬授業 1(前半グループ)
13 作成した学習指導案に基づく模擬授業 2(後半グループ)

科目名	国語科教育法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	吉川　芳則		

[成績評価方法]
授業中の課題(50%)レポート(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的には授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画を立案し適切に評価することができる。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちの実態に即して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:小学校学習指導要領解説 国語編 (平成29年告示) 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社
ISBN:9784491034621

科目名	国語科教育法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	吉川　芳則		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校国語科の学習指導案を作成したり、授業技術を使ったりするための基礎的な力量を身に付けることができるようになる。

[授業概要]
具体的な小学校の文学教材、説明文教材を用いて、それぞれ指導事項としてのイメージ化の力、論理的思考力の観点から、学習指導案の作成とそれに基づく模擬授業を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
『小学校学習指導要領解説編 国語』当該領域の「指導事項」「言語活動」及び対象教材を読んで、内容を確認しておいてください。各回の授業中に出されたレポート課題等は、次回までの授業時間外に仕上げておいてください。(各回、予習・復習合わせて4時間程度。)

[授業計画]
1 国語科授業づくりと学習指導案の作成
2 文学教材の指導事項としての想像力(イメージ化の力)
3「ごんぎつね」(4年)の学習指導案の作成 1(教材観、児童観、指導観)
4「ごんぎつね」の学習指導案の作成 2(指導計画、評価)
5「ごんぎつね」の学習指導案の作成 3(本時の展開)
6 作成した学習指導案に基づく模擬授業 1(前半グループ)
7 作成した学習指導案に基づく模擬授業 2(後半グループ)
8 説明文教材の指導事項としての論理的思考力
9「和の文化を受けつぐ」(6年)の学習指導案の作成 1(教材観、児童観、指導観)
10「和の文化を受けつぐ」の学習指導案の作成 2(指導計画、評価)
11「和の文化を受けつぐ」の学習指導案の作成 3(本時の展開)
12 作成した学習指導案に基づく模擬授業 1(前半グループ)
13 作成した学習指導案に基づく模擬授業 2(後半グループ)

科目名	国語科教育法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	吉川　芳則		

[成績評価方法]
授業中の課題(50%)レポート(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的には授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画を立案し適切に評価することができる。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちの実態に即して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:小学校学習指導要領解説 国語編 (平成29年告示) 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社
ISBN:9784491034621

科目名	国語科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉川　芳則		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校国語科「読むこと」教材の分析の仕方や、授業づくりに不可欠な発問や学習活動の設定方法についての基礎的な力量を身に付けることができるようになる。

[授業概要]
具体的な小学校の文学教材、説明文教材を用いて、それぞれ指導事項としての視点論、批判的読みの観点から、教材の具体的な分析方法について講述すると共に、教材研究の演習とそれに基づく模擬授業を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
『小学校学習指導要領解説 国語編』当該領域の「指導事項」「言語活動」及び対象教材を読んで、内容を確認しておいてください。各回の授業中に出されたレポート課題等は、次回までの授業時間外に仕上げておいてください。(各回、予習・復習合わせて4時間程度。)

[授業計画]
1 国語科教材研究の観点
2 文学教材の教材研究 1(視点論の考え方)
3 文学教材の教材研究 2(低学年教材の特徴)
4 文学教材の教材研究 3(中学年教材の特徴)
5 文学教材の教材研究 4(高学年教材の特徴)
6 文学教材の教材研究 5(学習活動・発問の観点から)
7 文学教材の教材研究 6(学習指導過程の観点から)
8 説明文教材の教材研究 1(批判的読みの考え方)
9 説明文教材の教材研究 2(低学年教材の特徴)
10 説明文教材の教材研究 3(中学年教材の特徴)
11 説明文教材の教材研究 4(高学年教材の特徴)
12 説明文教材の教材研究 5(学習活動・発問の観点から)
13 説明文教材の教材研究 6(学習指導過程の観点から)

科目名	国語科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	吉川　芳則		

[成績評価方法]
授業中の課題(50%)レポート(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的には授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業中の課題(50%)レポート(50%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	子育て支援	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1. 保護者に対する相談、助言、情報提供等について、その特性と展開を具体的に理解する。
2. 様々な場や対象に即した支援の内容と方法及び技術を、実践事例等を通して具体的に理解する。

[授業概要]
子育て支援の援助活動は、知識はもちろんのこと、援助者である保育士にとって必要となる姿勢、態度を習得することが大切である。本授業では、講義とワーク、事例研究等を取り入れた演習方式を組み合わせて、保育士にとって必要な技術、技能を習得することを目指す。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
日頃より、子どもたちの生活について興味を持ち、新聞、テレビ等のマスメディアを活用すること。授業で行ったことについて、必ず復習をするように。

[授業計画]
1. ガイダンス　子育て支援と子育ち支援
2. 子育て支援の概念
3. 子育て支援の歴史的経過①
4. 子育て支援と相談援助、ソーシャルワーク
5. 子育て支援の方法としての相談援助
6. 子育て支援の方法　ソーシャルワーク実践の基礎
7. 子育て支援の方法と展開①
8. 子育て支援の方法と展開②
9. 子育て支援の実際①
10. 子育て支援の実際②
11. 子育て支援の実際③
12. 子育て支援の実際④
13. まとめ

科目名	子育て支援	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[成績評価方法]
授業中の課題（20%）レポート試験（80%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に解説する。返却する分については、後日添削して返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：授業内での課題及び科目最終レポートによって評価します。

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：授業内での課題及び科目最終レポートによって評価します。

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：授業内での課題及び科目最終レポートによって評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

[教科書（ISBN）]
書籍名:保育者のための子育て支援セミナー 著者名:大西　雅裕 出版社名:建帛社 ISBN:9784767951065

[参考書（ISBN）]

科目名	子ども家庭支援の心理学	後期	2 単位
サブタイトル	子どもと家庭支援の心理学的理解	講義	
担当者	松岡　恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
生涯発達に関する心理学的な基礎知識を習得し、子どもや家庭を支援するための視点を身につける。

[授業概要]
児童相談所・教育機関での心理相談の経験者が、その経験を活かして、事例をあげて説明をします。
乳幼児期から皆さん自身の年代や子どもの保護者の年代も視野に入れた人生全体の発達の流れについて学びます。そのなかで、保育者に必要な家庭支援に関する知識を学修します。子育てを取り巻く現状と課題、家族の意義や機能を理解するとともに、親になること・親としての育ちについて学んでいく。さらに特別な配慮を必要とする家庭や発達支援の必要な家庭を取り上げ、配慮や支援の方法を学びます。子どもの心の育ちに関心を持ち、意欲的に授業に臨み、わからないことを自分で調べて自ら進んで学びを深めることを期待します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
次の授業で取りあげるテーマに沿って、テキストの指定箇所を読んで予習してください。また、授業後は復習として指定箇所の解説文を読み、学酒したことを自分なりにノートにまとめてください。
講義2単位科目:各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 乳幼児期から学童期にかけての発達の特徴
3. 思春期から青年期の発達の特徴
4. 成人期・老年期における発達
5. 子育てを取り巻く社会的状況
6. 理解度確認テスト・解説、子どもの生活・生育環境とその影響
7. 家族・家庭の意義と機能、親子・家族関係の理解
8. 子育ての経験と親としての育ち
9. 多様な家庭形態とその理解
10. 特別な配慮を必要とする家庭
11. 発達支援の必要な子どものいる家庭
12. 子どもの精神保健
13. 子ども家庭支援に関する理解度の確認テスト・解説

科目名	子ども家庭支援の心理学	後期	2 単位
サブタイトル	子どもと家庭支援の心理学的理解	講義	
担当者	松岡　恵		

[成績評価方法]
発表・レポート(30%)，授業態度(10%)、理解度確認テスト(60%)で評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内で全体にフィードバック、又は個別にレポートへコメントを返します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:レポート及び理解度確認テストで評価を行います。

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:発表・レポート及び理解度確認テストで評価を行います。

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:発表・レポート及び理解度確認テストで評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:発表・レポート及び理解度確認テストで評価を行います。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:発表・レポート及び理解度確認テストで評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:発表・レポート及び理解度確認テストで評価します。

[教科書(ISBN)]
書籍名:子ども家庭支援の心理学 著者名:佐久間　路子 出版社名:北大路書房 ISBN:9784762831539

[参考書(ISBN)]

科目名	子ども家庭支援論	前期	2 単位
サブタイトル	子どもの育ちを多面的に支える方法への学びを深める	講義	
担当者	大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
① 子育て家庭を中心とする支援の意義や視点について理解できる。
② 保育の専門性を活かした子ども家庭支援の基本について理解する。
③ 子育て家庭に対する支援の体制や連携の実際について理解できる。
④ 子育て家庭のニーズの実際と、それらに応じた多様な支援について理解できる。
⑤ 子ども家庭支援の現状と今後の課題について理解できる。

[授業概要]
保育士という立場から、子どもと子どもの生活の場及び構造としての家庭について理解をする。その基礎的理解を社会的に支援する際の視点や方法、そして、支援の助けとなる社会資源の体系について学ぶ。
また、それら支援の妨げとなる要因等についての理解を深める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
現代の子どもと家庭をめぐる問題を「自分ごと」として考え、不明点を明確にし、自分なりに調べ、他者と共有することを意識しながら、一定時間の予習(2時間程度)と復習(2時間程度)をおこなってください。

[授業計画]
1. はじめに 「子ども家庭」という表現が意味するもの
2. 現代における子どもや家庭をめぐる「生きづらさ」①
3. 現代における子どもや家庭をめぐる「生きづらさ」②
4. 子ども家庭支援の視点①
5. 子ども家庭支援の視点②
6. 子ども家庭支援の担い手①
7. 子ども家庭支援の担い手②
8. 子ども家庭支援の仕組み①
9. 子ども家庭支援の仕組み②
10. 子ども家庭支援の進め方と用いられる技術①
11. 子ども家庭支援の進め方と用いられる技術②
12. 子ども家庭支援における保育士の役割
13. 子ども家庭支援の基盤となる地域社会の役割　まとめ

科目名	子ども家庭支援論	前期	2 単位
サブタイトル	子どもの育ちを多面的に支える方法への学びを深める	講義	
担当者	大西　雅裕		

[成績評価方法]
授業内でのワーク等への取り組み（20%）、事例に基づくレポート課題（50%）、毎回提出のミニレポート課題（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回、リアクションペーパーや提出物に関してのフィードバックを行うとともに、それらの内容についてさらなる学びを深めるための文献・資料等を紹介する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：授業内レポート等による評価

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：授業内レポート等による評価

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：授業内レポート等による評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度及び授業内レポート等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度及び授業内レポート等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業態度及び授業内レポート等

[教科書（ISBN）]
書籍名:子ども家庭支援論 著者名:松村　和子 出版社名:建帛社 ISBN:9784767951454

[参考書（ISBN）]

科目名	子ども家庭福祉	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小林　洋司		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
子ども家庭福祉の現状を概観する中で、その定義や本質、理念、制度施策及び実践活動の現状について学び、子どもの置かれている状況の把握し、理解することを目標とする。

[授業概要]
子ども家庭福祉の概念、歴史的展開、児童の置かれている現代的社会状況について概説する中で、保育と子ども家庭福祉との関係や、制度、実践活動体系について学ぶ。そして学生自身が保育士としてより主体的、積極的な実践活動の展開ができるように、より具体的に学ぶ。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日常的に子どもについて、また子どもを取り巻く環境等についての情報をインターネット、新聞、雑誌等から収集に努めること。

[授業計画]
1. ガイダンス
2. 子ども家庭福祉と人口減少社会
3. 子ども家庭福祉の基本的考え方
4. 子ども家庭福祉の歴史
5. 子ども家庭福祉問題と対応
6. 子ども家庭福祉の制度体系
7. 子ども家庭福祉施設（児童福祉施設）
8. 母子保健と健全育成、地域での子育て支援
9. 虐待を受けている子どもと子ども家庭福祉
10. 子どもの貧困とひとり親家庭と子ども家庭福祉
11. 障がいのある子どもと子ども家庭福祉
12. ふりかえり
13. まとめ

科目名	子ども家庭福祉	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	小林　洋司		

[成績評価方法]
定期試験及びレポート課題によって評価を行う。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
紙による課題は原則返却し、授業の中で振り返りつつ進める。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	子どもの食と栄養	前期	2 単位
サブタイトル	子どもたちの安心・安全で健康な食生活の実現を目指して	演習	
担当者	奥川　あかり		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 基本的・基礎的な栄養学を理解する
2. 食育の重要性を理解する
3. 学んだことを実践に活用できる
4. 食育の担い手として自らも望ましい食生活を実践できる

[授業概要]
1. 小児期の栄養、食生活が生涯にわたる健康と生活の基礎を築くことを理解する
2. 基本的・基礎的な栄養学ならびに食生活の正しい知識を習得する
3. 小児を取り巻く近年の食生活の現状と課題を理解する
4. 発達や健康状態への影響など幅広い視点で学ぶことで即応できる応用力を養う

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義について予習・復習を行い、日ごろから自身の食生活だけでなく、家族や周りの人の食と健康に興味関心をもって受講すること。

[授業計画]
1. 子どもたちの健康と食生活の現状と課題
2. 栄養の基本的概念及び食事摂取基準と和食
3. 食に関する基礎知識Ⅰ炭水化物・脂質・たんぱく質
4. 食に関する基礎知識Ⅱミネラル・ビタミン・水分
5. 食べ物の消化と吸収
6. 献立作成及び調理の基本と食中毒の予防
7. 発育・発達の基本と胎児期（妊娠期）の食生活
8. 乳児期の授乳・離乳の意義と幼児期の心身の発達
9. 学童期の心身の発達と生涯発達
10. 食育の基本及び内容と洋食
11. 家庭や児童福祉施設における食事と栄養
12. 特別な配慮を要する子どもの食と栄養
13. 総括

科目名	子どもの食と栄養	前期	2 単位
サブタイトル	子どもたちの安心・安全で健康な食生活の実現を目指して	演習	
担当者	奥川　あかり		

[成績評価方法]
課題:40%
試験:60%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業内で行います

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:課題、試験

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:課題

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:【第9版】最新子どもの食と栄養　食生活の基礎を築くために 著者名:飯塚美和子／編集　瀬尾弘子／編集　濱谷亮子／編集　浅野雅子／〔ほか〕執筆 出版社名:学建書院 ISBN:9784762468414

[参考書(ISBN)]

科目名	子どもの保健Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	細川　愛美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1. 環境が与える母子への影響について説明できる。
2. 各期の子どもの発育・発達について説明できる。
3. 子どもの健康状態を把握するための方法について説明できる。
4. これからの保育士の活動の広がりについて記述できる。

[授業概要]
成長発達過程にある子どもの健康と健康状態の把握方法や子どもを取り巻く環境について胎児期からとらえ、子どもの健全な発育を支援するために必要な知識について講義します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて1時間程度。

[授業計画]
1.子どもの保健を学ぶ意義・子どもを取り巻く環境と健康指標　4月9日
2.現代社会における子どもの健康に関する現状と課題　4月16日
3.地域における保健活動と虐待防止　4月23日
4.子どもの身体の発育と保健　5月7日
5.子どもの運動・精神機能と感覚器の発達と保健　5月14日
6.子どもの生理機能の発達①(呼吸・循環)　5月21日
7.子どもの生理機能の発達②(消化機能)5月28日
8.子どもの生理機能の発達③(免疫・体温調節・水分代謝)6月4日
9.子どもの健康状態の把握①(呼吸・循環・体温)　6月18日
10.子どもの健康状態の把握②(活動・生活)　6月25日
11.先天性の病気・発達障害への対応　7月2日
12.保護者との情報共有と家族支援　7月9日
13.子どもの保健Ⅰふりかえり、学びの確認　7月16日

科目名	子どもの保健Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	細川　愛美		

[成績評価方法]
理解度確認試験60%、レポートや小テスト40%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出物はコメントを入れて返却、もしくは返却時に解説する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:試験、レポート、小テスト

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:試験、レポート、小テスト

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:試験、レポート、小テスト

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験、レポート、小テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験、レポート、小テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験、レポート、小テスト

[教科書(ISBN)]
書籍名:子どもの保健　演習ノート改訂第3版追補 著者名:榊原洋一・小林美由紀 出版社名:診断と治療社
ISBN:9784787824073

[参考書(ISBN)]

科目名	子どもの保健Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	内　正子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1　子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。
2　子どもの疾病とその予防法及び適切な対応について理解する。
3　保育における環境及び衛生管理並びに安全管理について理解する。
4　施設等における子どもの心身の健康及び安全の実施体制について理解する。

[授業概要]
子どもの心身の健康状態の観察や不調等の早期発見などを理解し、健康状態の把握の方法について学ぶ。また、子どもに多く見られる疾病の特徴を理解し、予防方法および他職種間の連携・協働の下で適切な対応について学ぶ。
小児保健の経験がある教員がその経験を活かして、学生の理解が深まる教授を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
子どもの保健Ⅰの講義内容を復習しておくこと。
日頃より子どもに関するニュースなどに関心をもっておくこと。
各回の授業についての予習・復習1時間程度。

[授業計画]
1　子どもの疾病と適切な対応①　子どもの病気の特徴
2　子どもの疾病と適切な対応②　感染症
3　子どもの疾病と適切な対応③　アレルギー
4　子どもの疾病と適切な対応④　その他の病気1
5　子どもの疾病と適切な対応⑤　その他の病気2
6　症状・けがへの対応①　健康観察、主な症状と対応1
7　症状・けがへの対応②　主な症状と対応2
8　症状・けがへの対応③　子どもの事故とけがへの対応(救急蘇生を含む)
9　子どもの発達障害とその対応
10　子どもの環境と保健①　環境整備.・衛生管理
11　子どもの環境と保健②　事故防止及び安全対策
12　子どもの環境と保健③　危機管理と災害への備え
13　まとめと確認

科目名	子どもの保健Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	内　正子		

[成績評価方法]
試験（60%）、レポート（30%）、授業への取り組み(10%)

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
KISSシステムを活用したフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験
レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：試験
レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：試験
レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験
レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験
レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験
レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:これならわかる！子どもの保健演習ノート 著者名:榊原洋一 出版社名:診断と治療社 ISBN:9784787824073

[参考書（ISBN）]

S62360 [LKH2-035]

科目名	子どもの保健Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	子どもの健康と安全	演習	
担当者	細川　愛美、内　正子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他	○技術演習	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1.望ましい保育環境の管理方法が説明できる。
2.子どもの怪我や体調不良時の適切な対応が説明できる。
3.子どもの応急処置ができるようになる。
4.子どもの救急蘇生ができるようになる。
5.子どもの健康と安全のための取組みについて説明できる。

[授業概要]
乳幼児の健康と発育を保障するために、保育者は医学・保健学の知識に基づいた専門的な知識と技術が必要になります。小児期に関わるうえで小児期の発育発達を理解し、日常生活の中で心身の健康な育成のためにどうすればよいのか等を講義・演習を通して保育に必要な技術を実践的に習得します。
教科書は2年次購入教科書を使用

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習・復習合わせて1時間程度。

[授業計画]
1.子どもの健康と環境(安全点検表作成)4月9日　細川
2.子どもの健康支援(発育測定)4月16日　細川
3.保育所における保健的対応①(保育室内外の環境整備のまとめ)4月23日　細川
4.保育所における保健的対応②(子どもを事故から守る取組)5月7日　細川
5.日常における養護の方法、生活習慣　5月14日　内
6.子どもの主な症状への対応①　5月21日　内
7.子どもの主な症状への対応②(与薬、感染症対策、エピペン?)　5月28日　内
8.個別な配慮を必要とする子どもへの対応(慢性疾患や障害のある子どもや家族への支援)　6月4日　内
9.事故防止および安全対策(ハザードマップ作成)6月18日　細川
10.救急処置および救急蘇生(心肺蘇生法演習)6月25日　細川
11.事故への対応(ロールプレイを用いてグループ発表)7月2日　細川
12.災害への備え(災害訓練事例のシミュレーション、保健計画作成)7月9日　細川
13.健康および安全管理の実施体制　まとめ　7月16日　細川

科目名	子どもの保健Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	子どもの健康と安全	演習	
担当者	細川　愛美、内　正子		

[成績評価方法]
試験40%
演習での取組、レポート、小テスト60%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験後、解答の解説を行う。
提出物はコメントを入れて返却、もしくは返却時に解説する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:試験、演習での取組、レポート、小テスト

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:試験、演習での取組、レポート、小テスト

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:試験、演習での取組、レポート、小テスト

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験、演習での取組、レポート、小テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験、演習での取組、レポート、小テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験、演習での取組、レポート、小テスト

[教科書(ISBN)]
書籍名:これならわかる！子どもの保健演習ノート改訂第3版追補 著者名:榊原洋一監修　小林美由紀執筆 出版社名:診断と治療社 ISBN:9784787824073

[参考書(ISBN)]

科目名	子どもの理解と援助	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	隠岐　厚美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
①保育場面における乳幼児の心身の発達を実践的に理解する。
②乳幼児の体験や学びの過程をふまて保育士の基本的援助や態度について理解する
③子どもを理解するための具体的な方法を学ぶ

[授業概要]
乳幼児にとっては、遊びを中心とするに日常生活が学びの場であり、他者との相互的かかわりを通して様々な心的機能を確立する。この点を重視し、本授業では、言語聴覚士兼心理士として乳幼児の発達臨床に携わる教員が、社会性の発達を中心に乳幼児期の心身の発達を促す保育士の援助について概説し、演習形式で学ぶ

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。

授業内で紹介する参考資料を熟読し、各自の保育観を育めるよう、授業内容をしっかり復習してください
次の授業のテキスト指定箇所を読み、質問事項を考えておいてください

[授業計画]
1.保育におけるこども理解の意義
2.乳幼児期の学びについて
3子どもに対する共感的理解と保育者のかかわり
4.グループワーク1:子どもの生活と遊び　遊びと主体性
5.グループワーク2:子どもの生活と遊び　遊びの中の他者とのかかわりー自己理解と他者理解ー
6.グループワーク3:子どもの生活と遊び　遊びの中で獲得される社会スキルー自己調整能力ー
7.グループワーク4:子どもの生活と遊び　基本的生活習慣の獲得と社会スキル
8.グループワーク5:子どもの生活と遊び　遊びを中心とする日常生活で育まれる「わたし」の基盤
9.グループワークワーク6:子どもの生活とあそび　発達に応じた保育環境
10.グループワーク7:乳幼児期の学びを支える保育　保護者への支援
11.グループワーク8:乳幼児期の学びを支える保育　発達の連続性と就学へ向けた支援
12.グループワーク成果発表
13.まとめ

科目名	子どもの理解と援助	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	隠岐　厚美		

[成績評価方法]
「レポート課題（70%）」「グループ発表（20%）」「ミニッツノート・提出物（10%）」

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
原則、発表後、及び提出物の返却時に口頭でフィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：「レポート課題（70%）」「グループ発表（20%）」「ミニッツノート・提出物（10%）」

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：「レポート課題（70%）」「グループ発表（20%）」「ミニッツノート・提出物（10%）」

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：「レポート課題（70%）」「グループ発表（20%）」

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：「レポート課題（70%）」「グループ発表（20%）」「ミニッツノート・提出物（10%）」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：「レポート課題（70%）」「グループ発表（20%）」「ミニッツノート・提出物（10%）」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：「グループ発表（20%）」

[教科書（ISBN）]
書籍名:コンパス　保育の心理学 著者名:寺見陽子 出版社名:建帛社 ISBN:978-4-7679-5148-5

[参考書（ISBN）]

科目名	子どもの理解と発達 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
乳幼児期の子どもの発達や子育て支援についての知識や技能について学び、それらを保育や子育て支援の実際において活かすことのできる資質へと高めることを目指す

[授業概要]
本学では地域への子育て支援における社会貢献や実践力のある保育者養成を目指している。 子どもの発達理解や保育技術の修得、保育観や教育観、発達観等の構築、保育の計画や環境構成などの保育構成に関する知識や技術の修得を行う。また、保育者の資質として求められるようになった子育て支援に関する知識や技能の修得、子どもや保護者等へのコミュニケーション能力の獲得などについて、さまざまな角度や方法で学ぶ。見学や実践に関しては、土曜日等を利用する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
子どもの発達理解や子育て支援など関連科目の知識や学びについて、整理しておく。
テーマごとに、予習、復習をすること。グループでの準備作業等もある。各回3時間程度の予習、準備、復習が必要となる。

[授業計画]
1.オリエンテーション・学習課題の設定
2.6か月未満児の発達について
3.6か月未満児に関する育児不安について
4保育所見学(学外)
5.か月未満児の保育計画
6.実践準備
7.保育実践(学外)
8.振り返り
9.6か月以上1歳未満児の発達について
10.か月以上1歳未満児の保育計画
11.実践準備
12.保育実践(学外)
13.振り返り まとめ

科目名	子どもの理解と発達 I	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[成績評価方法]
取組への姿勢（相互評価）40% 提出物60%
取り組みへの姿勢は毎回の授業後にグループ内で相互評価で評価する
提出物は期限、形式、内容を踏まえて評価をする

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
翌回に指導・提出物の返却フィードバックを行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：提出物

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：取組への姿勢　提出物

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：取組への姿勢　提出物

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：取組への姿勢　提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：取組への姿勢　提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：取組への姿勢　提出物

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	子どもの理解と発達Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
乳幼児期の子どもの発達や子育て支援についての知識や技能について学び、それらを保育や子育て支援の実際において活かすことのできる資質へと高めることを目指す

[授業概要]
本学では地域への子育て支援における社会貢献や実践力のある保育者養成を目指している。 子どもの発達理解や保育技術の修得、保育観や教育観、発達観等の構築、保育の計画や環境構成などの保育構成に関する知識や技術の修得を行う。また、保育者の資質として求められるようになった子育て支援に関する知識や技能の修得、子どもや保護者等へのコミュニケーション能力の獲得などについて、さまざまな角度や方法で学ぶ。 実践のため、土曜日等を利用して、学外に出かける。なお本授業の履修にあたっては、前期の子どもの理解と発達Iを履修することを必須とする

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
子どもの発達理解や子育て支援など関連科目の知識や学びについて、整理しておく。
テーマごとに、予習、復習をすること。グループでの準備作業等もある。各回3時間程度の予習、準備、復習が必要となる。

[授業計画]
1.オリエンテーション　グループ分け　課題設定
2.子育て支援施設見学1(学外)
3..子育て支援施設見学2(学外)
4.見学振り返り
5.1-2歳児の発達について
6.1-2歳児に関する育児不安について
7.1-2歳児の保育計画
8.実践準備
9.実践(学外)
10.振り返り
11.保護者支援とは
12.保護者支援ロールプレイ
13取り組み全体の反省と活動のまとめ

科目名	子どもの理解と発達Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[成績評価方法]
取組への姿勢（相互評価）40% 提出物60%
取り組みへの姿勢は毎回の授業後にグループ内で相互評価で評価する
提出物は期限、形式、内容を踏まえて評価をする

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
翌回に指導・提出物の返却フィードバックを行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：提出物

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：取組への姿勢　提出物

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：提出物

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：取組への姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：取組への姿勢　提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：取組への姿勢　提出物

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	算数科概説	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	穴田　恭輔		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校算数科における学習内容とその教授方法を修得する。特に、「数学的活動」によって算数・数学に必要な概念を構成できる能力を養成する。算数教育に有用なソフトウェアを算数科の授業に利用できる。

[授業概要]
『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編』によって、小学校の算数科の内容と方法を理解し、実践化する。本講義では、算数の背景にある数学的内容、算数を教えるために必要な認知心理学的な背景を述べたい。現在私たちが使う記数法には位取りの原理が使われており、そのよさはその構造を自覚してこそわかる。また、算数教育の数概念の形成の裏には常に必ず量が介在しており、抽象的な「数」を理解する上には、心理的、認知的な問題が含まれている。これらを自らの「数学的活動」として学ぶことで、学習指導要領の算数科の目標に掲げられる「数学的活動を通して」を体験する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の復習に加え、本授業の内容をしっかり理解できるよう教科書として示した本を読んでおくこと。

[授業計画]
1. 算数という教科の意義・目標・内容
2. 算数教育とその目標の変遷(和算～黒表紙教科書の時代まで)
3. 算数教育とその目標の変遷(緑表紙教科書～現在)
4. 記数法と命数法
5. 加法
6. 減法
7. 乗法
8. 除法
9. 量(外延量と内包量)、測定
10. 小数
11. 分数
12. 変化と関係(関数の考え)、データの活用
13. まとめ

科目名	算数科概説	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	穴田　恭輔		

[成績評価方法]
小テスト・発表・提出物等（30%）、試験（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
LMSを適宜活用してコメントします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表、試験

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：発表、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表、試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:小学校算数科教育法 著者名:鈴木将史 出版社名:建帛社 ISBN:9784767921129
書籍名:小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編 著者名:文部科学省 出版社名:日本文教出版大阪 ISBN:9784536590105

[参考書（ISBN）]

科目名	算数科概説	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	穴田　恭輔		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校算数科における学習内容とその教授方法を修得する。特に、「数学的活動」によって算数・数学に必要な概念を構成できる能力を養成する。算数教育に有用なソフトウェアを算数科の授業に利用できる。

[授業概要]
『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編』によって、小学校の算数科の内容と方法を理解し、実践化する。本講義では、算数の背景にある数学的内容、算数を教えるために必要な認知心理学的な背景を述べたい。現在私たちが使う記数法には位取りの原理が使われており、そのよさはその構造を自覚してこそわかる。また、算数教育の数概念の形成の裏には常に必ず量が介在しており、抽象的な「数」を理解する上には、心理的、認知的な問題が含まれている。これらを自らの「数学的活動」として学ぶことで、学習指導要領の算数科の目標に掲げられる「数学的活動を通して」を体験する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の復習に加え、本授業の内容をしっかり理解できるよう教科書として示した本を読んでおくこと。

[授業計画]
1. 算数という教科の意義・目標・内容
2. 算数教育とその目標の変遷(和算～黒表紙教科書の時代まで)
3. 算数教育とその目標の変遷(緑表紙教科書～現在)
4. 記数法と命数法
5. 加法
6. 減法
7. 乗法
8. 除法
9. 量(外延量と内包量)、測定
10. 小数
11. 分数
12. 変化と関係(関数の考え)、データの活用
13. まとめ

科目名	算数科概説	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	穴田　恭輔		

[成績評価方法]
小テスト・発表・提出物等（30%）、試験（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
LMSを適宜活用してコメントします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：発表、試験

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：発表、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表、試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:小学校算数科教育法 著者名:鈴木将史 出版社名:建帛社 ISBN:9784767921129
書籍名:小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編 著者名:文部科学省 出版社名:日本文教出版大阪 ISBN:9784536590105

[参考書（ISBN）]

科目名	算数科教育法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	穴田　恭輔		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学習指導要領に示された算数に関する目標と内容についてその詳細を理解する。また、基礎的な学習指導理論を理解し、指導方法と授業設計について、基礎的な技能および情報機器の活用技能を身につける。

[授業概要]
算数教育の目的、数学的な見方・考え方の指導、カリキュラムの内容の系統（五つの領域）について解説する。学習指導案の作成とグループワークで授業づくりを行い、模擬授業を実施する。数学的活動についてLMSを活用した意見交換をしながら「授業研究」を体験する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各自時間をつくって、本講義の教科書および参考書として示した本を読み物として少しずつ読んでおくこと。

[授業計画]
1. 算数科の目標と内容の系統
2. 実践的な実際の授業から学ぶ（ビデオの視聴）
3. 実践的な実際の授業から学ぶ（研究授業の分析と評価）
4. 算数科の学習指導案
5. 学習指導案を作成する（教材観と教育目標を中心に）
6. 学習指導案を作成する（本時の学習過程を中心に）
7. 学習指導案にンついて意見交換（グループ作業）
8. グループ1, 2による模擬授業の実施とLMSを活用した意見交換と振り返り
9. グループ3, 4による模擬授業の実施とLMSを活用した意見交換と振り返り
10. グループ5, 6による模擬授業の実施とLMSを活用した意見交換と振り返り
11. グループ7, 8による模擬授業の実施とLMSを活用した意見交換と振り返り
12. グループ9, 10による模擬授業の実施とLMSを活用した意見交換と振り返り
13. 正多面体についての操作活動と考察

科目名	算数科教育法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	穴田　恭輔		

[成績評価方法]
小テストおよび平常試験・提出物等(40%)、発表・グループ活動・模擬授業等(60%)で総合評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
LMSおよび掲示板で適宜コメントします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:発表、試験

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:発表、試験

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:発表、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:発表、試験

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編 平成29年7月 著者名:文部科学省 出版社名:日本文教出版
ISBN:9784536590105

科目名	算数科教育法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	穴田　恭輔		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学習指導要領に示された算数に関する目標と内容についてその詳細を理解する。また、基礎的な学習指導理論を理解し、指導方法と授業設計について、基礎的な技能および情報機器の活用技能を身につける。

[授業概要]
算数教育の目的、数学的な見方・考え方の指導、カリキュラムの内容の系統（五つの領域）について解説する。学習指導案の作成とグループワークで授業づくりを行い、模擬授業を実施する。数学的活動についてLMSを活用した意見交換をしながら「授業研究」を体験する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各自時間をつくって、本講義の教科書および参考書として示した本を読み物として少しずつ読んでおくこと。

[授業計画]
1. 算数科の目標と内容の系統
2. 実践的な実際の授業から学ぶ（ビデオの視聴）
3. 実践的な実際の授業から学ぶ（研究授業の分析と評価）
4. 算数科の学習指導案
5. 学習指導案を作成する（教材観と教育目標を中心に）
6. 学習指導案を作成する（本時の学習過程を中心に）
7. 学習指導案にンついて意見交換（グループ作業）
8. グループ1, 2による模擬授業の実施とLMSを活用した意見交換と振り返り
9. グループ3, 4による模擬授業の実施とLMSを活用した意見交換と振り返り
10. グループ5, 6による模擬授業の実施とLMSを活用した意見交換と振り返り
11. グループ7, 8による模擬授業の実施とLMSを活用した意見交換と振り返り
12. グループ9, 10による模擬授業の実施とLMSを活用した意見交換と振り返り
13. 正多面体についての操作活動と考察

科目名	算数科教育法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	穴田　恭輔		

[成績評価方法]
小テストおよび平常試験・提出物等(40%)、発表・グループ活動・模擬授業等(60%)で総合評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
LMSおよび掲示板で適宜コメントします。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:発表、試験

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:発表、試験

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:発表、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:発表、試験

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:小学校学習指導要領(平成29年告示)解説 算数編 平成29年7月 著者名:文部科学省 出版社名:日本文教出版
ISBN:9784536590105

科目名	算数科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	穴田　恭輔		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校算数科における学習内容を「数学的な見方や考え方」に着目して修得する。さらに、「数学的活動」による算数教育を構築することをめざす。
また、図形ツールなどのソフトウェアを利用した授業を構成できるようになることもめざす。

[授業概要]
学校数学で扱う概念は日常の人間行動や自然現象を抽象化したものである。人間行動がいかにして抽象化・形式化されて、小学校算数科の教材となるかといった教材を高い立場から見直すことで、算数・数学の理解を深めることを目的とする。このことで、採用試験にも対する自信をつけてもらえると考える。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
自ら演習問題を解いておく。

[授業計画]
1. 算数「割合と比」 / 数学「数と式(絶対値)」
2. 算数「濃度/数と式」/ 数学「数と式(式の計算)」
3. 算数「仕事算」 / 数学「方程式」
4. 算数「売買損益」/ 数学「不等式」
5. 算数「倍数算」 / 数学「2次関数」
6. 算数「旅人算」 / 数学「2次関数の最大・最小」
7. 算数「速さ」 / 数学「正弦定理・余弦定理」
8. 算数「速さとグラフ」/ 数学「相似」
9. 算数「通過算」 / 数学「命題と論証」
10. 算数「図形を使った数列」/ 数学「場合の数」
11. 算数「等差数列」/ 数学「確率」
12. 算数「差集め算」/ 数学「平面図形」
13. まとめ

S64640 [LKH3-031]

科目名	算数科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	穴田　恭輔		

[成績評価方法]
各回の発表（30%）、試験（70%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
manaba のコースニュースおよび掲示板で適宜コメントします。
採点が済んだ試験を返却します。希望者はとりにきてください。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：発表、試験

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：発表、試験

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表、試験

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	肢体不自由者の心理・生理・病理	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山本　裕子、高田　哲		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
特別支援教育の教員として必要な肢体不自由に関する基礎知識を理解し、発達と生活上の問題に対する支援方法について学ぶ
・肢体不自由者の基礎知識、心理、生理、病理について理解する。
・肢体不自由者の発達と生活上の問題に対する留意点と支援について理解する。

[授業概要]
肢体不自由のある幼児、児童又は生徒の起因疾患（脳原性疾患、脊髄疾患、抹消神経疾患）となる病理面や併存症・合併症と心理面及び生理面の特徴並びにそれらの相互作用について理解する。また、学校現場における検査や観察を通して脳性まひのある幼児、児童又は生徒一人一人の肢体不自由の状態や感覚機能の発達、知能の発達及び認知の特性を把握することを理解する。さらに家庭や医療機関との連携における課題の共有や連携の内容や方法の重要性についても理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
資料やスライド、参考書を中心とした講義とグループワークやディスカッション、個人学習形式を混ぜながら授業を展開します。
授業時間外学修として、授業内容についての予習と復習、提示された課題に取り組んでください。

[授業計画]
第1回：ガイダンス・肢体不自由の理解、障がい者の権利について（担当：山本）
第2回：肢体不自由者の生理、病理特性①（骨筋・神経系と運動の生理学）（担当：高田）
第3回：肢体不自由者の生理、病理特性②（脳性疾患・脊椎脊髄疾患・筋原性疾患・骨系統疾患・代謝性疾患など）（担当：高田）
第4回：呼吸機能障害に関する基礎知識と支援①（重症心身障害児の呼吸障害とケア）（担当：山本）
第5回：呼吸機能障害に関する基礎知識と支援②（気管切開・人工呼吸療法とケア）（担当：山本）
第6回：食べる機能障害の基礎知識と支援（担当：山本）
第7回：排泄機能障害の基礎知識と支援（担当：山本）
第8回：特別支援学校における医療的ケア（担当：山本）
第9回：肢体不自由の心理特性①（発達とアセスメント）（担当：山本）
第10回：肢体不自由の心理特性②（発達とアセスメント）（担当：山本）
第11回：肢体不自由者の自立活動・療育（担当：山本）
第12回：肢体不自由者の多職種連携、福祉制度の活用（担当：山本）
第13回：肢体不自由者の社会生活、地域交流（担当：山本）

科目名	肢体不自由者の心理・生理・病理	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山本　裕子、高田　哲		

[成績評価方法]
レポート70%・リフレクションペーパー30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:課題(20%)・レポート(50%)・リフレクションペーパー(30%)

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法:授業態度(20%)・レポート(50%)・リフレクションペーパー(30%)

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度(20%)・レポート(50%)・リフレクションペーパー(30%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業態度(20%)・レポート(50%)・リフレクションペーパー(30%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業態度(20%)・レポート(50%)・リフレクションペーパー(30%)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:よくわかる肢体不自由教育 第2版 著者名:宮崎昭・森崎博志 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:978-4-623-09483-7

科目名	実践英語表現Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中学校外国語科の授業において英語で授業ができる実践的な英語力を養うために、英語で考え、英語で発信する力を身につける。

[授業概要]
海外の様々な話題を取り上げた映像を通して、実際に使われている表現や、英語で明確に自分の考えや意見を相手に伝えるための表現方法や提示の仕方を学ぶ。コロケーションやイディオムについても、使用場面を示して説明する。グループワークやアウトプット活動を取り入れながら「読む」・「書く」・「聞く」・「話す」の4技能をバランスよく高めていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
各テーマについて、自分の意見を考えておくこと。また、音声を聴き、英語の発話練習(音読)を繰り返し行っておくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション & The Social Media Challenge
2. Wave Garden
3. Speaking Through Poetry
4. Cooking Korean
5. My Favorite Places
6. British Sign Language
7. E-body
8. Swimming With Whales
9. How to Become a Standout Footballer
10. London Dreadlocks
11. Earthships
12. Fill My Tank
13. まとめ
※進捗状況により、計画の一部を変更する場合がある。

科目名	実践英語表現Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
定期試験(50%)、授業中の課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:定期試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:定期試験、授業中の課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:定期試験、授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:定期試験、授業中の課題

[教科書(ISBN)]
書籍名:GLOBAL GATE Upper-intermediate 著者名:Hironobu Tanaka, Mika Igarashi, Bill Benfield, Akira Morita 出版社名:SEIBIDO ISBN:9784791972838

[参考書(ISBN)]

科目名	実践英語表現Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語で授業ができるようになろう。	講義	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中学校検定教書(英語科)をつかって授業ができるようになる。そのために中学校検定教科書の本文の読みを徹底して行い、モデルレベルまで到達するようにしていく。目標とする文法項目を身に着けるためのタスク活動や授業中の活動を計画して、英語科学習指導案を作成できるようになる。指導案に沿った教材を作成できる。最終的に授業を一人で担当できるようになる。

[授業概要]
中学校学習指導要領には、「話すこと(やり取り)」と「話すこと(発表)」の違いを明確にして指導することが求められている。このような指導力を身に付けるために、本授業では、受講生が教員となり自ら考案した英語科学習指導案に基づいて模擬授業を行い、実践力を培う。その際、小学校ならびに高等学校との連携を視野に入れる。ICT技術を効果的に取り入れることにもトライする。毎回教科書本文の読みを練習し、モデルリーディングレベルに到達するように努力していく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
次に行うUnitに目を通しておくこと。授業の中で提示する課題に取り組んでおくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション ならびに　模擬授業の担当会、内容を決定していく。
2. 模擬授業1　教科書を中心にした授業のすすめ方
3. 模擬授業2　Readingに主眼をおいた授業のすすめ方
4. 模擬授業3　板書事項、発話への考察
5. 模擬授業4　Listening、speakingに主眼をおいた授業のすすめ方
6. 模擬授業5　授業のながれとテンポを意識した授業のすすめ方
7. 模擬授業6　Readingとwritingに主眼をおいた授業のすすめ方
8. 模擬授業7　導入と展開のつながりを意識した授業のすすめ方
9. 模擬授業8　ICTを活かす授業について
10. 模擬授業9　インタラクションに主眼をおいた授業のすすめ方
11. 模擬授業10　タスク活動を考察することを主眼にした授業について
12. 模擬授業11　今日的課題を考察する
13. まとめとしての英語科学習指導案の作成

科目名	実践英語表現Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	英語で授業ができるようになろう。	講義	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
授業への主体的参加度(30%)、模擬授業での取り組みに対する評価(50%)、最終指導案(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業中になるべく行う。最終課題については、メール等で行う予定である。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業への主体的参加度、模擬授業への取り組みで評価します。

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:最終指導案で評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:模擬授業への取り組みで評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業への主体的参加度で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:最終指導案で評価します。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	児童英語教育概論	前期	2 単位
サブタイトル	英語初学者へ英語を教えることを具体化していこう:実践力の育成	講義	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
実際に幼児や児童に英語を教えていくことができるようになる。具体的には、①マザー・グースを2つ以上覚えて児童に指導できるようになる。②アルファベットや身近にあるもの、学習者目線での英語を教えることができるようになり教材の作成ができる。③英語のストーリーテリングなどを身に着け、実際に語れるようになる。以上を目指す。

[授業概要]
この授業では幼い子どもへ英語を楽しく学ぶ方法を考え、それに基づいた教材を探すことや語りを身に着けることで実践力を身に着けます。歌やチャンツ、絵本や紙芝居などを用いて、楽しくまなぶことを教室で展開していき、受講生同士のお互いのスキルをブラッシュアップしていきましょう。この授業が終わるころには、英語のフレーズがいくつも身につき、たくさんの授業アイデアを提供できるようになるようにお互い切磋琢磨していきましょう。そのためにもみんなでアイデアを出し合って楽しい英語授業を一緒につくっていくものです。担当者は教育現場での教授歴があるので、実践的に展開していきます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
JLCを活用して手本となる英語教師の授業を視聴し、優れている点などを分析しておく。毎回、教えることを実践しながら英語の歌やチャンツ、ストーリーを語れるようになっていくことが求められているので、練習をおこたらないことが重要です。最終的には自分およびグループで作品を完成することを目指しましょう。

[授業計画]
受講生のリクエスト等により変更することはありますが、現在のところ以下のように計画しています。
第1回:授業の進め方、アルファベットの教え方
第2回:英語のチャンツ、マザーグース　その1
第3回:英語のチャンツ、マザーグース　その2
第4回:英語のチャンツ、マザーグースの発表、相互評価、課題設定
第5回:英語のストーリーテリング　その1(グループ内発表)
第6回:英語のストーリーテリング　その2(グループ内発表)
第7回:英語のストーリーテリング　合同発表会
第8回:英語のストーリーテリング　振り返り、相互評価
第9回:英語のストリーテリングを中心とした英語活動1
第10回:英語のストリーテリングを中心とした英語活動2(メンバー入れ替え)
第11回:英語のオリジナルストーリー創作
第12回:英語のオリジナルストーリー発表会
第13回:振り返りと今後へ向けて

科目名	児童英語教育概論	前期	2 単位
サブタイトル	英語初学者へ英語を教えることを具体化していこう:実践力の育成	講義	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
授業への積極的参加(発言、推進等)(30%)、個人ワーク(30%)、最終課題(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題については、後日評価やコメントを付して返却します。授業ではあなたの質問がよりよい創意工夫を生み出しますので、主体的に参加してください。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業への積極的参加態度、発言内容や取り組み方で評価する。

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:個人ワークにより評価する。

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:最終課題により評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:個人ワークにより評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業への積極的参加度により評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:最終課題により評価する。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	社会科概説	前期	2 単位
サブタイトル	小学校社会科の基礎・基本	講義	
担当者	佐藤　浩樹		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校社会科教育の基礎を理解する。
小学校社会科授業を担当する教員として必要な地域学習、地理的学習、歴史的学習、公民的学習に関わる基礎的・基本的な知識・理解と能力を養う。

[授業概要]
社会科教育の意義・目標、歴史、カリキュラムを概観し、小学校社会科教育の基礎について、授業実践例も取り上げて解説する。
また、小学校社会科の地理的内容、歴史的内容、公民的内容について、授業実践例の紹介や模擬授業なども取り入れて講義する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
前回の学習内容を復習して理解し、次回の授業を予習しておく。各自が問題意識・主体者意識を持って授業に臨んでほしい。

[授業計画]
1. 社会科教育の意義・目標
2. 社会科教育の歴史
3. 社会科教育のカリキュラム
4. 地理的学習の内容①
5. 地理的学習の内容②
6. 地理的学習の内容③
7. 歴史的学習の内容①
8. 歴史的学習の内容②
9. 歴史的学習の内容③
10. 公民的学習の内容①
11. 公民的学習の内容②
12. 公民的学習の内容③、地域学習の内容
13. まとめ、テスト

科目名	社会科概説	前期	2 単位
サブタイトル	小学校社会科の基礎・基本	講義	
担当者	佐藤　浩樹		

[成績評価方法]
授業に取り組む姿勢・提出物（20%）、レポート（20%）、試験（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、レポート

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：試験、レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験、レポート、授業に取り組む姿勢

[教科書（ISBN）]
書籍名:テキスト初等社会科 著者名:佐藤　浩樹 出版社名:学文社 ISBN:9784762029141
書籍名:小学校学習指導要領〈平成２９年告示〉解説　社会編 著者名:文部科学省／〔著〕 出版社名:日本文教出版 ISBN:9784536590099

[参考書（ISBN）]

科目名	社会科教育法	後期	2 単位
サブタイトル	小学校社会科の授業づくり	講義	
担当者	佐藤　浩樹		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校社会科の学習指導に関わる基礎的事項について理解する。
学習指導案を作成して模擬授業を行い、小学校社会科の実践的指導力を身に付ける。

[授業概要]
前半は、小学校社会科の学習指導法や授業構成、教材研究から学習指導案作成の過程、評価について講義する。まとめとして各自が地域学習の学習指導案を作成する。後半は、グループで学習指導案を作成して模擬授業を行い、社会科の実践的指導力を養っていく。模擬授業について相互に討論することを通して、授業を分析する力も養う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の学習内容を復習して理解し、次回の授業を予習しておく。各自が問題意識・主体者意識を持って授業に臨んでほしい。

[授業計画]
1. 社会科の学習指導論と学習過程
2. 社会科の学習過程と授業構成
3. 社会科の学習形態と学習活動
4. 社会科授業づくりとICTの活用
5. 社会科教材研究と学習指導案の作成
6. 社会科学習指導案の検討・発表、模擬授業に向けて
7. 社会科の評価
8. 社会科模擬授業①(第3学年の内容)
9. 社会科模擬授業②(第4学年の内容)
10. 社会科模擬授業③(第5学年の内容)
11. 社会科模擬授業④(第5、6学年の内容)
12. 社会科模擬授業⑤(第6学年の内容)
13. まとめ、テスト

科目名	社会科教育法	後期	2 単位
サブタイトル	小学校社会科の授業づくり	講義	
担当者	佐藤　浩樹		

[成績評価方法]
授業に取り組む姿勢（20%）、レポート（10%）、模擬授業（20%）、試験（50%）、

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：試験、レポート、授業に取り組む姿勢

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：試験、レポート、模擬授業、授業に取り組む姿勢

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート、模擬授業、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート、模擬授業、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験、レポート、模擬授業、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：試験、レポート、模擬授業、授業に取り組む姿勢

[教科書（ISBN）]
書籍名:テキスト初等社会科 著者名:佐藤　浩樹 出版社名:学文社 ISBN:9784762029141
書籍名:小学校学習指導要領〈平成２９年告示〉解説　社会編 著者名:文部科学省／〔著〕 出版社名:日本文教出版 ISBN:9784536590099

[参考書（ISBN）]

科目名	社会科教育法	後期	2 単位
サブタイトル	小学校社会科の授業づくり	講義	
担当者	佐藤　浩樹		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校社会科の学習指導に関わる基礎的事項について理解する。
学習指導案を作成して模擬授業を行い、小学校社会科の実践的指導力を身に付ける。

[授業概要]
前半は、小学校社会科の学習指導法や授業構成、教材研究から学習指導案作成の過程、評価について講義する。まとめとして各自が地域学習の学習指導案を作成する。後半は、グループで学習指導案を作成して模擬授業を行い、社会科の実践的指導力を養っていく。模擬授業について相互に討論することを通して、授業を分析する力も養う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の学習内容を復習して理解し、次回の授業を予習しておく。各自が問題意識・主体者意識を持って授業に臨んでほしい。

[授業計画]
1. 社会科の学習指導論と学習過程
2. 社会科の学習過程と授業構成
3. 社会科の学習形態と学習活動
4. 社会科授業づくりとICTの活用
5. 社会科教材研究と学習指導案の作成
6. 社会科学習指導案の検討・発表、模擬授業に向けて
7. 社会科の評価
8. 社会科模擬授業①(第3学年の内容)
9. 社会科模擬授業②(第4学年の内容)
10. 社会科模擬授業③(第5学年の内容)
11. 社会科模擬授業④(第5、6学年の内容)
12. 社会科模擬授業⑤(第6学年の内容)
13. まとめ、テスト

科目名	社会科教育法	後期	2 単位
サブタイトル	小学校社会科の授業づくり	講義	
担当者	佐藤　浩樹		

[成績評価方法]
授業に取り組む姿勢（20%）、レポート（10%）、模擬授業（20%）、試験（50%）、

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験、レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：試験、レポート、授業に取り組む姿勢

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：試験、レポート、模擬授業、授業に取り組む姿勢

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート、模擬授業、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：試験、レポート、模擬授業、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験、レポート、模擬授業、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：試験、レポート、模擬授業、授業に取り組む姿勢

[教科書（ISBN）]
書籍名:テキスト初等社会科 著者名:佐藤　浩樹 出版社名:学文社 ISBN:9784762029141
書籍名:小学校学習指導要領〈平成２９年告示〉解説　社会編 著者名:文部科学省／〔著〕 出版社名:日本文教出版 ISBN:9784536590099

[参考書（ISBN）]

科目名	社会科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤　浩樹		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
社会科授業における教材、単元構成、カリキュラム・マネジメントの重要性を理解し、地域教材づくり、学習指導案作成、単元構想開発をすることができる。

[授業概要]
教材研究、単元構成、カリキュラムマネジメントについて講義し、それに基づいて写真を活用した地域教材づくり、総合的な単元構想、小学校区域の地図作成、子どもの関心と意欲を高める教材開発を行う。
神戸市の小学校を訪問し、授業を参観するとともに教材づくりに関わる講義を受講する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
社会科教材づくり・授業づくり、カリキュラム・マネジメントに関わる本を読むこと。

[授業計画]
1. 社会科授業における教材研究①
2. 社会科授業における教材研究②
3. 社会科地域学習とフィールドワーク
4. 社会科授業における地域教材開発①
5. 社会科授業における地域教材開発②
6. 地理院地図を活用した小学校区域の地図作成
7. 社会科におけるカリキュラム・マネジメント
8. 社会科を中心とした横断的・総合的単元の構想①
9. 社会科を中心とした横断的・総合的単元の構想②
10. 子どもの関心･意欲を高める社会科教材開発①
11. 子どもの関心･意欲を高める社会科教材開発②
12. 小学校社会科授業の参観と教材研究①
13. 小学校社会科授業の参観と教材研究②

科目名	社会科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤　浩樹		

[成績評価方法]
授業に取り組む姿勢（30%）、課題・レポート（70%）。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中にコメントする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：レポート、授業に取り組む姿勢

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート、授業に取り組む姿勢

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	社会的養護Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
児童福祉施設での児童養護の理論、実践方法、今日的動向を概観する中で、専門職としての保育士が必要な知識等を習得することを目標とする。

[授業概要]
“子どもは家庭で成長することが望ましい”。しかし今日の家庭状況は、現代社会のさまざまな構造要因によって、親たちが家庭のみで子育てを十分に行うことができない場合がある。
　本授業では、「児童養護とは何か」について学ぶ。また社会的養護の必要な子どもたちは、家庭を離れて児童福祉施設等で生活したり、また家庭から通園して養護を受けていることがある。子どものすこやかな成長発達を保障するために必要な児童養護とはなにかについて学び、その場としての社会資源としての児童福祉施設についての理解も深めたい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
児童養護についての普段より情報を収集し、児童福祉施設の種類、家庭的養護等の内容について社会的養護全般に対する知識を積極的に収集すること。

[授業計画]
テキストを基本使用し、適宜必要な資料を作成して配布する。また、実際の現場状況を理解するために、DVD教材等を視聴してより実践的な理解を深める。
以下の計画で授業を進める。

1. ガイダンス
2. 「子ども」「子ども観」「子どもの権利」等を理解すること
3. 社会的養護とは
4. 社会的養護の基本原則
5. 施設養護の指導と基本原理
6. 児童養護の歴史
7. 児童養護の制度
8. 施設養護の実際①
9. 施設養護の実際②
10. 施設養護の実際③
11. 家庭的養護①
12. 家庭的養護②
13. まとめ、今後の課題

科目名	社会的養護Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大西　雅裕		

[成績評価方法]
レポート試験で評価を行う

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業最終レポート及び小テストにて評価

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:授業最終レポート及び小テストにて評価

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:授業最終レポート及び小テストにて評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度及び授業内レポート等による評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度及び授業内レポート等による評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業態度及び授業内レポート等による評価

[教科書(ISBN)]
書籍名:社会的養護[第5版] 著者名:小池　由佳 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623096848

[参考書(ISBN)]

科目名	社会的養護Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
　児童福祉施設での児童の養育について重要な責務を担うのが保育士である。その保育士に必要な専門的知識、技能について学ぶ、実際役立つ実践力を体得する。

[授業概要]
児童福祉施設に入所する子どもたちの抱える問題は、今日、複雑・多様化してきている。それらの問題に対応する処遇方法について学ぶ。まず児童福祉施設での具体的事例等を通して、具体的な実践方法について学ぶ。また家庭型養護である里親制度の事例について検討する。その上で援助者としての価値観、子ども観、施設養護観等について学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
3回生前期の社会的養護で学んだ原理、実際、現状等を再度学修しておくこと。
授業の進め方として、毎回学生に進行してもらいます。主体的に取り組んでください。

[授業計画]
1. イントロダクション・児童養護の基本的理解
2. 児童福祉施設での処遇の現状①
3. 児童福祉施設での処遇の現状②
4. 児童福祉施設等での実際①
5. 児童福祉施設等での実際②
6. 児童福祉施設等での実際③
7. 児童福祉施設等での実際④
8. 児童福祉施設等での実際⑤
9. その他の施設での現状理解
10. 障がい児施設での実際①
11. 里親制度での実際①
12. 里親制度での実際②
13. まとめ、今後の課題

科目名	社会的養護Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[成績評価方法]
最終レポートと授業中での積極的授業参加状況、小テスト等で評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業で評価し、レポートを返却します

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業態度と発表内容等での評価

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:授業態度と発表内容等での評価

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:授業態度と発表内容等での評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度と発表内容等での評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度と発表内容等での評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:授業態度と発表内容等での評価

[教科書(ISBN)]
書籍名:事例で学ぶ社会的養護 著者名:大西雅裕／阪野　学／浦田雅夫／山川宏和　著 出版社名:八千代出版
ISBN:9784842918051

[参考書(ISBN)]

科目名	社会福祉	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
保育士として保育実践を行う専門職の基礎的体系として社会福祉はその基盤をなす。社会福祉の本質、目的、価値、方法等を理解し、実践力を高めることを目標とする。

[授業概要]
必然的所産として社会福祉が体系化されている現代社会の現状を把握し、保育実践への基礎体系構築のために社会福祉の定義、理念等や、制度施策、実践活動等の現状について学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
社会福祉は、この社会の中で起こっている事象をその対象とします。今日の社会で起こっていることに注目し主体的にとらえておくこと。

[授業計画]
1. ガイダンス 「社会福祉とは何か」
2. 社会福祉の定義と基本的枠組み
3. 社会福祉の基本的枠組み(問題のとらえ方)
4. 社会福祉の基本的枠組み(援助資源とその方法)
5. 社会福祉の現代的背景 (超高齢少子社会・家族構造および地域構造の変化)
6. 社会福祉の価値と倫理
7. 社会福祉の法制度、財政、組織
8. 社会福祉の担い手(支援者、地域住民、専門職)
9. 社会福祉援助技術について
10. 社会福祉援助技術について
11. 社会福祉の分野①
12. 社会福祉の分野②
13. まとめ

科目名	社会福祉	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	大西　雅裕		

[成績評価方法]
最終試験によって評価を行う。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業で評価、アドバイスをします

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:科目最終試験と授業内での小テストによって評価

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:科目最終試験と授業内での小テストによって評価

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:科目最終試験と授業内での小テストによって評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業への参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業態度によって評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:科目最終試験と授業内での小テストによって評価

[教科書(ISBN)]
書籍名:社会福祉[第6版] 著者名:石田　慎二 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623096831

[参考書(ISBN)]

科目名	障がい児保育	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	隠岐　厚美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
①障害児保育を支える理念や歴史的変遷について学び、障害児及びその保育について理解する。
②個々の特性や心身の発達等に応じた援助や配慮について理解する。
③障がいの特性や子どもの発達状態に応じた援助や保育場面で出来る配慮や環境の工夫などを理解している
④保護者や関係機関との連携、現状と課題を理解し、障害児保育に対する専門的知識を習得する。

[授業概要]
言語聴覚士兼心理士として発達臨床に携わる教員が、保育・教育場面で出逢うことの多い障がいの基本特性について平易に解説する。ケーススタディを通して支援・指導の方向性について考え、幼稚園教諭、保育士、保育教諭として子どもの発達上の混乱の解消、支援の方法を学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
教科書及び事前に指示された資料は必ず目を通すこと。
各回の講義について予習・復習を行うこと(各回、予習・復習あわせて4時間程度)。

[授業計画]
1. オリエンテーション－障がいとは－
2. 障がい児保育のあゆみ
3. 障がいをもつ子どもの通う療育・保育機関とかかわる人々について
4. 障がい児保育の基本と取り組み
5. 障害をもつ子どもの家族の心理
6. 小学校・特別支援学校との連携
7. グループワーク:障がい児保育の実際①　知的障害の理解と保育のポイント
8. グループワーク:障がい児保育の実際②　肢体不自由の理解と保育のポイント
9. グループワーク:障がい児保育の実際③　視覚障害の理解と保育のポイント
10. グループワーク:障がい児保育の実際④　聴覚障害の理解と保育のポイント
11. グループワーク:障がい児保育の実際⑤　発達障害の理解と保育のポイント1－ASD
12.グループワーク:障がい児保育の実際 ⑥　発達障害の理解と保育のポイント2－ADHDとLD
13.まとめ・障がい児保育の在り方について

科目名	障がい児保育	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	隠岐　厚美		

[成績評価方法]
「理解度確認試験（70%）」「グループワーク（20%）」「授業態度（10%）」

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは、原則授業中に口頭で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：「理解度確認試験（70%）」「グループワーク（20%）」

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：「理解度確認試験（70%）」「グループワーク（20%）」

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：「グループワーク（20%）」「授業態度（10%）」

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：「グループワーク（20%）」「授業態度（10%）」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：「グループワーク（20%）」「授業態度（10%）」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：「グループワーク（20%）」「授業態度（10%）」

[教科書（ISBN）]
書籍名:実践に生かす障害児保育・特別支援教育〈第2版〉 著者名:前田泰弘 出版社名:萌文書林 ISBN:978-4-89347-421-6

[参考書（ISBN）]

科目名	障害者教育総論	後期	2 単位
サブタイトル	インクルーシブな社会を担う子どもを育てる教員になるために	講義	
担当者	田中　裕一		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・特別支援教育制度における特別支援学校の機能および役割を理解する。
・特別支援教育の歴史および思想を理解する。
・特別支援教育の理念・目標について理解する。
・特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室での教育について理解する。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。

[授業概要]
・この授業では、学校現場での教員や教育行政（教育委員会、文部科学省）等の経験のある教員が、その経験を活かして、特別支援教育に関する基本的な事項について指導する。
・特別支援教育の理念及び障害のある幼児、児童又は生徒の学校教育の歴史や役割において特別支援教育がどのように関連付けられたかを明らかにする。さらに、それらと特別支援学校の制度との関係を特別支援教育の思想史を踏まえて理解する。
・現代の社会状況を理解するなかで特別支援学校の教育に関して、社会的、制度的及び経営的事項に対しての基礎的知識を身に付ける。さらに、特別支援教育を構成する教育関係法規及び特別支援学校教育要領・学習指導要領を理解する。
・これらの授業を通じて、発達障害を含む学びに困難を抱える子どもの教育の現状と課題等について学び、インクルーシブな社会の基礎となる多様性を認め合うための特別支援教育を推進できる教員となるための資質を涵養する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
・授業中に示した課題に関してレポート、パワーポイント等にしてまとめて提出
　※各回で示した資料等を確認することなど予習復習を合わせて2時間程度行うこと

[授業計画]
1.特別支援教育とは（これまでの歴史・意義・理念・目標、インクルーシブ教育システム、特別支援学校・特別支援学級・通級指導教室、特別支援教育コーディネーター）
2.特別支援教育制度における特別支援学校が有する機能・役割（センター的機能）
3.各障害種（視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱）の教育の歴史および思想
4.各障害種（自閉症・LD・ADHD）の教育の歴史および思想
5.インクルーシブ教育システムの理念を踏まえた特別支援教育
6.障害者施策を巡る動向の変化に関する理解
7.各教育課程に応じた自立活動の位置づけと理念、教育での実際
8.特別支援学校での教育①：特別支援学校の地域における位置づけ、種類、教育の実際
9.特別支援学校での教育②：小・中・高等部における教育の実際、地域の小中学校等との連携
10.特別支援学級での教育①：特別支援学級の現状、教育の実際
11.特別支援学級での教育②：通常の学級と特別支援学級との交流及び共同教育の実際
12.小・中学校での特別支援教育：特別支援学校との連携、通級指導教室・教育支援センター・地域の支援機関との連携
13.特別支援教育に関わる課題、まとめ

科目名	障害者教育総論	後期	2 単位
サブタイトル	インクルーシブな社会を担う子どもを育てる教員になるために	講義	
担当者	田中　裕一		

[成績評価方法]
小レポート（期間中に数回提出）30%、授業態度20%、総合レポート50%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・授業中におけるコメント等によるフィードバック
・オフィスアワーにおける対応

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：小レポート及び総合レポートから評価

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画を立案し適切に評価することができる。
成績評価方法：小レポート及び授業態度、総合レポートから評価

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：小レポート及び授業態度、総合レポートから評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：小レポート及び授業態度、総合レポートから評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：小レポート及び授業態度、総合レポートから評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：小レポート及び授業態度、総合レポートから評価

[教科書（ISBN）]
書籍名:特別支援学校教育要領・学習指導要　総則編 著者名: 出版社名:開隆堂出版 ISBN:9784304042294
書籍名:特別支援学校学習指導要領解説　各教科等編〈小学部・中学部〉 著者名:文部科学省／〔著〕 出版社名:開隆堂出版 ISBN:9784304042300
書籍名:特別支援学校教育要領・学習指導要領解説　自立活動編〈幼稚部・小学部・中学部〉 著者名:文部科学省／〔著〕 出版社名:開隆堂出版 ISBN:9784304042317

[参考書（ISBN）]
書籍名:通常学級の発達障害児の「学び」を、どう保障するか 著者名:田中裕一 出版社名:小学館 ISBN:9784098402137
書籍名:新版　特別支援学級と通級による指導ハンドブック 著者名:田中裕一 出版社名:東洋館出版社 ISBN:9784491036748

科目名	小学校基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	金岩　俊明		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	△
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校教員として求められる実践的指導力に結びつく基本力となるコミュニケーション力やソーシャルスキル、プレゼンテーション力、教育的観察眼,教科指導に必要な知識等を養う。

[授業概要]
現代の小学校の教育課題等をテーマとして、ワークショップやグループディスカッション等により教育的関心を高め、発表や表現等のスキルを高める。また、3回の5教科基礎テストをにより、基本的な知識定着を確かめる機会とする。(なお、小学校訪問で、教育の実情を学ぶ機会をつくることもある。)

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
日頃から、学校教育に対して関心を持ち、文献等で考察を深めておく。(各回、予習復習合わせて2時間程度)

[授業計画]
1. オリエンテーション、基礎テスト1
2. めざす教師像、学級づくりについて
3. テストのふりかえり、学校現場の課題(1)
4. 学校現場の課題(2)
5. 教育に関する新聞(ネット)記事を読んでプレゼンテーション(1)
6. 教育に関する新聞(ネット)記事を読んでプレゼンテーション(2)
7. 基礎テスト2、各ゼミの課題研究(1)又は小学校訪問事前準備
8. 各ゼミの課題研究(2)又は小学校訪問
9. ワークショップ型の学び(1)
10. ワークショップ型の学び(2)、テストのふりかえり
11. 学校インターンシップ(学校観察)等の報告と討議(1)
12. 学校インターンシップ(学校観察)等の報告と討議(2)、基礎テスト3
13. テストのふりかえり・まとめ
※　順番は、入れ替わることがあります。
※　学校観察として小学校見学等の実地学習を行うことがあります。(曜日変更あり)

科目名	小学校基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	金岩　俊明		

[成績評価方法]
受講態度(40%)授業中の発表(30%) 基礎テスト(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出課題テストについては、授業内で返却します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	小学校基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	穴田　恭輔		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	△
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校教員として求められる実践的指導力に結びつく基本力となるコミュニケーション力やソーシャルスキル、プレゼンテーション力、教育的観察眼,教科指導に必要な知識等を養う。

[授業概要]
現代の小学校の教育課題等をテーマとして、ワークショップやグループディスカッション等により教育的関心を高め、発表や表現等のスキルを高める。また、3回の5教科基礎テストをにより、基本的な知識定着を確かめる機会とする。(なお、小学校訪問で、教育の実情を学ぶ機会をつくることもある。)

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
日頃から、学校教育に対して関心を持ち、文献等で考察を深めておく。(各回、予習復習合わせて2時間程度)

[授業計画]
1. オリエンテーション、基礎テスト1
2. めざす教師像、学級づくりについて
3. テストのふりかえり、学校現場の課題(1)
4. 学校現場の課題(2)
5. 教育に関する新聞(ネット)記事を読んでプレゼンテーション(1)
6. 教育に関する新聞(ネット)記事を読んでプレゼンテーション(2)
7. 基礎テスト2、各ゼミの課題研究(1)又は小学校訪問事前準備
8. 各ゼミの課題研究(2)又は小学校訪問
9. ワークショップ型の学び(1)
10. ワークショップ型の学び(2)、テストのふりかえり
11. 学校インターンシップ(学校観察)等の報告と討議(1)
12. 学校インターンシップ(学校観察)等の報告と討議(2)、基礎テスト3
13. テストのふりかえり・まとめ
※ 順番は、入れ替わることがあります。
※ 学校観察として小学校見学等の実地学習を行うことがあります。(曜日変更あり)

科目名	小学校基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	穴田　恭輔		

[成績評価方法]
受講態度(40%)授業中の発表(30%) 基礎テスト(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出課題テストについては、授業内で返却します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:発表、試験

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:発表、試験

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:発表、試験

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:発表、試験

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:発表、試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:発表、試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:発表、試験

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	小学校基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小林　田鶴子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	△
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校教員として求められる実践的指導力に結びつく基本力となるコミュニケーション力やソーシャルスキル、プレゼンテーション力、教育的観察眼,教科指導に必要な知識等を養う。

[授業概要]
現代の小学校の教育課題等をテーマとして、ワークショップやグループディスカッション等により教育的関心を高め、発表や表現等のスキルを高める。また、3回の5教科基礎テストをにより、基本的な知識定着を確かめる機会とする。(なお、小学校訪問で、教育の実情を学ぶ機会をつくることもある。)

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
日頃から、学校教育に対して関心を持ち、文献等で考察を深めておく。(各回、予習復習合わせて2時間程度)

[授業計画]
1. オリエンテーション、基礎テスト1
2. めざす教師像、学級づくりについて
3. テストのふりかえり、学校現場の課題(1)
4. 学校現場の課題(2)
5. 教育に関する新聞(ネット)記事を読んでプレゼンテーション(1)
6. 教育に関する新聞(ネット)記事を読んでプレゼンテーション(2)
7. 基礎テスト2、各ゼミの課題研究(1)又は小学校訪問事前準備
8. 各ゼミの課題研究(2)又は小学校訪問
9. ワークショップ型の学び(1)
10. ワークショップ型の学び(2)、テストのふりかえり
11. 学校インターンシップ(学校観察)等の報告と討議(1)
12. 学校インターンシップ(学校観察)等の報告と討議(2)、基礎テスト3
13. テストのふりかえり・まとめ
※　順番は、入れ替わることがあります。
※　学校観察として小学校見学等の実地学習を行うことがあります。(曜日変更あり)

科目名	小学校基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	小林　田鶴子		

[成績評価方法]
受講態度(40%)授業中の発表(30%) 基礎テスト(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出課題テストについては、授業内で返却します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:試験・課題発表・レポート課題

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	初等教育実習Ⅰ	後期～2026年度 後期	2 単位
サブタイトル	授業力・指導力・教師力・学校力の基礎・基本を学ぶ	実習	
担当者	宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・授業力や指導力、教師力、学校力の違いを理解することができる。
・子どもから学ぶとは、どういうことかを具体的に論じることができる。
・学習指導や生徒指導などの具体的な場面をもとに学び、自分の力点を自覚できる。

[授業概要]
各学校での管理職をはじめ校務担当教員の講話、学級担任・教科担任の指導を受けて、観察実習を中心に、教科指導力の向上を図る。また、教科指導のほかに、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図る。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
　各教科指導法の概要・学習指導案の作成、人権・学級経営・生徒指導等の学校での学習指導に必要な事項について、その概要を復習しておくこと。

[授業計画]
事前指導（宮本）
学校実習
　・管理職の講話
　・校務担当教職員の講話と指導
　・校務処理の仕方について
　・学級担任の指導、学級経営の実際
　・教科担任の指導と観察実習
　・学習指導案の作成と指導
　・授業実践と指導
　・大学教員の指導等
　・研究授業と反省
　・実習のまとめ
事後指導（宮本）
　・実習後の課題の整理等

科目名	初等教育実習Ⅰ	後期～2026年度 後期	2 単位
サブタイトル	授業力・指導力・教師力・学校力の基礎・基本を学ぶ	実習	
担当者	宮本　晃郎		

[成績評価方法]
実習状況（40%）、実習校からの評価資料（40%）、実習記録等（20%）
実習記録はコメントを記入の上本人に返却する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
不十分なレポート等については、個別に指導を行い再提出を求める。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

[教科書（ISBN）]
書籍名:『教育実習の手引きと記録』 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	初等教育実習Ⅰ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	中川　欣子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
これまで習得してきた知識や技能を基盤にして、教育実習を経験することにより、幼児教育の場で活躍できる実践力を養う。また、今後の課題を見つけ、将来の展望をしっかりと持てるようになる。

[授業概要]
幼稚園で幼児と共に生活し、保育者や大学教員の指導を受けながら、観察実習、部分実習、1日実習を経験する。また、様々な行事への取り組みや学級の管理運営、教員の服務に関すること等幼児教育の全般にわたり実習を経験する。さらに、園外保育、預かり保育、未就園児保育、園庭開放に参加しながら、それぞれの役割や意義を知る。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
初等教育実習指導で学んだことを基礎に復習しておいてください。

[授業計画]
幼稚園実地実習最低20日間以上を含んだ、以下の内容を行う。
・事前指導（実習の心得・実習内容と方法・実習記録の書き方等）
・オリエンテーション
・観察実習・部分実習・1日実習
・実習記録・指導案作成
・研究保育・反省会
・園長講話・大学教員指導
・事後指導（今後の課題・実習の活用・将来への展望等）

科目名	初等教育実習Ⅰ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	中川　欣子		

[成績評価方法]
実習園の評価（60%）、実習記録（20%）、実習態度（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:幼稚園教育要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:フレーベル館 ISBN:

科目名	初等教育実習Ⅱ	後期～2026年度 後期	2 単位
サブタイトル	授業力・指導力・教師力・学校力の基礎・基本を学ぶ	実習	
担当者	宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・授業力や指導力、教師力、学校力の違いを理解することができる。
・子どもから学ぶとは、どういうことかを具体的に論じることができる。
・学習指導や生徒指導などの具体的な場面をもとに学び、自分の力点を自覚できる。

[授業概要]
各学校での管理職をはじめ校務担当教員の講話、学級担任・教科担任の指導を受けて、観察実習を中心に、教科指導力の向上を図る。また、教科指導のほかに、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図る。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
　各教科指導法の概要・学習指導案の作成、人権・学級経営・生徒指導等の学校での学習指導に必要な事項について、その概要を復習しておくこと。

[授業計画]
事前指導（宮本）
学校実習
　・管理職の講話
　・校務担当教職員の講話と指導
　・校務処理の仕方について
　・学級担任の指導、学級経営の実際
　・教科担任の指導と観察実習
　・学習指導案の作成と指導
　・授業実践と指導
　・大学教員の指導等
　・研究授業と反省
　・実習のまとめ
事後指導（宮本）
　・実習後の課題の整理等

科目名	初等教育実習Ⅱ	後期～2026年度 後期	2 単位
サブタイトル	授業力・指導力・教師力・学校力の基礎・基本を学ぶ	実習	
担当者	宮本　晃郎		

[成績評価方法]
実習状況（40%）、実習校からの評価資料（40%）、実習記録等（20%）
実習記録はコメントを記入の上本人に返却する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
不十分なレポート等については、個別に指導を行い再提出を求める。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習状況、実習校からの評価資料、実習記録等

[教科書（ISBN）]
書籍名:『教育実習の手引きと記録』 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	初等教育実習Ⅱ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	中川　欣子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
これまで習得してきた知識や技能を基盤にして、教育実習を経験することにより、幼児教育の場で活躍できる実践力を養う。また、今後の課題を見つけ、将来の展望をしっかりと持てるようになる。

[授業概要]
幼稚園で幼児と共に生活し、保育者や大学教員の指導を受けながら、観察実習、部分実習、1日実習を経験する。また、様々な行事への取り組みや学級の管理運営、教員の服務に関すること等幼児教育の全般にわたり実習を経験する。さらに、園外保育、預かり保育、未就園児保育、園庭開放に参加しながら、それぞれの役割や意義を知る。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
初等教育実習指導で学んだことを基礎に復習しておいてください。

[授業計画]
幼稚園実地実習最低20日間以上を含んだ、以下の内容を行う。
・事前指導（実習の心得・実習内容と方法・実習記録の書き方等）
・オリエンテーション
・観察実習・部分実習・1日実習
・実習記録・指導案作成
・研究保育・反省会
・園長講話・大学教員指導
・事後指導（今後の課題・実習の活用・将来への展望等）

科目名	初等教育実習Ⅱ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	中川　欣子		

[成績評価方法]
実習園の評価（60%）、実習記録（20%）、実習態度（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:幼稚園教育要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:フレーベル館 ISBN:

科目名	初等教育実習Ⅲ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	中川　欣子、宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
これまで習得してきた知識や技能を基盤にして、教育実習を経験することにより、幼児教育の場で活躍できる実践力を養う。また、今後の課題を見つけ、将来の展望をしっかりともてるようになる。

[授業概要]
幼稚園で幼児と共に生活し、保育者や大学教員の指導を受けながら、観察実習、部分実習、一日実習を経験する。
また、様々な行事への取り組みや学級の管理運営、教員の服務に関すること等幼児教育の全般にわたり実習を経験する。さらに、園外保育、預かり保育、未就園児保育、園庭開放に参加しながら、それぞれの役割や意義を知る。
小中学校勤務歴31年の者が幼小連携についてを踏まえながらアシストします。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
教育実習指導（幼）で学んだことを基礎に復習すること

[授業計画]
「幼稚園実習」
・観察実習・部分実習・一日実習
・実習記録・指導案作成
・研究保育・反省会
・園長講話・大学教員指導
「事後指導」
・実習記録へのフィードバック
・実習後の課題の整理等
・初等教育実習指導（幼）との合同報告会

科目名	初等教育実習Ⅲ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	中川　欣子、宮本　晃郎		

[成績評価方法]
実習状況（40%）、実習園からの評価・実習態度（40%）、事後指導での評価（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：実習態度

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：実習態度

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：実習態度

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：実習態度

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：実習態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：実習態度、実習記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：実習態度、実習記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：実習態度、実習記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：実習態度、実習記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：実習態度、実習記録

[教科書（ISBN）]
書籍名:特に指定しませんが、必要なときは授業内で紹介します。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:幼稚園教育要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:フレーベル館 ISBN:978-4577814475□

科目名	初等教育実習指導(小)	前期	1 単位
サブタイトル	充実した教育実習を目指して	講義	
担当者	宮本　晃郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学校現場で教育実習を行うために「必要な心得や基礎的知識・技能」を身に付ける。
学習指導や生徒指導・子供理解・学級経営等に関する「基本的な対応」を理解することができる。
自らの教育実習を評価し、課題を整理して「今後の自分自身の力点」を具体的に設定することができる。

[授業概要]
①教育実習を受け入れた校長及び担当教員としての経験を有する者として、教育実習生として必要な心得や行動、学習指導や生徒指導、学級経営等に関する基礎・基本の力量が身に付くように「学習指導案の書き方研修」や「問題行動への対応事例研修」を通して指導します。
②教育実習を担当する教育委員会事務局(指導課・学校教育課)の経験を有する者として、教育職員免許法の趣旨に基づいて大学における学修内容の総合的理解を図り、子供との温かい人間的な関わりを第一に考える「教師の責務・使命感」と教育現場の「今日的な課題」について指導します。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業資料や参考書・書籍・論文等で授業内容をさらに深め自分のものとしていくこと。
受け身に回ることなく、学習内容についての質問事項等を準備したうえで受講すること。
(よりよい学習指導案を作成するためにも、各回の講義についての予習・復習を行うこと)

[授業計画]
1. 教育実習の意義と目的(実習内容と方法・現場の変化・求められる資質・能力)
2. 教育実習の準備(観察・参加・実習の流れ・教育実習ノートの活用の仕方など)
3. 子供理解と生徒指導①(子供の表現・教師の観察力と想像力・言葉かけの違い等)
4. 子供理解と生徒指導②(子供の背景・教師間や関係機関との連携・組織的対応等)
5. 授業づくりのポイント①(素材研究と教材研究・一単位時間の授業の組み立て等)
6. 授業づくりのポイント②(発問や指示、板書、資料づくり、学習環境、ICT等)
7. 教育実習受け入れ校の校長講話(教師のやりがい・すばらしい実習に向けての助言)
8. 模擬授業の演習と意見交換①(素材研究と教材研究の違いに着目して)
9. 模擬授業の演習と意見交換② (単元計画と1単位時間の目標に着目して)
10. 模擬授業の演習と意見交換③(発問や説明、指示、指名、板書等に着目して)
11. 模擬授業の演習と意見交換④(ICT活用や学習形態、体験的活動に着目して)
12. 教育実習前後の事務手続きと最終準備(実習校打ち合わせ・挨拶・礼状の書き方等)
13. 教育実習指導の総まとめ(あらゆる場面での質問・疑問に対する回答と意見交換)

科目名	初等教育実習指導(小)	前期	1 単位
サブタイトル	充実した教育実習を目指して	講義	
担当者	宮本　晃郎		

[成績評価方法]
模擬授業と授業計画レポート(50%)、学習態度・グループワーク(30%)
その他の課題レポート(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
模擬授業の学習指導略案や板書計画等については、グループ検討したのちに推敲した作品を集約して配付する。
各回で受け止めた質問については、必要に応じて全体または個別にコメント等でフィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:模擬授業と授業計画レポート
学習態度・グループワーク
その他の課題レポート

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:模擬授業と授業計画レポート
学習態度・グループワーク
その他の課題レポート

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:模擬授業と授業計画レポート
学習態度・グループワーク
その他の課題レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:模擬授業と授業計画レポート
学習態度・グループワーク
その他の課題レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:模擬授業と授業計画レポート
学習態度・グループワーク
その他の課題レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:模擬授業と授業計画レポート
学習態度・グループワーク
その他の課題レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:『教育実習の手引きと記録』 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	初等教育実習指導(幼)	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中川　欣子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教育実習の意義や目的を理解し、目的の達成をより確かなものにするため、この授業を行う。これまで学んできた知識や技術を基に、指導記録、指導計画、模擬保育等に対して実践的に学び、必要な教育力の向上を目指すことにより、実習を意味のある有意義な経験にすることができるようにする。また、授業内で、各自の幼稚園での指導に対する課題を見つける。

[授業概要]
この授業では、実習の意義と目的の理解、実習に関わる具体的方法の理解の基、幼稚園での観察・責任実習等の流れを把握し、記録の書き方、指導案の立案について学ぶ。また、実習中の「留意点」や、「様々な立場の子どもに対しての関わり」を理解した上で、具体的な対応や声掛けについても模擬保育を通して学ぶ。教育実習生として必要な態度や行動を考え、自らの課題を見つけて取り組み、幼稚園実習の準備をしていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
「幼児教育指導法」を始め、保育内容等の関連科目、支援が必要な子どもとのかかわりについて学習しておいてください。

[授業計画]
1. オリエンテーション　実習の意義と目的
2. 実習の内容の理解　実習方法の理解
3. 実習中の留意点　支援が必要な子ども
4. 実習計画と記録の理解①　記録を取ることの意義・目的
5. 実習計画と記録の理解②　実習記録の具体的内容　記録の方法
6. 実習計画と記録の理解③　実習記録のまとめ
7. 指導計画と指導案①　指導計画の内容の理解と指導案の具体的内容
8. 指導計画と指導案②　指導案の作成方法
9. 指導計画と指導案③　指導案のまとめ
10. 3歳児の指導案と模擬保育　振り返り
11. 4歳児の指導案と模擬保育　振り返り
12. 5歳児の指導案と模擬保育　振り返り
13. 実習事前オリエンテーション(実習報告会との合同授業)

科目名	初等教育実習指導(幼)	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中川　欣子		

[成績評価方法]
授業への取り組み(20%)、授業内発表(30%)、提出物(50%)
(本講義科目は、必須である「教育実習」の事前指導にあたるもので、これを履修・修得していなければ、幼稚園実習に参加することが認められません)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出物及び発表については、授業時間内で解説していきます。内容応じて適宜相談に応じます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:幼稚園教育要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:フレーベル館 ISBN:

科目名	初等教育実習指導(幼)	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中川　欣子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教育実習の意義や目的を理解し、目的の達成をより確かなものにするため、この授業を行う。これまで学んできた知識や技術を基に、指導記録、指導計画、模擬保育等に対して実践的に学び、必要な教育力の向上を目指すことにより、実習を意味のある有意義な経験にすることができるようにする。また、授業内で、各自の幼稚園での指導に対する課題を見つける。

[授業概要]
この授業では、実習の意義と目的の理解、実習に関わる具体的方法の理解の基、幼稚園での観察・責任実習等の流れを把握し、記録の書き方、指導案の立案について学ぶ。また、実習中の「留意点」や、「様々な立場の子どもに対しての関わり」を理解した上で、具体的な対応や声掛けについても模擬保育を通して学ぶ。教育実習生として必要な態度や行動を考え、自らの課題を見つけて取り組み、幼稚園実習の準備をしていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
「幼児教育指導法」を始め、保育内容等の関連科目、支援が必要な子どもとのかかわりについて学習しておいてください。

[授業計画]
1. オリエンテーション　実習の意義と目的
2. 実習の内容の理解　実習方法の理解
3. 実習中の留意点　支援が必要な子ども
4. 実習計画と記録の理解①　記録を取ることの意義・目的
5. 実習計画と記録の理解②　実習記録の具体的内容　記録の方法
6. 実習計画と記録の理解③　実習記録のまとめ
7. 指導計画と指導案①　指導計画の内容の理解と指導案の具体的内容
8. 指導計画と指導案②　指導案の作成方法
9. 指導計画と指導案③　指導案のまとめ
10. 3歳児の指導案と模擬保育　振り返り
11. 4歳児の指導案と模擬保育　振り返り
12. 5歳児の指導案と模擬保育　振り返り
13. 実習事前オリエンテーション(実習報告会との合同授業)

科目名	初等教育実習指導(幼)	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中川　欣子		

[成績評価方法]
授業への取り組み(20%)、授業内発表(30%)、提出物(50%)
(本講義科目は、必須である「教育実習」の事前指導にあたるもので、これを履修・修得していなければ、幼稚園実習に参加することが認められません)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出物及び発表については、授業時間内で解説していきます。内容応じて適宜相談に応じます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:幼稚園教育要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:フレーベル館 ISBN:

科目名	図画工作科教育法	前期	2 単位
サブタイトル	図画工作を理解する	講義	
担当者	守本　智美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業の到達目標及びテーマ
「図画工作科概説」で学んだ技法、材料、用具、表現等の基礎的な知識や内容をもとに、それらをさらに発展させ幅広い美術教育分野に通じた、感性豊かな実践力のある教員を育成することを目標とする。
1. 図画工作科の目標と指導内容、指導方法、指導計画、評価等を理解すること。
2. 様々な造形表現、技術、技能を身に着け、鑑賞教育にも精通すること。
3. 授業構成力を身に着け、情報機器も適切に扱える授業展開が出来るようになること。

[授業概要]
小学校学習指導要領の中で示されている、図画工作科の目標をもとに、その実現に向けて児童の表現に対する理解を深め、美術造形の表現の基礎実習、カメラやコンピュータ等の情報機器の操作を取り入れた作品制作や図画工作の授業の構成方法の考察を行う。また学習指導計画及び指導案の作成の仕方について学び、模擬授業学習並びにスマートフォン等の操作を取り入れた作品検索による美術作品の鑑賞等を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。授業に関係する美術書籍類をよく読み、各回の授業内容を理解できるようにしておくこと。また美術館にも出かけて美術作品にも日頃から慣れ親しんでおくこと。
manaba(マナバ)にて授業に必要な連絡をするので、必ずmanabaに登録しておくこと。

[授業計画]
1.はじめに(manaba上にて指示します)　授業の進め方　準備物等について
2.色と形の理解((彩色、切り紙、コラージュ等)
3.作品制作実習step1
4.作品制作実習step2
5.折り紙等の作品制作実習
6.課題の中間提出とプレゼンテーション
7.材料、用具、技法について
8.工作の作品制作実習(カード作り等)step1
9.工作の作品制作実習step2
10.美術史上の芸術作品の作例鑑賞(西洋美術を中心として)
　素材、表現をめぐって
11.図画工作科の学習指導要領に示された目的と内容の理解、学習指導案の作成方法
12.写真等の情報機器の教材の授業への活用方法について
　(カメラ、通信機器等を用いた授業構成の実践)
13.作品制作による模擬授業の研究及びまとめ

科目名	図画工作科教育法	前期	2 単位
サブタイトル	図画工作を理解する	講義	
担当者	守本　智美		

[成績評価方法]
レポート(50%)・課題作品(50%)による総合評価。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba等にて質問、課題作品等に対するアドバイス、コメント要望を受け付けます。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:レポート(50%)・課題作品(50%)による総合評価。

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:レポート(50%)・課題作品(50%)による総合評価。

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:レポート(50%)・課題作品(50%)による総合評価。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート(50%)・課題作品(50%)による総合評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート(50%)・課題作品(50%)による総合評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート(50%)・課題作品(50%)による総合評価。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:レポート(50%)・課題作品(50%)による総合評価。

[教科書(ISBN)]
書籍名:小学校学習指導要領〈平成29年告示〉解説　図画工作編 著者名:文部科学省／〔著〕 出版社名:日本文教出版
ISBN:9784536590112

[参考書(ISBN)]

科目名	図画工作科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	安部　永		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
将来、小学校や幼稚園などの教育現場で役立つ立体造形や工作の知識・技能を習得します。
子どもたちに指導できるように、基本的な道具素材(のこぎり、金づち、ねんど等)の使い方、特性を理解します。

[授業概要]
立体造形の中で、主に粘土による制作を中心にします。対象をじっくり見つめ観察し、粘土で制作します。また、石膏や焼き物にも挑戦します。少し本格的な作業ですが、さまざまなことが学べます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業の制作内容をふりかえり、次回の授業に向け制作の手順を確認しておくこと。普段よりパブリツクアートに関心を持つよう心がけること

[授業計画]
1. 授業進行・成績評価等の説明、立体造形や工作で使出用する道具や素材についての解説
2. 粘土を楽しもう、粘土や身の回りの物をつかって楽しい作品作り
3. 粘土による制作(粘土遊び)
4. 粘土による制作(象嵌技法について)
5. 粘土による制作(手ひねりの練習)
6. 石膏でかたどり造形(石膏を使ってみよう)
7. 石膏でかたどり造形(石膏素材に慣れる)
8. 石膏でかたどり造形(石膏型の完成)
9. 彩色(立体作品に色をつけよう)
10. げずって作る立体(素材紹介、素材体験)
11. げずって作る立体(大きく削る。のこぎり、金づち、ノミ、などを使って)
12. 作にも役立つ道具たち～のこぎり、金づち、ペンチなどを使ってみよう
13. 作品展示、鑑賞

科目名	図画工作科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	安部　永		

[成績評価方法]
作品(40%)、実技 (30%)、授業態度(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:授業態度および基礎技術の習得を評価する

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:子ども達の発達段階をふまえながら制作を理解することができるかを評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:作品の技術及び創造力を評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:積極的に作品制作に関われるかどうかを評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:作品の表現力で評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:作品制作における創造性を評価する。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	Speaking & Listening Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル	圧倒的なインプットを浴びて、アウトプットも向上させよう。	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]			
PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
本物の英語をたくさん聞くことを通して、アウトプット（スピーキング力）を向上させる。英語を実際に聞き取れるようになる。

[授業概要]
映画を聞き取りながらリスニング力を向上させましょう。映画の場面を毎回視聴しながら、台詞の聞き取りをします。その後、役柄になり切って、会話をしていきます。会話では、その人物のその時の感情を考えて、どのように発話するべきかを考えることが求められます。スピーキングへの心理的なハードルを下げることで、英語を使うことが確実に身に着くことでしょう。さらに、扱う映画作品を通して英国の歴史や文化といった背景知識も知ることもできます。よって、英語教員となったときに豊富な話題を提供することも可能になります。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
英語が誕生した国、英国について興味をもって事前学習してくること。授業で学習した表現をつかって、日常でも応用してつかうことを目指してください。予習復習内容については授業で発言をしてください。おおよそ2時間程度が必要となるでしょう。

[授業計画]
扱う映画作品は、The King's Speech　です。
1. Opening　英国について背景知識を得る。
2. Complex　基礎的な聴解力を知る。
3. Searching for a Cure　聴解力向上のために努力する。
4. My Castle, My Rules　英国王室について背景知識を得る。
5. Unorthodox Lessons　英語の発音について深く知る。
6. King's Death　英国王室の歴史の基礎を知る。
7. Sibling Troubles　英国の王室の呼称、署名を知る。
8. Rise to the Throne　聴解力の向上の有無を確認する。
9. Starting Over　19世紀英国庶民の生活の一端を知る。
10. Uniting the People　ジョージ6世について知る。
11. The King's speech　実際のスピーチを聴けるようになる。
12. Presentation1　聴解力と発話力を深める。
13. Presentation 2 & Closing　全体の振り返りとまとめとしてのレポート提出

科目名	Speaking & Listening Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル	圧倒的なインプットを浴びて、アウトプットも向上させよう。	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
授業への積極的参加度(60%)、最終レポート(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
必要に応じて、コメントや解説を行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業への主体的参加で評価します。

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:最終レポートで評価します。

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:授業への主体的参加で評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業への主体的参加で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業への主体的参加で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:最終レポートで評価します。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	Speaking & Listening Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル	映画の英語を聞き取れるようになろう！	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
本物の英語を聞き取れるようになる。
背景知識を知り、登場人物の感情を推し量り、言葉に感情を込めることが出来るようになる。
映画の鑑賞術を磨き、より深く映画鑑賞ができるようになる。

[授業概要]
「習うより慣れろ」という言葉があるように、英語力向上のためには、本物の英語をたくさんインプットすることが有効です。この授業では、いまなお名作の名を冠している「ローマの休日」を素材に英語の聴解力を鍛えます。毎回の授業で、約15分程度のシーンを視聴した後、空欄を繰り返し聞きなおしてセリフを完成していきます。スクリプトが完成したら、ペアやグループで会話してみましょう。あなたもこの授業でヘップバーンになって歴史あるローマを旅してみましょう。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
映画を深く鑑賞できるようになるために、舞台となっている土地や建物、その映画が撮影された時代、演者への知識といったことを総合的にまなぶことが必要でしょう。この映画が永遠の名作といわれる所以をあなたなりに調査し、分析してみましょう。
さぁ、あなたの「ローマの休日」論の始まりです。

[授業計画]
以下のような計画で進めます。
第1回：イントロダクション：ローマの休日鑑賞の基礎
第2回：探検のシーンから主人公の感情への洞察をする。
第3回：出会いのシーンからローマへの背景知識をもてるようになる。
第4回：一夜あけてのシーンから社会階層について考えてみる。
第5回：自由な空気のシーンから王侯貴族への基礎知識を広げる。
第6回：スクープをものにしろのシーンから人間心理を考える。
第7回：カメラマンの技のシーンからローマの観光地を知る。
第8回：ダンスパーティのシーンからこの映画撮影時の流行について考える。
第9回：人生の選択のシーンから女性の自立について考える。
第10回：仕事それとも愛？のシーンから思いやりとはどういうことかを具体化する。
第11回：二人だけの秘密のシーンから英語方言の奥深さを知る。
第12回：別れのシーンからローマの休日続編を創作する。
第13回：そうまとめとレポート作成

科目名	Speaking & Listening Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル	映画の英語を聞き取れるようになろう！	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
毎回の授業でのリスニング達成力（30%）、映画の背景知識への調査（30%）、レポート内容（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出されたレポートへは、評価ポイントを明確に周知するとともに、コメントを付すなどして後日返還します。授業では、調査してきた内容についての発表を求めますので、各自の視点で背景をさぐっていき、映画をより深く鑑賞できるようにもなりましょう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：授業内でのリスニング力により評価します。

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：映画の背景知識ならびにリスニング力により評価します。

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：レポート内容により評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：映画の背景知識、レポート内容により評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：映画の背景知識、レポート内容により評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：リスニング達成力により評価する。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	生活科概説	前期	2 単位
サブタイトル	幼保・小をつなぐ生活科	講義	
担当者	金岩　俊明		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
生活科の系譜と基本理念を理解し、教科の目標及び内容について習得するとともに、評価方法の概要を知り、実践力の基礎・基本を養う。また、幼保・小連携に関わる理論と実践も習得する。

[授業概要]
生活科の教育実践は、小学校教育の入門時期における核となる教育活動である。幼保・小の連携においてその重要度は増してきており、生活科の基礎・基本を学ぶことは、遊びの学習化や探究（問題解決学習）の理念を習得することにつながる。創生期の教育理念や実践、学校や地域の特色を生かした活動、小学校のスタートカリキュラムも概観する。授業では、生活科授業実践の経験に基づく講義を行い、生活科の理論と方法に関する関心を高める。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
生活科の理論と方法について、授業内容に即して学習指導要領の確認をしておくこと。授業の復習を行い、課題テストに備えること。（各回、予習復習合わせて4時間程度）

[授業計画]
1. 生活科とは
2. 遊びの理論から
3. 探究としての学習
4. 生活科の系譜①
5. 生活科の系譜②
6. 創生期の実践から
7. 幼児教育との接続
8. 生活科学習論
9. 学習指導要領の要点①
10. 学習指導要領の要点②
11. 生活科の学習指導
12. 生活科の評価
13. まとめ

科目名	生活科概説	前期	2 単位
サブタイトル	幼保・小をつなぐ生活科	講義	
担当者	金岩　俊明		

[成績評価方法]
授業中の課題等（50%）試験（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題については授業内又はmanabaで返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験・レポート・発表

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：試験・レポート・発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験・レポート・発表

[教科書（ISBN）]
書籍名:生活科の原点を探究する 著者名:金岩俊明／著 出版社名:黎明書房 ISBN:9784654023639
書籍名:小学校学習指導要領解説　生活編（平成29年告示） 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社
ISBN:9784491034645

[参考書（ISBN）]

科目名	生活科概説	前期	2 単位
サブタイトル	幼保・小をつなぐ生活科	講義	
担当者	金岩　俊明		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
生活科の系譜と基本理念を理解し、教科の目標及び内容について習得するとともに、評価方法の概要を知り、実践力の基礎・基本を養う。また、幼保・小連携に関わる理論と実践も習得する。

[授業概要]
生活科の教育実践は、小学校教育の入門時期における核となる教育活動である。幼保・小の連携においてその重要度は増してきており、生活科の基礎・基本を学ぶことは、遊びの学習化や探究（問題解決学習）の理念を習得することにつながる。創生期の教育理念や実践、学校や地域の特色を生かした活動、小学校のスタートカリキュラムも概観する。授業では、生活科授業実践の経験に基づく講義を行い、生活科の理論と方法に関する関心を高める。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
生活科の理論と方法について、授業内容に即して学習指導要領の確認をしておくこと。授業の復習を行い、課題テストに備えること。（各回、予習復習合わせて4時間程度）

[授業計画]
1. 生活科とは
2. 遊びの理論から
3. 探究としての学習
4. 生活科の系譜①
5. 生活科の系譜②
6. 創生期の実践から
7. 幼児教育との接続
8. 生活科学習論
9. 学習指導要領の要点①
10. 学習指導要領の要点②
11. 生活科の学習指導
12. 生活科の評価
13. まとめ

科目名	生活科概説	前期	2 単位
サブタイトル	幼保・小をつなぐ生活科	講義	
担当者	金岩　俊明		

[成績評価方法]
授業中の課題等（50%）試験（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
提出課題については授業内又はmanabaで返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験・レポート・発表

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：試験・レポート・発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験・レポート・発表

[教科書（ISBN）]
書籍名:生活科の原点を探究する 著者名:金岩俊明／著 出版社名:黎明書房 ISBN:9784654023639
書籍名:小学校学習指導要領解説　生活編（平成29年告示） 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:9784491034645

[参考書（ISBN）]

科目名	生活科教育法	後期	2 単位
サブタイトル	生活科の授業づくり	講義	
担当者	金岩　俊明		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学習指導要領における生活科の学習内容を理解するとともに、具体的な活動や体験を創造し、指導案を作成する。また、模擬授業を通して教材づくりや指導技術の習得、学習評価についての実践的指導力を高める。

[授業概要]
生活科の学習指導に際しての知識や技能について、「遊び」と「問題解決学習」をふまえて学習過程の構成を行う。さらに、具体的な内容を位置づけた各学年の指導計画に基づき、創造的な学習展開例を作成する。また、授業をデザインし、教師の支援の在り方や学びへの評価についても知見を広げていく。授業実践の経験に基づく講義と模擬授業指導を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
生活科の理論と実践について、学習指導要領や文献で学習しておく。 また、各回の模擬授業の内容について評価し、習得した事項が生かせるようにする。(予習復習合わせて4時間程度)

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 模擬授業について(情報通信機器及び機材の活用)
3. 生活科の内容①「学校と生活」
4. 生活科の内容②「家庭と生活」
5. 生活科の内容③「地域と生活」
6. 生活科の内容④「公共物や公共施設の利用」
7. 生活科の内容⑤「季節の変化と生活」
8. 生活科の内容⑥「自然や物を使った遊び」
9. 生活科の内容⑦「動物の飼育」
10. 生活科の内容⑦「植物の栽培」
11. 生活科の内容⑧「生活や出来事の伝え合い」
12. 生活科の内容⑨「自分の成長」
13. まとめ
※3～12は、模擬授業を含む。

科目名	生活科教育法	後期	2 単位
サブタイトル	生活科の授業づくり	講義	
担当者	金岩　俊明		

[成績評価方法]
レポート及び課題（30%）指導案作成・模擬授業（30%）試験（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックは授業内等で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：模擬授業・レポート・発表

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：模擬授業・レポート・発表

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：模擬授業・レポート・発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬授業・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬授業・レポート・発表

[教科書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領解説　生活編（平成29年告示） 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:9784491034645
書籍名:生活科の原点を探究する 著者名:金岩俊明／著 出版社名:黎明書房 ISBN:9784654023639

[参考書（ISBN）]

科目名	生活科教育法	後期	2 単位
サブタイトル	生活科の授業づくり	講義	
担当者	金岩　俊明		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学習指導要領における生活科の学習内容を理解するとともに、具体的な活動や体験を創造し、指導案を作成する。また、模擬授業を通して教材づくりや指導技術の習得、学習評価についての実践的指導力を高める。

[授業概要]
生活科の学習指導に際しての知識や技能について、「遊び」と「問題解決学習」をふまえて学習過程の構成を行う。さらに、具体的な内容を位置づけた各学年の指導計画に基づき、創造的な学習展開例を作成する。また、授業をデザインし、教師の支援の在り方や学びへの評価についても知見を広げていく。授業実践の経験に基づく講義と模擬授業指導を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
生活科の理論と実践について、学習指導要領や文献で学習しておく。 また、各回の模擬授業の内容について評価し、習得した事項が生かせるようにする。(予習復習合わせて4時間程度)

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 模擬授業について(情報通信機器及び機材の活用)
3. 生活科の内容①「学校と生活」
4. 生活科の内容②「家庭と生活」
5. 生活科の内容③「地域と生活」
6. 生活科の内容④「公共物や公共施設の利用」
7. 生活科の内容⑤「季節の変化と生活」
8. 生活科の内容⑥「自然や物を使った遊び」
9. 生活科の内容⑦「動物の飼育」
10. 生活科の内容⑦「植物の栽培」
11. 生活科の内容⑧「生活や出来事の伝え合い」
12. 生活科の内容⑨「自分の成長」
13. まとめ
※3～12は、模擬授業を含む。

科目名	生活科教育法	後期	2 単位
サブタイトル	生活科の授業づくり	講義	
担当者	金岩　俊明		

[成績評価方法]
レポート及び課題（30%）指導案作成・模擬授業（30%）試験（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックは授業内等で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：模擬授業・レポート・発表

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：模擬授業・レポート・発表

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：模擬授業・レポート・発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬授業・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬授業・レポート・発表

[教科書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領解説　生活編（平成29年告示） 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社 ISBN:9784491034645
書籍名:生活科の原点を探究する 著者名:金岩俊明／著 出版社名:黎明書房 ISBN:9784654023639

[参考書（ISBN）]

科目名	生活科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル	楽しい授業づくりへの教材開発	演習	
担当者	金岩　俊明		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
生活科における魅力ある教材作りについて、目標や内容と関係付け、児童が興味・関心を高める教材を開発し、それを活用した授業を計画することができる。また、教材を交流して多面的な視点をもつことができ、生活科の授業実践に向けて見通しをもつ。

[授業概要]
教材についての概念を理解し、生活科の教材論についての基本的な知識を習得する。生活科マップ等を作成し、探検活動、栽培活動、飼育活動、製作活動、遊び活動、スタートカリキュラム等の趣旨をふまえ、具体的な教材を作成する。さらに、各教材を使用した授業構想を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
生活科の授業実践や研究にかかる資料を収集して、教材に関わる情報を整理しておく。また、通学途上で地域に関わるフィールドワークをしておく。（各回、予習復習合わせて2時間程度）

[授業計画]
1.生活科の教材論
2.生活科マップの作成①
3.生活科マップの作成②
4.町たんけん①
5.町たんけん②
6.町たんけん③
7.自然物を使った教材づくり①
8.自然物を使った教材づくり②
9.身近な材料を使った教材づくり①
10.身近な材料を使った教材づくり②
11.栽培活動の教材づくり
12.飼育活動の教材づくり
13.スタートカリキュラムの作成、まとめ
（随時、学外のフィールドワークを実施する。）

科目名	生活科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル	楽しい授業づくりへの教材開発	演習	
担当者	金岩　俊明		

[成績評価方法]
教材作成(70%)発表(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックは、授業内で行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:発表・レポート

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:発表・レポート

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:発表・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:発表・レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:生活科の原点を探究する 著者名:金岩俊明／著 出版社名:黎明書房 ISBN:9784654023639

[参考書(ISBN)]

科目名	生徒・進路指導論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山　優子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	1分間スピーチ	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・生徒指導の意義や原理を理解し、すべての児童生徒を対象とした学級、学年、学校における指導の在り方や考え方を理解する。
・進路指導、キャリア教育の意義や原理を理解し、すべての児童生徒を対象とした学級、学年、学校における指導の在り方や考え方、外部の専門家、関係機関等の連携を理解する。
・児童生徒の抱える主な生徒指導上の課題と、学校の全教職員、外部の専門家、関係機関との連携の在り方を理解する。
・暴力行為、いじめ、不登校等の生徒指導上の課題の定義及び対応の視点を理解する。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題（いじめ問題、不登校、特別支援教育等）への対応を学校現場での実際の事例を用いて具体的に講義します。生徒指導や進路指導・キャリア教育は、一人一人の児童生徒の人格を尊重し、個性の伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高めることを目指して教育活動全体を通じて行われ、学習指導と並ぶ重要な教育活動です。これらを、基本に置き、グループでディスカッションしながら取り組むアクティブ・ラーニングで行います。発達障害等のある子どもの特性を踏まえつつも、障害のあるなしにかかわらず多様な背景をのある児童生徒の問題行動事例や進路指導、キャリア教育についての理解を深め、どう指導や支援をしていくか具体的な方法を身に付けることをめあてとしています。
テキストは、1回生後期「教育相談」で使用した「生徒指導提要」（平成22年3月版の冊子のダウンロード）を用います。文部科学省のHPからダウンロードできます。適宜、「生徒指導提要」（令和4年12月の改訂版の冊子のダウンロード）も用います。テキストを購入する必要はありません。
ノートについては、手書きのノートのほかに、パソコンをノート代わりにしてもかまいません。授業の板書は写真撮影 OKです。
ICTを活用して授業を受けてみると、その効果や課題が実感でき、今後の児童生徒への指導に役立てられると考えます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
・授業で出された宿題や探究課題について主体的に取り組む（復習と探究）。＜2時間＞
・授業で予告された次回の内容について探究する（反転授業のための予習）。＜2時間＞

[授業計画]
1.生徒指導の意義と原理及び指導体制と教育課程、各教科等との関連
2.進路指導、キャリア教育の意義と原理及び指導体制と教育課程、各教科等との関連
3.進路指導、キャリア教育を推進する校内組織及び関係機関との連携
4.規範意識を醸成し安心できる学級づくり
5.生徒指導上の課題（不登校）と関係諸機関の連携
6.生徒指導上の課題（いじめ・非行）と関係諸機関の連携
7.発達障害や多様な背景から教育的ニーズのある児童生徒の理解と生徒指導
8.生徒指導の方法（集団指導の方法原理）
9.生徒指導の方法（個別指導の方法原理）
10.生徒指導上の課題（インターネット・児童虐待・校則・懲戒・体罰等の法令）
11.進路指導、キャリア教育＜学外フィールドワーク＞
12.進路指導・キャリア教育のカリキュラムマネジメントやガイダンスとポートフォリオの活用
13.まとめ

科目名	生徒・進路指導論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山　優子		

[成績評価方法]
まとめテスト（論述あり）（80%）、授業ごとの小テスト（記述式）（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業ごとの小テスト（記述式）に対して、提示した評価基準でフィードバックをおこないます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性
／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢

成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力
／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力

成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

[教科書（ISBN）]
書籍名:「生徒指導提要」(平成22年3月版の冊子のダウンロード） 著者名:文部科学省 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	総合的な学習の時間の指導法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	金岩　俊明		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学習指導要領における総合的な学習の時間の概要を理解し、その意義や特色に気付くとともに、カリキュラムの作成や運用、学習指導案の作成を通して探究的な学習過程に基づく指導法を習得することができる。さらに、実施上必要な環境づくりや学校体制等について理解する。

[授業概要]
総合的な学習の時間設置の経緯や趣旨・目標・内容を理解し、学校全体の指導計画・各学年の指導計画を立案し単元をデザインする。また、学習指導案の作成により、探究課題に基づく各時間の学習指導を探究的に行うことができるようにするとともに、教材づくりや学習評価についての実践的指導力を高める。また、環境づくりや学校体制、地域との連携等について具体的な理解を深める。授業実践の経験に基づく講義と演習を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
総合的な学習の時間の理論と方法について、授業内容に即して学習指導要領の確認をしておくこと。授業の復習を行い、課題テストに備えること。（各回、予習復習合わせて4時間程度）

[授業計画]
1.総合的な学習の時間設置の経緯
2.総合的な学習の時間の趣旨と目標
3.各学校において定める目標及び内容
4.指導計画の作成と内容の取扱い
5.学校における全体計画・年間指導計画
6.単元計画の作成
7.全体計画の作成の実際
8.年間指導計画の作成の実際①
9.年間指導計画の作成の実際②
10.単元計画としての学習指導案作成の実際
11.学習指導と評価①
12.学習指導と評価②
13.体制づくり、まとめ

科目名	総合的な学習の時間の指導法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	金岩　俊明		

[成績評価方法]
授業中の課題等（50%）試験（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート等提出課題については、授業内又はmanabaで返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験・レポート・発表

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：試験・レポート・発表

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：試験・レポート・発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート・発表

[教科書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領解説　総合的な学習の時間編（平成29年告示） 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社
ISBN:9784491034683

[参考書（ISBN）]

科目名	総合的な学習の時間の指導法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	金岩　俊明		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
学習指導要領における総合的な学習の時間の概要を理解し、その意義や特色に気付くとともに、カリキュラムの作成や運用、学習指導案の作成を通して探究的な学習過程に基づく指導法を習得することができる。さらに、実施上必要な環境づくりや学校体制等について理解する。

[授業概要]
総合的な学習の時間設置の経緯や趣旨・目標・内容を理解し、学校全体の指導計画・各学年の指導計画を立案し単元をデザインする。また、学習指導案の作成により、探究課題に基づく各時間の学習指導を探究的に行うことができるようにするとともに、教材づくりや学習評価についての実践的指導力を高める。また、環境づくりや学校体制、地域との連携等について具体的な理解を深める。授業実践の経験に基づく講義と演習を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
総合的な学習の時間の理論と方法について、授業内容に即して学習指導要領の確認をしておくこと。授業の復習を行い、課題テストに備えること。（各回、予習復習合わせて4時間程度）

[授業計画]
1.総合的な学習の時間設置の経緯
2.総合的な学習の時間の趣旨と目標
3.各学校において定める目標及び内容
4.指導計画の作成と内容の取扱い
5.学校における全体計画・年間指導計画
6.単元計画の作成
7.全体計画の作成の実際
8.年間指導計画の作成の実際①
9.年間指導計画の作成の実際②
10.単元計画としての学習指導案作成の実際
11.学習指導と評価①
12.学習指導と評価②
13.体制づくり、まとめ

科目名	総合的な学習の時間の指導法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	金岩　俊明		

[成績評価方法]
授業中の課題等（50%）試験（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート等提出課題については、授業内又はmanabaで返却します。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験・レポート・発表

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：試験・レポート・発表

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：試験・レポート・発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート・発表

[教科書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領解説　総合的な学習の時間編（平成29年告示） 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社
ISBN:9784491034683

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	穴田　恭輔		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
各自が関心のある算数教育に関するテーマを設定し主体的に論文完成をめざす。

[授業概要]
算数教育についての論文を作成する。各自が進捗を報告し討議する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
レジュメを用意して、進捗報告の準備をして臨む。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. プレゼンテーションのスキルを学ぶ(1)
3. プレゼンテーションのスキルを学ぶ(2)
4. 論文作成の概要
5. 各自のテーマの決定(1)
6. 各自のテーマの決定(2)
7. 各自のテーマの決定(3)
8. 参考文献や先行研究の調査とその報告(1)
9. 参考文献や先行研究の調査とその報告(2)
10. 参考文献や先行研究の調査とその報告(3)
11. 章立ての検討(1)
12. 章立ての検討(2)
13. 中間のまとめ

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	穴田　恭輔		

[成績評価方法]
発表（80%）、提出物（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：発表、提出物

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表、提出物

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：発表、提出物

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：発表、提出物

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表、提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表、提出物

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
主に保育や子どもの発達に関して設定した研究テーマにそってテーマを設定し、論文を作成する

[授業概要]
全体で行うゼミと各自の研究テーマにそった個別指導を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
新聞記事や保育関連の文献に目を通し、世の中の事象や保育の問題に対して自分の意見をもっておく
中間発表等で指摘されたことは次回発表までに改善しておく 各回2時間程度

[授業計画]
1.はじめに(卒業論文作成の概要について)
2.卒業論文テーマの研究(過去のテーマ例研究)
3.卒業論文テーマの研究(各自の興味の確認①)
4.卒業論文テーマの研究(各自の興味の確認②)
5.卒業論文の書き方について①
6.卒業論文の書き方について②
7.研究方法の検討①
8.研究方法の検討②
9.研究方法の検討③
10.研究方法の検討④
11.論文構成の検討①
12.論文構成の検討②
13.論文構成の検討③

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[成績評価方法]
課題探求の姿勢 （50%）、提出物(50%)
課題探求の姿勢は、多角的に調べることができているかどうか、意欲的に取り組んでいるかどうかについて評価をする
提出物は、期限、形式も含めて評価する

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
個別に指導を行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:課題探求の姿勢　提出物

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:課題探求の姿勢　提出物

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:課題探求の姿勢

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:課題探求の姿勢　提出物

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題探求の姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題探求の姿勢　提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題探求の姿勢　提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題探求の姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題探求の姿勢　提出物

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	稲垣　善茂		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
教育学科の卒業論文に相応しい研究論文を完成させる。

[授業概要]
全体で行うゼミでの研究発表と各自の研究テーマにそった個別指導を行う。プレゼンテーション時は携帯電話、タブレット、PCの使用を認めている。演習時間外におけるプレゼンテーション準備、卒業論文作成は自前のPCが必要であり購入を強く推奨する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
事前の調べ学習を行い、前回ゼミなどの検討会で指摘された問題点を整理し，解答を準備しておくこと。 予習復習の時間数は各回、合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 卒論テーマの検討会①
2. 卒論テーマの検討会②
3. 卒論テーマの検討会③
4. 卒論テーマの検討会④
5. 研究方法の検討会①
6. 研究方法の検討会②
7. 研究方法の検討会③
8. 研究方法の検討会④
9. 論文構成の検討会①
10. 論文構成の検討会②
11. 論文構成の検討会③
12. 論文構成の検討会④
13. 卒業論文研究中間発表

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	稲垣　善茂		

[成績評価方法]
卒論中間発表会（50%）、卒論中間発表会要旨、まとめスライド（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
論文課題、レポート、グループワーク課題、卒論研究本文などの提出物については、赤字で添削したのち、直接返却しています。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：卒論中間発表会（50%）、卒論中間発表会要旨、まとめスライド（50%）

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：卒論中間発表会（50%）、卒論中間発表会要旨、まとめスライド（50%）

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：卒論中間発表会（50%）、卒論中間発表会要旨、まとめスライド（50%）

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：卒論中間発表会（50%）、卒論中間発表会要旨、まとめスライド（50%）

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：卒論中間発表会（50%）、卒論中間発表会要旨、まとめスライド（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：卒論中間発表会（50%）、卒論中間発表会要旨、まとめスライド（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：卒論中間発表会（50%）、卒論中間発表会要旨、まとめスライド（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：卒論中間発表会（50%）、卒論中間発表会要旨、まとめスライド（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：卒論中間発表会（50%）、卒論中間発表会要旨、まとめスライド（50%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：卒論中間発表会（50%）、卒論中間発表会要旨、まとめスライド（50%）

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
自らが設定したテーマ、課題についてアウトラインを完成する。

[授業概要]
本授業は、3回生での教育学講読、教育学演習での学習をベースとして、卒業論文の作成に取り組む。大学に入学してからの学びを通して、自らの興味、関心を基にして、仮テーマを設定し、その領域、分野での専門用語、定義、概念について学習をする。
その上で、卒業論文の作成に向けての10のプロセスに従って、このセメスターでは、⑥の段階まで研究を進めていく。
①テーマの選択　②事前調査　③仮のアウトライン　④関連文献の調査
⑤文献の入手　⑥情報カード(メモ)の作成

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
自らの興味関心をよく見つめ、仮テーマを設定する。
それに従って、文献の収集を積極的に行う。

[授業計画]
今期の卒業論文ゼミの時間は、学生主体の活動をしながら、論文の基本的な形式について学んでいく。
1. イントロダクション
2. テーマの掘り起こし
3. 仮アウトラインの作成
4. 調査方法について
5. 文献の見つけ方
6. 文献資料の収集方法
7. 情報カードの作成
8. 個別卒論指導①
9. 個別卒論指導②
10. 個別卒論指導③
11. 個別卒論指導④
12. プレゼンテーション①
13. プレゼンテーション②

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[成績評価方法]
授業での課題提出（80%）プレゼンテーション（中間発表会）（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート等を返却し指導します

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

[教科書（ISBN）]
書籍名:よくわかる卒論の書き方[第2版] 著者名:白井 利明 出版社名:ミネルヴァ書房 ISBN:9784623065721

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	心身の発達と学びの過程-乳幼児、児童(障がいのある乳幼児、児童を含む)を中心に	演習	
担当者	隠岐　厚美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教育学講読並びにフィールドワークでの学習を基に、文研研究やデータを収集ができるようになる。
ゼミ発表・ディスカッションを行い経験と知識に裏付けされた実践力を身につける

[授業概要]
各自の関心に基づき設定した卒業論文のテーマに関する文献講読、資料収集、調査や実験を行う。
これらの結果に基づき、プレゼンテーションとディスカッションを繰り返しながら卒業研究を進める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の授業についての予習復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて4時間程度)。
文献を熟読し、ディスカッションができるよう準備すること。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.研究課題と研究方法について1　研究課題の立て方
3.研究課題と研究方法について2　研究方法
4.先行研究についての発表とディスカッション1
5.先行研究についての発表とディスカッション2
6.先行研究についての発表とディスカッション3
7.先行研究についての発表とディスカッション4
8.先行研究についての発表とディスカッション5
9.卒業論文のテーマと研究方法の決定
10.研究課題への取り組み1
11.研究課題への取り組み2
12.研究課題への取り組み3
13.まとめ―経過発表―

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	心身の発達と学びの過程-乳幼児、児童(障がいのある乳幼児、児童を含む)を中心に	演習	
担当者	隠岐　厚美		

[成績評価方法]
「卒業研究の内容(40%)」「ディスカッションへの参加度(30%)」、「プレゼンテーショ(20%)」「提出物(10%)」

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出物返却時、プレゼンテーション後に口頭で行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:「卒業研究の内容(40%)」「ディスカッションへの参加度(30%)」、「プレゼンテーショ(20%)」

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:「卒業研究の内容(40%)」「ディスカッションへの参加度(30%)」、「プレゼンテーショ(20%)」「提出物(10%)」

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:「卒業研究の内容(40%)」「ディスカッションへの参加度(30%)」、「プレゼンテーショ(20%)」

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:「卒業研究の内容(40%)」「ディスカッションへの参加度(30%)」、「プレゼンテーショ(20%)」「提出物(10%)」

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:「卒業研究の内容(40%)」「ディスカッションへの参加度(30%)」、「プレゼンテーショ(20%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:「卒業研究の内容(40%)」「ディスカッションへの参加度(30%)」、「プレゼンテーショ(20%)」「提出物(10%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:「卒業研究の内容(40%)」「ディスカッションへの参加度(30%)」、「プレゼンテーショ(20%)」「提出物(10%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:「卒業研究の内容(40%)」「ディスカッションへの参加度(30%)」、「プレゼンテーショ(20%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:「卒業研究の内容(40%)」「ディスカッションへの参加度(30%)」、「プレゼンテーショ(20%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:「卒業研究の内容(40%)」「プレゼンテーショ(20%)」「提出物(10%)」

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	金岩　俊明		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校教育における自己の課題意識を明確にして、研究デザインを構築し課題解決に迫る論理的かつ実践的な論文を作成する。

[授業概要]
課題に関する文献や論文を研究し、独自の着想を大切にして論文の構成を進める。その過程において、テーマ発表を行い、情報交換を行うとともに、プレゼンテーション技能の習得を目指す。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
テーマに関する文献研究や実践研修を積極的に行い、各段階における発表に備えること。また、受講者全員のテーマに関心をもち、自己の見解が述べられるようにしておくこと。(各回、予習復習合わせて2時間程度)

[授業計画]
1. 卒業論文作成オリエンテーション
2. 論文作成の技法①
3. 論文作成の技法②
4. 研究デザイン発表・討論①
5. 研究デザイン発表・討論②
6. テーマ及び文献発表①
7. テーマび文献発表②
8. テーマび文献発表③
9. テーマび文献発表④
10. 論文プロット発表①
11. 論文プロット発表②
12. 論文プロット発表③
13. 論文プロット発表④

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	金岩　俊明		

[成績評価方法]
作成論文（80%）ディスカッション（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
※提出課題については授業で返却

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：発表・レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表・レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：発表・レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：発表・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表・レポート

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	ダイバーシティの教育を理解し、研究デザインをより明確にして社会に出て役立つ実践的な論文を作成する	演習	
担当者	上野　昌稔		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・3年次での論文作成計画書を基に、さらに文研研究を進め、研究の目的・仮説をより明確にする。
・調査や事例研究について具体的に準備を進め、実施するための研究デザインを確立させる。
・定期的に研究経過の発表を行い、プレゼンテーション力の向上と研究内容・進捗状況の共有化を図る。

[授業概要]
卒業論文作成計画書を基に卒業論文のテーマに関する文献講読、資料収集、調査や実験などを行う。ゼミでのプレゼンテーションとディスカッションを繰り返しながら卒業論文を作成する

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
文献研究や実践研修を積極的に行い、中間発表に備えること。また、受講者全員のテーマに関心をもち、自己見解やアイデア等が述べられるようにしておくこと。(各回、予習復習合わせて2時間程度)

[授業計画]
1 3年次作成卒業論文作成計画書の再考
2 本研究(1) 調査の事例研究の計画・先行研究の収集と学習
3 本研究(2) 調査の事例研究の計画・先行研究の収集と学習
4 本研究(3) 調査の事例研究の計画・先行研究の収集と学習
5 本研究(4) 調査の事例研究の実施・先行研究の収集と学習
6 本研究(5) 調査の事例研究の実施・先行研究の収集と学習
7 研究結果の報告(1) 調査・事例研究の実施・結果についての報告とまとめ
8 研究結果の報告(2) 調査・事例研究の実施・結果についての報告とまとめ
9 中間発表会準備(1):目的・方法・予想される結果についての整理
10中間発表会準備((2) :目的・方法・予想される結果についてのプレゼン資料の作成
11 中間発表会
12 中間発表会を終えて(1) 論文構成と調査・事例研究の見直し
13 中間発表会を終えて(2) 論文構成と調査・事例研究の見直し

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	ダイバーシティの教育を理解し、研究デザインをより明確にして社会に出て役立つ実践的な論文を作成する	演習	
担当者	上野　昌稔		

[成績評価方法]
論文原稿案及び発表内容（50%）、討議内容（40%）、表現力（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・授業中におけるコメント等によるフィードバック
・オフィスアワーにおける対応
・個別指導

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協調して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:必要に応じて提示 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
研究活動を通して、合理的な考え方や表現方法によって自らが見出した課題を解決し、その中で探究的に学び続けるための基礎となる力を身につけることができる

[授業概要]
研究の進め方や論文の書き方を理解した上で、自らの研究テーマを設定し、主体的に研究活動を進め、卒業論文を作成します。卒業論文Ⅰでは、主に一つ目の研究課題を解決するための方法を立案し、調査や教材作成を実行し、その結果と考察をまとめていきます。
小中学校勤務歴31年の者が教育現場における諸問題について、テーマの決め方や進め方などをアシストします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、準備とふりかえりについて4時間程度の学習を求めます。具体的には、各回で指定された課題に取り組み、その成果をプレゼンテーションできるようにしておいてください。

[授業計画]
1.研究課題に対する計画立案①
2.研究課題に対する計画立案②
3.研究課題に対する調査や教材作成①
4.研究課題に対する調査や教材作成②
5.研究課題に対する調査や教材作成③
6.研究課題に対する調査や教材作成の結果と考察①
7.研究課題に対する調査や教材作成の結果と考察②
8.研究課題に対する調査や教材作成の結果と考察③
9.研究の結果の執筆①
10.研究の結果の執筆②
11.学会発表等の見学やフィールドワーク①
12.学会発表等の見学やフィールドワーク②
13.学会発表等の見学やフィールドワーク③

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
ゼミ活動に対する取り組み（40%）、各回の課題（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:特に指定しませんが、必要なときは授業内で紹介します。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	音楽教育学の研究	演習	
担当者	小林　田鶴子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
各自が見出した課題について考察し、主体的に事例研究・文献研究を進めながら卒業論文の骨子を作成する。 論文の作成にあたっては、音楽や音楽教育・保育についての幅広い見地から、現在の課題や将来の展望を見付けられるようにする。

[授業概要]
教育学講読や演習で進めてきた学習や実践での学びを基に、各自の研究テーマを明確にし、さらに事例研究や文献、先行研究から研究論文の基礎を作成する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
教育学講読や演習で学んできたことを基礎として、卒業論文作成に進んで取り組む。常に、論文作成に向けての課題意識をもっておくこと。

[授業計画]
1. 研究についてのガイダンス
2. 研究課題と研究方法の具体化①
3. 研究課題と研究方法の具体化②
4. 研究課題への取り組み①
5. 研究課題への取り組み②
6. 研究課題への取り組み③
7. 研究経過発表①
8. 研究課題への取り組み④
9. 研究課題への取り組み⑤
10. 研究課題への取り組み⑥
11. 研究課題への取り組み⑦
12.「教育・保育現場の課題」(外部講師招聘予定)
13. 研究経過発表②

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	音楽教育学の研究	演習	
担当者	小林　田鶴子		

[成績評価方法]
授業への取り組みや研究成果(レポート等)を総合的に評価する

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
その都度、ゼミの中で指導する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	久木山　健一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
各自の関心のあるテーマについて、文献研究を進めながら、研究の目的と仮説を明確にし、実験や調査、事例研究等の心理学研究手法を選び、研究デザインを決定していくことを目的とする。

[授業概要]
業論文では、各自が関心をもったテーマについて、まず、文献検索を通して、先行研究や最新のデータを集め、ゼミで発表・ディスカッションを行いながら、知識と理解を深めていく。同時に各自が研究するテーマ設定とその研究手法を明確にし、実験・調査・文献・事例等の研究方法を通して、各自の研究デザインを組み立てていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
自身の研究テーマについて関係する学術論文を読み解いておくこと。自身の見解や仮説を実証するための研究手法について復習をしながら、卒業論文の「問題と目的」を作成していく。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 文献検索の方法について
3. 先行研究や最新データについて
4. 先行研究や最新データについての発表とディスカッション1
5. 先行研究や最新データについての発表とディスカッション2
6. 先行研究や最新データについての発表とディスカッション3
7. 先行研究や最新データについての発表とディスカッション4
8. 卒業論文の研究手法の決定
9. 実験、調査、事例、文献研究等の実施と経過発表及びディスカッション1
10. 実験、調査、事例、文献研究等の実施と経過発表及びディスカッション2
11. 実験、調査、事例、文献研究等の実施と経過発表及びディスカッション3
12. 実験、調査、事例、文献研究等の実施と経過発表及びディスカッション4
13. 卒業論文　中間発表のための抄録作成

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	久木山　健一		

[成績評価方法]
授業中の課題(20%)、発表(10%)、卒業論文(70%)等を総合的に判断して評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業やmanabaを通して、随時フィードバックを行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	人々の生活を科学的に研究し、より良い暮らしを実現するために	演習	
担当者	奥川　あかり		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 家庭生活に関心をもち、生活の現実認識をして見直すことができる
2. 生活の根底にある原理・原則について科学的に追求して理解する
3. 卒業論文の作成や議論を通じて思考力や表現力を身につける
4. これまでに培った専門性を生かして、よりよい生活を創造することができる

[授業概要]
1. これまでの学習を基盤に自ら新しい問題を設定する
2. その問題の解決策を様々な根拠を示しながら、結論へと導く
3. 論文作成を通じて意見交換や議論を重ねながら内容を深めていく
4. 専門性を生かして、よりよい社会を創造する力を養う

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
先行研究の収集と考察および研究を積極的に進めていくこと
また、他者の研究にも関心を持ち、議論の準備をしておくこと

[授業計画]
1. オリエンテーション（研究の進め方）
　研究テーマと研究計画の発表と討議
2. 研究・調査または教材開発Ⅰと報告
3. 研究・調査または教材開発Ⅱと報告
4. 研究・調査または教材開発Ⅲと報告
5. 進捗発表会と討議Ⅰ
6. 研究・調査または教材開発Ⅳと報告
7. 研究・調査または教材開発Ⅴと報告
8. 研究・調査または教材開発Ⅵと報告
9. 進捗発表会と討議Ⅱ
10. 研究・調査または教材開発Ⅶと報告
11. 研究・調査または教材開発Ⅷと報告
12. 研究・調査または教材開発Ⅸと報告
13. 進捗発表会と討議Ⅲ

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	人々の生活を科学的に研究し、より良い暮らしを実現するために	演習	
担当者	奥川　あかり		

[成績評価方法]
課題:50%
発表:50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業内またはメールで行います

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:課題、発表

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:課題、発表

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:課題、発表

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:課題、発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:課題、発表

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	まなびの深化をはかり、真理を探究する初歩を固める。	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語教育学領域の各自の関心に基づいたテーマについて、先行研究に基づいた仮説の立案、実験・調査・事例研究等を用いた仮説の検証を行い、卒業論文執筆のための構想を固める。

[授業概要]
各自の関心に基づいたテーマについて、文献を調べ、議論を通して自分なりの仮説を立案します。その仮説を検証するのに適切な研究手法(実験、調査、事例、文献研究等)を選定し、必要なデータの収集を行います。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
関心のあるテーマについて文献を調べ、積極的に読み進めてまとめおくこと。これまでに学んだ心理学研究法・統計解析の方法について復習し、卒業論文の執筆のために必要となる知識を確認しておきましょう。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 研究計画書の作成
3. 資料収集・先行研究のレビューとディスカッション①
4. 資料収集・先行研究のレビューとディスカッション②
5. 資料収集・先行研究のレビューとディスカッション③
6. 調査・実験計画の立案・実施準備①
7. 調査・実験計画の立案・実施準備②
8. 調査・実験計画の立案・実施準備③
9. 調査・実験の実施と経過報告①
10. 調査・実験の実施と経過報告②
11. 調査・実験の実施と経過報告③
12. データの整理①
13. データの整理②

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	まなびの深化をはかり、真理を探究する初歩を固める。	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
授業中の課題(40%)、研究仮説の妥当性(30%)、研究方法の適切さ(30%)に基づいて総合的に評価します。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題については、コメントを付すなどして事後に評価して返却します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:研究仮設の妥当性で評価します。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:研究方法の適切さで評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:授業中の課題により評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:研究仮設の妥当性、研究方法の適切性、課題で評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:研究方法の妥当性、適切性で評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題で評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:研究方法の妥当性、適切性で評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:研究方法の妥当性、適切性で評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業中の課題で評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:授業中の課題、研究仮設の妥当性、研究方法の適切さで評価する。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤　浩樹		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
社会科教育を中心に小学校教育における各自の問題意識に基づいて設定したテーマについて、主体的に文献研究、調査研究、事例研究を進める。

[授業概要]
教育学講読、教育学演習での学びをもとに各自が研究テーマを設定し、文献研究、調査研究を進め、卒業論文の構想発表を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
その時の課題を明確にし、確実にやり遂げていく。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 卒業論文作成の方法①
3. 卒業論文作成の方法②
4. 先行研究の発表とディスカッション①
5. 先行研究の発表とディスカッション②
6. 先行研究の発表とディスカッション③
7. 先行研究の発表とディスカッション④
8. 先行研究の発表とディスカッション⑤
9. 研究課題への取り組み①
10. 研究課題への取り組み②
11. 研究課題への取り組み③
12. 研究課題への取り組み④
13. 研究構想の発表

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤　浩樹		

[成績評価方法]
授業に取り組む姿勢40%、レポート・討議50%、卒論の構想10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:レポート・発表、授業に取り組む姿勢

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:レポート・発表、授業に取り組む姿勢

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:レポート・発表、授業に取り組む姿勢

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:レポート・発表、授業に取り組む姿勢

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:レポート、卒業論文、発表、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:レポート、卒業論文、発表、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:レポート、卒業論文、発表、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート、卒業論文、発表、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:レポート、卒業論文、発表、授業に取り組む姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:レポート、卒業論文、発表、授業に取り組む姿勢

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	社会人として必要な論理的思考を学ぶ	演習	
担当者	田中　裕一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	模擬授業、場面指導	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・3回生での教育学演習を踏まえ、教育に関して各自が研究したいことを基に、テーマを設定し、研究成果をまとめる。
・卒業論文の作成を通じて、社会人として必要な、論理的思考、文章力、表現力等を学ぶ。

[授業概要]
・この授業では、学校現場での教員や教育行政(教育委員会、文部科学省)等の経験のある教員が、その経験を活かして、発達障害のある子どもなどが在籍することを前提にした授業づくり、学級づくりなど、今日的な課題(特別支援教育、不登校等)への対応を指導する。
・これまでの研究論文講読等を基に、探究したいテーマを設定し、適切な方法を検討しながら論文を作成していく。その際、必要な文献や研究論文の検索、データの収集方法、学校の幼児児童生徒、教員への研究協力依頼等を計画的に進める。
・進捗状況を相互発表し、ディスカッションしながら研究を深めていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・研究テーマに関する専門書、学術論文、新聞等に目を通すこと。
・各段階における発表準備をすること。
・他者の研究テーマに関心を持ち、研究方法等について意見を述べられるようにしておくこと。
※各回、予習復習合わせて2時間程度おこなうこと

[授業計画]
1.卒業論文作成委に関するオリエンテーション
2.論文テーマの設定と関連する先行研究調査まとめの発表＆ディスカッション(1)
3.論文テーマの設定と関連する先行研究調査まとめの発表＆ディスカッション(2)
4.論文テーマの設定と関連する先行研究調査まとめの発表＆ディスカッション(3)
5.論文テーマの設定と関連する先行研究調査まとめの発表＆ディスカッション(4)
6.研究デザイン(研究計画と研究方法等)の発表＆ディスカッション(1)
7.研究デザイン(研究計画と研究方法等)の発表＆ディスカッション(2)
8.研究デザイン(研究計画と研究方法等)の発表＆ディスカッション(3)
9.研究デザイン(研究計画と研究方法等)の発表＆ディスカッション(4)
10.当事者を支える施設等へのフィールドワーク【学外授業】
11.フィールドワークの感想と討議
12.ここまでの研究デザイン等のまとめの発表＆ディスカッション(1)
13.ここまでの研究デザイン等のまとめの発表＆ディスカッション(2)
※当事者を支える施設等へのフィールドワークの実施時期については、時期が変更となる可能性がある

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	社会人として必要な論理的思考を学ぶ	演習	
担当者	田中　裕一		

[成績評価方法]
卒業論文への取り組み過程（30%）、卒業論文内容（60%）、授業態度（10%）
・過程は、期限、形式も含めて評価する
・内容は、多角的に調べることができているかどうかを評価する
・他者の論文に対する適切な指摘ができているかを評価する

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・基本的には、授業中に指導助言及び修正等を行う。
・各学生の課題への進捗状況に応じ、随時、課題等を設定する。
・状況に応じて、manaba・KISSシステムを通じて行う場合もある。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:科学の健全な発展のために 著者名:日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会 出版社名:丸善出版
ISBN:9784621089149

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
幼児教育、小学校教育、体育、スポーツ、健康における各自の問題意識に基づいて設定したテーマについて、主体的に文献研究、調査研究、事例研究を進め、卒業論文を執筆していく。

[授業概要]
教育学講読、教育学演習での学びをもとに各自が研究テーマを設定し、文献研究、調査研究を進め、卒業論文を作成していく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
その時の課題を明確にし、確実にやり遂げていく。
各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 卒業論文作成の方法①
3. 卒業論文作成の方法②
4. 先行研究の発表とディスカッション①
5. 先行研究の発表とディスカッション②
6. 先行研究の発表とディスカッション③
7. 先行研究の発表とディスカッション④
8. 先行研究の発表とディスカッション⑤
9. 先行研究の発表とディスカッション⑥
10. 研究構想の発表①
11. 研究構想の発表②
12. 研究課題への取り組み①
13. 研究課題への取り組み②

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
卒業論文作成への取り組み（40%）、卒業論文内容（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中や授業前後に行う。
メールで論文添削も行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とする。
①研究の位置づけや課題を明確にする。
②発表や討議を通じて、独自の見解や提案を発展させる。
③文献調査により、専門的な知識を習得し、先行研究に対する理解を深める。

[授業概要]
論文の作成方法、先行研究の発表と討議、文献調査、システム開発、実験、アンケート調査の実施に至るまで、研究の各段階に焦点を当てて行う。文献調査を通じて、先行研究に対する自身の見解を明確にし、論理的な思考力を培う。また、システム開発や実験を通じた実践的なスキルや、アンケート調査を通じたデータ収集や分析方法を習得する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の講義の復習

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.卒業論文作成の方法(1)
3.先行研究の発表と討議(1)
4.先行研究の発表と討議(2)
5.文献調査およびシステム開発・実験準備・アンケート調査準備(1)
6.文献調査およびシステム開発・実験準備・アンケート調査準備(2)
7.文献調査およびシステム開発・実験準備・アンケート調査準備(3)
8.文献調査およびシステム開発・実験準備・アンケート調査準備(4)
9. 文献調査および調査実施(1)
10.文献調査および調査実施(2)
11.文献調査および調査実施(3)
12.文献調査および調査実施(4)
13.まとめ

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[成績評価方法]
卒業研究への取り組み方や姿勢（40%）、卒業論文内容（60%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	谷山　優子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	模擬授業、場面指導	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教育に関して各自が研究してきたことを基に、テーマを設定し、研究成果をまとめる。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題(学級づくり、従業づくり、生徒指導、特別支援教育等)への対応を指導する。これまでの各自の研究をもとにテーマを絞り込んでいき、個別指導を受けながら、論文を作成していく。必要な文献や研究論文の検索、資料の収集、学校現場の教員への研究協力依頼等を計画的に進める。模擬授業や場面指導も取り入れ、先行研究等の実践を検証していく。進捗状況を相互発表し、討議しながら研究を深めていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
研究テーマに関する専門書、学術論文、新聞等に目を通すこと。
学校ボランティアや授業観察で教師として教壇に立てる実践力をつける。
学会や研究会に参加する。
※各回、予習復習合わせて4時間程度おこなうこと

[授業計画]
1.論文テーマの設定と関連する先行研究調査、相互発表と討議①
2.論文テーマの設定と関連する先行研究調査、相互発表と討議②
3.論文テーマの設定と関連する先行研究調査、相互発表と討議③
4.論文テーマの設定と関連する先行研究調査、相互発表と討議④
5.研究計画と研究方法、相互発表と討議①
6.研究計画と研究方法、相互発表と討議②
7.研究計画と研究方法、相互発表と討議③
8.研究計画と研究方法、相互発表と討議④
9.調査の実施、相互発表と討議①
10.調査の実施、相互発表と討議②
11.調査の実施、相互発表と討議③
12.実地調査研究・フィールドワーク＜学外授業＞
13.臨床教育研究としての検証

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	谷山　優子		

[成績評価方法]
卒業論文への取り組み課程（50%）、卒業論文内容（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
卒業論文と関連研究課題に対して助言と修正および添削等の指導を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：毎回の授業の「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語学・英語教育学に関して自ら設定した研究テーマの論文の完成を目指す。

[授業概要]
英語学・英語教育学に関する研究課題を明確にし、それに関連する論文や文献を精読することを通して先行研究をまとめていく。研究で必要な資料を収集し分析結果を提示して、科学的見地に基づき自らの考えを示す。意見交換を通して研究の振り返りを行い、粘り強く考えていく力、議論を組み立てていく力を身に付けながら、卒業論文完成に必要なステップを一つひとつ積み重ねていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
自らの卒業論文のテーマに関連する論文、文献を読み、各自の課題に取り組んでおくこと。

[授業計画]
1. はじめに(卒業論文作成にあたって)
2. 先行研究・発表・意見交換①
3. 先行研究・発表・意見交換②
4. 先行研究・発表・意見交換③
5. 研究調査・資料収集・分析①
6. 研究調査・資料収集・分析②
7. 研究調査・資料収集・分析③
8. 研究調査・提案・意見交換①
9. 研究調査・提案・意見交換②
10. 研究調査・提案・意見交換③
11. 中間発表会の準備①
12. 中間発表会の準備②
13. 中間発表会
※進捗状況により、計画の一部を変更する場合がある。

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
ゼミでの課題（50%）、レポート（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：ゼミでの課題、レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：ゼミでの課題

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：ゼミでの課題、レポート

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：ゼミでの課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：ゼミでの課題、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：ゼミでの課題、レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：ゼミでの課題、レポート

[教科書（ISBN）]
書籍名:必要に応じて資料を配付する。著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051685
書籍名:中学校学習指導要領解説　外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
幼稚園教育や保育、子どもの育ちに関する自らの課題について、科学的・研究的な視点から分析的に捉え、実践力の形成につなげていくことのできる教育実践学的研究力の構築を目指す。

[授業概要]
幼児教育学講読や演習において進めてきた学習や実践を土台に、自らの研究課題を明確にしていく。さらに、それらをもとに、関連する文献や先行研究のリサーチ等をさらに充実させながら研究を進め、研究論文としてまとめる。その間、定期的に研究の経過や結果等を発表することで、プレゼンテーション力の向上と研究成果の共有化を図っていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の講義内容を整理し理解して、次回の講義の予習・準備をしておくこと。日常的に講義に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度、演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 研究についてのガイダンス
2. 研究計画について1(構想発表会)
3. 研究計画について2(構想発表会)
4. 研究課題への取り組み1
5. 研究課題への取り組み2
6. 研究課題への取り組み3
7. 研究課題への取り組み4
8. 研究の経過報告(中間発表会)
9. 研究課題への取り組み5
10. 研究課題への取り組み6
11. 研究課題への取り組み7
12. 研究課題への取り組み8
13. 研究の経過発表(研究発表会)

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[成績評価方法]
研究成果(80%)課題及び発表(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
適宜指導を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:課題及び発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題及び発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	村田　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校の理科教育や理科教材に関わるテーマを設定し、調査・研究を行い、論文を作成する。

[授業概要]
各自が関心を持った小学校理科教育や理科教材に関するテーマについて、調査・研究を行い、論文を作成する。個別にテーマ設定後、年間計画を立て、研究の枠組み、調査・研究方法を随時相談・指導する。研究計画に従って研究を行い、論文を作成する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
個別指導が主となるため、毎回、各自が卒業研究の進捗状況を報告できるように、1週間分の成果をまとめておく。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.各自の研究テーマ設定①
3.各自の研究テーマ設定②
4.各自の研究テーマ設定③
5.研究の枠組み、調査・研究方法、研究計画について相談①
6.研究の枠組み、調査・研究方法、研究計画について相談②
7.研究の枠組み、調査・研究方法、研究計画について相談③
8.研究計画に従って調査・研究①
9.研究計画に従って調査・研究②
10.研究計画に従って調査・研究③
11.研究計画に従って調査・研究④
12.研究計画に従って調査・研究⑤
13.中間発表

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	村田　恵子		

[成績評価方法]
研究過程(70%)、発表内容(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
論文作成(研究)過程において随時個別指導する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:研究過程・発表内容

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:研究過程・発表内容

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:研究過程・発表内容

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:研究過程・発表内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:研究過程・発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:研究過程・発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:研究過程・発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:研究過程・発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:研究過程・発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:研究過程・発表内容

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	自らのテーマを追究する	演習	
担当者	山内　紀幸		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1 卒業論文の作成を通じて思考力、文章力、表現力等を学ぶ。
2 卒業論文の作成を通じて専門分野への理解を深め、専門性を生かした社会貢献のあり方を考える。

[授業概要]
本演習は、それまでの学習を基盤とし、学生自らがテーマを設定し、主体的な研究を進めることにより、その成果を卒業論文へとまとめていくものであり、同時に自らの学びを社会へと生かす視座を養う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
三回生のゼミでの学習内容を振り返り、研究課題に対する知識を広げておくこと。また、毎時の課題をもとに、研究活動を遂行していくこと。

[授業計画]
1 研究計画(1):本演習の実施計画表作成
2 本研究(1):調査・フィールドワーク・ケーススタディ・の実施・先行研究の収集と学習
3 本研究(2) :調査・フィールドワーク・ケーススタディ・の実施・先行研究の収集と学習
4 本研究(3) :調査・フィールドワーク・ケーススタディ・の実施・先行研究の収集と学習
5 本研究(4) :調査・フィールドワーク・ケーススタディ・の実施・先行研究の収集と学習
6 本研究(5) :調査・フィールドワーク・ケーススタディ・の実施・先行研究の収集と学習
7 研究結果の吟味(1):調査・フィールドワーク・ケーススタディ・の実施・結果についての文献との比較検討
8 研究結果の吟味(2) :調査・フィールドワーク・ケーススタディ・の実施・結果についての文献との比較検討
9 中間発表会準備(1):目的・方法・予想される結果についての執筆
10中間発表会準備((2) :目的・方法・予想される結果についての執筆・プレゼン資料の作成
11 中間発表会
12 補足研究(1):結果についての文献との比較検討・調査・フィールドワーク・ケーススタディ・制作の補充
13 補足研究(2):結果についての文献との比較検討・調査・フィールドワーク・ケーススタディ・制作の補充

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	自らのテーマを追究する	演習	
担当者	山内　紀幸		

[成績評価方法]
論文（80%）、発表（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で討議の上、フィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	各自テーマを決めて、卒論を完成させよう	演習	
担当者	坂下　直子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
自らが見出したテーマについて考察し、主体的に事例研究・文献研究を進めながら卒業論文のアウトラインを作成することができる。

[授業概要]
教育学講読や教育学演習で進めてきた学習や実践での学びを基に、各自の研究テーマを明確にし、そのテーマに関する事例研究や文献調査を行い、先行研究を整理して、独自性・新規性および有用性のある「問い」を立て、卒業論文のアウトラインを構築する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
教育学購読や教育学演習で取り組んできたことに基づき設定したテーマについて、文献収集や実地調査を積極的に行い、意義あるディスカッションができるよう準備。各回、予習・復習で計2時間程度の自主学習が必要。

[授業計画]
1. イントロダクション
2. 研究計画書作成
3. テーマの選択
4. アウトライン作成
5. 関連文献の調査および実地調査
6. 文献の入手
7. 文献の読解
8. 情報カード作成
9. 情報カード整理
10. 中間発表の準備①
11. 中間発表の準備②
12. 中間発表会
13. 学会参加

科目名	卒業論文Ⅰ	前期	4 単位
サブタイトル	各自テーマを決めて、卒論を完成させよう	演習	
担当者	坂下　直子		

[成績評価方法]
研究計画の構築度合(20%)、テーマ設定の妥当性(20%)、情報収集能力(20%)、プレゼンテーション能力(20%)、ディスカッション能力(20%)、に基づいて総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説する。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	穴田　恭輔		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
各自が関心のある算数教育に関するテーマを設定し主体的に論文完成をめざす。

[授業概要]
算数教育についての論文を作成する。各自が進捗を報告し討議する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
レジュメを用意して、進捗報告の準備をして臨む。

[授業計画]
1. 論文構想の発表(1)
2. 論文構想の発表(2)
3. 構想に沿った内容の検討(1)
4. 構想に沿った内容の検討(2)
5. 構想に沿った内容の検討(3)
6. 構想に沿った内容の検討(4)
7. 構想に沿った内容の検討(5)
8. 論文完成作業(1)
9. 論文完成作業(2)
10. 論文完成作業(3)
11. 論文完成作業(4)
12. 卒業論文発表の準備
13. 卒業論文発表と総括

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	穴田　恭輔		

[成績評価方法]
完成論文(80%)と口頭試問に対しての応答(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題内容に応じては適宜KISSシステムを通じて行います。課題は添削して返却します。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:発表、提出物(完成論文, 他)

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:発表、提出物(完成論文, 他)

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:発表、提出物(完成論文, 他)

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:発表、提出物(完成論文, 他)

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:発表、提出物(完成論文, 他)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:発表、提出物(完成論文, 他)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:発表、提出物(完成論文, 他)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:発表、提出物(完成論文, 他)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:発表、提出物(完成論文, 他)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:発表、提出物(完成論文, 他)

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
主に保育や子どもの発達に関して設定した研究テーマにそって論文を作成する

[授業概要]
全体で行うゼミと各自の研究テーマにそった個別指導を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
新聞記事や保育関連の文献に目を通し、世の中の事象や保育の問題に対して自分の意見をもっておく
中間発表等で指摘されたことは次回発表までに改善しておく 各回2時間程度

[授業計画]
1.論文構成の検討
2.研究の中間発表と検討1①
3.研究の中間発表と検討1②
4.研究の中間発表と検討1③
5.卒業論文作成指導①
6.卒業論文作成指導②
7.卒業論文作成指導③
8.卒業論文作成指導④
9..卒業論文作成指導⑤
10.卒業論文作成指導⑥
11.卒業論文作成指導⑦
12.卒業論文発表会①
13.卒業論文発表会②

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[成績評価方法]
取り組みの姿勢(30%)、発表(20%)、卒業論文(50%)
発表は卒論発表会の内容で評価する

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
毎回個別に指導を行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:取り組みの姿勢　発表　卒業論文

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:取り組みの姿勢

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:取り組みの姿勢

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:取り組みの姿勢

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:取り組みの姿勢

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:取り組みの姿勢　発表　卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:発表　卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:取り組みの姿勢　発表　卒業論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:取り組みの姿勢　発表　卒業論文

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	稲垣　善茂		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
教育学科の卒業論文に相応しい研究論文を完成させる。

[授業概要]
全体で行うゼミでの研究発表と各自の研究テーマにそった個別指導を行う。プレゼンテーション時は携帯電話、タブレット、PCの使用を認めている。演習時間外におけるプレゼンテーション準備、卒業論文作成は自前のPCが必要であり購入を強く推奨する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
事前の調べ学習を行い、前回ゼミなどの検討会で指摘された問題点を整理し，解答を準備しておくこと。 予習復習の時間数は各回、合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 卒論テーマの検討会⑤
2. 卒論テーマの検討会⑥
3. 卒論テーマの検討会⑦
4. 卒論テーマの検討会⑧
5. 研究方法の検討会⑤
6. 研究方法の検討会⑥
7. 研究方法の検討会⑦
8. 研究方法の検討会⑧
9. 論文構成の検討会⑤
10. 論文構成の検討会⑥
11. 論文構成の検討会⑦
12. 論文構成の検討会⑧
13. 卒業論文研究発表

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	稲垣　善茂		

[成績評価方法]
卒論発表会、まとめスライド(50%)、卒業論文(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
論文課題、レポート、グループワーク課題、卒論研究本文などの提出物については、赤字で添削したのち、直接返却しています。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:卒論発表会、まとめスライド(50%)、卒業論文(50%)

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:卒論発表会、まとめスライド(50%)、卒業論文(50%)

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:卒論発表会、まとめスライド(50%)、卒業論文(50%)

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:卒論発表会、まとめスライド(50%)、卒業論文(50%)

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:卒論発表会、まとめスライド(50%)、卒業論文(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:卒論発表会、まとめスライド(50%)、卒業論文(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:卒論発表会、まとめスライド(50%)、卒業論文(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:卒論発表会、まとめスライド(50%)、卒業論文(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:卒論発表会、まとめスライド(50%)、卒業論文(50%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:卒論発表会、まとめスライド(50%)、卒業論文(50%)

[教科書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
自らが設定したテーマ、課題についてアウトラインを完成する。

[授業概要]
本授業は、4回生前期での卒業論文を踏まえて、卒業論文の作成に取り組む。大学に入学してからの学びを通して、自らの興味、関心を基にして、仮テーマを設定し、その領域、分野での専門用語、定義、概念について学習をする。
その上で、卒業論文の作成に向けての10のプロセスに従って研究を進めていく。
①テーマの選択　②事前調査　③仮のアウトライン　④関連文献の調査
⑤文献の入手　⑥情報カード（メモ）の作成　⑦最終アウトラインの作成
⑧執筆と校正　⑨出典の表示　⑩仕上げ

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
自らの興味関心をよく見つめ、仮テーマを設定する。
それに従って、文献の収集を積極的に行う。

[授業計画]
今期の卒業論文ゼミの時間は、学生主体の活動をしながら、論文の基本的な形式について学んでいく。
①イントロダクション
②個別卒論指導１
③個別卒論指導２
④個別卒論指導３
⑤個別卒論指導４
⑥中間発表会
⑦個別卒論指導５
⑧個別卒論指導６
⑨個別卒論指導７
⑩個別卒論指導８
⑪個別卒論指導９
⑫まとめの作業１
⑬まとめの作業２

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[成績評価方法]
授業での課題提出（80%）プレゼンテーション（中間発表会）（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
レポート等を返却し、評価します

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	心身の発達と学びの過程-乳幼児、児童（障がいのある乳幼児、児童を含む）を中心に	演習	
担当者	隠岐　厚美		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
自身でみつけた課題の解決に向け、適切な方法を選択できるようになる
文研研究やデータ分析を通して情報を分析できるようになる。
自身の問い建てに対して、自分のデータをもとに他者にわかるよう伝えられるようになる

[授業概要]
各自の関心に基づき設定した卒業論文のテーマに関する文献講読、資料収集、調査や実験などを行う。これらに基づき、ゼミでのプレゼンテーションとディスカッションを繰り返しながら研究を完成させる。なお、本授業は言語聴覚士兼心理士として発達臨床に携わる教員が指導する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の授業についての予習復習を行うこと（各回、予習・復習合わせて4時間程度）。
発表レジュメや論文は熟読し、質問項目を考え授業に臨むこと

[授業計画]
1.研究課題への取り組み1　夏季休暇中の進捗状況の報告と完成に向けたスケジュールの確認
2.研究課題への取り組み2　データのまとめ方と分析について（参与観察）
3.研究課題への取り組み3　データのまとめ方と分析について（実験）
4.研究課題への取り組み4　データのまとめ方と分析について（質問紙調査）
5.研究課題への取り組み5　中間発表用資料の整え方について
6.3回生に対する中間発表　各自自分のデータについての知見を発表する
7.研究課題への取り組み6　各自の進捗状況に応じた卒論指導
8.研究課題への取り組み7　各自の進捗状況に応じた卒論指導
9.研究課題への取り組み8　各自の進捗状況に応じた卒論指導
10.研究課題への取り組み9 各自の進捗状況に応じた卒論指導
11.研究課題への取り組み10 卒業研究発表会のレジュメ作成
12.研究課題への取り組み11　卒業研究発表会のプレゼンテーション準備
13.卒業研究発表会

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	心身の発達と学びの過程-乳幼児、児童(障がいのある乳幼児、児童を含む)を中心に	演習	
担当者	隠岐　厚美		

[成績評価方法]
「卒業研究の内容(70%)」「プレゼンテーション(20%)」「研究態度10%」

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出物返却時、プレゼンテーション後に口頭で行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:「卒業研究の内容(70%)」

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:「卒業研究の内容(70%)」「プレゼンテーション(20%)」「研究態度10%」

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:「卒業研究の内容(70%)」「プレゼンテーション(20%)」「研究態度10%」

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:「プレゼンテーション(20%)」「研究態度10%」

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:「卒業研究の内容(70%)」「プレゼンテーション(20%)」「研究態度10%」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:「卒業研究の内容(70%)」「プレゼンテーション(20%)」「研究態度10%」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:「卒業研究の内容(70%)」「プレゼンテーション(20%)」「研究態度10%」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:「卒業研究の内容(70%)」「プレゼンテーション(20%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:「卒業研究の内容(70%)」「プレゼンテーション(20%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:「卒業研究の内容(70%)」「プレゼンテーション(20%)」「研究態度10%」

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	金岩　俊明		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校教育における自己の課題意識を明確にして、研究デザインを構築し課題解決に迫る論理的かつ実践的な論文を作成する。

[授業概要]
課題に関する文献や論文を研究し、独自の着想を大切にして論文の構成を進める。その過程において、作成論文の発表を行い、情報交換を行うとともに、プレゼンテーション技能の習得を目指す。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
テーマに関する文献研究や実践研修を積極的に行い、各段階における発表に備えること。また、受講者全員のテーマに関心をもち、自己の見解が述べられるようにしておくこと。（各回、予習復習合わせて2時間程度）

[授業計画]
1. 論文の編集について
2. 1次原稿発表・討議①
3. 1次原稿発表・討議②
4. 1次原稿発表・討議③
5. 中間発表会
6. 2次原稿発表・討議①
7. 2次原稿発表・討議②
8. 2次原稿発表・討議③
9. 最終原稿発表・討議①
10. 最終原稿発表・討議②
11. 最終原稿発表・討議③
12. 相互点検・抄録作成
13. 卒論発表会　研究のまとめ

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	金岩　俊明		

[成績評価方法]
作成論文（80%）ディスカッション（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
※提出論文（課題）については授業及びメールで返却

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：発表・論文

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：発表・論文

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：発表・論文

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：発表・論文

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：発表・論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：発表・論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：発表・論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：発表・論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：発表・論文

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：発表・論文

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	ダイバーシティの教育を理解し、研究デザインをより明確にして社会に出て役立つ実践的な論文を作成する	演習	
担当者	上野　昌稔		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・調査や事例研究について具体的に準備を進め、実施するための研究デザインを確立させる。
・定期的に研究経過の発表を行い、プレゼンテーション力の向上と研究内容・進捗状況の共有化を図る。
・プレゼンを通して再考し、完成度の高い社会に出てから役立つ実践的な論文を作成する。

[授業概要]
卒業論文作成計画書を基に卒業論文のテーマに関する文献講読、資料収集、調査や実験などを行う。ゼミでのプレゼンテーションとディスカッションを繰り返しながら卒業論文を作成する

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
文献研究や実践研修を積極的に行い、中間発表に備えること。また、受講者全員のテーマに関心をもち、自己見解やアイデア等が述べられるようにしておくこと。（各回、予習復習合わせて2時間程度）

[授業計画]
1.研究の考察・結論の作成準備①
2.研究の考察・結論の作成準備②
3.卒業論文全体の執筆①
4.卒業論文全体の執筆②
5.図表の整理
6.参考文献の整理
7.卒業論文全体の見直し①
8.卒業論文全体の見直し②
9.卒業論文発表会の資料作成①
10.卒業論文発表会の資料作成②
11.卒業論文発表会の発表練習
12.卒業論文発表会の予行
13.卒業論文発表会

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	ダイバーシティの教育を理解し、研究デザインをより明確にして社会に出て役立つ実践的な論文を作成する	演習	
担当者	上野　昌稔		

[成績評価方法]
論文原稿及び発表内容（50%）、討議内容（40%）、表現力（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・授業中におけるコメント等によるフィードバック
・オフィスアワーにおける対応
・個別指導

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協調して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:なし 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:必要に応じて提示 著者名: 出版社名: ISBN:

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
研究活動を通して、合理的な考え方や表現方法によって自らが見出した課題を解決し、その中で探究的に学び続けるための基礎となる力を身につけることができる。

[授業概要]
研究の進め方や論文の書き方を理解した上で、自らの研究テーマを設定し、主体的に研究活動を進め、卒業論文を作成します。最後に卒業論文発表会(やる気がある人は学会での発表等も視野に入れます)において、研究成果を発表します。
小中学校勤務歴31年の者が教育現場における諸問題について、テーマの決め方や研究の進め方などをアシストします。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、準備とふりかえりについて4時間程度の学習を求めます。具体的には、各回で指定された課題に取り組み、その成果をプレゼンテーションできるようにしておいてください。

[授業計画]
1.研究の考察の執筆①
2.研究の考察の執筆②
3.卒業論文全体の結論の執筆①
4.卒業論文全体の結論の執筆②
5.図表の整理
6.参考文献の整理
7.卒業論文全体の見直し①
8.卒業論文全体の見直し②
9.卒業論文発表会の資料作成①
10.卒業論文発表会の資料作成②
11.卒業論文発表会の発表練習
12.卒業論文発表会の予行
13.卒業論文発表会

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
卒業論文に対する取り組み(20%)、卒業論文(60%)、卒業論文発表会での発表(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:特に指定しませんが、必要なときは授業内で紹介します。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	音楽教育学の研究	演習	
担当者	小林　田鶴子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
各自が見出した課題について考察し、主体的に事例研究・文献研究を進めながら卒業論文を作成する。

[授業概要]
教育学講読や演習で進めてきた学習や実践での学びを基に、各自の研究テーマを明確にし、さらに事例研究や文献、先行研究から研究論文(卒業論文)としてまとめる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
教育学講読や演習で取り組んできたことを基礎として、進んで卒業論文作成に取り組む。

[授業計画]
1. 研究についてのガイダンス
2. 研究課題と研究方法の再確認①
3. 研究課題と研究方法の再確認②
4. 研究課題への取り組み①
5. 研究課題への取り組み②
6. 研究課題への取り組み③
7. 研究課題への取り組み④
8. 経過発表
9. 研究課題への取り組み⑤
10. 研究課題への取り組み⑥
11. 研究課題への取り組み⑦
12. 研究課題への取り組み・まとめ
13. 卒業論文完成・卒業論文発表

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	音楽教育学の研究	演習	
担当者	小林　田鶴子		

[成績評価方法]
卒業論文 、授業(研究)への取り組みや態度などを総合的に評価

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
その都度、ゼミの中で指導する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:その都度紹介する 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	久木山　健一		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
各自の関心のあるテーマについて、心理学的研究法を用いて、実験や調査、事例研究を行い、得られたデータについての分析と考察をすることで、心理学論文作成を行うことを到達目標とする。

[授業概要]
各自の研究デザインにより、研究を実施し、結果を導きだし、データの整理や分析を行う。さらに心理学的考察の方法を学びながら、独自の考察を行っていく。そして最終的には、目的・方法・結果・考察の内容をまとめ、心理学論文として完成させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
自身の研究を実施し、得られた結果のデータ整理や分析を行うこと。独自の考察においては、仮説の科学的検証のため、関連する先行研究を読み解く。

[授業計画]
1. 卒業論文　中間発表とディスカッション
2. 各研究結果のデータの整理と分析1
3. 各研究結果のデータの整理と分析2
4. 各研究結果のデータの整理と分析3
5. 各研究結果のデータの整理と分析4
6. 心理学論文について
7. 各研究の結果に対する考察と心理学論文作成1
8. 各研究の結果に対する考察と心理学論文作成2
9. 各研究の結果に対する考察と心理学論文作成3
10. 各研究の結果に対する考察と心理学論文作成4
11. 各研究の結果に対する考察と心理学論文作成5
12. 卒論発表会のプレゼンテーション資料作成
13. 心理学論文発表の抄録作成と発表

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	久木山　健一		

[成績評価方法]
授業中の課題(20%)、発表(10%)、卒業論文(70%)等を総合的に判断して評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業やmanabaで随時フィードバックを行いながら、卒業論文中間発表会を実施し、質疑応答の中で、複数の教員からコメントをする。卒業論文を仕上げ、最後の卒業論文発表会においても、複数の教員からコメントやフィードバックをし、製本用の卒業論文を仕上げる。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	人々の生活を科学的に研究し、より良い暮らしを実現するために	演習	
担当者	奥川　あかり		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 生活の根底にある原理・原則について科学的に追求できる
2. 卒業論文の作成や発表を通じて思考力や表現力を身につける
3. 研究成果を社会に発信し、よりよい生活を創造することができる

[授業概要]
1. 自ら設定した問題の解決策を様々な根拠を示しながら、結論へと導く
2. 論文作成を通じて意見交換と議論を重ねながら内容を深める
3. 研究でまとめた内容を発表する
4. これまでに培った専門性を活かして、よりよい社会を創造していく

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
先行研究の収集と考察および研究を積極的に進めていくこと
また、他者の研究にも関心を持ち、議論の準備をしておくこと

[授業計画]
1. オリエンテーション（論文の書き方・発表について）
2. 論文執筆Ⅰ(方法・結果と考察・参考文献)と追加調査研究
3. 論文執筆Ⅱ(方法・結果と考察・参考文献)と追加調査研究
4. 進捗発表会と討議Ⅰ
5. 論文執筆Ⅲ(背景・参考文献)と追加調査研究
6. 進捗発表会と討議Ⅱ
7. 論文執筆Ⅳ(はじめに、参考文献)と追加調査研究
8. 進捗発表会と討議Ⅲ
9. 論文執筆Ⅴ(おわりに・参考文献)
10. 最終原稿の発表と討議
11. 抄録作成と提出
12. 進捗発表会と発表準備
13. 卒業研究発表会と総括

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	人々の生活を科学的に研究し、より良い暮らしを実現するために	演習	
担当者	奥川　あかり		

[成績評価方法]
課題:50%
発表:50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業内やメールで行います

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:課題、発表

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:課題、発表

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:課題、発表

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:課題、発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:課題、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	自分で設定した課題に取り組み、筋道を立てて考察し、論文としてまとめる。ことばへの感性を磨く	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
自分で課題となる研究テーマを設定する。その課題の解決について、先行研究を調査する。先行研究からの示唆をまとめ、言語化できるようになる。適切な引用をすることができるようになる。英語教育学論文としての構成、論理の展開が整った卒業論文を完成させる。

[授業概要]
各自が設定した研究テーマについて、収集したデータを整理、分析を行います。その結果に基づき、考察を深めます。序論から考察に至るまで一貫した論理性を備えた卒業論文の執筆に取り組みます。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
必要となる文献を集め、読み深めておくこと。発表者となった回では、調査結果、先行研究について発表することができるようにしておく。調査し読んだ論文、文献については、きちんとエクセルなどを使い記録しておく。常に次回発表することを考えてゼミに臨む。

[授業計画]
1. データの分析①
2. データの分析②
3. 英語教育学論文・卒業論文の構成について
4. 実験・調査の進捗状況についての発表
5. 実験・調査の進捗状況についての発表
6. 卒業論文の作成①
7. 卒業論文の作成②
8. 卒業論文の作成③
9. 卒業論文の作成④
10. 卒業論文の作成⑤
11. 抄録の作成
12. 卒業論文発表の準備
13. 卒業論文の発表

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	自分で設定した課題に取り組み、筋道を立てて考察し、論文としてまとめる。ことばへの感性を磨く	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
授業中の課題、発表（30%）、論文への評価（70%)【考察の妥当性（20%）、論理的一貫性（20%）、構成の適切さ（30%）】に基づいて総合的に評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回の授業およびメールなども使い、行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：授業中の発表で評価します。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：論文の内容で評価します。

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：論文の内容で評価します。

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：授業中の課題、発表で評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、発表で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、発表で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：授業中の課題、発表で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：論文の内容で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：論文の内容で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業中の課題、発表と論文の内容で評価します。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤　浩樹		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
社会科教育を中心に小学校教育における各自の問題意識に基づいて設定したテーマについて、主体的に文献研究、調査研究、事例研究を進め、卒業論文を完成させる。

[授業概要]
教育学講読、教育学演習での学びをもとに各自が研究テーマを設定し、文献研究、調査研究を進め、卒業論文を完成させ、発表を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
その時の課題を明確にし、確実にやり遂げていく。

[授業計画]
1. 卒業論文のまとめ方①
2. 研究課題への取り組み⑤
3. 研究課題への取り組み⑥
4. 研究課題への取り組み⑦
5. 卒論中間発表準備
6. 卒論中間発表
7. 卒業論文のまとめ方②
8. 研究課題への取り組み⑧
9. 研究課題への取り組み⑨
10. 研究課題への取り組み⑩
11. 卒業論文の仕上げ
12. 卒論発表会準備
13. 卒業研究のまとめ(卒論発表会)

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤　浩樹		

[成績評価方法]
授業に取り組む姿勢20%、卒業論文70%、卒論発表会10%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	社会人として必要な論理的思考を学ぶ	演習	
担当者	田中　裕一		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	模擬授業、場面指導	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・これまでの教育に関して各自が設定した研究デザインを基に、データ集約や分析などを行い、課題解決に迫る論理的かつ実践的な論文をまとめる。
・卒業論文の作成を通じて、社会人として必要な、論理的思考、文章力、表現力等を学ぶ。

[授業概要]
・この授業では、学校現場での教員や教育行政（教育委員会、文部科学省）等の経験のある教員が、その経験を活かして、発達障害のある子どもなどが在籍することを前提にした授業づくり、学級づくりなど、今日的な課題（特別支援教育、不登校等）への対応を指導する。
・これまでの研究デザインに合わせた取組を基に、収集したデータを分析し、追加で必要な情報等を集めながら、論文を作成していく。その際、必要な文献や研究論文の検索、データの分析方法、学校の幼児児童生徒、教員への研究協力依頼等を計画的に進める。
・進捗状況を相互発表し、討議しながら研究を深めていく。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
・研究テーマに関する専門書、学術論文、新聞等に目を通すこと。
・各段階における発表準備をすること。
・他者の研究テーマに関心を持ち、研究方法等について意見を述べられるようにしておくこと。
※各回、予習復習合わせて2時間程度おこなうこと

[授業計画]
1.今後の進め方に関するオリエンテーション
2.研究データの整理及び分析の方向性と今後の取組の発表＆ディスカッション(1)
3.研究データの整理及び分析の方向性と今後の取組の発表＆ディスカッション(2)
4.研究データの整理及び分析の方向性と今後の取組の発表＆ディスカッション(3)
5.研究データの整理及び分析の方向性と今後の取組の発表＆ディスカッション(4)
6.当事者を支える施設等へのフィールドワーク【学外授業】
7.フィールドワークの感想と討議
8.卒業論文完成、発表に向けたまとめと課題の整理(1)
9.卒業論文完成、発表に向けたまとめと課題の整理(2)
10.卒業論文完成、発表に向けたまとめと課題の整理(3)
11.卒業論文完成、発表に向けたまとめと課題の整理(4)
12.卒業論文発表に向けた準備と抄録の作成(1)
13.卒業論文発表に向けた準備と抄録の作成(2)、まとめ
※当事者を支える施設等へのフィールドワークの実施時期については、時期が変更となる可能性がある

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	社会人として必要な論理的思考を学ぶ	演習	
担当者	田中　裕一		

[成績評価方法]
卒業論文への取り組み過程（30%）、卒業論文内容（60%）、授業態度（10%）
・過程は、期限、形式も含めて評価する
・内容は、多角的に調べることができているかどうかを評価する
・他者の論文に対する適切な指摘ができているかを評価する

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・基本的には、授業中に指導助言及び修正等を行う。
・各学生の課題への進捗状況に応じ、随時、課題等を設定する。
・状況に応じて、manaba・KISSシステムを通じて行う場合もある。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：卒業論文の取り組み過程及び内容、授業態度から評価

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]
書籍名:科学の健全な発展のために 著者名:日本学術振興会「科学の健全な発展のために」編集委員会 出版社名:丸善出版
ISBN:9784621089149

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
幼児教育、小学校教育、体育、スポーツ、健康における各自の問題意識に基づいて設定したテーマについて、主体的に文献研究、調査研究、事例研究を進め、卒業論文を執筆し完成する

[授業概要]
教育学講読、教育学演習での学びをもとに各自が研究テーマを設定し、文献研究、調査研究を進め、卒業論文を完成していく。その後、発表資料を作成し発表する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
その時の課題を明確にし、確実にやり遂げていく。
各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 卒業論文のまとめ方①
2. 研究課題への取り組み
3. 卒論中間発表準備
4. 卒論中間発表
5. 卒業論文のまとめ方②
6. 研究課題への取り組み①
7. 研究課題への取り組み②
8. 研究課題への取り組み③
10. 卒業論文第1次提出
11. 卒業論文の仕上げ
12. 卒業論文第2次提出
13. 卒論発表会準備と発表

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
卒業論文作成への取り組み（30%）、卒業論文内容（50%）、発表（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中や授業前後に行う。
メールで論文添削も行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容、発表

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容、発表

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容、発表

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容、発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：卒業論文作成への取り組み、卒業論文内容、発表

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
授業を通して、次のことを目標とする。
①卒業論文の構造と要素を理解し、自身の研究内容を論理的かつ明確にまとめられる。
②システム開発、実験、およびアンケート調査に基づき、データの収集および解析が行える。
③卒業論文に基づいた発表資料を準備し、論文内容を適切に伝えることができる。

[授業概要]
卒業論文Ⅰで実施したアンケート調査と実験のデータを解析し、その結果をもとに卒業論文の作成を行う。得られたデータを適切に整理し、統計的な分析やグラフ化を行う。そして、研究課題をまとめ、卒業論文を仕上げる。卒業論文抄録の作成や卒業論文発表の準備を通じて、研究結果を明確に伝える能力を向上させ、論文を執筆するスキルを養う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の講義の復習

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.卒業論文のまとめ方
3.文献調査および調査データの集計(1)
4.文献調査および調査データの集計(2)
5.研究課題のまとめ(1)
6.研究課題のまとめ(2)
7.研究課題のまとめ(3)
8.研究課題のまとめ(4)
9.研究課題のまとめ(5)
10.研究課題のまとめ(6)
11.卒業論文仕上げ
12.卒業論文抄録の作成
13.卒論発表の準備と発表

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	竹田　和恵		

[成績評価方法]
卒業研究への取り組み方や姿勢（30%）、卒業論文の内容（60%）、卒業論文発表（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	谷山　優子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	模擬授業、場面指導	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教育に関して各自が研究してきたことを基に、テーマを設定し、研究成果を論文にまとめて完成させる。口頭試問（卒業論文発表会）で主査・副査から合格をもらう。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題（学級づくり、従業づくり、生徒指導、特別支援教育等）への対応を指導する。これまでの各自の研究をもとにテーマを絞り込んでいき、個別指導を受けながら、論文を作成していく。必要な文献や研究論文の検索、資料の収集、学校現場の教員への研究協力依頼等を計画的に進める。模擬授業や場面指導も取り入れ、先行研究等の実践を検証しつつ、卒業論文を完成させる。口頭試問（卒業論文発表会）に向けて、パワーポイントを作成して発表を行い、質疑応答できるように進めていく。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
研究テーマに関する専門書、学術論文、新聞等に目を通すこと。
学校ボランティアや授業観察で教師として教壇に立てる実践力をつける。＜4時間以上＞
学会や研究会に参加する。
※各回、予習復習合わせて2時間程度おこなうこと

[授業計画]
1.研究データのまとめ、相互発表と討議①
2.研究データのまとめ、相互発表と討議②
3.研究データのまとめ、相互発表と討議③
4.研究データのまとめ、相互発表と討議④
5.実地研究調査・フィールドワーク＜学外授業＞
6.卒業論文のまとめ、相互発表と討議①
7.卒業論文のまとめ、相互発表と討議②
8.卒業論文のまとめ、相互発表と討議③
9.卒業論文のまとめ、相互発表と討議④
10.卒業論文発表会の資料作成①
11.卒業論文の発会の資料作成②
12.卒業論文の発表と質疑応答
13.卒業論文抄録の完成と提出

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	谷山　優子		

[成績評価方法]
卒業論文への取り組み課程（50%） 、卒業論文の内容（50%）
※主査・副査で評価します

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
卒業論文と関連研究課題に対して助言と修正および添削等の指導を行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：毎回の「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：毎回の「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：毎回の「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：毎回の「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：「発表」や論文への「取り組み」の状況等で評価していく。

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語学・英語教育学に関する研究成果を卒業論文としてまとめることができる。

[授業概要]
卒業論文の執筆要領、各章の構成等を説明する。英語学・英語教育学に関する自らの研究課題について、収集した資料を纏める。調査から得られたデータを分析して、考察し結論を導きだす。調査結果や分析結果について、ゼミ生同士も意見交換を行う。論文を執筆後、推敲し、卒業論文を完成させる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
自らの卒業論文のテーマに関連する論文、文献を読み、各自の課題に取り組んでおくこと。

[授業計画]
1. 論文執筆(題目、研究目的、研究方法)
2. 論文執筆(先行研究)①
3. 論文執筆(先行研究)②・意見交換
4. 論文執筆(調査・分析結果)①
5. 論文執筆(調査・分析結果)②・意見交換
6. 論文執筆(提案)①
7. 論文執筆(提案)②・意見交換
8. 論文執筆(提案)③
9. 論文執筆(纏め、参考文献等)
10. 論文最終確認・推敲
11. 論文抄録作成
12. 論文抄録推敲
13. 卒論発表会

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
論文（80%）、口頭試問（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：論文、口頭試問

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：論文、口頭試問

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：論文、口頭試問

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：論文、口頭試問

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：論文、口頭試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：論文、口頭試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：論文、口頭試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：論文、口頭試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：論文、口頭試問

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：論文

[教科書（ISBN）]
書籍名:必要に応じて資料を配付する。著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051685
書籍名:中学校学習指導要領解説　外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692
書籍名:高等学校学習指導要領解説　外国語編　英語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051784

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
幼稚園教育や保育、子どもの育ちに関する自らの課題について、科学的・研究的な視点から分析的に捉え、実践力の形成につなげていくことのできる教育実践学的研究力の構築を目指す。

[授業概要]
幼児教育学講読や演習において進めてきた学習や実践を土台に、自らの研究課題を明確にしていく。さらに、それらをもとに、関連する文献や先行研究のリサーチ等をさらに充実させながら研究を進め、研究論文としてまとめる。その間、定期的に研究の経過や結果等を発表することで、プレゼンテーション力の向上と研究成果の共有化を図っていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の講義内容を整理し理解して、次回の講義の予習・準備をしておくこと。日常的に講義に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度、演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 研究についてのガイダンス
2. 研究計画について1(構想発表会)
3. 研究計画について2(構想発表会)
4. 研究課題への取り組み1
5. 研究課題への取り組み2
6. 研究課題への取り組み3
7. 研究課題への取り組み4
8. 研究の経過報告(中間発表会)
9. 研究課題への取り組み5
10. 研究課題への取り組み6
11. 研究課題への取り組み7
12. 研究課題への取り組み8
13. 研究の経過発表(研究発表会)

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[成績評価方法]
研究成果(80%)課題及び発表(20%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
適宜指導を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:課題及び発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:課題及び発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:研究成果、課題及び発表を総合的に評価する。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	村田　恵子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校の理科教育や理科教材に関わるテーマを設定し、調査・研究を行い、論文を作成し、発表する。

[授業概要]
各自が関心を持った小学校理科教育や理科教材に関するテーマについて、調査・研究を行い、論文を作成する。調査・研究方法を随時相談しながら、研究計画に従って研究を行い、論文作成、発表する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
個別指導が主となるため、毎回、各自が卒業研究の進捗状況を報告できるように、1週間分の成果をまとめておく。

[授業計画]
1.論文作成①
2.論文作成②
3.論文作成③
4.論文作成④
5.論文作成⑤
6.論文作成⑥
7.中間発表
8.論文作成⑦
9.論文作成⑧
10.論文作成⑨
11.論文作成⑩
12.論文作成⑪
13.卒業研究発表

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル		演習	
担当者	村田　恵子		

[成績評価方法]
研究過程（30%）、論文内容（60%）、研究発表内容（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
論文作成（研究）過程において随時指導する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：研究過程・論文内容・研究発表内容

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：研究過程・論文内容・研究発表内容

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：研究過程・論文内容・研究発表内容

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：研究過程・論文内容・研究発表内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：研究過程・論文内容・研究発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：研究過程・論文内容・研究発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：研究過程・論文内容・研究発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：研究過程・論文内容・研究発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：研究過程・論文内容・研究発表内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：研究過程・論文内容・研究発表内容

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	自らのテーマを追究する	演習	
担当者	山内　紀幸		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1 卒業論文の作成を通じて思考力、文章力、表現力等を学ぶ。
2 卒業論文の作成を通じて専門分野への理解を深め、専門性を生かした社会貢献のあり方を考える。

[授業概要]
本演習は、それまでの学習を基盤とし、学生自らがテーマを設定し、主体的な研究を進めることにより、その成果を卒業論文へとまとめていくものであり、同時に自らの学びを社会へと生かす視座を養う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
三回生のゼミでの学習内容を振り返り、研究課題に対する知識を広げておくこと。また、毎時の課題をもとに、研究活動を遂行していくこと。

[授業計画]
1 研究計画(2):卒業論文題目の最終決定
2 研究結果の整理(1):データの量的・質的処理・データ整理・図表の作成
3 研究結果の整理(2) :データの量的・質的処理・データ整理・図表の作成15回
4 本文執筆(1):「方法」の文章作成
5 本文執筆(2):「結果」「考察」の文章作成
6 本文執筆(3):「結果」「考察」の文章作成
7 本文清書(1):「目次」の作成
8 本文清書(2):「方法」の文章推敲(追加調査・の実施)
9 本文清書(3):「結果」「考察」の文章推敲
10 本文清書(4):卒業レポート全体の文章推敲
11 卒論発表会準備(1):パワーポイントの作成
12 卒論発表会準備(2):パワーポイントの作成
13 卒論発表会:発表・質疑応答

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	自らのテーマを追究する	演習	
担当者	山内　紀幸		

[成績評価方法]
論文（80%）、発表（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内で討議の上、フィードバックを行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：小レポート
ディスカッション

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	各自テーマを決めて、卒論を完成させよう	演習	
担当者	坂下　直子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
自らが見出したテーマについて考察し、主体的に事例研究・文献研究を進めながら卒業論文を完成することができる。

[授業概要]
教育学講読や教育学演習で進めてきた学習や実践での学びを基に、「卒業論文Ⅰ」で進めてきた研究をさらに深めて、学会参加で得た知見も加えた上で、独自性・新規性および有用性のある卒業論文の完成を目指す。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
仮稿について、論文たるに値する条件を備えているか、ディスカッションで指摘された点について説得力ある修正を行っているかどうか、何度も推敲しブラッシュアップさせていく。自ずから各回、予習・復習で最低計2時間程度の自主学習が必要となろう。

[授業計画]
1. イントロダクション
2. 中間発表の整理
3. 研究課題への取り組み①
4. 研究課題への取り組み②
5. 研究課題への取り組み③
6. 研究課題への取り組み④
7. 研究課題への取り組み⑤
8. 研究課題への取り組み⑥
9. 研究課題への取り組み⑦
10. 研究課題への取り組み⑧
11. 研究課題への取り組み⑨
12. 発表会の準備
13. 研究のまとめ（発表会）

科目名	卒業論文Ⅱ	後期	4 単位
サブタイトル	各自テーマを決めて、卒論を完成させよう	演習	
担当者	坂下　直子		

[成績評価方法]
卒業論文の完成度（100%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説する。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	体育科概説	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
体育・スポーツのもつ教育的可能性、体育科の基礎知識（体育科の基本的性格や内容論）等を理解する。体育科教育・スポーツ教育を取り巻く基礎的・制度的条件について理解する。

[授業概要]
　小学校体育科の基本的概念の構築を模索する。本講は小学校体育の授業を実践するに際し、必要とされる基礎的知識・実践能力の習得を主な目的とし概説する。児童が体育実技を実践することの意義や安全指導など総合的な指導方法を学習する。授業方法としては以下である。
・講義とそれに基づく課題についてのディスカッションを中心に展開する。
・レポート課題については、次回授業で全体に対してフィードバックを行う。
・最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
・関連性を持って、講義を進行していくので、前回の授業内容について復習する。
・次回の授業内容について、学習指導要領や参考文献で確認しておく。。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.スポーツ、体育の歴史
3.学校体育が抱える諸問題
4.体育科教育・スポーツ教育における日本の動きと国際的な動向
5.文化としてのスポーツ・体育の意義や多様性
6.体育科を通した教師の成長と必要な資質
7.小学校体育科の基本的性格と目的
8.教科内容論（系統性を踏まえた運動領域編成）
9.体育科の教材づくり論
10.各運動領域の構造（体つくり運動、表現運動）
11.各運動領域の構造（器械運動、陸上運動）
12.各運動領域の構造（ゲーム・ボール運動）
13.まとめ（フィードバックと解説）

科目名	体育科概説	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
毎回の小テスト(40%)、レポート(30%)、授業態度(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中やmanabaを通して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:毎回の小テスト、レポート

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法:授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度(30%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:毎回の小テスト、レポート、授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:毎回の小テスト、レポート、授業態度

[教科書(ISBN)]
書籍名:小学校学習指導要領解説　体育編(平成29年告示) 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社
ISBN:9784491034676

[参考書(ISBN)]

S61212 [EEH1-016]

科目名	体育科概説	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
体育・スポーツのもつ教育的可能性、体育科の基礎知識(体育科の基本的性格や内容論)等を理解する。体育科教育・スポーツ教育を取り巻く基礎的・制度的条件について理解する。

[授業概要]
　小学校体育科の基本的概念の構築を模索する。本講は小学校体育の授業を実践するに際し、必要とされる基礎的知識・実践能力の習得を主な目的とし概説する。児童が体育実技を実践することの意義や安全指導など総合的な指導方法を学習する。授業方法としては以下である。
・講義とそれに基づく課題についてのディスカッションを中心に展開する。
・レポート課題については、次回授業で全体に対してフィードバックを行う。
・最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・関連性を持って、講義を進行していくので、前回の授業内容について復習する。
・次回の授業内容について、学習指導要領や参考文献で確認しておく。。

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.スポーツ、体育の歴史
3.学校体育が抱える諸問題
4.体育科教育・スポーツ教育における日本の動きと国際的な動向
5.文化としてのスポーツ・体育の意義や多様性
6.体育科を通した教師の成長と必要な資質
7.小学校体育科の基本的性格と目的
8.教科内容論(系統性を踏まえた運動領域編成)
9.体育科の教材づくり論
10.各運動領域の構造(体つくり運動、表現運動)
11.各運動領域の構造(器械運動、陸上運動)
12.各運動領域の構造(ゲーム・ボール運動)
13.まとめ(フィードバックと解説)

科目名	体育科概説	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
毎回の小テスト(40%)、レポート(30%)、授業態度(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中やmanabaを通して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:毎回の小テスト、レポート

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法:授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業態度(30%)

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:毎回の小テスト、レポート、授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:毎回の小テスト、レポート、授業態度

[教科書(ISBN)]
書籍名:小学校学習指導要領解説　体育編(平成29年告示) 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社
ISBN:9784491034676

[参考書(ISBN)]

科目名	体育科教育法	後期	2 単位
サブタイトル	小学校体育	講義	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
体育授業の実践的指導力を身につける。教材作成力や指導力の向上を図る。

[授業概要]
小学校体育授業を対象に、運動の楽しさや喜びを感じられる授業の学習内容・実践方法を探る。
小学校学習指導要領解説に合致した授業を作成し、模擬授業に取り組む。学習指導要領解説に示されている運動領域をまんべんなく取り扱う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
学習指導要領解説に示されている体育の目標、内容と系統性のあるカリキュラムについて理解を深めておく。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーション、学習指導要領解説について
2. 教員による模擬授業
3. 外部講師による「ゴール型・タグラグビー」授業体験・講義
4. 模擬授業「体つくり運動」低学年
5. 模擬授業「体つくり運動」中学年
6. 模擬授業「表現運動」中学年
7. 模擬授業「ボール運動」高学年
8. 模擬授業「陸上運動」低学年
9. 模擬授業「陸上運動」高学年
10. 模擬授業「器械運動」低学年
11. 模擬授業「器械運動」中学年
12. 模擬授業「ボール運動」低学年」
13. まとめと情報通信機器の教材活用について

科目名	体育科教育法	後期	2 単位
サブタイトル	小学校体育	講義	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
①学習指導案と模擬授業（30%）
②受講態度（20%）
③修正学習指導案と模擬授業の省察（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中や授業前後に行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：①学習指導案と模擬授業
③修正学習指導案と模擬授業の省察

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：①学習指導案と模擬授業
③修正学習指導案と模擬授業の省察

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：②受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：②受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：②受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：①学習指導案と模擬授業
③修正学習指導案と模擬授業の省察

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：①学習指導案と模擬授業
③修正学習指導案と模擬授業の省察

[教科書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領解説　体育編（平成29年告示） 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社
ISBN:9784491034676

[参考書（ISBN）]

科目名	体育科教育法	後期	2 単位
サブタイトル	小学校体育	講義	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
体育授業の実践的指導力を身につける。教材作成力や指導力の向上を図る。

[授業概要]
小学校体育授業を対象に、運動の楽しさや喜びを感じられる授業の学習内容・実践方法を探る。
小学校学習指導要領解説に合致した授業を作成し、模擬授業に取り組む。学習指導要領解説に示されている運動領域をまんべんなく取り扱う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
学習指導要領解説に示されている体育の目標、内容と系統性のあるカリキュラムについて理解を深めておく。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーション、学習指導要領解説について
2. 教員による模擬授業
3. 外部講師による「ゴール型・タグラグビー」授業体験・講義
4. 模擬授業「体つくり運動」低学年
5. 模擬授業「体つくり運動」中学年
6. 模擬授業「表現運動」中学年
7. 模擬授業「ボール運動」高学年
8. 模擬授業「陸上運動」低学年
9. 模擬授業「陸上運動」高学年
10. 模擬授業「器械運動」低学年
11. 模擬授業「器械運動」中学年
12. 模擬授業「ボール運動」低学年」
13. まとめと情報通信機器の教材活用について

科目名	体育科教育法	後期	2 単位
サブタイトル	小学校体育	講義	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
①学習指導案と模擬授業（30%）
②受講態度（20%）
③修正学習指導案と模擬授業の省察（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中や授業前後に行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：①学習指導案と模擬授業
③修正学習指導案と模擬授業の省察

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：①学習指導案と模擬授業
③修正学習指導案と模擬授業の省察

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：②受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：②受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：②受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：①学習指導案と模擬授業
③修正学習指導案と模擬授業の省察

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：①学習指導案と模擬授業
③修正学習指導案と模擬授業の省察

[教科書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領解説　体育編（平成29年告示） 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版社
ISBN:9784491034676

[参考書（ISBN）]

科目名	体育科教材研究	前期	2 単位
サブタイトル	小学校体育科指導法	演習	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
小学校体育科の教材研究及び指導法について実践を通して理解する。

[授業概要]
小学校体育の教材内容を把握し、各領域の指導法について実践を通して理解する。
授業内容は、各学生のニーズに応じた演習課題を明確にし、実技を通して技能を身につけ指導者としての資質を高める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
自己の実技課題について調べておく。その実技課題練習について具体的な流れを組み立てる。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
1. 科目概要の説明
2. 器械運動における系統的な指導方法
3. 器械運動における具体的な技に応じた補助法や指導方法
4. ボール運動における指導方法
5. 陸上運動における指導方法
6. 各学生のニーズに応じた課題の確認と練習方法
7. 個別実技練習1(グループ内でのFBや指導方法の検討)
8. 個別実技練習2(グループ内でのFBや指導方法の検討)
9. 個別実技練習3(グループ内でのFBや指導方法の検討)
10. 個別実技練習4(グループ内でのFBや指導方法の検討)
11. 個別実技練習5(グループ内でのFBや指導方法の検討)
12. 模擬実技1
13. 模擬実技2

＊水泳実技練習の希望者の有無を第1回目授業で確認し、希望者がいる場合は、水泳実技を実施する場合がある。なお、実施する場合は、水泳実技への参加は希望者のみ(参加自由)とする。

科目名	体育科教材研究	前期	2 単位
サブタイトル	小学校体育科指導法	演習	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
受講態度（授業参加度、周囲とのコミュニケーションや意見交換、補助など）50%、課題内容50%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：受講態度、課題内容

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：受講態度、課題内容

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：受講態度、課題内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：受講態度、課題内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：受講態度、課題内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：受講態度、課題内容

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	ダイバーシティと教育	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　美紀子、上野　昌稔		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
人権尊重の精神を理解し、多種多様な人々との共生を目指し、協同的な社会を構築することを目指すには、何が必要かを学ぶことができる。他者の立場を理解し、寛容の精神をもって他者と接することができる。

[授業概要]
この授業では、人種、性別、文化、国籍、宗教、障がいの有無、などの違いを受け入れ、お互いに認め合うための配慮や考え方、行動を促す教育について学習することをねらいとしている。ダイバーシティには、目に見える表層的ダイバーシティ（人種や障がいの有無など）と外見として判断しにくい深層的ダイバーシティ（宗教や価値観など）があるが、これら双方の理解を促進していく。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎週、予習・復習それぞれ2時間程度。

[授業計画]
第1回：ダイバーシティと人権（担当：田中美紀子）
第2回：人権の意義と理念(1) ロック、ホッブズにおける自然権（担当：田中美紀子）
第3回：人権の意義と理念(2) ルソーとフランス革命（担当：田中美紀子）
第4回：人権の意義と理念(3) 国連世界人権宣言と日本国憲法（担当：田中美紀子）
第5回：先住民および在日外国人の人権（担当：田中美紀子）
第6回：障害者の人権（担当：上野昌稔）
第7回：高齢者の人権（担当：田中美紀子）
第8回：女性の人権(1) 家庭における女性（担当：田中美紀子）
第9回：女性の人権(2) 社会における女性（担当：田中美紀子）
第10回：同和教育（1）部落の歴史：中世から近世、DVD鑑賞（担当：田中美紀子）
第11回：同和教育（2）部落の歴史：近代から現代、DVD鑑賞（担当：田中美紀子）
第12回：子供の人権（担当：田中美紀子）
第13回： 総括（担当：田中美紀子）

科目名	ダイバーシティと教育	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　美紀子、上野　昌稔		

[成績評価方法]
筆記試験100%（田中90%、上野10%の配分）。数回、小テストを実施する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説する。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：筆記試験

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法：授業態度、筆記試験

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：授業態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度、筆記試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：筆記試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:授業中に適宜資料を配布する。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:『人権をめぐる十五講―現代の難問に挑む』 著者名:辻村みよ子 出版社名:岩波現代全書 ISBN:
書籍名:『これでわかった!部落の歴史―私のダイガク講座』 著者名:上杉聡 出版社名:解放出版社 ISBN:
書籍名:DVD「部落の歴史（中世～江戸時代）～差別の源流を 探る～」 著者名:上杉聰監修 出版社名:東映 ISBN:
書籍名:DVD「部落の歴史（明治～現代）」 著者名:上杉聰監修 出版社名:東映 ISBN:
書籍名:教育にひそむジェンダー 著者名:中野円佳 出版社名:ちくま新書 ISBN:9784480076632
書籍名:ジェンダー史10講 著者名:姫岡とし子 出版社名:岩波新書 ISBN:9784004320098

科目名	知的障害者の心理・生理・病理	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	瀬戸山　悠、高田　哲		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
・知的障害者の基礎知識、心理、生理、病理について理解する。
・知的障害者の発達と生活上の問題に対する留意点と支援について理解する。

[授業概要]
知的障害のある幼児、児童又は生徒の知的障害の要因として、知的発達の遅れや困難さの要因となる病理面や併存症・合併症と心理面及び生理面の特徴並びにそれらの相互作用について理解する。また、学校現場における検査や観察を通して知的障害のある幼児、児童又は生徒一人一人の知的障害の状態や適応行動の困難さ及び認知の特性を把握することを理解する。さらに家庭や医療機関との連携における課題の共有や連携の内容や方法の重要性についても理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の講義についての予習・復習を行うこと（各回、予習復習合わせて4時間程度）。

[授業計画]
第1回：ガイダンス・障害とは何か・発達障害と知的障害の違い（瀬戸山悠）
第2回：知的障害の理解①　心理学的基礎（瀬戸山悠）
第3回：知的障害の理解②　病理学的基礎（高田哲）
第4回：子どもの成長と発達（定型発達）（瀬戸山悠）
第5回：知的障害の知的発達・機能の発達と評価（瀬戸山悠）
第6回：知的障害者の感覚機能（瀬戸山悠）
第7回：知的障害者の学習（瀬戸山悠）
第8回：知的障害者の注意・記憶（瀬戸山悠）
第9回：知的障害者の運動機能（瀬戸山悠）
第10回：知的障害者の言語・コミュニケーション（瀬戸山悠）
第11回：知的障害者の健康問題①　てんかんの理解と支援（高田哲）
第12回：知的障害者の健康問題②　ダウン症の理解と支援（高田哲）
第13回：知的障害者の支援（地域連携・福祉サービス、学校における多職種連携）（瀬戸山悠）

科目名	知的障害者の心理・生理・病理	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	瀬戸山　悠、高田　哲		

[成績評価方法]
レポート（70%）、コミュニケーションペーパー（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜 manaba・KISS システムを通じて行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:授業中に資料を配布します 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:知的障害児の心理・生理・病理［第2版］ 著者名:勝二 博亮 出版社名:北大路書房 ISBN:9784762832390
書籍名:特別支援学校　幼稚部教育要領小学部・中学 著者名:・ 出版社名:海文堂出版 ISBN:9784303124243
書籍名:特別支援学校教育要領・学習指導要　総則編 著者名: 出版社名:開隆堂出版 ISBN:9784304042294
書籍名:障害のある子供の教育支援の手引 著者名:文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 出版社名:ジアース教育新社 ISBN:9784863716131
書籍名:境界知能の子どもたち 著者名:宮口幸治 出版社名:SBクリエイティブ ISBN:9784815609931

科目名	中学校基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田中　裕一		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	学校訪問	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
小・中学校教員として求められる実践的指導力に結びつく基本力となるコミュニケーション力やソーシャルスキル、プレゼンテーション力、教育的観察眼等を養う。

[授業概要]
この授業は、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かし、学校現場（小学校、中学校）での実践的な対応について指導助言を行いながら進めます。現代の教育課題等を各回のテーマとして、ワークショップやグループディスカッション等により教育的関心を高め、教員に求められる基礎的な力である発表や表現等のスキルを高めることができるようになることを目指します。学校現場での体験をもとに、具体的にどのような授業づくりや学級づくりが求められているかを探究していきます。同時に、国英数社理の「基礎テスト」を3回行い、教員としての知識理解について自分自身をふりかえります。教員を目指す上で、自分自身にどのような力が必要であるのか具体的に見通せる授業なので、教免必修ではありませんが、教師を志望する全員が履修することを強く推奨します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃から、学校教育に対して関心を持ち、新聞や文献等で考察を深めておく。
教員採用試験の過去問などを解きながら基礎的な学力をつけていく。

[授業計画]
1. オリエンテーション、「基礎テスト1」
2. めざす教師像について、「基礎テスト1」ふりかえり
3. 子どもとの信頼関係づくり・学級づくりについて
4. 学校現場の課題
5. 新聞（インターネット）記事を読んでプレゼンテーション
6.「基礎テスト2」
7. 高倉台小学校訪問
8. 高倉台小学校訪問報告会
9. 子どもたちに伝える先生の話、「基礎テスト2」ふりかえり
10. ワークショップ型の学び
11. 学校インターンシップ報告会
12.「基礎テスト3」
13.「基礎テスト3」ふりかえり、全体のまとめ

科目名	中学校基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	田中　裕一		

[成績評価方法]
受講態度(50%)授業中の発表(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出課題に対してフィードバックをおこなう。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:受講態度及び授業中の発表から評価

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:受講態度及び授業中の発表から評価

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:受講態度及び授業中の発表から評価

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:受講態度及び授業中の発表から評価

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:受講態度及び授業中の発表から評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:受講態度及び授業中の発表から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:受講態度及び授業中の発表から評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:受講態度及び授業中の発表から評価

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	中学校基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤　浩樹		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	学校訪問	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
小・中学校教員として求められる実践的指導力に結びつく基本力となるコミュニケーション力やソーシャルスキル、プレゼンテーション力、教育的観察眼等を養う。

[授業概要]
この授業は、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かし、学校現場（小学校、中学校）での実践的な対応について指導助言を行いながら進めます。現代の教育課題等を各回のテーマとして、ワークショップやグループディスカッション等により教育的関心を高め、教員に求められる基礎的な力である発表や表現等のスキルを高めることができるようになることを目指します。学校現場での体験をもとに、具体的にどのような授業づくりや学級づくりが求められているかを探究していきます。同時に、国英数社理の「基礎テスト」を3回行い、教員としての知識理解について自分自身をふりかえります。教員を目指す上で、自分自身にどのような力が必要であるのか具体的に見通せる授業なので、教免必修ではありませんが、教師を志望する全員が履修することを強く推奨します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
日頃から、学校教育に対して関心を持ち、新聞や文献等で考察を深めておく。
教員採用試験の過去問などを解きながら基礎的な学力をつけていく。

[授業計画]
1. オリエンテーション、「基礎テスト1」
2. めざす教師像について、「基礎テスト1」ふりかえり
3. 子どもとの信頼関係づくり・学級づくりについて
4. 学校現場の課題
5. 新聞（インターネット）記事を読んでプレゼンテーション
6.「基礎テスト2」
7. 高倉台小学校訪問
8. 高倉台小学校訪問報告会
9. 子どもたちに伝える先生の話、「基礎テスト2」ふりかえり
10. ワークショップ型の学び
11. 学校インターンシップ報告会
12.「基礎テスト3」
13.「基礎テスト3」ふりかえり、全体のまとめ

科目名	中学校基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	佐藤　浩樹		

[成績評価方法]
受講態度(50%)授業中の発表(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
提出課題に対してフィードバックをおこなう。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、ワークシート・振り返り、テスト

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、ワークシート・振り返り

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、ワークシート・振り返り

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、ワークシート・振り返り

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、ワークシート・振り返り

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、ワークシート・振り返り

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、ワークシート・振り返り

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、ワークシート・振り返り

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	中等英語科教育法Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	中学校における外国語(英語)の学習・指導に関する知識と授業指導案作成及び学習評価の基礎を身につける	講義	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
中学校における外国語(英語)の学習・指導に関する文法力を伸長する。英語や教育への知識と授業指導及び学習評価の基礎を身につける。中学校英語授業の授業案作成の基礎を身につけ、自分の考えを文字化して、人に理解してもらえるようになる。

[授業概要]
担当者は、教育現場での豊富な教授歴があるので、それらから学んだことを重視して進めます。学習指導要領及び小学校英語活動や英語授業教科書、中学校英語教科書について理解する。授業は毎回中学校でとりあつかう英語文法の小テストを通して基礎的な英語力を固める。と同時に、教科書のリーディングを通してモデルリーディングが出来るようになることを目標とする。授業ではあなたからの質問を主軸に進めるので自主的にまなび、質問を作って参加するようにしてください。できれば、年間指導計画、単元計画、各時間の指導計画及び授業の組み立て方についての理解をするとともに、学習指導案を作成し、評価についても理解を促すことも視野に入れています。受講生は、授業以外にも英語力の向上を常に思い、努力することが求められる。各種英語検定試験の受験等についても評価するので、担当者に報告するようにしてください。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
毎回の小テストでは9割以上の合格を目指してください。並びに中学校英語検定教科書のリーディング(暗記)を目指します。授業ではあなたの質問に対する討議等を主軸で進めるので、学習したことで質問を作成してください。そのため、おおよそ2時間程度は授業の予復習が必要です。

[授業計画]
第1回:オリエンテーション、授業の進め方、来週以降に準備、復習することなど
第2回:教科書のリーディング学習1，小テスト1(1~6)
第3回:教科書のリーディング学習2、小テスト2(7~13)、前回の復習等
第4回:教科書のリーディング学習3、小テスト3(14~20)、前回の復習等
第5回:教科書のリーディング学習4、小テスト4(21~27)、前回の復習等
第6回:教科書のリーディング学習5、小テスト5(28~33)、前回の復習等
第7回:教科書のリーディング学習6、小テスト6(34~40)、前回の復習等
第8回:教科書のリーディング学習7、小テスト7(41~47)、前回の復習等
第9回:教科書のリーディング学習8、小テスト8(48～54)、前回の復習等
第10回:教科書のリーディング学習9、小テスト9(55～61)、前回の復習等
第11回:教科書のリーディング学習10、全体の復習等
第12回:学習指導案作成、総まとめテスト
第13回:指導案について自己評価と相互評価

科目名	中等英語科教育法Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	中学校における外国語(英語)の学習・指導に関する知識と授業指導案作成及び学習評価の基礎を身につける	講義	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
毎時間の振り返りレポート(30%)、小テスト(30%)、最終レポートあるいは指導案作成(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に行います。最終レポートについては、メールによって行う場合もあります。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:毎時間の振り返り、小テストで評価する。

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:最終レポートあるいは指導案で評価する。

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:毎時間の振り返り、小テストで評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:毎時間の振り返り、小テストで評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:毎時間の振り返り、小テストで評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:最終レポートあるいは指導案で評価する。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692

科目名	中等英語科教育法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	文法事項導入法再検討 (1)	講義	
担当者	水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
稲岡章代教諭が中学校で実践した文法事項導入の授業ビデオを観察し考察する。そして，中学校における文法事項導入の授業方法について理解を深める。

[授業概要]
稲岡章代教諭が中学校で実践した文法事項導入の授業ビデオを見ながら，授業で起きている様々な出来事を「教師を見る」「生徒を見る」の両方の観点から記述する。そして，出来事の意味を解釈する。授業の記述や解釈を，受講生全員が Padlet に書き込むことで互いに気づいたことや考えたことを共有しながら，協同学習を実践する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
予習：『キクタン2000』のディクテーション
復習：授業で学んだ「授業を見る観察眼」を働かして，JLC にあるビデオをたくさん見る。そして，オススメの授業を，授業のサイトに紹介する。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. All English ではなく、English Rich な授業をめざす
3. 中学1年　Can の導入①
4. 中学1年　Can の導入②
5. 中学1年　Can の導入③
6. 中学2年　be going to の導入①
7. 中学2年　be going to の導入②
8. 中学2年　be going to の導入③
9. 中学3年　want + 人 + to 不定詞 ①
10. 中学3年　want + 人 + to 不定詞 ②
11. 中学3年　want + 人 + to 不定詞 ③
12. 最終課題
13. プレイスメントテスト (Reading & Listening)

S64880 [LKH2-045]

科目名	中等英語科教育法Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	文法事項導入法再検討 (1)	講義	
担当者	水野　邦太郎		

[成績評価方法]
①『キクタン2000』のディクテーション (50%)
② Padlet に投稿した稲岡先生の授業ビデオの観察・記述・解釈 (50%)

①と②を総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中及び、manaba 掲示板と Padlet を利用して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:①『キクタン2000』のディクテーション
② Padlet に投稿した稲岡先生の授業ビデオの観察・記述・解釈

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:①『キクタン2000』のディクテーション
② Padlet に投稿した稲岡先生の授業ビデオの観察・記述・解釈

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:①『キクタン2000』のディクテーション
② Padlet に投稿した稲岡先生の授業ビデオの観察・記述・解釈

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:①『キクタン2000』のディクテーション
② Padlet に投稿した稲岡先生の授業ビデオの観察・記述・解釈

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:①『キクタン2000』のディクテーション
② Padlet に投稿した稲岡先生の授業ビデオの観察・記述・解釈

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:①『キクタン2000』のディクテーション
② Padlet に投稿した稲岡先生の授業ビデオの観察・記述・解釈

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692

科目名	中等英語科教育法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	文法事項導入法再検討 (2)	講義	
担当者	水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
稲岡章代教諭が中学校で実践した文法事項導入の授業ビデオ、語学研究所の「コミュニカティブな授業でできる文法指導」のビデオを観察し考察する。そして，中学校における文法事項導入の授業方法について理解を深める。

[授業概要]
稲岡章代教諭が中学校で実践した文法事項導入の授業ビデオ、語学研究所の「コミュニカティブな授業でできる文法指導」のビデオを見ながら，授業で起きている様々な出来事を「教師を見る」「生徒を見る」の両方の観点から記述する。そして，出来事の意味を解釈する。授業の記述や解釈を，受講生全員が Padlet に書き込むことで互いに気づいたことや考えたことを共有しながら，協同学習を実践する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
予習：『キクタン2000』のディクテーション
復習：授業で学んだ「授業を見る観察眼」を働かして，JLC にあるビデオをたくさん見る。そして，オススメの授業を授業のサイトで紹介する

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 若林俊輔先生 NHK 基礎英語 ①
3. 若林俊輔先生 NHK 基礎英語 ②
4. 現在完了形導入の授業 ①
5. 現在完了形導入の授業 ②
6. 現在完了形導入の授業 ③
7. 法助動詞 will の導入の授業 ①
8. 法助動詞 will の導入の授業 ②
9.法助動詞 will の導入の授業 ③
10. too … to
11. My Book report
12. My Memories
13. 最終レポートの課題と提出

科目名	中等英語科教育法Ⅲ	前期	2 単位
サブタイトル	文法事項導入法再検討 (2)	講義	
担当者	水野　邦太郎		

[成績評価方法]
①『キクタン 2000』(50%)
② 稲岡先生の授業ビデオの観察・記述・考察 (50%)

①と②の2つの観点から総合的に評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中及び、manaba 掲示板と Padlet を利用して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:①『キクタン2000』のディクテーション
② Padlet に投稿した稲岡先生の授業ビデオの観察・記述・解釈

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:①『キクタン2000』のディクテーション
② Padlet に投稿した稲岡先生の授業ビデオの観察・記述・解釈

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:①『キクタン2000』のディクテーション
② Padlet に投稿した稲岡先生の授業ビデオの観察・記述・解釈

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:①『キクタン2000』のディクテーション
② Padlet に投稿した稲岡先生の授業ビデオの観察・記述・解釈

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:①『キクタン2000』のディクテーション
② Padlet に投稿した稲岡先生の授業ビデオの観察・記述・解釈

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:①『キクタン2000』のディクテーション
② Padlet に投稿した稲岡先生の授業ビデオの観察・記述・解釈

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692

科目名	中等英語科教育法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	中学校検定教科書を使って英語授業を一人で計画し、必要な教材を作成して行えるようになる	講義	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教科書の内容をあますところなく教えることができるようになる。そのために、教科書をモデルとして読めるレベルになっておくことが基本となります。英語科学習指導案を立案作成できるようになる。各自が作成した指導案に則って、英語模擬授業を行う。相互評価をとおして、批判的考察力、授業実践力を高めていく。

[授業概要]
英語科学習指導案(中学校レベル)を作成する。それに基づいて各自が模擬授業を行う。模擬授業では相互評価を行いながら、自身の行った授業について分析を行い、改善していく。同時に、英語科検定教科書をモデルとして読めるレベルになれるように練習していく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
英語科学習指導案は常に改善することが求められます。中学校での英語授業を想定して模擬授業を行うので、教科書をモデルリーディングできるレベルまで読み込むことや教材作成も行います。予習復習で4時間程度かかります。

[授業計画]
実習等で受講生は変則的に参加することを見通してのあくまでも計画です。
1. 英語授業の成立について、模擬授業担当決定、評価内容の決定
2. 教科書分析、リーディング学習等
3. 模擬授業1　読みを中心に考察する
4. 模擬授業2　発声を中心に練習を行う
5. 模擬授業3　文法事項に注目して英語授業を考える
6. 模擬授業4　板書計画を考える
7. 模擬授業5　英語の4技能について考察する
8. 模擬授業6　協働学習に注目する
9. 模擬授業7　アウトプット活動を主軸とした授業の展開についてまなぶ
10. 模擬授業8　学習者中心という概念について考察する
11. 模擬授業9　学習指導案への考察、小学校や高等学校との連携を考える
12. 模擬授業10 ICT技術の効果的な使用方への考察
13. まとめ(学習指導案最終版)提出

科目名	中等英語科教育法Ⅳ	後期	2 単位
サブタイトル	中学校検定教科書を使って英語授業を一人で計画し、必要な教材を作成して行えるようになる	講義	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
授業への主体的な参加(30%)、模擬授業への取り組み(40%)、改訂版英語学習指導案(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
レポートは後日の授業においてコメントを付して返します。学習指導案も解説などを行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:模擬授業への取り組みで評価します。

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:改訂版英語科学習指導案により評価します。

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:授業への主体的な参加度で評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業への主体的な参加で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:改訂版英語科学習指導案で評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:模擬授業への取り組みで評価します。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692

科目名	中等英語科教材研究Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
文部科学省の学習指導要領に沿って、小中の学びの接続を図りながら中等教育段階の生徒に相応しい教材を自らも開発し、それを授業実践で活用することができる。

[授業概要]
中等英語科教育と初等英語科教育の接続を図るために、初等教育段階でどのような英語教材が検定教科書として使用されているかを理解する。小学校と中学校の学習指導要領を踏まえ中等教育段階の発達過程も考慮に入れながら、生徒に相応しい教材開発を行う。開発した教材を用いて、模擬授業、振り返りを行い、さらにより良い教材開発を行っていく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
学習指導要領(外国語編)をよく読んでおくこと。また、検定教科書の内容理解に努めておくこと。

[授業計画]
1. 中学校学習指導要領における外国語科について
　外国語教育における小中連携
2. 外国語科の目標、教材分析の視点
3. 外国語科(英語)(中学1年生)の教材分析
4. 外国語科(英語)(中学2年生)の教材分析
5. 外国語科(英語)(中学3年生)の教材分析
6. 外国語科(英語)(中学1年生)における教材の開発
7. 外国語科(英語)(中学1年生)における教材の実践・検証
8 外国語科(英語)(中学2年生)における教材開発
9. 外国語科(英語)(中学2年生)における教材の実践・検証
10. 外国語科(英語)(中学3年生)における教材開発
11. 外国語科(英語)(中学3年生)における教材の実践・検証
12. 中学校外国語科における教材研究の振り返り
13. まとめ

科目名	中等英語科教材研究Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
定期試験(30%)、課題への取り組み姿勢(40%)、教材開発の内容(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:定期試験、教材開発の内容

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:定期試験、教材開発の内容

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:課題への取り組み姿勢、教材開発の内容

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:課題への取り組み姿勢、教材開発の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:教材開発の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:定期試験

[教科書(ISBN)]
書籍名:令和7年度版　NEW CROWN: English Series 1 著者名: 出版社名:三省堂 ISBN:
書籍名:令和7年度版　NEW CROWN: English Series 2 著者名: 出版社名:三省堂 ISBN:
書籍名:令和7年度版　NEW CROWN: English Series 3 著者名: 出版社名:三省堂 ISBN:
書籍名:中学校学習指導要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692

[参考書(ISBN)]
書籍名:小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051685

科目名	中等英語科教材研究Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学習指導要領に記された目標や内容を理解した上で、教科横断的な視点で教材研究に取り組み、単元目標に基づいた教材開発ができるとともに、授業実践を通して、客観的にその教材について検証し改善に取り組んでいくことができる。

[授業概要]
中等教育段階の各教科の教育内容を理解した上で、教科横断的な視点で各学年に相応しい教育内容、指導法について考え、教材研究、教材開発に取り組んでいく。開発した教材を用いて外国語の授業実践を行い、検証し、改善を図り、新たな教材の開発を進める。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
中学校学習指導要領及び文部科学省検定教科書をしっかりと読み授業の準備を整えておくこと。
授業内容を振り返り、質問があればメモしておき、次の授業時間に確認する。

[授業計画]
1. 中学校学習指導要領　各教科の目標・内容等について [第1学年]
2. 中学校学習指導要領　各教科の目標・内容等について [第2学年]
3. 中学校学習指導要領　各教科の目標・内容等について [第3学年]
4. 外国語科(英語)(第1学年)における教材の開発
5. 外国語科(英語)(第1学年)における教材の実践・検証
6. 外国語科(英語)(第1学年)における教材の改善・提案
7. 外国語科(英語)(第2学年)における教材の開発
8. 外国語科(英語)(第2学年)における教材の実践・検証
9. 外国語科(英語)(第2学年)における教材の改善・提案
10. 外国語科(英語)(第3学年)における教材の開発
11. 外国語科(英語)(第3学年)における教材の実践・検証
12. 外国語科(英語)(第3学年)における教材の改善・提案
13. まとめ

科目名	中等英語科教材研究Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
定期試験(30%)、課題への取り組み姿勢(40%)、教材開発の内容(30%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:定期試験、教材開発の内容

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:定期試験、教材開発の内容

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:課題への取り組み姿勢

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:定期試験、課題への取り組み姿勢、教材開発の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:課題への取り組み姿勢、教材開発の内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:定期試験

[教科書(ISBN)]
書籍名:必要に応じて資料を配付する。著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:令和7年度版 NEW HORIZON 1 著者名: 出版社名:東京書籍 ISBN:
書籍名:令和7年度版 NEW HORIZON 2 著者名: 出版社名:東京書籍 ISBN:
書籍名:令和7年度版 NEW HORIZON 3 著者名: 出版社名:東京書籍 ISBN:
書籍名:中学校学習指導要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692
書籍名:小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051685

科目名	中等教育実習Ⅰ	前期～後期	2 単位
サブタイトル	教育実践力をつける	実習	
担当者	齋藤　由紀、本多　明子、宮本　晃郎、宮垣　覚、水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
各学校での教育実習を通じて、教育の実際を学び、確実な学級経営や授業などの教育実践ができる力を身につける。

[授業概要]
各学校での管理職をはじめ校務担当教員の講話、学級担任・教科担任の指導を受けて、観察実習、授業実践、研究授業などを行う。また、教科指導のほかに、生徒指導をはじめとする校務にも携わり、実践的な指導力の向上を図る。事前・事後の指導では、教育実習の意義、実習記録の取り方、教育課題への対応の仕方、実習後の課題の整理などを行う。その際、学校現場における校長、教頭、教諭（学級担任、教務主任等）の経験を生かして具体的な対応について指導助言する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各教科指導法の概要・学習指導案の作成、人権・学級経営・生徒指導等の学校での学習指導に必要な事項について、その概要を復習しておくこと。

[授業計画]
学校実習（2週間）
・管理職の講話
・校務担当教職員の講話と指導
・校務処理の仕方について
・実習校の学級担任の指導、学級経営の実査
・教科担任の指導と観察実習
・学習指導案の作成と指導
・授業実践と指導
・大学教員の指導等
・研究授業と反省
・実習のまとめ
事後指導
・実習後の課題の整理等

科目名	中等教育実習Ⅰ	前期～後期	2 単位
サブタイトル	教育実践力をつける	実習	
担当者	齋藤　由紀、本多　明子、宮本　晃郎、宮垣　覚、水野　邦太郎		

[成績評価方法]
実習状況（40%）、実習校からの評価資料（40%）、実習記録等（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題やレポートについては、事後指導を中心に意見交換ならびに解説をおこなう。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	中等教育実習Ⅱ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	齋藤　由紀、本多　明子、宮本　晃郎、宮垣　覚、水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中学校教育実習（英語）を行うのに必要な知識･技能を身に付け、教育実習に向けた意識を高めることができる。

[授業概要]
中学校英語科教育実習の実施に向けて、英語の授業授業づくりや学級経営、生徒指導等について、それぞれの分野ををを専門とする教員による講義･演習を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
小学校実習のまとめをしっかりしておく。
中学校英語授業に関わる授業のまとめをしっかりしておく。
中学校教育に関心をもち、毎回の授業の復習をする。

[授業計画]
1. 中学校教育実習の準備手続きとオリエンテーション （佐藤）
2. 小学校実習の振り返りと中学校実習の心構え （宮垣）
3. 中学校英語科授業の基礎･基本 （家入）
4. 中学校英語科授業の実際と授業づくり① （本多）
5. 中学校英語科授業の実際と授業づくり② （齋藤）
6. 中学校教育実習に向けての指導① （本多）
7. 中学校教育実習の報告聴講 （佐藤）
8. 中学校教育実習の課題についての検討 （佐藤）
9. 中学校の特別活動と生徒の様子 （佐藤）
10. 中学校教育実習に向けての指導② （斉藤）
11. 中学校教育実習に向けての指導③ （水野）
12. 高倉中学校への訪問①（英語授業の参観）（佐藤、本多、水野、斉藤、家入）
13. 高倉中学校への訪問②（学校長の講話）（佐藤、本多、水野、斉藤、家入）

科目名	中等教育実習Ⅱ	前期～後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	齋藤　由紀、本多　明子、宮本　晃郎、宮垣　覚、水野　邦太郎		

[成績評価方法]
授業に取り組む姿勢（50%）、レポート・提出物等（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	中等教育実習指導	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤　浩樹、本多　明子、宮垣　覚、齋藤　由紀、水野　邦太郎、上野　昌稔		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中学校教育実習（英語）を行うのに必要な知識･技能を身に付け、教育実習に向けた意識を高めることができる。

[授業概要]
中学校英語科教育実習の実施に向けて、英語の授業授業づくりや学級経営、生徒指導等について、それぞれの分野ををを専門とする教員による講義･演習を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
小学校実習のまとめをしっかりしておく。
中学校英語授業に関わる授業のまとめをしっかりしておく。
中学校教育に関心をもち、毎回の授業の復習をする。

[授業計画]
1. 中学校教育実習の準備手続きとオリエンテーション （佐藤）
2. 小学校実習の振り返りと中学校実習の心構え （宮垣）
3. 多様化する中学校における特別支援教育（上野）
4. 中学校英語科授業の実際と授業づくり① 外部講師 （本多）
5. 中学校教育実習の報告聴講 （佐藤、齋藤）
6. 中学校教育実習の課題についての検討 （佐藤、齋藤）
7. 中学校英語科授業の実際と授業づくり② 外部講師（齋藤）
8. 中学校教育実習に向けての指導① （本多）
9. 中学校の特別活動と生徒の実際 外部講師（佐藤）
10. 中学校教育実習に向けての指導② （水野）
11. 中学校教育実習に向けての指導③ （齋藤）
12. 高倉中学校授業見学①（英語授業の参観）（佐藤、本多、水野、斉藤）
13. 高倉中学校授業見学②（学校長の講話）（佐藤、本多、水野、斉藤）

科目名	中等教育実習指導	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤　浩樹、本多　明子、宮垣　覚、齋藤　由紀、水野　邦太郎、上野　昌稔		

[成績評価方法]
授業に取り組む姿勢（50%）、レポート・提出物等（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：授業に取り組む姿勢、ワークシート・振り返り、レポート

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：授業に取り組む姿勢、ワークシート・振り返り

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：授業に取り組む姿勢、ワークシート・振り返り

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業に取り組む姿勢、ワークシート・振り返り

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業に取り組む姿勢、ワークシート・振り返り

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業に取り組む姿勢、ワークシート・振り返り

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	道徳教育の理論と指導法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　美紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	小テストを数回実施する。	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教育活動全体を通じて行われる道徳教育の意義を考え、道徳教育の内容を把握し、教育の現場における様々な状況を想定しながら、実践的な指導力が身につく。

[授業概要]
本講義では『学習指導要領』に明記される道徳教育の意義と目標、道徳教育の内容、道徳教育の実践を主要な柱として扱う。児童・生徒の発達段階に応じて、道徳心を培うために選択した資料を用いて学習指導案を考案・作成する。それに基づいて模擬授業を行い、実践的能力を養う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
指定されたテキスト・資料をあらかじめ読んでおくこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. ガイダンス、道徳教育の意義
2. 道徳教育の目標
3. 道徳教育の内容① A.自分自身に関すること、B.人とのかかわり
4. 道徳教育の内容② C.集団や社会とのかかわり(公平、公正、社会正義)、D.生命、自然、崇高なものとのかかわり
5. 道徳の指導法、学習教材・資料の分析
6. 学習指導案の考案・作成について
7. 学習指導案の例
8. 研究授業(低学年)(DVD)鑑賞、グループワークで指導案作成・模擬授業準備①
9. 研究授業(高学年)(DVD)鑑賞、グループワークで指導案作成・模擬授業準備②
10. 模擬授業実施① 低学年
11. 模擬授業実施② 中学年
12. 模擬授業実施③ 高学年
13. 総括および授業に関する反省と評価

科目名	道徳教育の理論と指導法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　美紀子		

[成績評価方法]
学習指導案と模擬授業（20%）、模擬授業観察シート（約10%）、筆記試験（約70%）。授業態度等も考慮する。模擬授業観察シートの割合は、受講生で作る班の数により若干変動するが、学習指導案・模擬授業と観察シートを合わせて約30%、筆記試験約70%とする。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
模擬授業のコメントは学内ウェブで公開する。筆記試験の解答例も学内ウェブで公開する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：授業態度、模擬授業、模擬授業観察シート、筆記試験

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：模擬授業、筆記試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、模擬授業観察シート、筆記試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領〈平成29年告示〉解説　特別の教科道徳編 著者名:文部科学省／〔著〕 出版社名:廣済堂あかつき ISBN:9784908255359

[参考書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領<平成29年告示>解説　特別の教科道徳編 著者名:文部科学省　[編] 出版社名:教育出版 ISBN:9784316300849

科目名	道徳教育の理論と指導法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　美紀子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	小テストを数回実施する。	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教育活動全体を通じて行われる道徳教育の意義を考え、道徳教育の内容を把握し、教育の現場における様々な状況を想定しながら、実践的な指導力が身につく。

[授業概要]
本講義では『学習指導要領』に明記される道徳教育の意義と目標、道徳教育の内容、道徳教育の実践を主要な柱として扱う。児童・生徒の発達段階に応じて、道徳心を培うために選択した資料を用いて学習指導案を考案・作成する。それに基づいて模擬授業を行い、実践的能力を養う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
指定されたテキスト・資料をあらかじめ読んでおくこと。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. ガイダンス、道徳教育の意義
2. 道徳教育の目標
3. 道徳教育の内容① A.自分自身に関すること、B.人とのかかわり
4. 道徳教育の内容② C.集団や社会とのかかわり(公平、公正、社会正義)、D.生命、自然、崇高なものとのかかわり
5. 道徳の指導法、学習教材・資料の分析
6. 学習指導案の考案・作成について
7. 学習指導案の例
8. 研究授業(低学年)(DVD)鑑賞、グループワークで指導案作成・模擬授業準備①
9. 研究授業(高学年)(DVD)鑑賞、グループワークで指導案作成・模擬授業準備②
10. 模擬授業実施① 低学年
11. 模擬授業実施② 中学年
12. 模擬授業実施③ 高学年
13. 総括および授業に関する反省と評価

科目名	道徳教育の理論と指導法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	田中　美紀子		

[成績評価方法]
学習指導案と模擬授業（20%）、模擬授業観察シート（約10%）、筆記試験（約70%）。授業態度等も考慮する。模擬授業観察シートの割合は、受講生で作る班の数により若干変動するが、指導案・模擬授業と模擬授業観察シートを合わせて約30%、筆記試験約70%とする。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
模擬授業のコメントは学内ウェブで公開する。筆記試験の解答例も学内ウェブで公開する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：授業態度、模擬授業、模擬授業観察シート、筆記試験

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：模擬授業

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：模擬授業

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、筆記試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：模擬授業、模擬授業観察シート、筆記試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領〈平成29年告示〉解説　特別の教科道徳編 著者名:文部科学省／〔著〕 出版社名:廣済堂あかつき ISBN:9784908255359

[参考書（ISBN）]
書籍名:中学校学習指導要領<平成29年告示>解説　特別の教科道徳編 著者名:文部科学省　[編] 出版社名:教育出版 ISBN:9784316300849

科目名	特別活動の指導法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤　浩樹		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学校教育全体における特別活動の意義、目標および内容を理解する。
特別活動の指導のあり方について理解する。

[授業概要]
前半は、特別活動の意義、目標、内容、歴史、位置付け、心理学的基礎を踏まえた指導原理について事例を取り上げて解説する。後半は、特別活動における各活動の内容と指導、評価、家庭・地域・関係機関との連携ついて演習を取り入れて授業を行う。学級活動においては、話し合い活動や意思決定の重要性を取り上げ、学習指導案の作成する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業のまとめプリントを行い、授業内容を定着させる。

[授業計画]
第1回:特別活動とは何か①(意義、目的、内容)
第2回:特別活動とは何か②(歴史的変遷、教育課程における位置付け)
第3回:特別活動の心理学的基礎①(集団活動論)
第4回:特別活動の心理学的基礎②(リーダーシップ論)
第5回:クラブ活動の内容と指導
第6回:児童会活動の内容と指導
第7回:学級活動の内容と指導①(内容(1))
第8回:学級活動の内容と指導②(内容(2))、学級活動における話し合い活動
第9回:学級活動とキャリア教育(内容(3))、学級活動の学習指導案の作成
第10回:学校行事の内容とあり方
第11回:学校行事の指導と諸課題、学級活動の学習指導案の発表・交流
第12回:小学校特別活動の実際(外部講師)
第13回:まとめ、テスト

科目名	特別活動の指導法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤　浩樹		

[成績評価方法]
授業に取り組む姿勢(学習指導案レポート含む)30%、テスト70%。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:テスト、ワークシート・振り返り

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:ワークシート・振り返り、授業に取り組む姿勢

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:ワークシート・振り返り、授業に取り組む姿勢

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、テスト、ワークシート・振り返り

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、テスト、ワークシート・振り返り

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、テスト、ワークシート・振り返り

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　特別活動編 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版
ISBN:9784491034690

科目名	特別活動の指導法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤　浩樹		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
学校教育全体における特別活動の意義、目標および内容を理解する。
特別活動の指導のあり方について理解する。

[授業概要]
前半は、特別活動の意義、目標、内容、歴史、位置付け、心理学的基礎を踏まえた指導原理について事例を取り上げて解説する。後半は、特別活動における各活動の内容と指導、評価、家庭・地域・関係機関との連携ついて演習を取り入れて授業を行う。学級活動においては、話し合い活動や意思決定の重要性を取り上げ、学習指導案の作成する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業のまとめプリントを行い、授業内容を定着させる。

[授業計画]
第1回:特別活動とは何か①(意義、目的、内容)
第2回:特別活動とは何か②(歴史的変遷、教育課程における位置付け)
第3回:特別活動の心理学的基礎①(集団活動論)
第4回:特別活動の心理学的基礎②(リーダーシップ論)
第5回:クラブ活動の内容と指導
第6回:児童会活動の内容と指導
第7回:学級活動の内容と指導①(内容(1))
第8回:学級活動の内容と指導②(内容(2))、学級活動における話し合い活動
第9回:学級活動とキャリア教育(内容(3))、学級活動の学習指導案の作成
第10回:学校行事の内容とあり方
第11回:学校行事の指導と諸課題、学級活動の学習指導案の発表・交流
第12回:小学校特別活動の実際(外部講師)
第13回:まとめ、テスト

科目名	特別活動の指導法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	佐藤　浩樹		

[成績評価方法]
授業に取り組む姿勢(学習指導案レポート含む)30%、テスト70%。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:テスト、ワークシート・振り返り

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:ワークシート・振り返り、授業に取り組む姿勢

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:ワークシート・振り返り、授業に取り組む姿勢

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、テスト、ワークシート・振り返り

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、テスト、ワークシート・振り返り

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業に取り組む姿勢、テスト、ワークシート・振り返り

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:小学校学習指導要領(平成29年告示)解説　特別活動編 著者名:文部科学省 出版社名:東洋館出版
ISBN:9784491034690

科目名	特別支援教育	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山　優子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他	1分間スピーチ、学外フィールドワーク	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
・通常の学級にも在籍している発達障害や知的障害など様々な障害等により特別の支援を必要とする幼児児童生徒が授業において学習活動に参加している実感・達成感をもちながら学び、生きる力を身に付けるよう関連機関や他の教員と連携し組織的に対応していくために必要な知識や支援方法を理解する。
・障害の有無にかかわらず、特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒の発達や支援、対応などを理解する。
・全学共通のディプロマ・ポリシーに基づき、基礎・基本となる力の「知識・技能」、考える力としての「思考力・判断力・表現力等の能力」、そして、それらを活用するときの態度に現れる「主体性・多様性・協働性」を身につける。

[授業概要]
この授業では、学校現場における教員経験があるものが、その経験を活かして、今日的な課題（特別支援教育等）への対応を指導をします。特別の支援を必要とする幼児や児童、生徒の障害特性および心身の発達を学びます。また、特別の支援を必要とする幼児や児童、生徒の教育課程及び支援の方法を学びます。障害はないが教育的ニーズのある幼児、児童、生徒の理解や支援についても学びます。全授業を通して、インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みがわかることに重点を置いています。人と協働で課題を解決していく態度を身に付けるために、毎時間、アクティブラーニング（グループワークやロールプレイ）で授業を進めていきます。学んだこと実践し探究する宿題を課します。
テキストは、介護体験の授業でも用いるテキストですので、ずっと保管しておくようにしてください。
パソコンをノート代わりにしてもかまいません。授業の板書は自由に写真を撮ってかまいません。ICTを活用して授業を受けてみると効果（良い点）や課題（改善すべき点）が実感できるのではないかと考えるからです。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
・授業で出された宿題や探究課題について主体的に取り組む（復習と探究）。＜2時間＞
・授業で予告された次回の内容について探究する（反転授業のための予習）。＜2時間＞
※以上の準備学修を各回、4時間程度おこなうこと

[授業計画]
1.特別支援教育の制度・理念（グループワーク）
2.視覚障害、聴覚障害、知的障害、肢体不自由、病弱等さまざまな障害理解(グループワーク)
3.通常の学級に在籍する発達障害のある幼児児童生徒の特性（グループワーク）
4.自閉症スペクトラムの特性の理解と支援（グループワーク）
5.ADHDの特性の理解と支援（グループワーク）
6.学習障害の特性の理解と支援（グループワーク）
7.ユニバーサルデザインの授業とインクルーシブ教育（グループワーク）
8.障害のある子供の保護者理解（グループワーク）
9.障害のある児童生徒の学びの場（通級指導教室、特別支援学級）（グループワーク）
10.特別支援教育コーディネーターの仕事と関係機関連携（グループワーク）
11.母国語や貧困等から教育的ニーズのある幼児児童生徒の理解＜学外フィールドワーク＞
12.個別の指導計画と個別の教育支援計画・「ケース会議」ロールプレイ（グループワーク）
13.まとめ

科目名	特別支援教育	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	谷山　優子		

[成績評価方法]
まとめテスト（論述あり）（80%）、授業ごとの小テスト（記述式）（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業ごとの小テスト（記述式）に対して、提示した評価基準でフィードバックをおこないます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：毎回の授業の「まとめ」「小テスト」等への記述で評価していく。

[教科書（ISBN）]
書籍名:介護体験ガイドブック新フィリア 著者名:全国特別支援学校公聴会編著 出版社名:ジアース教育新社 ISBN:978-4-86371-522-6

[参考書（ISBN）]

科目名	乳児保育Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	石田　裕子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
乳児期の発達を理解し、乳児保育に必要な基礎的な知識や技能を身につける

[授業概要]
乳児保育の歴史や、乳児期や低年齢児の保育の理論や発達について講義・演習で学ぶ

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業内で指示した課題に取り組むこと。また授業中に学修内容の確認を行うため復習をしておくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.乳児保育の歴史的変遷および社会的な背景
2.3歳児神話と保育所の役割について
3.さまざまな保育形態における乳児保育
4.保育者との愛着関係について
5.乳児期前半の発達と保育
6.乳児期後半の発達と保育
7.1歳児の発達と保育
8.2歳児の発達と保育
9.子どもの発達と遊び　環境と玩具
10.子どもの発達と遊び　絵本
11.子どもの発達と遊び　ふれあい遊び
12.課題発表及び評価
13.乳児保育をめぐる諸問題 まとめ

科目名	乳児保育Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	石田　裕子		

[成績評価方法]
試験50%　受講態度20%　提出物30%
試験は答案回収後問題の解説を行う（小テストは当日採点）
受講態度は積極性やミニッツペーパーで評価する
提出物は期限や形式、内容について総合的に判断する

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
実施後の翌回に行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:試験　提出物

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:試験　受講態度　提出物

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:受講態度　提出物

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:受講態度　提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:試験　受講態度　提出物

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験　　提出物

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:保育所保育指針解説　平成30年3月 著者名:厚生労働省／編 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814482
書籍名:演習で学ぶ乳児保育 著者名:善本　眞弓　編著　小山　朝子　他著 出版社名:中央社 ISBN:9784907270292

科目名	乳児保育Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
乳児期の発達を理解し、乳児保育に必要な基礎的な知識や技能を身につける
保育の計画が立案できるようになる

[授業概要]
乳児保育に必要な理論や発達について講義・演習で学ぶ
保育計画の立案や、乳児保育に必要な連携について学ぶ

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業内で指示した課題に取り組むこと。また授業中に学修内容の確認を行うため復習をしておくこと。
各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.乳児保育Iの復習
2.健康と安全への配慮について
3. 基本的生活習慣の自立と援助について-食事-
4. 基本的生活習慣の自立と援助について-睡眠-
5. 基本的生活習慣の自立と援助について-排泄・衣服の着脱・清潔-
6. 保育計画の立案について
7.個別指導計画及び個人の記録について
8. クラス運営とチームワークについて
9.連絡帳の書き方について
10.乳児保育の環境
11. 保護者や地域との連携について
12.小規模保育　家庭的保育等の実際
13.乳児保育をめぐる諸問題 まとめ

科目名	乳児保育Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[成績評価方法]
試験50%　提出物20%　受講態度30%
受講態度は　積極的参加度　授業内レポート等で評価します
提出物は締め切りや形式についても評価をします

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
試験は回収後、問題の解説をします
小テストは相互採点とし、結果は確認できます

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:試験　提出物

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:試験　提出物

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:提出物　受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出物　受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:試験　提出物

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:保護者と保育者をつなぐ連絡帳の書き方 著者名:山内淳子 出版社名:一藝社 ISBN:978-4-86359-245-2

科目名	発音トレーニング Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	前田　葵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
発音トレーニングを通じて、より良いコミュニケーションを目指す。

[授業概要]
実際のコミュニケーションに役立つ力をマスターする。そのために、テキストで正しい発音の方法を系統的に学習し、正確で自然に発音できる方法を確認しつつ、授業中それを実践していきながら進めていく。授業では、映画、ミュージカル、ポップソングなどをモデルにしてトレーニングする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
manabaでその週に出された課題を提出すること。

[授業計画]
1.Introduction
2.“A little boy once played so loud”
3.“Georgie Porgie, pudding and pie”
4.“Hickory, dickory, dock”
5.“Humpty Dumpty sat on a wall”
6.“I see the moon”
7.“I saw three ships come sailing by”
8.“If all the seas were one sea”
9.“Little kitty, purring kitty”
10.“Love the Beautiful”
11.“Old Mother Hubbard”
12.Review(1)
13.Review(2)

科目名	発音トレーニング Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	前田　葵		

[成績評価方法]
Participation 30%, Short Assessment 50%, Presentation 20%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manaba を通じて講評をフィードバックする。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちの実態に即して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:Active participation and Presentation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:Presentation

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:Short Assessment

[教科書(ISBN)]
書籍名:English Pronunciation for Communication <Revised Edition> コミュニケーションへの英語発音演習【改訂新版】 著者名:[
杉森　直樹 著 小泉　節子 著 杉森　幹彦 著 出版社名:南雲堂 ISBN:9784523179702

[参考書(ISBN)]

科目名	発音トレーニングⅡ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
英語に特有の音を認識し、その音をより正確に発音できる力を身につけると共に、連結、脱落、同化など音声変化を身につける。

[授業概要]
英語の母音、子音の発音記号と発音方法を確かめながら、それぞれの音の発声練習を重ねていく。各単音から単語、文へと発音の幅を広げていき、音の連結、脱落、同化などの音声変化の発音トレーニングを行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習を合わせて2時間程度。
発音記号を理解し、何度も音声を口から出して練習を重ねておくこと。

[授業計画]
1. オリエンテーション、言語音について
2. 有声音と無声音
3. 母音と子音
4. 両唇音・唇歯音
5. 歯音・歯茎音
6. 硬口蓋歯茎音・硬口蓋音
7. 軟口蓋音・声門音
8. 閉鎖音・摩擦音・破擦音
9. 鼻音・側音・半母音
10. 連結
11. 脱落
12. 同化
13. まとめ

科目名	発音トレーニングⅡ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	本多　明子		

[成績評価方法]
定期試験(50%)、授業中の課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題に対するフィードバックは授業で行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:定期試験、授業中の課題

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:定期試験

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:定期試験、授業中の課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:授業中の課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:定期試験

[教科書(ISBN)]
書籍名:必要に応じて資料を配付する。著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:中学校学習指導要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051692
書籍名:小学校学習指導要領解説　外国語活動・外国語編 著者名:文部科学省 出版社名:開隆堂 ISBN:9784304051685

科目名	プログラミング教育	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山崎　宣次		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
プログラミング教育を実施する上で必要な基礎的な知識・技能を身に付け，主体的，対話的，創造的に授業を構想することができる。

[授業概要]
プログラミング教育の概要を理解し、プログラミング教育を実施する上で必要な基礎的な知識・技能を身に付けていきます。また、プログラミング教育の実践事例に基づいた演習等を通して、主体的、対話的、創造的に授業を構想しながら実践的な授業開発を体験します。
小中学校勤務歴31年の者が教育現場におけるプログラミング教育についてアシストします。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
事前学修として、配布資料がある場合は読んでおいてください。
指定する動画の視聴やレディネスを確認する小テストに取り組んでもらう場合もあります。
事後学修として、授業のレポートに取り組んでもらうこともあります。
各回、事前・事後学修に合わせて4時間程度取り組むことを期待します。

[授業計画]
1.オリエンテーション：プログラミング教育が小学校に導入された社会的背景
2.小学校プログラミング教育の目的や位置付け
3.プログラミング的思考とコンピュテーショナルシンキング
4.コンピュータの動作原理とプログラミングの基本的な概念
5.Scratchを用いたプログラミングの基本処理を理解する演習
6.Scratchを用いた簡単なアプリケーション作成演習（基礎）
7.Scratchを用いた簡単なアプリケーション作成演習（応用）
8.プログラミングを用いた計測・制御を伴うロボットのプログラミング演習
9.探究的な小学校プログラミング教育の授業実践演習（調査・計画）
10.探究的な小学校プログラミング教育の授業実践演習（実装・評価）
11.探究的な小学校プログラミング教育の授業実践演習（中間発表）
12.探究的な小学校プログラミング教育の授業実践演習（改善）
13.探究的な小学校プログラミング教育の授業実践演習（最終発表）・まとめ

科目名	プログラミング教育	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	山崎　宣次		

[成績評価方法]
各回のレポート・成果物(40%)、授業中の活躍度(20%)、最終課題(40%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業内で解説します。
講義内容に応じてmanaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:特に指定しませんが、必要なときは授業内で紹介します。 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書(ISBN)]
書籍名:教室の未来を拓く タブレットPCで育む豊かな学びの手引き: 学びの変革をもたらすタブレットPCの教室革命 著者名:編者:山崎宣次 著者:加藤直樹、及川浩和他 出版社名:Amazon Kindle ISBN:979-8301212710

科目名	Basic Writing Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	Narrative Writing を通してAcademic Writing への応用力をつけよう!	演習	
担当者	水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
自分や他者が体験した出来事を「5W1H」で整理し、他者に分かりやすく説明する Narrative Writing の知識・技能を磨く。

[授業概要]
Narative Writing の書き方を学び、学んだことを活用して「自伝」を執筆する。書いた自伝を教室でクラスメートと互いに読み合い語り合う。また、書いたものを Interactive Writing Community (IWC) というサイトに投稿し、ネット上でも互いに読み合い語り合う。学期末に、各自が執筆した自伝を一冊の冊子としてまとめ、大学時代の思い出の作品として残す。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
予習　Narrative Writing の書き方を活用して自らの自伝を執筆する
復習　開発した Spaced Repetition System を利用して学んだチャンク表現をスラスラ言えるまで音読し暗記する

[授業計画]
1. オリエンテーション (Narrative Writing の書き方について学ぶ)
2. 誕生①
3. 誕生①
4. 保育園・幼稚園時代②
5. 保育園・幼稚園時代②
6. 小学校時代③
7. 小学校時代③
8. 中学校時代④
9. 中学校時代④
10. 高校時代⑤
11. 高校時代⑤
12. 将来を語る⑥
13. ELPA テスト

科目名	Basic Writing Ⅰ	前期	1 単位
サブタイトル	Narrative Writing を通してAcademic Writing への応用力をつけよう!	演習	
担当者	水野　邦太郎		

[成績評価方法]
チャンクテストの総スコア (50%)
原稿の質と量 (50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中及び、manaba 掲示板、Padlet を利用して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:チャンクテストの総スコア
原稿の質と量

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:チャンクテストの総スコア
原稿の質と量

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:チャンクテストの総スコア
原稿の質と量

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:チャンクテストの総スコア
原稿の質と量

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:チャンクテストの総スコア
原稿の質と量

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:チャンクテストの総スコア
原稿の質と量

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	Basic Writing Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル	Introduction to Academic Writing	演習	
担当者	水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.学期末までに、全員が TOEFL のエッセイ・ライティングで 4.5 以上のスコアの
エッセイを書けるようになる。
2.TOEFL のエッセイ・ライティングの書き方を学ぶことを通じて、アカデミック・ライティングの基礎知識とスキルを身につける。
3.Interactive Writing Community Project への参加を通して英語を「人と人との絆を結ぶ言葉」として使用し「本モノの表現活動」を実践する。

[授業概要]
TOEFL のエッセイ・ライティングで 4.5 以上のスコアを取得するために必要なライティングに関する知識とスキルを養成する。ライティングの力を伸ばすには英文を多く書く経験が必要である。そこで、授業の時間外に Interactive Writing Community (IWC) Project に参加し、インターネットを介して世界中の大学生とエッセイを「書く」「読み合う」「コメントを書き合う」ことを通して国境を越えたコミュニケーションを経験し、英語で書くことに慣れる。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎週、予習復習合わせて4時間程度。
IWC Project に参加してエッセイやコメントを投稿する。
自分のエッセイのスコアの理由を省察し Reflective Report を執筆する。

[授業計画]
1.TOEFLの「ライティング評価基準」を参照しながら各段階評価のエッセイを読み、「4.5 以上」の評価を得られるエッセイとはどのようなエッセイかを理解し、自分に不足している知識・スキルや能力は何であるかを考え自覚する
2.テクストタイプの4 大類型 : EDNA (Expository、 Descriptive、 Narrative、 Argumentative)、全てのテクストタイプを書く上で大事な 3 要素: TWE (Topic-Oriented、 Wanted-to-be-read、 Exciting)、3Cs (conciseness、 clearness、 character)
3.アウトラインの作成方法: KJ法、Mutually Exclusive and Collectively Exhaustive (MECE)
4.語彙力・文法力の高め方: 英借文の理論 (認知言語学における使用基盤モデル)と実践
5.The Strategy of 30 minutes、Argumentative Essay の問題の「4種類」のタイプ (Type 1 ~ 4)
6.Argumentative Essay: Type1: Discuss both sides and choose a position. 前半 (Type 1 の展開パターン、定型表現、文法上の特色)、後半 30分 (Type 1 のエッセイを執筆し授業のサイトに投稿する)
7.Argumentative Essay: Type 2: Take a position. 前半 (Type 2 の展開パターン、定型表現、文法上の特色)、後半30分 (Type 2 のエッセイを執筆し授業のサイトに投稿する)
8.Argumentative Essay: Type 3: Agree or disagree. 前半 (Type 3 の展開パターン、定型表現、文法上の特色)、後半30分 (Type 3 のエッセイを執筆し授業のサイトに投稿する)
9.Argumentative Essay: Type 4: 5W1H questions. 前半 (Type 4 の展開パターン、定型表現、文法上の特色)、後半30分 (Type 4 のエッセイを執筆し授業のサイトに投稿する)
10.Descriptive Essay: 前半 (Descriptive の展開パターン、定型表現、文法上の特色)、後半30分 (Descriptive Essay を執筆し授業のサイトに投稿する)
11.Narrative Essay: 前半 (Narrative の展開パターン、定型表現、文法上の特色)、後半30分 (Narrative Essay を執筆し授業のサイトに投稿する)
12.Comparison-Contrast Essay: 前半 (Comparison-Contrast の展開パターン、定型表現、文法上の特色)、後半30分 (Comparison-Contrast Essay を執筆し授業のサイトに投稿する)
13.Final exam: 前半 (TOEFL の Argumentative Essay を書く)、後半 (授業全体のふりかえり)

科目名	Basic Writing Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル	Introduction to Academic Writing	演習	
担当者	水野　邦太郎		

[成績評価方法]
第6回～第13回の各回で執筆するエッセイのスコア (50%)、定型表現・コロケーションの暗記テスト (20%)、Interactive Writing Community Project にどれだけ積極的に参加しインタラクティブな対話をしたか (30%)。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
執筆したTOEFL のエッセイは以下のサイトに投稿する。
(http://133.130.75.57/iwc/TOEFL/2008s/index.shtml)
エッセイは、TOEFLの「ライティング評価基準」に従って評価され、スコアが表示される。
Interactive Writing Community Project の以下のサイトにアクセスし、エッセイを投稿する
(http://133.130.75.57/iwc/IWC/index_2008s.html)。IWC プロジェクトに参加する世界中の学生からインタラクティブにコメントがフィードバックされる。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:エッセイの質と量
定型表現・コロケーションの暗記テスト
IWC プロジェクトへの貢献度

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:エッセイの質と量
定型表現・コロケーションの暗記テスト
IWC プロジェクトへの貢献度

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:エッセイの質と量
定型表現・コロケーションの暗記テスト
IWC プロジェクトへの貢献度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:エッセイの質と量
定型表現・コロケーションの暗記テスト
IWC プロジェクトへの貢献度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:エッセイの質と量
定型表現・コロケーションの暗記テスト
IWC プロジェクトへの貢献度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:エッセイの質と量
定型表現・コロケーションの暗記テスト
IWC プロジェクトへの貢献度

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	保育原理	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
保育という営みの全般について理解することを目的に、保育にかかる全ての基盤を網羅し、それぞれの専門分野へ発展する基盤を築くことを目指す。

[授業概要]
現代は、子どもをめぐる環境の大きな変革期であると捉えることができる。少子化対策や待機児童の増加、地域の子育て支援という言葉に代表されるようなさまざまな課題や、基本的生活習慣が身につきにくい、運動能力・コミュニケーション能力の低下、気になる子どもの存在など、といった子どもの育ちの変化に関する問題がある。このような状況のなかで、人格形成に大きく寄与する保育という営みについて、「保育とは何か」を現状に照らし合わせながら、広い視点から深く捉えていく必要がある。その際、手がかりとなるのが「保育原理」である。
本授業では、保育全般について理解し、今後その他の専門科目において学んでいく、それぞれの専門分野へ発展する基盤を築く。具体的には、保育の意味や制度、保育の基本、保育の目標と方法、保育の思想と歴史、子ども理解、子育て支援、保育の現状と課題などについて学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度、演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、保育の意味と意義
2. 保育の制度と場1(保育所・幼稚園)
3. 保育の制度と場2(認定こども園・家庭的保育・多様な保育)
4. 児童福祉と保育所保育の理念
5. 保育の目標と方法
6. 保育の環境
7. 保育のねらいと内容
8. 三つの柱と三つの視点
9. 発達と保育
10. 保育の思想と歴史1
11. 保育の思想と歴史2
12. 諸外国や日本における保育の現状と課題・展望
13. まとめ

科目名	保育原理	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	三宅　茂夫		

[成績評価方法]
まとめ（80%）
レポート課題（10%）
発表（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
「まとめ」の後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：まとめ、レポート課題、発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的・多面的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：まとめ、レポート課題、発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員・保育者として、使命感や責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：レポート課題、発表を総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート課題、発表を総合的に評価する。

[教科書（ISBN）]
書籍名:【第4版】新・保育原理　すばらしき保育の世界へ 著者名:三宅茂夫／編　小川圭子／〔ほか執筆〕 出版社名:みらい
ISBN:9784860154301

[参考書（ISBN）]
書籍名:保育所保育指針解説　平成30年3月 著者名:厚生労働省／編 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814482

科目名	保育実習Ⅰ	前期～後期	4 単位
サブタイトル	施設の機能および子どもの発達・保育の実際を学ぶ	実習	
担当者	石田　裕子、三宅　茂夫、大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.保育所を含む児童福祉施設等の役割や機能を具体的に理解するようになる
2.観察や子どもとの関わりを通して子どもへの理解を深める
3.保育の計画・観察・記録及び自己評価等について具体的に理解しようとする
4.保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ

[授業概要]
保育所（園）10日間、保育所（園）を除く児童福祉施設10日間の現場実習は、第一に健康・安全面に注意して、理論を実践に結び、深い学びとする、第二は以下の点について具体的な学びを主体的に行う。
1.保育所（園）、および保育所（園）を除く児童福祉施設の目的、役割、機能、入所児の一般的な特徴を学ぶ。
2.実習の目的. 実習の課題を確実に遂行する。
3.日々の実習課題に対して、目標を達成するために実習中にどのようなことに心がけたらいいのかを考えて行動する。
4.保育の計画・観察・記録及び自己評価について具体的に理解する。
5.保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ぶ。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
保育指導計画案作成（0・1・2・3・4・5歳児、異年齢児）
保育教材の準備
児童福祉施設に関しての機能や役割の予習・復習

[授業計画]
保育所（園）10日間、保育所（園）を除く施設10日間の現場実習
実習中に求められることとして、以下の視点で実習にのぞむこと
1.乳幼児や就学児童の発達と保育の実際について年齢ごとに理解する。
2.乳幼児や就学児童の個性や発達の個人差を理解して配慮して柔軟的な保育が出来る。
3.観察の着目点を理解して、乳幼児や就学児童の実際から正確に記録記述する。
4.保育指導計画案を立てた上で参加・責任実習を行う。
5.個々の実習先施設の沿革や地域性、実習先の職員構成、機能と役割を理解する。
6.守秘義務遂行の重要性について再確認し、実習中の心構えとマナーを守る。
7.感謝の気持ちを忘れずに積極的且つ謙虚な態度で過ごす。

科目名	保育実習Ⅰ	前期～後期	4 単位
サブタイトル	施設の機能および子どもの発達・保育の実際を学ぶ	実習	
担当者	石田　裕子、三宅　茂夫、大西　雅裕		

[成績評価方法]
実習評価80%
巡回訪問時評価20%
・実習施設や、実習生との面談により総合的に評価する

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	保育実習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	専門的実践力の向上	実習	
担当者	石田　裕子、三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
保育実習Ⅰで学んだ保育所や社会福祉施設での事前・事中・事後の学習をもとに自己課題を明確化し、保育所保育に関する知識や理解の一層の深化を図るとともに、保育者として必要な専門的実践力および保育者にふさわしい態度の修得を目標とする。

[授業概要]
保育実習Ⅱ(保育所10日間)は選択必修である。
学内でのオリエンテーションと事前事後学習を含む保育実習指導Ⅱと保育現場における保育実習Ⅱ(保育所)10日間の実習を行なうことにより2単位を修得できる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
保育実習Ⅰを基盤として、自己課題を明らかにすること。

[授業計画]
保育所(園)10日間の現場実地実習
実習中に求められることとして、以下の視点で実習にのぞむこと
1. 乳幼児の発達と保育の実際について年齢ごとに理解する。
2. 乳幼児の個性や発達の個人差を理解して配慮して柔軟的な保育ができる。
3. 観察の着目点を理解して、乳幼の実際から正確に記録記述する。
4. 保育指導計画案を立てた上で参加・責任実習を行う。
5. 個々の実習先施設の沿革や地域性、実習先の職員構成、機能と役割を理解する。
6. 守秘義務遂行の重要性について再確認し、実習中の心構えとマナーを守る。
7. 感謝の気持ちを忘れずに積極的且つ謙虚な態度で過ごす。

科目名	保育実習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	専門的実践力の向上	実習	
担当者	石田　裕子、三宅　茂夫		

[成績評価方法]
実習評価80%　巡回訪問時評価20%
・実習施設や、実習生との面談により総合的に評価する

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実習評価　巡回訪問時評価

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	保育実習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	専門的実践力の向上	実習	
担当者	三宅　茂夫、石田　裕子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	◯

[到達目標]
保育実習Ⅰで学んだ保育所や社会福祉施設での事前・事中・事後の学習をもとに自己課題を明確化し、保育所保育に関する知識や理解の一層の深化を図るとともに、保育者として必要な専門的実践力および保育者にふさわしい態度の修得を目標とする。

[授業概要]
保育実習Ⅱ(保育所10日間)は選択必修である。
学内でのオリエンテーションと事前事後学習を含む保育実習指導Ⅱと保育現場における保育実習Ⅱ(保育所)10日間の実習を行なうことにより2単位を修得できる。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
保育実習Ⅰを基盤として、自己課題を明らかにすること。

[授業計画]
保育所(園)10日間の現場実地実習
実習中に求められることとして、以下の視点で実習にのぞむこと
1.乳幼児の発達と保育の実際について年齢ごとに理解する。
2.乳幼児の個性や発達の個人差を理解して配慮して柔軟的な保育ができる。
3.観察の着目点を理解して、乳幼の実際から正確に記録記述する。
4.保育指導計画案を立てた上で参加・責任実習を行う。
5.個々の実習先施設の沿革や地域性、実習先の職員構成、機能と役割を理解する。
6.守秘義務遂行の重要性について再確認し、実習中の心構えとマナーを守る。
7.感謝の気持ちを忘れずに積極的且つ謙虚な態度で過ごす。

科目名	保育実習Ⅱ	後期	2 単位
サブタイトル	専門的実践力の向上	実習	
担当者	三宅　茂夫、石田　裕子		

[成績評価方法]
実習評価80%　巡回訪問時評価20%
・実習施設や、実習生との面談により総合的に評価する

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:実習評価及び巡回訪問時の評価をもとに総合的に行う。

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:実習評価及び巡回訪問時の評価をもとに総合的に行う。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:実習評価及び巡回訪問時の評価をもとに総合的に行う。

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:実習評価及び巡回訪問時の評価をもとに総合的に行う。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価及び巡回訪問時の評価をもとに総合的に行う。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実習評価及び巡回訪問時の評価をもとに総合的に行う。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:実習評価及び巡回訪問時の評価をもとに総合的に行う。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実習評価及び巡回訪問時の評価をもとに総合的に行う。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実習評価及び巡回訪問時の評価をもとに総合的に行う。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	保育実習Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
保育所以外の児童福祉施設の養護を、実際に実践することによって、保育士としての必要な資質、能力の習得及び子育て支援能力を習得できる。

[授業概要]
保育実習Ⅰにおいて、学習し、実習した保育所、その他の児童福祉施設の学びを基盤として、その上にその他の児童福祉施設で保育実習Ⅲを実施することで、子育て、子育ち支援を中心に保育士として必要な児童福祉実践の技術、能力を涵養する。
履修者は、年度当初に保育実習Ⅱと保育実習Ⅲとの選択によって決定する。
＜10名を上限にする＞

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
保育実習Ⅰを踏まえ、その上に保育実習Ⅲを積み上げることである。それ故に保育実習での学修を十分に振り返っておくこと。

[授業計画]
保育実習Ⅲでは、保育所以外の児童福祉施設及び社会福祉施設にて、10日間の日程で保育実習が行われる。もちろん保育実習Ⅰでの実習経験の上に、保育士としての専門性をより深いレベルでの実践が求められる。またその上に実習施設の対象者においても、保育実習Ⅰで行ったような児童を中心として障がいのある大人の方も対象となっていたが、保育実習Ⅲでは、より幅の広い対象者を対象としてすることができる。
本実習を選択した学生には、まず保育実習Ⅰでの実習体験の上に、各自の実習における目的、方法、価値観、倫理観等々、専門職としての保育士に今後求められる課題を、より具体的目標として実習に挑み、また、今日的な施設の置かれている状況、施設利用者とその家族との関係把握、地域社会との連携等々について意欲的に実習に取り組みを実施していただく。
この実習を踏まえて保育実習指導Ⅲにおいて振り返りを行い、専門職としての技術、知識、価値観等を涵養することとなる。

科目名	保育実習Ⅲ	後期	2 単位
サブタイトル		実習	
担当者	大西　雅裕		

[成績評価方法]
実習記録(50%)と実習評価等(50%)での総合評価を行う。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:実習記録および実習施設訪問指導等での評価

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:実習記録および実習施設訪問指導等での評価

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:実習記録および実習施設訪問指導等での評価

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:実習記録および実習施設訪問指導等での評価

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:実習記録および実習施設訪問指導等での評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:実習中の訪問と実習記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:実習中の訪問と実習記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:実習中の訪問と実習記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:実習中の訪問と実習記録

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:実習中の訪問と実習記録

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	保育実習指導Ⅰ（施設）	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1. 保育実習の意義・目的を理解する。
2. 実習の内容を理解し、自らの実習の課題を明確にする。
3. 実習施設における子どもの人権と最善の利益の考慮、プライバシーの保護と守秘義務等について理解する。
4. 実習の計画・実践・観察・記録・評価の方法や内容について具体的に理解する。
5. 実習の事後指導を通して、実習の総括と自己評価を行い、今後の学習に向けた課題や目標を明確にする。

[授業概要]
本授業は、3回生前期の保育実習指導Ⅰ保育所の継続としてある授業である。そして保育実習（施設）その他の児童福祉施設への実習科目の事前指導、事後指導の役割を担っている。到達目標に掲げている5項目の達成に向けて、施設に従事する保育士として必須となる理念、視座、方法、技術様々について、種々な方法を用いて指導する。そのために積極的な学習態度で何事も対応することを求める。一回、一回設定されている授業は、どれも実習を実施するためには非常に重要である。そのために、やも終えない事情以外　欠席、遅刻、早退は認めない。
必ず授業に出席し、主体的態度で受講することを求める。
もし欠席等があった場合、そのことを振り返り、今後の方針、目標等を記述したレポートを課す。かならず次の週に授業で提出するように。
　授業の性格から、各学生への十分な個別的指導が必要となるために、4回生先輩による授業補助を行う。先輩としての立場から学生への対応をし、より効果的な学習が展開できるようにする。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
・常に主体的に学習態度で臨んでください。
・前期の保育実習指導Ⅰ保育所及び保育所実習を踏まえて、その延長線上にある後期の児童福祉施設実習にむけて、十分にリフレクションしておいてください。

[授業計画]
1.施設実習オリエンテーション
2. 夏実習のリフレクション①
3. 実習対象施設の理解（児童養護施設、乳児院等）
4. 実習対象施設の理解（障害児施設等）
5. 実習対象施設の理解（児童福祉施設等　外部特別講師）
6. 児童養護施設での実際①記録の方法
7. 児童福祉施設での実習②記録の方法
8. 身上書、実習課題の具体化①
9. 身上書、実習課題の具体化②
10. 身上書、実習課題の具体化③
11. 実習直前オリエンテーション
12. 実習に際しての留意事項
13. まとめ、事後実習指導（自己評価等）

科目名	保育実習指導Ⅰ（施設）	後期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[成績評価方法]
授業内での課題提出物「レポート」（80%）、科目最終レポート（20%）によって評価します。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内での提出物は基本、返却しフィードバックします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会および組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	保育実習指導Ⅰ（保育所）	前期	1 単位
サブタイトル	実習の目的と意義の理解	演習	
担当者	石田　裕子、三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
3回生までに学んだ保育の理論や演習・実習などによって修得した技能などをもって、実際の保育現場を観察・体験することで、保育に携わる専門職の目的や価値、倫理などについて理解と自覚を深める。また、多様な経験のなかで、保育者としての使命感や実践力の基礎を一層高めることを目標とする。

[授業概要]
本授業は保育士としての専門性を修得するために実施される保育実習の事前・事中・事後において必要となる事項を指導・支援することを目的とする。
事前指導として、保育実習（保育所10日間、施設10日間）に備え、実習生が実習を円滑に、かつ高い効果をあげることが可能となるよう詳細な指導を行う。
実習を通して、これまでに修得した理論学習をより確実なものとし、子どもとの直接的なかかわりを通して実践力を高めていけるよう、実習前、実習中の活動について学習し、自己理解力や自己洞察力を深める。
実習終了後に、事後指導として保育実習前から保育実習終了までの総括・評価を行い、各自の実習体験を多面的に振り返り今後の学習課題を明確にする。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
ボランティアなどで、できるだけ保育の現場で実践する機会を得ること。
毎回、予習、復習、実践合わせて4時間程度

[授業計画]
1. 実習の目的と意義、実習生の立場の理解
2. 保育所制度や保育所の機能、入所児童などの理解
3. 実習記録・観察記録の記入法
4. 乳児期及び低年齢児期の指導計画
5. 幼児期の指導計画
6. 実習課題と実習への見通し
7. 教材研究と教材開発
8. 実習の目標設定　および身上書作成
9. 保育所見学（乳児及び低年齢児）（学外）
10. 保育所見学（幼児）（学外）
11. 保育所見学振り返り
12. 実習直前の注意とマナー、トラブルへの対応など
13. 保育所実習の振り返りと自己課題の明確化

科目名	保育実習指導Ⅰ（保育所）	前期	1 単位
サブタイトル	実習の目的と意義の理解	演習	
担当者	石田　裕子、三宅　茂夫		

[成績評価方法]
講義への参加態度（50%）
提出物及び知識確認評価（50%）
・講義への参加態度は積極的発言、プレゼンテーションで、評価する
・提出物及び知識確認評価、提出物の期限、内容で総合評価する。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業内か翌回に解説・指導を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：提出物及び知識確認評価

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：積極的発言、プレゼンテーション
提出物及び知識確認評価

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：講義への参加態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：講義への参加態度（積極的発言、プレゼンテーション）
提出物及び知識確認評価、提出物の期限、内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：提出物及び知識確認評価、提出物の期限、内容

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：提出物及び知識確認評価、内容

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	保育実習指導Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル	保育観の構築と実践力向上	演習	
担当者	石田　裕子、三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
保育実習Ⅰでの経験をふまえて、実践力をさらに磨き、子どもの発達や特性を理解して、保育を創造し保育観を構築する。

[授業概要]
4年間の総合的な学びから、保育指導計画を立案してPDCAサイクルによって、保育の質と保育者の質の向上を目指す。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
手作りの保育教材の制作や、保育園の各年齢群における保育指導案を作成する。各自の課題を明確にし、その改善に向けて行動すること。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.保育実習Ⅰでの経験を基盤として、自己課題を明らかにする
2..保育実習Ⅰでの経験を基盤として、自己課題改善に向けたワークシートの作成
3.保育実習Ⅰ報告会（グループ）
4.実習報告会全体会
5.保育実習Ⅱに向けて
6.保育実習Ⅱ必要書類作成
7.保育実習Ⅱ目標指導
8.直前指導、実習に関する諸注意
9.実習の振り返り(自己評価)
10実習の振り返り（これからの課題）
11.保育者に必要な資質について1（グループミーティング）
12保育者に必要な資質について2（発表）
13実習報告会

科目名	保育実習指導Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル	保育観の構築と実践力向上	演習	
担当者	石田　裕子、三宅　茂夫		

[成績評価方法]
提出物(50%)　授業参加態度(50%)
提出物は形式、期限　内容をふまえて評価する
授業参加態度は発言、グループワークの内容もふまえて評価する

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内か翌回に解説・指導を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:提出物　授業参加態度

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:提出物　授業参加態度

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:提出物　授業参加態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:提出物　授業参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出物　授業参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:提出物　授業参加態度

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	保育実習指導Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル	保育観の構築と実践力向上	演習	
担当者	三宅　茂夫、石田　裕子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	◯

[到達目標]
保育実習Ⅰでの経験をふまえて、実践力をさらに磨き、子どもの発達や特性を理解して、保育を創造し保育観を構築する。

[授業概要]
4年間の総合的な学びから、保育指導計画を立案してPDCAサイクルによって、保育の質と保育者の質の向上を目指す。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
手作りの保育教材の制作や、保育園の各年齢群における保育指導案を作成する。各自の課題を明確にし、その改善に向けて行動すること。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.保育実習Ⅰでの経験を基盤として、自己課題を明らかにする
2.保育実習Ⅰでの経験を基盤として、自己課題改善に向けたワークシートの作成
3.保育実習I報告会(グループ)
4.実習報告会全体会
5.保育実習Ⅱに向けて
6.保育実習Ⅱ必要書類作成
7.保育実習Ⅱ目標指導
8.直前指導、実習に関する諸注意
9.実習の振り返り(自己評価)
10実習の振り返り(これからの課題)
11.保育者に必要な資質について1(グループミーティング)
12.保育者に必要な資質について2(発表)
13.実習報告会

科目名	保育実習指導Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル	保育観の構築と実践力向上	演習	
担当者	三宅　茂夫、石田　裕子		

[成績評価方法]
提出物50%　授業参加態度50%
・提出物に関しては期限、内容について総合的に評価する。
・授業参加態度に関しては、積極的発言、態度について評価する。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業内か翌回に解説・指導を行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:提出物について評価する。

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:提出物について評価する。

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:提出物及び授業参加態度を総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:提出物及び授業参加態度を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:提出物及び授業参加態度を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:提出物について評価する。

[教科書(ISBN)]
書籍名:教育・保育カリキュラム論 著者名:田中亨胤／編　三宅茂夫／編 出版社名:みらい ISBN:9784860154783
書籍名:保育所保育指針解説　平成30年3月 著者名:厚生労働省／編 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814482

[参考書(ISBN)]
書籍名:幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説　平成30年3月 著者名:内閣府／〔著〕 文部科学省／〔著〕 厚生労働省／〔著〕 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814499

科目名	保育実習指導Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	保育所以外の児童福祉施設およびその他の社会福祉施設での実習指導（事前事後指導）	演習	
担当者	大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
児童福祉施設での養護全体について参加して、施設の現状を理解し、事前事後の授業を通して、養護技術を習得する。
子ども（利用者）の個人沙、子ども（利用者）のニーズについて理解し、その対応方法を習得する。
地域社会との連携について具体的状況を理解する。

[授業概要]
保育実習Ⅰ・保育実習指導Ⅰを踏まえて、保育実習指導Ⅲでは、児童福祉施設の現状の理解を深め、社会福祉援助のあり方を理解することを目標として、学生の主体的学びを支援し、実践的方法を用いて、実習に向けて、また実習後の振り返りを中心として、児童福祉施設での支援実践活動について種々の方法を用いて学習する。
履修者は、年度当初に保育実習Ⅱと保育実習Ⅲとの選択によって決定する。
＜10名程度を上限にする＞
※当該年度の春休み期間において、保育実習Ⅰと保育実習Ⅲとの間に一日帰校日を設けて、授業を行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
実習施設数等の関係もあり、面接後に選抜を行う。
常に「児童の最善の利益」とは何かについて、種々のメディア情報から情報収集を行い、普段から自らの理念を深めるように心がけるようにしてください。

[授業計画]
状況の応じて、集中で授業を実施する場合がある。
1. イントロダクション
2. 児童福祉施設体系について理解する
3. 児童養護施設。乳児院について現状を理解する
4. 障害児施設等について現状を理解する
5. 保育実習Ⅰでの施設実習について振り返る帰校日①
6. 保育実習Ⅰでの施設実習について振り返る帰校日②
7. 保育実習Ⅰでの施設実習について振り返る帰校日③
8. 保育実習Ⅰでの施設実習について振り返る帰校日④
9. 保育実習Ⅰでの施設実習について振り返る帰校日⑤
10. 保育実習Ⅲでの振り返り①
11. 保育実習Ⅲでの振り返り②・発表
12. 保育実習Ⅲでの振り返り③と発表、
13. まとめ

科目名	保育実習指導Ⅲ	前期	1 単位
サブタイトル	保育所以外の児童福祉施設およびその他の社会福祉施設での実習指導（事前事後指導）	演習	
担当者	大西　雅裕		

[成績評価方法]
実習修了後の振り返りについての発表（80%）と施設の実習評価等で評価（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業を通して、課題レポートを課す。また事後実習としての振り返り時間を通して学習効果を面談等の個別指導を実施する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：授業中のレポート及び実習記録からの評価

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：授業中のレポート及び実習記録からの評価

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：授業中のレポート及び実習記録からの評価

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のレポート及び実習記録からの評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業中のレポート及び実習記録からの評価

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業中のレポート及び実習記録からの評価

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	保育実践演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1. 4年間保育士課程で学んだこと全体を通して、保育士として必要な保育に関する専門的知識および技術、幅広く深い教 養及び総合的な判断力、専門職としての倫理観等が習得、形成されたか、自らの学びを振り返り把握する。
2. 保育実習等を通じた自らの体験や収集した情報に基づき、保育に関する現代的課題についての現状を分析し、その課題への対 応として保育士、保育の現場、地域、社会に求められることは 何か、多様な視点から考察する力を習得する。
3. 1及び2を踏まえ、自己の課題を明確化し、保育の実践に際して必要となる基礎的な資質・能力の定着をさせる。

[授業概要]
主にグループワークを通して、それぞれの学びを共有し、深めていく。プレゼンテーション自然体で共有化を図っていく。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎回のテーマについての振り返り、予習を行う。また授業時間外でのグループでの取り組みに参加すること。毎回前後4時間程度

[授業計画]
1.オリエンテーション　保育士になるための学びの体系
24年間の.学びの振り返り①
34年間学びの振り返り②
4.グループでのまとめ、発表①
5.グループでのまとめ　発表②
6.社会人の基礎力　グループディスカッション
7.保育士としての基礎力について考える。倫理、価値、知識　技術に関するワーク1
8.保育士としての基礎力について考える。倫理、価値、知識　技術に関するワーク2
9.基礎力についてプレゼンテーション
10保育士としての資質と能力の整理
11.保育士としての資質と能力の整理
12.グループ発表・相互評価
13.グループ発表　まとめ

科目名	保育実践演習	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[成績評価方法]
1授業への積極的姿勢（グループ内での相互評価）20%
2発表内容　学生及び教員評価　80%

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
学生相互の評価によって行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	保育者論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
児童福祉法に示される保育士の定義や、保育に求められる今日的課題などを踏まえ、子どもの保育と保護者支援を担う保育士の専門性について理解を深めることを目標とする。

[授業概要]
子どもを取り巻く環境の急激な変化は、子どもの生活や保護者の子育て、保育のあり方を変化させ、その対応をより困難なものにしている。それらの状況に対して、社会は保育所の役割や機能を明確にし、地域における保育の専門機関として社会的責任を果たすことを求めている。むろん、そこで従事する保育士に対しても、保育現場で求められる多様な課題に対応できる高い専門性が求められることから、養成段階において保育士の役割と責務、制度的位置づけ、及び多様な専門性をもった保育者(看護師・栄養士等)との協働などについて学ぶことが重要となる。
本授業では、保育者の役割や倫理、制度的な位置づけ、専門性をはじめ、保育者の協働や専門職的成長などについて学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度　演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、保育者とは
2. 保育者の社会的位置づけ
3. 保育者の哲学
4. 保育者の資質・能力
5. 保育者の専門性
6. 保育者の養成
7. 保育者の業務
8. 保育者間の協働
9. 保護者に対する理解と支援
10. 専門機関との連携
11. 保育者の成長
12. 現代の望ましい保育者像とこれからの保育者に求められるもの
13. まとめ

科目名	保育者論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	三宅　茂夫		

[成績評価方法]
まとめ（80%）
課題及び発表（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
「まとめ」の後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：課題及び発表、まとめを総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：課題及び発表、まとめを総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法：課題及び発表総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：課題及び発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題及び発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題及び発表を総合的に評価する。

[教科書（ISBN）]
書籍名:【第4版】新・保育原理　すばらしき保育の世界へ 著者名:三宅茂夫／編　小川圭子／〔ほか執筆〕 出版社名:みらい ISBN:9784860154301

[参考書（ISBN）]
書籍名:保育所保育指針解説　平成30年3月 著者名:厚生労働省／編 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814482

科目名	保育内容　健康	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
幼児期における運動遊びのねらいと内容について理解する。心と体の健康維持・増進を重点におき、発達段階や安全に配慮した運動遊びに必要な基礎的技能を習得する。子どもたちの自主性・主体性を核とした運動支援方法の知識を深める。

[授業概要]
・講義とそれに基づく課題についてのディスカッションおよび実技を中心に展開する。
・実習を中心とするので、積極的に自らが運動遊びを楽しむ。
・実践者、幼児役それぞれの観点からの議論を行う。
・グループ学習によって、相互理解を深める活動を行う。
・資料は適宜配布する。
・レポート課題については、次回授業で全体に対してフィードバックを行う。
・最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
・関連性を持って、講義を進行していくので、前回の授業内容について復習する。
・ニュースを注視し、幼児の運動についての問題点や疑問点を常に持つように心がけること。
・文部科学省『幼児期運動指針』を読んでおくこと。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回 オリエンテーション（幼稚園教育要領、こども園教育・保育要領、保育指針について）
第2回　実技①体育あそびの実際　からだを使ったあそび
第3回　実技②体育あそびの実際　用具を使ったあそび　ボール運動
第4回　実技③体育あそびの実際　フープ、なわを使ったあそび
第5回　実技④体育あそびの実際　マット、とび箱
第6回　実技⑤体育あそびの実際　運動会種目（競技種目、表現・リズム種目、レクリエーション種目）
第7回　理論・実技⑥保育指導案作成、模擬保育について
第8回　実技⑦模擬保育①　3歳児対象
第9回　実技⑧模擬保育②　4歳児対象
第10回　実技⑨模擬保育③　5歳児対象
第11回　実技⑩模擬保育④　異年齢対象
第12回　理論②幼児体育の意義と役割、幼児体育指導上の留意事項
第13回　まとめ、フィードバック（情報通信機器の活用についても含む）

科目名	保育内容　健康	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
授業参加度、授業態度（50%）、ワークブック（30%）、模擬保育（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中やmanabaを通して行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：授業参加度、授業態度、ワークブック、模擬保育

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：授業参加度、授業態度、ワークブック、模擬保育

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：授業参加度、授業態度、ワークブック、模擬保育

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度、授業態度、ワークブック、模擬保育

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度、授業態度、ワークブック、模擬保育

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業参加度、授業態度、ワークブック、模擬保育

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業参加度、授業態度、ワークブック、模擬保育

[教科書（ISBN）]
書籍名:幼児が楽しむ運動遊びの作り方 著者名:山内紀幸 出版社名:一藝社 ISBN:9784863592759

[参考書（ISBN）]

科目名	保育内容　健康	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
幼児期における運動遊びのねらいと内容について理解する。心と体の健康維持・増進を重点におき、発達段階や安全に配慮した運動遊びに必要な基礎的技能を習得する。子どもたちの自主性・主体性を核とした運動支援方法の知識を深める。

[授業概要]
・講義とそれに基づく課題についてのディスカッションおよび実技を中心に展開する。
・実習を中心とするので、積極的に自らが運動遊びを楽しむ。
・実践者、幼児役それぞれの観点からの議論を行う。
・グループ学習によって、相互理解を深める活動を行う。
・資料は適宜配布する。
・レポート課題については、次回授業で全体に対してフィードバックを行う。
・最終授業で全体に対するフィードバックを行う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
・関連性を持って、講義を進行していくので、前回の授業内容について復習する。
・ニュースを注視し、幼児の運動についての問題点や疑問点を常に持つように心がけること。
・文部科学省『幼児期運動指針』を読んでおくこと。
各回、予習復習合わせて2時間程度

[授業計画]
第1回 オリエンテーション（幼稚園教育要領、こども園教育・保育要領、保育指針について）
第2回　実技①体育あそびの実際　からだを使ったあそび
第3回　実技②体育あそびの実際　用具を使ったあそび　ボール運動
第4回　実技③体育あそびの実際　フープ、なわを使ったあそび
第5回　実技④体育あそびの実際　マット、とび箱
第6回　実技⑤体育あそびの実際　運動会種目（競技種目、表現・リズム種目、レクリエーション種目）
第7回　理論・実技⑥保育指導案作成、模擬保育について
第8回　実技⑦模擬保育①　3歳児対象
第9回　実技⑧模擬保育②　4歳児対象
第10回　実技⑨模擬保育③　5歳児対象
第11回　実技⑩模擬保育④　異年齢対象
第12回　理論②幼児体育の意義と役割、幼児体育指導上の留意事項
第13回　まとめ、フィードバック（情報通信機器の活用についても含む）

科目名	保育内容　健康	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
授業参加度、授業態度（50%）、ワークブック（30%）、模擬保育（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中やmanabaを通して行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：授業参加度、授業態度、ワークブック、模擬保育

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：授業参加度、授業態度、ワークブック、模擬保育

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：授業参加度、授業態度、ワークブック、模擬保育

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度、授業態度、ワークブック、模擬保育

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：授業参加度、授業態度、ワークブック、模擬保育

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：授業参加度、授業態度、ワークブック、模擬保育

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：授業参加度、授業態度、ワークブック、模擬保育

[教科書（ISBN）]
書籍名:幼児が楽しむ運動遊びの作り方 著者名:山内紀幸 出版社名:一藝社 ISBN:9784863592759

[参考書（ISBN）]

科目名	保育内容　言葉	前期	2 単位
サブタイトル	乳幼児と育む豊かなコミュニケーション	演習	
担当者	隠岐　厚美		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
乳幼児の言葉を育む環境つくりと保育者の援助を理解する。
言葉を育む児童文化財に関する知識と保育実践に向けての基礎的技術を身につける

[授業概要]
児童文化財に関する知識と実践に向けての基礎的保育技術を身につくよう、さまざまな児童文化に親しむ。
後半は、「保育内容　表現」とのリエゾン授業となり、この授業では創作ペープサートの台本・演出（音響効果を含む）を行い、高倉台幼稚園で発表する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の授業についての予習復習を行うこと（各回、予習・復習合わせて4時間程度）。

後半は、授業外での準備も多くなります

[授業計画]
1.児童文化財について
2.わらべ歌の魅力と実践
3.ことば遊びの魅力と実践
4.絵本と紙芝居の魅力と実践　―ICT教材を用いて―
5.お話しづくり1　-幼児にふさわしい題材を考える-
6.お話しづくり2　-幼児にふさわしい物語構造を考える-
7.グループ活動1　ペープサートを使った創作劇
8.グループ活動2　ペープサートを使った創作劇
9.グループ活動3　ペープサートを使った創作劇
10.グループ活動4　ペープサートを使った創作劇
11.グループ活動5　ペープサートを使った創作劇
12.作品発表会のリハーサル
13.高倉台幼稚園での作品発表会

科目名	保育内容　言葉	前期	2 単位
サブタイトル	乳幼児と育む豊かなコミュニケーション	演習	
担当者	隠岐　厚美		

[成績評価方法]
「プレゼンテーション:グループ(50%)」「プレゼンテーション:個人(20%)」「提出物(10%)」「授業態度　(20%)」

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
グループ発表および個人発表課題は、発表後口頭でフィードバックを行う

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:「プレゼンテーション:グループ(50%)」「プレゼンテーション:個人(20%)」「授業態度　(20%)」

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:「プレゼンテーション:グループ(50%)」「プレゼンテーション:個人(20%)」「提出物(10%)」「授業態度　(20%)」

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:「プレゼンテーション:グループ(50%)」「プレゼンテーション:個人(20%)」「授業態度　(20%)」

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:「プレゼンテーション:グループ(50%)」「プレゼンテーション:個人(20%)」「授業態度　(20%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:「プレゼンテーション:グループ(50%)」「プレゼンテーション:個人(20%)」「授業態度　(20%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:「プレゼンテーション:グループ(50%)」「授業態度　(20%)」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:「プレゼンテーション:グループ(50%)」「プレゼンテーション:個人(20%)」「提出物(10%)」「授業態度　(20%)」

[教科書(ISBN)]
書籍名:保育内容 指導法「言葉」: ―乳幼児と育む豊かなことばの世界― 著者名:大橋喜美子 出版社名:建帛社 ISBN:978-4767951195

[参考書(ISBN)]

科目名	保育内容　言葉	前期	2 単位
サブタイトル	幼児と育む豊かなコミュニケーション	演習	
担当者	隠岐　厚美		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
乳幼児の言葉を育む環境つくりと保育者の援助を理解する。
言葉を育む児童文化財に関する知識と保育実践に向けての基礎的技術を身につける。

[授業概要]
この授業の前半では、児童文化財に関する知識と実践に向けての基礎的保育技術を身につけられるよう、児童文化（絵本　紙芝居　エプロンシアター　パネルシアター）に親しむ。
言葉を育む児童文化財に関する知識と保育実践に向けての基礎的技術を身につける。前半の学びをもとに後半は創作物語絵本を作成します。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回の授業についての予習復習を行うこと（各回、予習・復習合わせて4時間程度）。

後半は、授業外での準備も多くなります

[授業計画]
1.ことばを育む環境としての保育者のことば
2.児童文化材について
3.わらべ歌の魅力と実践
4.ことば遊びの魅力と実践
5.シアター系教材の魅力と実践　―ICT教材を用いて―
6.お話しの魅力と実践
7.お話しづくり1 -幼児にふさわしい題材を考える―
8.お話しづくり2-幼児にふさわしい物語構造を考える-
9.創作絵本つくり　絵本を読み比べてみよう
10.創作絵本つくり　絵の分析
11.創作絵本つくり　1枚の絵からの創作絵本制作
12.創作絵本つくり　グループ内発表と評価
13.創作絵本の読み聞かせとふりかえり

科目名	保育内容　言葉	前期	2 単位
サブタイトル	幼児と育む豊かなコミュニケーション	演習	
担当者	隠岐　厚美		

[成績評価方法]
「プレゼンテーション（60%）」「提出物（20%）」「授業態度　（20%）」

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中の課題は、授業内に適宜フィードバックする
グループ発表および個人発表課題は、発表後口頭でフィードバックを行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：「プレゼンテーション（60%）」「提出物（20%）」「授業態度　（20%）」

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：「プレゼンテーション（60%）」「提出物（20%）」「授業態度　（20%）」

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：「プレゼンテーション（60%）」「提出物（20%）」「授業態度　（20%）」

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：「プレゼンテーション（60%）」「提出物（20%）」「授業態度　（20%）」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：「プレゼンテーション（60%）」「授業態度　（20%）」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：「プレゼンテーション（60%）」「提出物（20%）」「授業態度　（20%）」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：「プレゼンテーション（60%）」「提出物（20%）」「授業態度　（20%）」

[教科書（ISBN）]
書籍名:保育内容 指導法「言葉」: ―乳幼児と育む豊かなことばの世界―　著者名:大橋喜美子 出版社名:建帛社 ISBN:978-4767951195

[参考書（ISBN）]

科目名	保育内容　環境	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	模擬保育（ロールプレーを含む）	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
領域「環境」の目標を理解し、それらを生活の中で培い、育んでいくための保育実践に必要となる基礎的な知識や基本的な技能の修得を目指す。

[授業概要]
領域「環境」は、子どもが身近な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活や遊びに取り入れていこうとする力を養うことを目標としている。目標の達成に向けて、子どもは様々な事象に興味や関心をもち、主体的に環境にかかわるなかで、発見や試行錯誤を楽しみ、それを生活に取り入れようとする。さらに、そのなかで大きな学びにつながる多様な感覚や概念などが形成される。
本授業では、幼児教育の基本である「環境を通して行う教育」という視点から、領域「環境」のねらいを捉え、今を生きる子どもたちにとって必要な環境のあり方について学ぶ。さらに、実践力の構築をめざして、ふさわしい保育構成や展開に必要となる知識や技能について学ぶ。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
次回の授業の予習や模擬保育等の準備を入念にしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度、演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション　幼稚園教育の基本と領域、乳幼児期における環境の意味
2. 学校教育における幼児教育において育む資質・能力の三つの柱と領域「環境」
3. 模擬保育の実際と学び方のポイント
4. ICT活用及び指導案作成の基礎理論、模擬保育の準備
5. 模擬保育の指導案検討と実践（第1グループ）
6. 模擬保育の反省（第1グループ）、次回指導案の検討（第2グループ）
7. 最終修正指導案の確認（第1グループ）、模擬保育の実践（第2グループ）
8. 模擬保育の反省（第2グループ）、次回指導案の検討（第3グループ）
9. 最終修正指導案の確認（第2グループ）、模擬保育の実践（第3グループ）
10. 模擬保育の反省（第3グループ）、次回指導案の検討（第4グループ）
11. 最終修正指導案の確認（第3グループ）、模擬保育の実践（第4グループ）
12. 模擬保育の反省（第4グループ）、次回指導案の検討（第5グループ）
13. 最終修正指導案の確認（第4グループ）、まとめ

科目名	保育内容　環境	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[成績評価方法]
模擬保育の計画・実施（50%）
模擬保育の反省、レポート（30%）
まとめ（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
作成した指導案等については、反省会などで適宜行う。
「まとめ」の後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポート、まとめを総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポートを総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポート、まとめを総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポートを総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬保育の反省、レポート、まとめを総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施について評価する。

[教科書（ISBN）]
書籍名:子どもの姿からはじめる領域・環境 著者名:秋田喜代美／監修　三宅茂夫／監修　東義也／編　秋田喜代美／〔ほか〕執筆 出版社名:みらい ISBN:9784860155155

[参考書（ISBN）]
書籍名:幼稚園教育要領解説　平成30年3月 著者名: 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814475

科目名	保育内容　環境	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	模擬保育（ロールプレーを含む）	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
領域「環境」の目標を理解し、それらを生活の中で培い、育んでいくための保育実践に必要となる基礎的な知識や基本的な技能の修得を目指す。

[授業概要]
領域「環境」は、子どもが身近な環境に好奇心や探究心をもってかかわり、それらを生活や遊びに取り入れていこうとする力を養うことを目標としている。目標の達成に向けて、子どもは様々な事象に興味や関心をもち、主体的に環境にかかわるなかで、発見や試行錯誤を楽しみ、それを生活に取り入れようとする。さらに、そのなかで大きな学びにつながる多様な感覚や概念などが形成される。
本授業では、幼児教育の基本である「環境を通して行う教育」という視点から、領域「環境」のねらいを捉え、今を生きる子どもたちにとって必要な環境のあり方について学ぶ。さらに、実践力の構築をめざして、ふさわしい保育構成や展開に必要となる知識や技能について学ぶ。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
次回の授業の予習や模擬保育等の準備を入念にしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度、演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション　幼稚園教育の基本と領域、乳幼児期における環境の意味
2. 学校教育における幼児教育において育む資質・能力の三つの柱と領域「環境」
3. 模擬保育の実際と学び方のポイント
4. ICT活用及び指導案作成の基礎理論、模擬保育の準備
5. 模擬保育の指導案検討と実践（第1グループ）
6. 模擬保育の反省（第1グループ）、次回指導案の検討（第2グループ）
7. 最終修正指導案の確認（第1グループ）、模擬保育の実践（第2グループ）
8. 模擬保育の反省（第2グループ）、次回指導案の検討（第3グループ）
9. 最終修正指導案の確認（第2グループ）、模擬保育の実践（第3グループ）
10. 模擬保育の反省（第3グループ）、次回指導案の検討（第4グループ）
11. 最終修正指導案の確認（第3グループ）、模擬保育の実践（第4グループ）
12. 模擬保育の反省（第4グループ）、次回指導案の検討（第5グループ）
13. 最終修正指導案の確認（第4グループ）、まとめ

科目名	保育内容　環境	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[成績評価方法]
模擬保育の計画・実施（50%）
模擬保育の反省、レポート（30%）
まとめ（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
作成した指導案等については、反省会などで適宜行う。
「まとめ」の後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポート、まとめを総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポートを総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポート、まとめを総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポートを総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬保育の反省、レポート、まとめを総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施について評価する。

[教科書（ISBN）]
書籍名:子どもの姿からはじめる領域・環境 著者名:秋田喜代美／監修　三宅茂夫／監修　東義也／編　秋田喜代美／〔ほか〕執筆 出版社名:みらい ISBN:9784860155155

[参考書（ISBN）]
書籍名:幼稚園教育要領解説　平成30年3月 著者名: 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814475
書籍名:幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説　平成30年3月 著者名:内閣府／〔著〕 文部科学省／〔著〕 厚生労働省／〔著〕 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814499
書籍名:保育所保育指針解説　平成30年3月 著者名:厚生労働省／編 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814482

科目名	保育内容総論	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	服巻　真須美		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1．3法令における「保育の目標」「育みたい資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と「保育の内容」の関連を理解する。
2．幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園の各章のつながりを読み取り、保育の全体的な構造を理解する。
3．子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景及び保育の内容の歴史的変遷等を踏まえ、保育の内容の基本的な考え方を、子どもの発達や実践に即した具体的な保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）につなげて理解する。
4．保育の多様な展開について具体的に理解する。

[授業概要]
保育形態や保育者の指導についてディスカッション等のアクティブラーニングを実施し、主体的に学ぶ。保育を構想し計画を立て、見通しをもって保育内容を工夫するため、遊びの計画と発表を行う。子ども達が日々環境に関わり生活し学び成長していくこととの関連について、テキストや映像等を利用し、具体的な事例を通して理解する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
テキストの関連する部分を事前に読んでおく。授業の復習をして、問題意識を持つ。遊びの計画と発表について、各自準備する。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.教育・保育の基本と保育内容の理解
2.子どもの発達と理解
3.幼稚園教育要領・保育所保育指針における保育内容
4.環境を通して行う保育　生活や遊びを通して行う保育
5.保育の計画と評価 年齢別における保育内容
6.保育内容の実践的理解（模擬保育と評価）
7.保育内容の実践的理解（模擬保育と評価）
8.保育内容の実践的理解（模擬保育と評価）
9. 小学校との連携と保育内容
10.子育て支援と保育内容
11.多様な保育内容の展開
12.保育内容の歴史的変遷
13.まとめ

科目名	保育内容総論	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	服巻　真須美		

[成績評価方法]
課題への取り組みと提出　65%、レポート　35%
受講態度や積極性は演習の発表、発言、質問などで評価をします。

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
課題は、後日返却し、授業の理解度を確認する。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:レポート、発表

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:レポート、発表

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:受講態度、発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:受講態度、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:受講態度、発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:レポート

[教科書(ISBN)]
書籍名:保育内容総論 著者名:小川 圭子 出版社名:みらい ISBN:9784860155605

[参考書(ISBN)]
書籍名:保育所保育指針　平成29年告示 著者名: 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814239
書籍名:幼稚園教育要領　平成29年告示 著者名: 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814222
書籍名:幼保連携型認定こども園教育・保育要領　平成29年告示 著者名: 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814246

科目名	保育内容　人間関係	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	模擬保育（ロールプレーを含む）	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
幼児の人間関係の構築に関する諸能力発達の実態や過程を知り、それらを育むための保育構成の基礎的な考え方や方法、実践技術の修得を目標とする。

[授業概要]
乳幼児期にとって人間関係の発達は、社会的な存在たらしめるための基盤となるものである。多様な人間関係のなかで、「より善く生きたい」という人間本来の道徳的な源泉をより高次なものにしながら、「みんなで共に生きたい」や「社会の中で貢献したい」などの社会における成員意識を確かなものとしていく必要がある。さらに、乳幼児期には社会的関係を通して、自他の認識から自己の確立、社会生活を営むために必要となる社会性・言語・コミュニケーションを発達させ、さらに他者との多くの体験の共有や追体験を行いながら、思考や行動の糧を得ていくことが求められる。乳幼児期の保育や教育が環境を通して行うものであることから、保育者には乳幼児期の人間関係の発達にふさわしい環境の構成が求められる。
本授業では、乳幼児期の人間関係の意義や発達に関する諸理論を理解し、育成すべき資質・能力の三つの柱を視野に入れた保育や教育の構成・実施に関する実践力を養う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度、演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション　幼稚園教育の基本と領域、乳幼児期における人間関係の意味
2. 学校教育における幼児教育において育む資質・能力の三つの柱と領域「人間関係」
3. 模擬保育の実際と学び方のポイント
4. ICT活用及び指導案作成の基礎理論、模擬保育の準備
5. 模擬保育の指導案検討と実践（第1グループ）
6. 模擬保育の反省（第1グループ）、次回指導案の検討（第2グループ）
7. 最終修正指導案の確認（第1グループ）、模擬保育の実践（第2グループ）
8. 模擬保育の反省（第2グループ）、次回指導案の検討（第3グループ）
9. 最終修正指導案の確認（第2グループ）、模擬保育の実践（第3グループ）
10. 模擬保育の反省（第3グループ）、次回指導案の検討（第4グループ）
11. 最終修正指導案の確認（第3グループ）、模擬保育の実践（第4グループ）
12. 模擬保育の反省（第4グループ）、次回指導案の検討（第5グループ）
13. 最終修正指導案の確認（第4グループ）、まとめ

科目名	保育内容　人間関係	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[成績評価方法]
模擬保育の計画、実施（50%）
模擬保育の反省、レポート（30%）
まとめ（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
作成した指導案等については、反省会などで適宜行う。
「まとめ」の後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポート、まとめを総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポートを総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポート、まとめを総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポートを総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬保育の反省、レポート、まとめを総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施について評価する。

[教科書（ISBN）]
書籍名:子どもの姿からはじめる領域・人間関係 著者名:秋田 喜代美 出版社名:みらい ISBN:9784860155711

[参考書（ISBN）]
書籍名:幼稚園教育要領解説　平成30年3月 著者名: 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814475

科目名	保育内容　人間関係	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他	模擬保育（ロールプレーを含む）	実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
幼児の人間関係の構築に関する諸能力発達の実態や過程を知り、それらを育むための保育構成の基礎的な考え方や方法、実践技術の修得を目標とする。

[授業概要]
乳幼児期にとって人間関係の発達は、社会的な存在たらしめるための基盤となるものである。多様な人間関係のなかで、「より善く生きたい」という人間本来の道徳的な源泉をより高次なものにしながら、「みんなで共に生きたい」や「社会の中で貢献したい」などの社会における成員意識を確かなものとしていく必要がある。さらに、乳幼児期には社会的関係を通して、自他の認識から自己の確立、社会生活を営むために必要となる社会性・言語・コミュニケーションを発達させ、さらに他者との多くの体験の共有や追体験を行いながら、思考や行動の糧を得ていくことが求められる。乳幼児期の保育や教育が環境を通して行うものであることから、保育者には乳幼児期の人間関係の発達にふさわしい環境の構成が求められる。
本授業では、乳幼児期の人間関係の意義や発達に関する諸理論を理解し、育成すべき資質・能力の三つの柱を視野に入れた保育や教育の構成・実施に関する実践力を養う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度、演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション　幼稚園教育の基本と領域、乳幼児期における人間関係の意味
2. 学校教育における幼児教育において育む資質・能力の三つの柱と領域「人間関係」
3. 模擬保育の実際と学び方のポイント
4. ICT活用及び指導案作成の基礎理論、模擬保育の準備
5. 模擬保育の指導案検討と実践（第1グループ）
6. 模擬保育の反省（第1グループ）、次回指導案の検討（第2グループ）
7. 最終修正指導案の確認（第1グループ）、模擬保育の実践（第2グループ）
8. 模擬保育の反省（第2グループ）、次回指導案の検討（第3グループ）
9. 最終修正指導案の確認（第2グループ）、模擬保育の実践（第3グループ）
10. 模擬保育の反省（第3グループ）、次回指導案の検討（第4グループ）
11. 最終修正指導案の確認（第3グループ）、模擬保育の実践（第4グループ）
12. 模擬保育の反省（第4グループ）、次回指導案の検討（第5グループ）
13. 最終修正指導案の確認（第4グループ）、まとめ

科目名	保育内容　人間関係	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[成績評価方法]
模擬保育の計画、実施（50%）
模擬保育の反省、レポート（30%）
まとめ（20%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
作成した指導案等については、反省会などで適宜行う。
「まとめ」の後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポート、まとめを総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポートを総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポート、まとめを総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：模擬保育の計画・実施、模擬保育の反省、レポートを総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：模擬保育の反省、レポート、まとめを総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：模擬保育の計画・実施について評価する。

[教科書（ISBN）]
書籍名:子どもの姿からはじめる領域・人間関係 著者名:秋田 喜代美 出版社名:みらい ISBN:9784860155711

[参考書（ISBN）]
書籍名:幼稚園教育要領解説　平成30年3月 著者名: 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814475

科目名	保育内容の理解と方法Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	宮本　和行		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
講義および実技等を通して、保育の援助方法や子どものとの関わり、子どもの発達などについて具体的に学習し知識・技能を習得する。
また、保育の問題点等について考え、保育観を深めることを目的とする。

[授業概要]
講義や実技、ディスカッションをなど通して、保育現場の実際を知ることで専門的な知識や保育技術の基礎を身につける。また、保育現場での写真や動画などを見ることで、現場に即した子どもの発達や理解、保育者のねらいや援助などを知り、保育の理解を深めるきっかけとする。
さらに保育者のあり方や子どもとの関わり方、保育の現場や問題点について考えることで、保育の視野を広げる。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
保育内容（5領域）の基礎を事前学習しておくこと

[授業計画]
1.オリエンテーション
2.保育者と子どもの愛着形成
3.乳幼児の発達
4.子ども同士の関わり
5.保育者の言葉
6.子どもの育ちと環境
7.領域・ねらいと内容
8.子どもをひきつける方法
9.特別な支援（インクルーシブな保育）
10.視覚支援の重要性
11.視覚教材教材の作成
12.教育課程と保育指導案
13.まとめと課題

科目名	保育内容の理解と方法Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	宮本　和行		

[成績評価方法]
授業への参加度・貢献度　50%
課題　レポート　その他の提出物　50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中に指示

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	保育内容の理解と方法Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	宮本　和行		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
(1) 保育者として必要となる保育・教育に関する専門領域についての知識や技術を身に付ける。
(2) 子どもの表現のあり方や保育展開の方法について関心をもち、考えたり調べたりしながら、自分の考えを広げ深めていく。
(3) 自発的に学修することに愉しさや喜びを見出し、新たな学びに結び付けていこうとする。
(4) 自らの思考・感情・行動について客観的に振り返り、次につなげることができる。

[授業概要]
「保育とはなにか」「保育内容とはなにか」について、これまでの学びを振り返るところから始める。子どもの表現する力や多様な人とのコミュニケーション力を育てる保育のあり方、子どもの主体性を育てる保育展開の方法などを実践を通して学ぶ。授業の方法としては、様々な遊びの実践やグループワークを中心とする。保育者の役割や求められる専門性について考え、自身の学びの課題と新たな興味を見出すことを目的とする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・模擬保育や発表には、十分に準備をして臨んでください。
・日頃から、新聞やテレビ、インターネットなどで、子どもや子どもの育ちに関する情報に意識して触れてください。
・実践を通して自身に身に付いた力や課題が明確になるよう、授業後には、客観的に振り返って考える時間を十分にもってください。

[授業計画]
1.領域「人間関係」と「言葉」
2.育児支援
3.子どもを見る目
4.人的環境と人間関係
5.造形表現とその援助
6.保育者と子どもの言語コミュニケーション
7.保育室の環境構成
8.設定保育と自由保育
9.保育実践　ねらいと内容
10.保育実践　立案
11.保育実践　設定保育
12.教材作り(マジックシアター)
13.しあわせ論

科目名	保育内容の理解と方法Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	宮本　和行		

[成績評価方法]
授業内課題・提出物、授業への貢献度（60%）　保育指導案・模擬保育（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・授業内課題については、添削・評価をして返却します。
・発表については、履修生間での相互評価を含めた振り返りをします。
・質問等については、授業毎に解説をします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	保育内容の理解と方法Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	宮本　和行		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
(1) 保育者として必要となる保育・教育に関する専門領域についての知識や技術を身に付ける。
(2) 子どもの表現のあり方や保育展開の方法について関心をもち、考えたり調べたりしながら、自分の考えを広げ深めていく。
(3) 自発的に学修することに愉しさや喜びを見出し、新たな学びに結び付けていこうとする。
(4) 自らの思考・感情・行動について客観的に振り返り、次につなげることができる。

[授業概要]
「保育とはなにか」「保育内容とはなにか」について、これまでの学びを振り返るところから始める。子どもの表現する力や多様な人とのコミュニケーション力を育てる保育のあり方、子どもの主体性を育てる保育展開の方法などを実践を通して学ぶ。授業の方法としては、様々な遊びの実践やグループワークを中心とする。保育者の役割や求められる専門性について考え、自身の学びの課題と新たな興味を見出すことを目的とする。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・模擬保育や発表には、十分に準備をして臨んでください。
・日頃から、新聞やテレビ、インターネットなどで、子どもや子どもの育ちに関する情報に意識して触れてください。
・実践を通して自身に身に付いた力や課題が明確になるよう、授業後には、客観的に振り返って考える時間を十分にもってください。

[授業計画]
1.領域「人間関係」と「言葉」
2.育児支援
3.子どもを見る目
4.人的環境と人間関係
5.造形表現とその援助
6.保育者と子どもの言語コミュニケーション
7.保育室の環境構成
8.設定保育と自由保育
9.保育実践　ねらいと内容
10.保育実践　立案
11.保育実践　設定保育
12.教材作り(マジックシアター)
13.しあわせ論

科目名	保育内容の理解と方法Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	宮本　和行		

[成績評価方法]
授業内課題・提出物、授業への貢献度（60%）　指導案・保育実践（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
・授業内課題については、添削・評価をして返却します。
・発表については、履修生間での相互評価を含めた振り返りをします。
・質問等については、授業毎に解説をします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	保育内容　表現Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル	幼児の音楽表現と感性・創造性を育む活動	演習	
担当者	小林　田鶴子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領のねらいや内容についての理解を深めるとともに、幼稚園実習に向けて、幼児の音楽的発達に即した具体的な指導ができる力を身に付ける。

[授業概要]
音楽を通して子どもの豊かな感性を育むには、保育者として子どもにどう関っていくかが重要となる。この授業では、子どもと音楽との関わりについて、さまざまなテーマを取り上げるとともに、歌や声、様々な楽器のアンサンブルなどの実技も行うことで、理論と実技の双方から幼児の音楽表現教育について体得する。また幼稚園教育要領の内容の理解を図る。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
常に身の周りの音の出るものなどに興味を持つようにし、「表現」は音楽だけではないので、「保育内容表現Ⅱ」の授業との関連性を考えておくこと。
※全員、みんなの前で、様々な場面を想定した弾き歌いを行うので、練習しておくこと。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション
第2回：乳幼児の音楽的発達と小学校音楽教育との連続性
第3回：身体を使った表現①（手・体で奏でる）
第4回：身体を使った表現②（声・歌で奏でる）
第5回：楽器と身の回りのもの(音具)を使った表現（環境を奏でる）
第6回：ICTを使った表現（サンプリングから映像まで）
第7回：協働で行う表現（アンサンブル）
第8回：日本の音楽・世界の音楽を使った表現
第9回：幼稚園教育要領と指導案の書き方
第10回：保育現場の状況と指導案の作成、評価の方法（外部講師招聘）
第11回：模擬保育と振り返り①楽器と声、身振りなどを入れた表現
第12回：模擬保育と振り返り②様々な要素を取り入れた表現
第13回：グループ発表・試験とまとめ

科目名	保育内容　表現Ⅰ	後期	2 単位
サブタイトル	幼児の音楽表現と感性・創造性を育む活動	演習	
担当者	小林　田鶴子		

[成績評価方法]
グループ発表や提出物（60%）、授業への取り組み（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後に発表等の講評を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:子どもの感性や創造性を育む音楽教育へのお誘い「いろんな音(おと)であそぼう!!」 著者名:谷中優、小林田鶴子、山本和寿、田村幸雄、鈴木佑未子、林麻由美、Boyko STOLANOV 出版社名:STUDIO　M　音楽教育研究会 ISBN:

[参考書（ISBN）]
書籍名:コンパス 音楽表現 著者名:駒久美子・味府美香　編著 出版社名:建帛社 ISBN:978-4-767951-20-1
書籍名:幼稚園教育要領解説（平成30年3月） 著者名:文部科学省 出版社名:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5

科目名	保育内容　表現Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	幼児の音楽表現と感性・創造性を育む活動	演習	
担当者	小林　田鶴子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領のねらいや内容についての理解を深めるとともに、幼稚園実習に向けて、幼児の音楽的発達に即した具体的な指導ができる実践力を付ける。

[授業概要]
音楽を通して子どもの豊かな感性を育むには、保育者として子どもにどう関っていくかが重要となる。この授業では、子どもと音楽との関わりについて、さまざまなテーマを取り上げるとともに、歌や声、様々な楽器のアンサンブルなどの実技も行うことで、理論と実技の双方から幼児の音楽表現教育について体得する。また幼稚園教育要領の内容理解も図る。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
常に身の周りの音の出るものなどに興味を持つようにし、「表現」は音楽だけではないので、「保育内容表現Ⅱ」の授業との関連性も考えるようにすること。
※全員、みんなの前で、様々な場面を想定した弾き歌いを行うので、練習しておくこと。

[授業計画]
第1回：オリエンテーション
第2回：乳幼児の音楽的発達と小学校音楽教育との連続性
第3回：身体を使った表現①（手・体で奏でる）
第4回：身体を使った表現②（声・歌で奏でる）
第5回：楽器と身の回りのもの(音具)を使った表現（環境を奏でる）
第6回：ICTを使った表現（サンプリングから映像まで）
第7回：協働で行う表現（アンサンブル）
第8回：日本の音楽・世界の音楽を使った表現
第9回：幼稚園教育要領と指導案の作成、評価の方法
第10回：幼児教育現場の状況とその課題（外部講師招聘予定）
第11回：模擬保育と振り返り①楽器と声、身振りなどを入れた表現
第12回：模擬保育と振り返り②様々な要素を取り入れた表現
第13回：グループ発表・試験とまとめ

科目名	保育内容　表現Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	幼児の音楽表現と感性・創造性を育む活動	演習	
担当者	小林　田鶴子		

[成績評価方法]
グループ発表や提出物（60%）、授業への取り組み（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
試験後に発表等の講評を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:コンパス 音楽表現 著者名:駒久美子・味府美香　編著 出版社名:建帛社 ISBN:9784767951201

[参考書（ISBN）]
書籍名:子どもの感性や創造性を育む音楽教育へのお誘い「いろんな音(おと)であそぼう!!」 著者名:谷中優、小林田鶴子、山本和寿、田村幸雄、鈴木佑未子、林麻由美、Boyko STOLANOV 出版社名:STUDIO　M　音楽教育研究会 ISBN:

科目名	保育内容　表現Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	幼児の造形表現と活動	演習	
担当者	山成　昭世		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.保育内容『表現』の目標や内容を理解できる。
2.幼児の造形表現の発達や特質について理解できる。
3.保育実践（プレゼンテーション）を振り返り、保育を改善する視点を身につけることができる。
4.課題を通して指導案を作成することができる。

[授業概要]
幼児の造形活動を指導・支援するために、保育者として必要な知識・技能・感性を造形活動を通して明らかにする。
プレゼンテーションでは造形や言葉を総合的にまとめ、ICT機器を活用し演出する。最終的な発表は保育現場で実施し、自分たちの取り組みについて振り返り考察する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
課題の下調べやアイデアスケッチ、試作品に取り組むこと。グループ活動ではメンバー全員が積極的に話し合いイメージを共有し活発な造形活動をすること。
作品はICT機器を使いデータ編集しスケッチブックにまとめポートフォリオにまとめる。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 領域『表現』の目標と内容　幼児の造形活動について
2. 保育現場で活用する教材制作（ペープサート）
3. 版による表現・原画制作
4. 版による表現・印刷
5. 幼児が楽しく取り組める立体造形　構成
6. 幼児が楽しく取り組める立体造形　仕上げ
8. 保育現場で展開する楽しいプレゼンテーションについて
9. 幼児の発達段階を視野に入れ造形、動き、音、言葉を効果的に取り入れたペープサートの検討（グループ活動） ICT機器をデータ編集や演出に活用する
10. ペープサート制作、演出検討（グループ活動）
11. ペープサート制作、演出決定（グループ活動）
12. 発表に向けて（グループ活動）
13. まとめ　作品発表

科目名	保育内容　表現Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	幼児の造形表現と活動	演習	
担当者	山成　昭世		

[成績評価方法]
授業中の課題（70%）グループワークによる実践発表、プレゼンテーション（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回の授業や課題提出後にアドバイスをし、コメントします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:幼児造形の基礎 著者名:樋口一成編 出版社名:萌林書林 ISBN:9784893473110

[参考書（ISBN）]

S64905 [LKH3-041]

科目名	保育内容　表現Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	幼児の造形表現と活動	演習	
担当者	山成　昭世		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.保育内容『表現』の目標や内容を理解できる。
2.幼児の造形表現の発達や特質について理解できる。
3.保育実践（プレゼンテーション）を振り返り、保育を改善する視点を身につけることができる。
4.課題を通して指導案を作成することができる。

[授業概要]
幼児の造形活動を指導・支援するために、保育者として必要な知識・技能・感性を造形活動を通して明らかにする。
プレゼンテーションでは造形や言葉を総合的にまとめ、ICT機器を活用し演出する。最終的な発表は保育現場で実施し、自分たちの取り組みについて振り返り考察する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
課題の下調べやアイデアスケッチ、試作品に取り組むこと。グループ活動ではメンバー全員が積極的に話し合いイメージを共有し活発な造形活動をすること。
作品はICT機器を使いデータ編集しスケッチブックにまとめポートフォリオにまとめる。各回、予習復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. 領域『表現』の目標と内容　幼児の造形活動について
2. 保育現場で活用する教材制作（ペープサート）
3. 版による表現・原画制作
4. 版による表現・印刷
5. 幼児が楽しく取り組める立体造形　構成
6. 幼児が楽しく取り組める立体造形　仕上げ
8. 保育現場で展開する楽しいプレゼンテーションについて
9. 幼児の発達段階を視野に入れ造形、動き、音、言葉を効果的に取り入れたペープサートの検討（グループ活動） ICT機器をデータ編集や演出に活用する
10. ペープサート制作、演出検討（グループ活動）
11. ペープサート制作、演出決定（グループ活動）
12. 発表に向けて（グループ活動）
13. まとめ　作品発表

科目名	保育内容　表現Ⅱ	前期	2 単位
サブタイトル	幼児の造形表現と活動	演習	
担当者	山成　昭世		

[成績評価方法]
授業中の課題（70%）グループワークによる実践発表、プレゼンテーション（30%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
毎回の授業や課題提出後にアドバイスをし、コメントします。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:幼児造形の基礎 著者名:樋口一成編 出版社名:萌林書林 ISBN:9784893473110

[参考書（ISBN）]

S64907 [LKH3-041]

科目名	保育の計画と評価	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	石田　裕子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
1.保育の全体的な計画、指導計画の意義と目的を理解し、その編成についての知識を得る。
2.子ども一人一人が発達に応じた乳幼児期にふさわしい生活をおくることができる具体的な構造的導計画を作成することができる。
3.保育のねらいと内容の関係が分かり、自ら設定保育指導案の立案ができるようになる。
4.保育記録・評価反省と計画の関係を理解し、計画の改善の意義と方法について説明できる。

[授業概要]
乳幼児期の保育の計画と評価についての基礎的基本的な理念について学び、その上に展開される具体的な保育の全体的計画の編成、指導計画の作成から実践に至るまでを理解する。
まず、保育という営みは、どのような計画に基づいて行っているのかについて、その意義や必要性を学ぶ。
また、子どもの発達の過程や特徴を踏まえ、保育目標に基づいて子どもの発達にあった保育内容を構造的に思考し、指導計画作成の方法やポイントについて理解する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
テキストの関連する部分を事前に読んでおく。授業の復習をして、問題意識を持ちノートをまとめる。
各回予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1.保育における計画と評価の意義
2.全体的な計画と指導計画
3.保育におけるPDCAサイクル
4.保育所の基本と全体的な計画と指導計画の実際
5.子どもの発達に応じた計画とは-012歳児を中心に一
6.子どもの発達に応じた計画とは-345歳児を中心に一
7.指導計画作成の基本　長期的な計画の理解　012歳児
8.指導計画作成の基本　短期的な計画の理解　012歳児
9.指導計画作成の基本　長期的な計画の理解　345歳児
10.指導計画作成の基本　短期的な計画の理解　345歳児
11.指導案の立案(345歳児)
12.指導案振り返り
13.まとめ　グループディスカッション

科目名	保育の計画と評価	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	石田　裕子		

[成績評価方法]
試験（50%） 小テスト・課題（30%）授業参加態度（20%）
課題は締め切りや形式も含め、内容を評価します
授業参加態度とは、授業内の発言、取り組みの姿勢、ミニッツペーパーの提出内容などで評価をします

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題は翌回に、添削して返却する
小テストは授業内で採点する
またはmanabaを使ってコメントする

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：課題内容　テスト

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：課題内容　テスト

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：授業参加態度　　課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業参加態度　課題　テスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：テスト

[教科書（ISBN）]
書籍名:これで安心!保育指導案の書き方　実習生・初任者からベテランまで 著者名:開 仁志　編著 出版社名:北大路書房 ISBN:9784762826214
書籍名:保育所保育指針解説　平成30年3月 著者名:厚生労働省／編 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814482

[参考書（ISBN）]

科目名	保育の心理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	隠岐　厚美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
①保育実践にかかわる心理学的知識を身につけ、発達をとらえる視点がわかるようになる
②乳幼児期の子どもの学びの在り方や特性が理解できるようになる
③保育において人と相互的にかかわること、体験すること、発達に応じた環境を整えることの意義を理解できるようになる

[授業概要]
ヒトは誕生から様々な発達課題を乗り越え、様々な心的機能を確立する。ことに、乳幼児期は、日常生活や遊び、保育所での先生、友だちとの集団との関係を通して、動作、操作、社会スキル、ことばを獲得し経験・知識を豊かしていく。そこで、本講義では、言語聴覚士兼心理士として乳幼児を中心としに発達臨床に携わる教員が、乳幼児の発達過程を具体的に解説し、乳幼児の特性を踏まえた保育の在り方について考える。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回の講義について、予習・復習を行うこと(予習・復習合わせて4時間程度)。
指示された資料は事前に必ず目を通すこと。

[授業計画]
1.保育と心理学　①子どもの発達のみ方・考え方
2.保育と心理学　②子どもの発達と環境
3.こころの起源－ヒトからひとへ　新生児期の発達－
4.乳児期の発達1　社会情動的発達
5.乳児期の発達2　姿勢・運動機能の発達と赤ちゃんの好奇心
6.乳児期の発達3　社会スキルの芽生えとことばの獲得
7.幼児期の発達特徴
9.幼児期の発達1　運動能力と遊びの広がり
10.幼児期の発達2　幼児のもののみ方・感じ方と言葉の育ち
11乳幼児期の発達3　生活の中で獲得する社会スキル
12.遊びを中心とする日常生活で培われる「わたし」の基盤
13.まとめ・乳幼児期の発達についての復習

科目名	保育の心理学	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	隠岐　厚美		

[成績評価方法]
「理解度確認試験（70%）」 「小テスト・ミニレポート（20%）」「提出物（10%）」

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは、原則授業中に口頭で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：「理解度確認試験」「小テスト・ミニレポート」

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：「理解度確認試験」「小テスト・ミニレポート」

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：「ミニレポート」

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：「理解度確認試験」「小テスト・ミニレポート」「提出物」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：「理解度確認試験」「小テスト・ミニレポート」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：「理解度確認試験」「小テスト・ミニレポート」

[教科書（ISBN）]
書籍名:コンパス保育の心理学 著者名:寺見陽子 出版社名:建帛社 ISBN:978-4-7679-5148-5

[参考書（ISBN）]

科目名	幼児教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
幼児教育教員および保育士などの専門職に求められる実践力に結びつく基礎力を身につける。

[授業概要]
本演習では、今日の保育実践現場での諸課題を取り上げ、グループディスカッションおよびワークショップにより学生自身の保育に関する関心を高め、自らの意見の発表等に関するスキルの向上を目指す。また、保育現場でのボランティア活動、学外活動に積極的に取り組むことによって、実践現場における課題等について考察し、学びを共有する。
上記のように授業外活動も前提となる。またボランティア活動、学外活動等にも必須で、積極的に取り組むことを推奨する。
授業外活動も積極的に主体的に取り組むことが望ましい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
日頃から子どもの「育ち」や「育て」、保育実践現場に対して関心をもち、資料などの収集を通して各自が課題意識をもち、社会的課題や専門用語について理解を深めておくこと。
各回予習、復習　実践あわせて2時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーション⇒全員に対して授業日が複数あり、希望選択する。
2. めざす保育者像について①
3. めざす保育者像について②
4. 現場でのボランティア活動の現状
5. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション①
6. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション②
7. ワークショップ型の学び(保育現場の実際について)①
8.ワークショップ型の学び(保育現場の実際について)②
9.ワークショップ型の学び(保育現場の実際について)③
10.ワークショップ型の学び(保育現場の実際について)④
11.ボランティア体験からのプレゼンテーション①
12.ボランティア体験からのプレゼンテーション②
13.まとめ

科目名	幼児教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	石田　裕子		

[成績評価方法]
受講態度　50%　授業での発表25%　課題提出　25%
受講態度は積極性や発言内容などで評価する
授業での発表は　プレゼンテーションの内容で評価する
課題提出は期限や形式についても評価の対象とする

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaのコメント　直接指導

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:受講態度　　授業での発表　課題提出

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:受講態度　　授業での発表

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:受講態度　　授業での発表　課題提出

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業での発表　課題提出

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	幼児教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
幼児教育教員および保育士などの専門職に求められる実践力に結びつく基礎力を身につける。

[授業概要]
本演習では、今日の保育実践現場での諸課題を取り上げ、グループディスカッションおよびワークショップにより学生自身の保育に関する関心を高め、自らの意見の発表等に関するスキルの向上を目指す。また、保育現場でのボランティア活動、学外活動に積極的に取り組むことによって、実践現場における課題等について考察し、学びを共有する。
上記のように授業外活動も前提となる。またボランティア活動、学外活動等にも必須で、積極的に取り組むことを推奨する。
授業外活動も積極的に主体的に取り組むことが望ましい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
日頃から子どもの「育ち」や「育て」、保育実践現場に対して関心をもち、資料などの収集を通して各自が課題意識をもち、社会的課題や専門用語について理解を深めておくこと。
各回予習、復習　実践あわせて2時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーション⇒全員に対して授業日が複数あり、希望選択する。
2. めざす保育者像について①
3. めざす保育者像について②
4. 現場でのボランティア活動の現状
5. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション①
6. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション②
7. ワークショップ型の学び(保育現場の実際について)①
8.ワークショップ型の学び(保育現場の実際について)②
9.ワークショップ型の学び(保育現場の実際について)③
10.ワークショップ型の学び(保育現場の実際について)④
11.ボランティア体験からのプレゼンテーション①
12.ボランティア体験からのプレゼンテーション②
13.まとめ

科目名	幼児教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	大西　雅裕		

[成績評価方法]
受講態度　50%　授業での発表25%　課題提出　25%
受講態度は積極性や発言内容などで評価する
授業での発表は　プレゼンテーションの内容で評価する
課題提出は期限や形式についても評価の対象とする

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaのコメント　直接指導

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:授業内での課題及び授業態度、科目最終レポートによって評価します。

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	幼児教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山内　紀幸		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
幼児教育教員および保育士などの専門職に求められる実践力に結びつく基礎力を身につける。

[授業概要]
本演習では、今日の保育実践現場での諸課題を取り上げ、グループディスカッションおよびワークショップにより学生自身の保育に関する関心を高め、自らの意見の発表等に関するスキルの向上を目指す。また、保育現場でのボランティア活動、学外活動に積極的に取り組むことによって、実践現場における課題等について考察し、学びを共有する。
上記のように授業外活動も前提となる。またボランティア活動、学外活動等にも必須で、積極的に取り組むことを推奨する。
授業外活動も積極的に主体的に取り組むことが望ましい。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
日頃から子どもの「育ち」や「育て」、保育実践現場に対して関心をもち、資料などの収集を通して各自が課題意識をもち、社会的課題や専門用語について理解を深めておくこと。
各回予習、復習　実践あわせて2時間程度

[授業計画]
1. オリエンテーション⇒全員に対して授業日が複数あり、希望選択する。
2. めざす保育者像について①
3. めざす保育者像について②
4. 現場でのボランティア活動の現状
5. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション①
6. 新聞記事からの諸課題抽出およびプレゼンテーション②
7. ワークショップ型の学び(保育現場の実際について)①
8.ワークショップ型の学び(保育現場の実際について)②
9.ワークショップ型の学び(保育現場の実際について)③
10.ワークショップ型の学び(保育現場の実際について)④
11.ボランティア体験からのプレゼンテーション①
12.ボランティア体験からのプレゼンテーション②
13.まとめ

科目名	幼児教育基礎演習	前期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	山内　紀幸		

[成績評価方法]
受講態度　50%　授業での発表25%　課題提出　25%
受講態度は積極性や発言内容などで評価する
授業での発表は　プレゼンテーションの内容で評価する
課題提出は期限や形式についても評価の対象とする

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
manabaのコメント　直接指導

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:小レポート
ディスカッション

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:小レポート
ディスカッション

学科DP番号／DP内容:教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法:小レポート
ディスカッション

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:小レポート
ディスカッション

学科DP番号／DP内容:教育3-3／教員としての使命感と責任感をもって、教育・保育に関わることができる。
成績評価方法:小レポート
ディスカッション

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法:小レポート
ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する(協働する)能力・姿勢
成績評価方法:小レポート
ディスカッション

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法:小レポート
ディスカッション

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	幼児教育指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中川　欣子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
幼児の姿に触れ、幼児理解を図るとともに、適切な指導案や指導記録を作成する力を養う。幼稚園見学を通して、実際の保育の場で、援助の方法、環境の構成、情報機器及び教材の活用等に関する基礎的な知識・技術を身に付け、教育内容を理解する。
学校現場における教員経験のある者が、その経験を活かして、今日的な課題への対応を踏まえた指導を行う。

[授業概要]
幼稚園教育要領の基本を講義から学ぶ。講義から学んだことを実践につなげられるように事前指導では、映像によって幼児の姿を理解する。見学実習においては、実際に幼児と関わり、様々な問題に対処できる視点を具体的・実践的に学習する。事後学修では実践の場での幼児の姿からの考察を行うことで幼児理解を深める。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
教育課程概論、関係法規等で学んだ内容を復習しておいてください。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 要領・指針における5領域のねらい及び内容のつながりについて
3. 養護と教育が一体的に展開される保育と遊びを通した指導のあり方について
4. 保育における記録の方法について
5. 教育・保育における環境を通した実践及び指導について
6.「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と活動のつながりについて
7. 教育・保育における教育課程・指導計画について
8. 教育・保育における長期指導計画・短期指導計画について
9. 模擬保育を目指した指導計画の作成について
10. 保育観・子ども観の意義と醸成について
11. 支援を必要とする子ども理解とクラス運営について
12. 保護者対応と地域連携について
13. 時代や社会背景に即した保育に関する保育者の専門的職能について

科目名	幼児教育指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中川　欣子		

[成績評価方法]
授業態度(20%)・提出物(30%)・レポート課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:幼稚園教育要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5

[参考書(ISBN)]

科目名	幼児教育指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中川　欣子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
幼児の姿に触れ、幼児理解を図るとともに、適切な指導案や指導記録を作成する力を養う。幼稚園見学を通して、実際の保育の場で、援助の方法、環境の構成、情報機器及び教材の活用等に関する基礎的な知識・技術を身に付け、教育内容を理解する。
学校現場における教員経験のある者が、その経験を活かして、今日的な課題への対応を踏まえた指導を行う。

[授業概要]
幼稚園教育要領の基本を講義から学ぶ。講義から学んだことを実践につなげられるように事前指導では、映像によって幼児の姿を理解する。見学実習においては、実際に幼児と関わり、様々な問題に対処できる視点を具体的・実践的に学習する。事後学修では実践の場での幼児の姿からの考察を行うことで幼児理解を深める。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
教育課程概論、関係法規等で学んだ内容を復習しておいてください。

[授業計画]
1. オリエンテーション
2. 要領・指針における5領域のねらい及び内容のつながりについて
3. 養護と教育が一体的に展開される保育と遊びを通した指導のあり方について
4. 保育における記録の方法について
5. 教育・保育における環境を通した実践及び指導について
6.「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と活動のつながりについて
7. 教育・保育における教育課程・指導計画について
8. 教育・保育における長期指導計画・短期指導計画について
9. 模擬保育を目指した指導計画の作成について
10. 保育観・子ども観の意義と醸成について
11. 支援を必要とする子ども理解とクラス運営について
12. 保護者対応と地域連携について
13. 時代や社会背景に即した保育に関する保育者の専門的職能について

科目名	幼児教育指導法	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中川　欣子		

[成績評価方法]
授業態度(20%)・提出物(30%)・レポート課題(50%)

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:幼稚園教育要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5

[参考書(ISBN)]

科目名	幼児教育の方法及び技術	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中川　欣子、竹田　和恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
幼児期にふさわしい教育・保育方法に浮いての知識と理論について理解を深め、実践的な指導技術を身に付ける。さらに、保育現場における情報教育あり方等に関する知識・技術を修得する。

[授業概要]
幼児教育・保育における実践的な知識を修得し、活用するための方法を理解するとともに、実践における適切な指導を行うための指導計画について理解を深め、立案から実践に関わる演習過程を通して、必要となる具能を学ぶ。プレゼンテーション、ディスカッション、発表体験等を行いながら、探究する。
保育現場における情報通信機器及び教材の活用に関する最新の知識・技術を演習等を通して修得する。
学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして、今日的な課題への対応を踏まえた指導を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
幼稚園教育課程に関する講義、幼児教育指導法の講義等で学修したことを基本として行う。

[授業計画]
1 幼児教育の方法と意義(中川)
2 教師の役割(中川)
3 幼児教育における資質・能力(中川)
4 幼児教育における10の姿(中川)
5 幼児教育の危機管理・演習(中川)
6 幼児教育の危機管理・まとめ(中川)
7 環境の構成の意味(中川)
8 環境の構成・演習(中川)
9 環境の構成・まとめ(中川)
10 幼児教育における情報教育①(竹田)
11 幼児教育における情報教育②(竹田)
12 幼児教育における情報教育③(竹田)
13 幼児教育の方法及び技術・まとめ(中川)

科目名	幼児教育の方法及び技術	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中川　欣子、竹田　和恵		

[成績評価方法]
授業態度　40%
課題提出　30%
試験　　30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:幼稚園教育要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5

科目名	幼児教育の方法及び技術	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中川　欣子、竹田　和恵		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
幼児期にふさわしい教育・保育方法に浮いての知識と理論について理解を深め、実践的な指導技術を身に付ける。さらに、保育現場における情報教育あり方等に関する知識・技術を修得する。

[授業概要]
幼児教育・保育における実践的な知識を修得し、活用するための方法を理解するとともに、実践における適切な指導を行うための指導計画について理解を深め、立案から実践に関わる演習過程を通して、必要となる具能を学ぶ。プレゼンテーション、ディスカッション、発表体験等を行いながら、探究する。
保育現場における情報通信機器及び教材の活用に関する最新の知識・技術を演習等を通して修得する。
学校現場における教員経験がある者が、その経験を活かして、今日的な課題への対応を踏まえた指導を行う。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
幼稚園教育課程に関する講義、幼児教育指導法の講義等で学修したことを基本として行う。

[授業計画]
1 幼児教育の方法と意義(中川)
2 教師の役割(中川)
3 幼児教育における資質・能力(中川)
4 幼児教育における10の姿(中川)
5 幼児教育の危機管理・演習(中川)
6 幼児教育の危機管理・まとめ(中川)
7 環境の構成の意味(中川)
8 環境の構成・演習(中川)
9 環境の構成・まとめ(中川)
10 幼児教育における情報教育①(竹田)
11 幼児教育における情報教育②(竹田)
12 幼児教育における情報教育③(竹田)
13 幼児教育の方法及び技術・まとめ(中川)

科目名	幼児教育の方法及び技術	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	中川　欣子、竹田　和恵		

[成績評価方法]
授業態度　40%
課題提出　30%
試験　　30%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
基本的に授業時間内で解説します。課題内容に応じては適宜manaba・KISSシステムを通じて行います。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育3-2／社会や子どもが持つ多様な価値を尊重し、他者と協働して教育・保育を実践していくことができる。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]
書籍名:幼稚園教育要領解説 著者名:文部科学省 出版社名:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5

科目名	幼児と環境	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	金岩　俊明		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
領域「環境」の指導において必要となる感性を養い、保育内容に関する知識及び技能を習得する。特に、領域「環境」の指導に関連する現代の幼児を取り巻く環境とその現代的課題、幼児と身近な環境との関わりの発達等について理論的かつ実践的に学ぶ。

[授業概要]
本授業は、領域「環境」の指導の基盤となるものである。まず、幼児を取り巻く環境の諸側面から現代的課題を明らかにし、乳幼児からの発達と環境との相互関係の中で保育において育てる資質・能力を理解する。次に、具体的な関わりとして自然・社会・数量や図形・文字や標識についての内容を扱う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
幼児が育つ環境について、身近な自然環境や社会環境についての関心をもち、自ら体験したりフィールドワークしたりすることにより情報を収集する。また、授業の課題に係る栽培活動や調査活動を自主的に継続しておく。（予習復習合わせて4時間程度）

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　幼児を取り巻く環境の諸側面
第3回　幼児を取り巻く環境と現代的課題
第4回　好奇心・探究心とESD
第5回　幼児の発達と環境との関係
第6回　幼児期において育む資質・能力
第7回　幼児と自然との関わり
第8回　ポスター作りとワークショップ
第9回　幼児と社会（人）との関わり
第10回　幼児と文字や標識との関わり
第11回　幼児と数量や図形との関わり
第12回　知的好奇心を育てる保育実践
第13回　まとめ

科目名	幼児と環境	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	金岩　俊明		

[成績評価方法]
レポート及び授業中の課題（40%）発表（20%）試験（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックは、授業内で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験・レポート・発表

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験・レポート・発表

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：試験・レポート・発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験・レポート・発表

[教科書（ISBN）]
書籍名:子どもの姿からはじめる領域・環境 著者名:秋田喜代美／監修　三宅茂夫／監修　東義也／編　秋田喜代美／〔ほか〕執筆 出版社名:みらい ISBN:9784860155155
書籍名:幼稚園教育要領解説　平成30年3月 著者名: 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814475

[参考書（ISBN）]

科目名	幼児と環境	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	金岩　俊明		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
領域「環境」の指導において必要となる感性を養い、保育内容に関する知識及び技能を習得する。特に、領域「環境」の指導に関連する現代の幼児を取り巻く環境とその現代的課題、幼児と身近な環境との関わりの発達等について理論的かつ実践的に学ぶ。

[授業概要]
本授業は、領域「環境」の指導の基盤となるものである。まず、幼児を取り巻く環境の諸側面から現代的課題を明らかにし、乳幼児からの発達と環境との相互関係の中で保育において育てる資質・能力を理解する。次に、具体的な関わりとして自然・社会・数量や図形・文字や標識についての内容を扱う。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
幼児が育つ環境について、身近な自然環境や社会環境についての関心をもち、自ら体験したりフィールドワークしたりすることにより情報を収集する。また、授業の課題に係る栽培活動や調査活動を自主的に継続しておく。（予習復習合わせて4時間程度）

[授業計画]
第1回　オリエンテーション
第2回　幼児を取り巻く環境の諸側面
第3回　幼児を取り巻く環境と現代的課題
第4回　好奇心・探究心とESD
第5回　幼児の発達と環境との関係
第6回　幼児期において育む資質・能力
第7回　幼児と自然との関わり
第8回　ポスター作りとワークショップ
第9回　幼児と社会（人）との関わり
第10回　幼児と文字や標識との関わり
第11回　幼児と数量や図形との関わり
第12回　知的好奇心を育てる保育実践
第13回　まとめ

科目名	幼児と環境	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	金岩　俊明		

[成績評価方法]
レポート及び授業中の課題（40%）発表（20%）試験（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題のフィードバックは、授業内で行います。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験・レポート・発表

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験・レポート・発表

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：試験・レポート・発表

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：試験・レポート・発表

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験・レポート・発表

[教科書（ISBN）]
書籍名:子どもの姿からはじめる領域・環境 著者名:秋田喜代美／監修　三宅茂夫／監修　東義也／編　秋田喜代美／〔ほか〕執筆 出版社名:みらい ISBN:9784860155155
書籍名:幼稚園教育要領解説　平成30年3月 著者名: 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814475

[参考書（ISBN）]

科目名	幼児と健康	前期	2 単位
サブタイトル	子どもの健康と育ち	講義	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基盤的知識・基礎的技能を身に付ける。
(1)幼児期は、生涯にわたって必要となる健康な心と身体の基盤をつくる時期と捉えた上で、領域「健康」のねらい・内容等について理解する。
(2)幼児の心身の発達、基本的生活習慣、安全な生活、運動発達などの特徴や意義などの専門的事項について理解する。

[授業概要]
領域「健康」の指導に関して、基盤となる知識や考え方を学習する。
まず幼児期の健康課題と取り巻く環境、健康の発達的意味を把握していく。その後、心身の発達と基本的な生活習慣の形成、怪我や病気の予防等の安全管理や安全教育、運動発達の理解について、映像資料や具体的事例などを活用しながら授業を進行していく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・幼児期の子どもたちの健康に関するニュースに関心をもち、情報を得ること。
・毎回、授業で取り上げた内容について、次時まで復習を行うこと。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
第1回:領域「健康」のねらいと内容
第2回:乳幼児を取り巻く生活環境と健康課題
第3回:健康の定義と乳幼児期の健康の意義
第4回:乳幼児の身体的発達
第5回:乳幼児の心の発達と健康
第6回:乳幼児の運動機能の発達(学外講師)
第7回:乳幼児の遊びの発達と健康
第8回:乳幼児期の身体活動(運動遊び)の在り方
第9回:幼児の体格・運動能力に関する測定評価
第10回:乳幼児の基本的な生活習慣の現状と問題点
第11回:乳幼児の安全管理と安全教育
第12回:実際の事故事例と応急処置法
第13回:まとめ

科目名	幼児と健康	前期	2 単位
サブタイトル	子どもの健康と育ち	講義	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
授業態度・発表（30%）、ワークブック（20%）、講義内容に関するテスト（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中やmanabaを通して行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：授業態度・発表、ワークブック、講義内容に関するテスト

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：授業態度・発表、ワークブック、講義内容に関するテスト

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：授業態度・発表、ワークブック、講義内容に関するテスト

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度・発表、ワークブック、講義内容に関するテスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度・発表、ワークブック、講義内容に関するテスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業態度・発表、ワークブック、講義内容に関するテスト

[教科書（ISBN）]
書籍名:幼児が楽しむ運動遊びの作り方 著者名:山内紀幸 出版社名:一藝社 ISBN:9784863592759

[参考書（ISBN）]

科目名	幼児と健康	前期	2 単位
サブタイトル	子どもの健康と育ち	講義	
担当者	住本　純		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基盤的知識・基礎的技能を身に付ける。
(1)幼児期は、生涯にわたって必要となる健康な心と身体の基盤をつくる時期と捉えた上で、領域「健康」のねらい・内容等について理解する。
(2)幼児の心身の発達、基本的生活習慣、安全な生活、運動発達などの特徴や意義などの専門的事項について理解する。

[授業概要]
領域「健康」の指導に関して、基盤となる知識や考え方を学習する。
まず幼児期の健康課題と取り巻く環境、健康の発達的意味を把握していく。その後、心身の発達と基本的な生活習慣の形成、怪我や病気の予防等の安全管理や安全教育、運動発達の理解について、映像資料や具体的事例などを活用しながら授業を進行していく。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
・幼児期の子どもたちの健康に関するニュースに関心をもち、情報を得ること。
・毎回、授業で取り上げた内容について、次時まで復習を行うこと。
各回、予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
第1回:領域「健康」のねらいと内容
第2回:乳幼児を取り巻く生活環境と健康課題
第3回:健康の定義と乳幼児期の健康の意義
第4回:乳幼児の身体的発達
第5回:乳幼児の心の発達と健康
第6回:乳幼児の運動機能の発達(学外講師)
第7回:乳幼児の遊びの発達と健康
第8回:乳幼児期の身体活動(運動遊び)の在り方
第9回:幼児の体格・運動能力に関する測定評価
第10回:乳幼児の基本的な生活習慣の現状と問題点
第11回:乳幼児の安全管理と安全教育
第12回:実際の事故事例と応急処置法
第13回:まとめ

科目名	幼児と健康	前期	2 単位
サブタイトル	子どもの健康と育ち	講義	
担当者	住本　純		

[成績評価方法]
授業態度・発表（30%）、ワークブック（20%）、講義内容に関するテスト（50%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
授業中やmanabaを通して行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：授業態度・発表、ワークブック、講義内容に関するテスト

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：授業態度・発表、ワークブック、講義内容に関するテスト

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：授業態度・発表、ワークブック、講義内容に関するテスト

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度・発表、ワークブック、講義内容に関するテスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：授業態度・発表、ワークブック、講義内容に関するテスト

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：授業態度・発表、ワークブック、講義内容に関するテスト

[教科書（ISBN）]
書籍名:幼児が楽しむ運動遊びの作り方 著者名:山内紀幸 出版社名:一藝社 ISBN:9784863592759

[参考書（ISBN）]

科目名	幼児と言葉	前期	2 単位
サブタイトル	豊かなコミュニケーションを基に育む言葉と思考	講義	
担当者	隠岐　厚美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
① 言葉の特性や働きについて理解できるようになる
② 言葉の獲得・発達過程を理解できるようになる
③ ①②を踏まえ、豊かな言葉をはぐくむ保育者の在り方を実践的に理解できるようになる

[授業概要]
人は、「ひと」「もの」「こと(状況)」とのかかわりの中で言葉を獲得し、言葉を用いたコミュニケーションが可能となる。乳幼児期は言葉を獲得し、話し言葉の基盤が整い、思考が芽生える時期で会うことから、この時期を共に過ごす保育者の果たす役割は大きい。そこで、本講義では、言語聴覚士兼心理士として乳幼児を中心としに発達臨床に携わる教員が、出生以降、コミュニケーションとしての言葉を獲得し、発達過程を平易に解説します。その上で乳幼児の言葉の発達を保証する保育者の関わり方や情報機器及び教材活用を学びます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解しておくこと。各回予習/ 復習合わせて4時間程度を要する。

[授業計画]
1.コミュニケーションと言葉
2.保育内容「言葉」で何を学ぶか―領域「言葉」のねらいと内容
3.乳児期のコミュニケーションと保育者の援助1　前言語期の特徴
4.乳児期のコミュニケーションと保育者の援助2　ことばの芽生え
5.幼児期のコミュニケーションと保育者の援助1　幼児期の言葉の特徴
6.幼児期のコミュニケーションと保育者の援助2　言葉の発達と心身の自立・自律
7.幼児期のコミュニケーションと保育者の援助3　言葉の発達と遊び・仲間関係の広がり
8.幼児期のコミュニケーションと保育者の援助4　外国にルーツのある子どもと母語
9.就学に向けて一話し言葉から読み・書き言葉への興味関心の広がりと保育者の援助
10.言葉を育む文化的環境一　保育の情報機器および教材の活用　一
11.グループ発表1　幼児期のコミュニケーションを育む保育教材
12.グループ発表2　幼児期のコミュニケーションを育む保育教材
13.まとめ　乳幼児期のコミュニケーションと保育者の援助

科目名	幼児と言葉	前期	2 単位
サブタイトル	豊かなコミュニケーションを基に育む言葉と思考	講義	
担当者	隠岐　厚美		

[成績評価方法]
「理解度試験（60%）」、「レポート課題（30%）」、「グループ発表（10%）」

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業中に口頭で行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：「理解度試験（60%）」、「レポート課題（30%）」、「グループ発表（10%）」

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：「理解度試験（60%）」、「レポート課題（30%）」、「グループ発表（10%）」

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：「理解度試験（60%）」、「レポート課題（30%）」、「グループ発表（10%）」

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：「レポート課題（30%）」、「グループ発表（10%）」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：「レポート課題（30%）」、「グループ発表（10%）」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：「理解度試験（60%）」、「レポート課題（30%）」、「グループ発表（10%）」

[教科書（ISBN）]
書籍名:絵本で読み解く保育内容言葉 著者名:齋木喜美子 出版社名:関西学院出版会 ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	幼児と言葉	前期	2 単位
サブタイトル	豊かなコミュニケーションを基に育む言葉と思考	講義	
担当者	隠岐　厚美		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
① 言葉の特性や働きについて理解できるようになる
② 言葉の獲得・発達過程を理解できるようになる
③ ①②を踏まえ、豊かな言葉をはぐくむ保育者の在り方を実践的に理解できるようになる

[授業概要]
人は、「ひと」「もの」「こと(状況)」とのかかわりの中で言葉を獲得し、言葉を用いたコミュニケーションが可能となる。乳幼児期は言葉を獲得し、話し言葉の基盤が整い、思考が芽生える時期で会うことから、この時期を共に過ごす保育者の果たす役割は大きい。そこで、本講義では、言語聴覚士兼心理士として乳幼児を中心としに発達臨床に携わる教員が、出生以降、コミュニケーションとしての言葉を獲得し、発達過程を平易に解説します。その上で乳幼児の言葉の発達を保証する保育者の関わり方や情報機器及び教材活用を学びます。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解しておくこと。各回予習/ 復習合わせて4時間程度を要する。

[授業計画]
1.コミュニケーションと言葉
2.保育内容「言葉」で何を学ぶか―領域「言葉」のねらいと内容
3.乳児期のコミュニケーションと保育者の援助1　前言語期の特徴
4.乳児期のコミュニケーションと保育者の援助2　ことばの芽生え
5.幼児期のコミュニケーションと保育者の援助1　幼児期の言葉の特徴
6.幼児期のコミュニケーションと保育者の援助2　言葉の発達と心身の自立・自律
7.幼児期のコミュニケーションと保育者の援助3　言葉の発達と遊び・仲間関係の広がり
8.幼児期のコミュニケーションと保育者の援助4　外国にルーツのある子どもと母語
9.就学に向けて一話し言葉から読み・書き言葉への興味関心の広がりと保育者の援助
10.言葉を育む文化的環境一　保育の情報機器および教材の活用　一
11.グループ発表1　幼児期のコミュニケーションを育む保育教材
12.グループ発表2　幼児期のコミュニケーションを育む保育教材
13.まとめ　乳幼児期のコミュニケーションと保育者の援助

科目名	幼児と言葉	前期	2 単位
サブタイトル	豊かなコミュニケーションを基に育む言葉と思考	講義	
担当者	隠岐　厚美		

[成績評価方法]
「理解度試験（60%）」、「レポート課題（30%）」、「グループ発表（10%）」

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
フィードバックは授業中に口頭で行う

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：「理解度試験（60%）」、「レポート課題（30%）」、「グループ発表（10%）」

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：「理解度試験（60%）」、「レポート課題（30%）」、「グループ発表（10%）」

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：「理解度試験（60%）」、「レポート課題（30%）」、「グループ発表（10%）」

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：「レポート課題（30%）」、「グループ発表（10%）」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：「レポート課題（30%）」、「グループ発表（10%）」

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：「理解度試験（60%）」、「レポート課題（30%）」、「グループ発表（10%）」

[教科書（ISBN）]
書籍名:絵本で読み解く保育内容言葉 著者名:齋木喜美子 出版社名:関西学院出版会 ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	幼児と人間関係	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	石田　裕子		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1.領域「人間関係」の内容を知る
2.幼児の人間関係の発達に関する基礎理論が説明できるようになる。

[授業概要]
幼児教育における領域「人間関係」に関する基礎理論について学ぶ。映像資料や事例を通して理論を具体的にイメージしながら学ぶ。特に生活や遊びを通して人間関係を広げ、深めるための保育者の援助の在り方について考え、学生生活を通して自身にどのような経験や力が必要かを知る。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
公共の場、ボランティア先等での子どもやその周囲の人との関わりに関心を向けること
新聞に目を通し、社会問題にも関心を向けること
予習復習合わせて4時間程度

[授業計画]
1.現代の社会的状況と幼児をとりまく人間関係
2.乳幼児期の愛着　基本的信頼感
3.遊びや生活の中で見られる人間関係
4.人間関係における葛藤
5.個と集団との関係
6.幼児期の協同性を育むためには
7. 保護者とのコミュニケーション 及びまとめ

科目名	幼児と人間関係	後期	1 単位
サブタイトル		講義	
担当者	石田　裕子		

[成績評価方法]
試験（小テスト含む）50%　提出物25%　授業への積極的態度（授業内レポートでの評価）25%
提出物は形式、締め切りも含め評価する

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
翌週返却及びマナバのコメント

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験　提出物

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：試験　提出物

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法：試験　提出物　受講態度

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：提出物　受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：提出物　受講態度

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：試験　提出物

[教科書（ISBN）]
書籍名:幼稚園教育要領　保育所保育指針　幼保連携型認定こども園教育・保育要領　平成29年告示 著者名:文部科学省／〔編〕 厚生労働省／〔編〕 内閣府／〔編〕 出版社名:チャイルド本社 ISBN:9784805402580
書籍名:【第2版】保育実践を学ぶ保育内容「人間関係」 著者名:咲間まり子／編 出版社名:みらい ISBN:9784860154370

[参考書（ISBN）]

科目名	幼児と表現Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	幼児の音楽的表現の理解と、感性・創造性の育成	講義	
担当者	小林　田鶴子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
領域「表現」における、音楽表現の指導を取り上げ、「気づきを大切にし、学びにつながる音楽表現活動」をテーマに、幼児の感性を豊かにしつつ、表現遊びから学びにつながるための活動を支援するための知識、技能、表現力を身につける。

[授業概要]
音を出す様々な素材(声、身体、楽器等含む)を媒体とした、幼児が「聴く、感じる、楽しむ」ことを大切にした活動方法について海外の様々な音楽教育方法をヒントにして学ぶ。これまでの「音楽」という概念にとらわれず、幼児の表現について柔軟な視点を持って、幼児の表現行動を理解する。
また、幼児の音楽表現を支えるための条件、環境について体験するとともに、グループ学習で、幼児が協同して表現するための方法、表現活動の展開等について学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業でやった内容を実際に自分で試してみる等の復習も必要。グループ活動では時間を作って協力して取組むこと。
また、幼稚園での子どもを中心にした表現教育・保育についても考えてみること。
※全員、みんなの前で子どもが楽しめるような弾き歌いを行うので、その時は練習しておくこと。

[授業計画]
第1回:領域「表現」のねらいと音楽表現について
第2回:乳幼児の音楽的発達
第3回:音遊びから音楽表現活動へ－音を感じる・音で遊ぶ(サウンド・エデュケーション)－
第4回:様々な表現活動1　－レッジョ・エミリア、オルフ、コダーイ、創造的音楽づくり―
第5回:様々な表現活動2　－リトミックと身体表現－
第6回:音楽表現1　－音楽表現の基本(総合的な活動を含めて)－
第7回:音楽表現2　－声・わらべうた・日本の伝統音楽を用いた活動―
第8回:音楽表現3　－身の回りの物(音具)を使用した活動－
第9回:音楽表現4　-奏でる活動の実践(楽器等使って)－
第10回:音楽表現とICTの活用
第11回:豊かな音楽表現を支えるための支援(外部講師招聘)
第12回:音楽表現についてのグループ活動
第13回:音楽表現についてのグループ発表と授業内まとめテスト

科目名	幼児と表現Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	幼児の音楽的表現の理解と、感性・創造性の育成	講義	
担当者	小林　田鶴子		

[成績評価方法]
グループ発表40%　筆記試験40% 授業への取り組み20%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
筆記試験後は解答解説を行う。
グループ発表後は講評を言って、今後の課題を示す。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:表現者を育てるための保育内容「音楽表現」ー音遊びから音楽表現へー 著者名:石井玲子　他 出版社名:教育情報出版社 ISBN:978-4-909378-16-3

[参考書(ISBN)]
書籍名:幼稚園教育要領解説(平成30年3月) 著者名:文部科学省 出版社名:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5

科目名	幼児と表現Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	幼児の音楽的表現の理解と、感性・創造性の育成	講義	
担当者	小林　田鶴子		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
領域「表現」における、音楽表現の指導を取り上げ、「気づきを大切にし、学びにつながる音楽表現活動」をテーマに、幼児の感性を豊かにしつつ、表現遊びから学びにつながるための活動を支援するための知識、技能、表現力を身につける。

[授業概要]
音を出す様々な素材(声、身体、楽器等含む)を媒体とした、幼児が「聴く、感じる、楽しむ」ことを大切にした活動方法について海外の様々な音楽教育方法をヒントにして学ぶ。これまでの「音楽」という概念にとらわれず、幼児の表現について柔軟な視点を持って、幼児の表現行動を理解する。
また、幼児の音楽表現を支えるための条件、環境について体験するとともに、グループ学習で、幼児が協同して表現するための方法、表現活動の展開等について学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
授業でやった内容を実際に自分で試してみる等の復習も必要。グループ活動では時間を作って協力して取組むこと。
また、幼稚園での子どもを中心にした表現教育・保育についても考えてみること。
※全員、みんなの前で子どもが楽しめるような弾き歌いを行うので、その時は練習しておくこと。

[授業計画]
第1回:領域「表現」のねらいと音楽表現について
第2回:乳幼児の音楽的発達
第3回:音遊びから音楽表現活動へ－音を感じる・音で遊ぶ(サウンド・エデュケーション)－
第4回:様々な表現活動1　－レッジョ・エミリア、オルフ、コダーイ、創造的音楽づくり―
第5回:様々な表現活動2　－リトミックと身体表現－
第6回:音楽表現1　－音楽表現の基本(総合的な活動を含めて)－
第7回:音楽表現2　－声・わらべうた・日本の伝統音楽を用いた活動―
第8回:音楽表現3　－身の回りの物(音具)を使用した活動－
第9回:音楽表現4　-奏でる活動の実践(楽器等使って)－
第10回:音楽表現とICTの活用
第11回:豊かな音楽表現を支えるための支援(外部講師招聘)
第12回:音楽表現についてのグループ活動
第13回:音楽表現についてのグループ発表と授業内まとめテスト

科目名	幼児と表現Ⅰ	前期	2 単位
サブタイトル	幼児の音楽的表現の理解と、感性・創造性の育成	講義	
担当者	小林　田鶴子		

[成績評価方法]
グループ発表40%　筆記試験40% 授業への取り組み20%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
筆記試験後は解答解説を行う。
グループ発表後は講評を言って、今後の課題を示す。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法:上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法:上記、成績評価方法による

[教科書(ISBN)]
書籍名:表現者を育てるための保育内容「音楽表現」ー音遊びから音楽表現へー 著者名:石井玲子　他 出版社名:教育情報出版社 ISBN:978-4-909378-16-3

[参考書(ISBN)]
書籍名:幼稚園教育要領解説(平成30年3月) 著者名:文部科学省 出版社名:フレーベル館 ISBN:978-4-577-81447-5

科目名	幼児と表現Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	幼児の造形表現の理解と表現技法、感性の育成	講義	
担当者	守本　智美、山成　昭世		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
幼児の造形表現の活動において、感性、創造性を豊かにする適切な支援が出来るようになることを目標とする。幼児の造形表現の姿やその生成過程、多様な素材や技法などに関する基礎的な知識や技能、表現手法について学ぶ。
(1)幼児の造形表現の姿やその発達を理解する。
(2)幼児の造形表現の基礎的な知識・技能を学び、幼児の表現を支える感性を豊かにする。

[授業概要]
平成30年度実施幼稚園教育要領の領域「表現」の内容の取扱いにもある通り、「豊かな感性」を重視し、授業では幼児の造形表現とその発達について理解する。幼児の感性や創造性を豊かにする造形表現の基礎的な知識・技能・表現力等を身につける。
授業では実際に造形素材、表現技法を学び指導の実践に役立てられるようにする。また、自作品や他者の作品、造形作品の画像、映像等で鑑賞し学生が「表現とは何か」という根源的な問いに向き合い美に対する感性を高め、創造性を養えるようにする。
学生自身がパソコンやカメラ等のICT機器を活用しポートフォリオ作成やプレゼンテーション等を行い、ICT機器の操作にも慣れるようにする。
「manaba（マナバ）」にて授業に必要な情報を指示するので、各自manabaに登録して注意しておくこと。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
各回、予習復習あわせて4時間程度。各自、造形表現に関する参考書籍を読み、様々な知識を身に付け、技法を習得するとともに、造形作品の鑑賞をし感性を高められるようにすること。

[授業計画]
1.はじめに（マナバ上にて指示します） 授業の進め方、心構え、準備物、表現技法①絵具を使って （山成）
2.表現技法②　パスを使って（山成）
3.造形遊び　ICT機器を活用する　幼児の造形活動を考える（山成）
4.感性、素材、イメージと造形表現について（守本）
5.植物の表現について　作品制作（守本）
6.動物の表現について　作品制作（守本）
7.授業の感想とまとめ（守本）

科目名	幼児と表現Ⅱ	後期	1 単位
サブタイトル	幼児の造形表現の理解と表現技法、感性の育成	講義	
担当者	守本　智美、山成　昭世		

[成績評価方法]
課題作品（50%）、レポート（40%）、授業態度（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
課題作品等へはコメントをします。
manaba等にて質問、課題作品等に対するアドバイス、コメント要望を受け付けます。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：課題作品（50%）、レポート（40%）、授業態度（10%）

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：課題作品（50%）、レポート（40%）、授業態度（10%）

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員・保育者としてふさわしい教養や資質を身に付けている。
成績評価方法：課題作品（50%）、レポート（40%）、授業態度（10%）

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題作品（50%）、レポート（40%）、授業態度（10%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：課題作品（50%）、レポート（40%）、授業態度（10%）

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：課題作品（50%）、レポート（40%）、授業態度（10%）

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]

科目名	幼児理解の理論と方法	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
乳幼児期の子どもの内面等の発達について理解し、幼児理解の基本的な考え方や方法、それらを保育に活かす方法などの修得を目指す。

[授業概要]
保育者が子どもの発達を促すためには、乳幼児期の発達の特性や園生活の全体を見通して彼らの成長の実情を把握し、そのうえで子ども一人ひとりの発達の実態と課題を明らかにする必要がある。そうすることで、保育者は個々の子どもの発達の課題にとって有意義な活動や環境、さらには指導・援助を導き出すことができる。その基盤となるのが「子ども理解」である。子どもは保護者や保育者の前で、個や集団の中で、様々な生活場面で、多様な姿をみせることから、保育者は子どもの行動などから多面的な理解を深めていく必要がある。また、保育者は子どもを常に成長・発達する存在ととらえ、日々の園生活の中で子どもの観察を随時行い、子どもへの認識を繰り返し修正することが重要となる。
本授業では、乳幼児期の内面等の発達について理解を深めながら、子どもの生活する姿などから理解するための基本的な考え方や方法、それを保育に位置づけていくことなどについて学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度、演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、乳幼児理解の基本的な考え方
2. 乳幼児期の発達理解(発達の意味)
3. 幼児教育・保育の充実のための基本的な視点
4. 発達や学びの連続性を確保するための視点
5. 幼児教育・保育におけるを評価と小学校の評価の考え方
6. よりよい保育を構築するために1(幼児を肯定的に捉える、活動の意味を理解する)
7. よりよい保育を構築するために2(発達する姿・つまずきから捉える、個と集団の関係から捉える)
8. よりよい保育を構築するために3(保育を振り返り、見直す)
9. 幼児理解と評価の基本的な考え方
10. 行動からの理解1(保育につながる記録、観察演習にむけて)
11. 行動からの理解2(行動観察の実際【観察演習】)
12. 行動からの理解3(演習の成果発表)
13. まとめ

科目名	幼児理解の理論と方法	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	三宅　茂夫		

[成績評価方法]
まとめ（70%）
課題レポート（10%）
演習課題（10%）
発表（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
「まとめ」の後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：課題レポート、演習課題、発表、まとめを総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：課題レポート、演習課題、発表、まとめを総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題レポート、演習課題、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：課題レポート、演習課題、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：演習課題、発表を総合的に評価する。

[教科書（ISBN）]
書籍名:幼児理解に基づいた評価　平成３１年３月 著者名:文部科学省／著 出版社名:チャイルド本社 ISBN:9784805402832

[参考書（ISBN）]

科目名	幼児理解論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	○
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
乳幼児期の子どもの内面等の発達について理解し、幼児理解の基本的な考え方や方法、それらを保育に活かす方法などの修得を目指す。

[授業概要]
保育者が子どもの発達を促すためには、乳幼児期の発達の特性や園生活の全体を見通して彼らの成長の実情を把握し、そのうえで子ども一人ひとりの発達の実態と課題を明らかにする必要がある。そうすることで、保育者は個々の子どもの発達の課題にとって有意義な活動や環境、さらには指導・援助を導き出すことができる。その基盤となるのが「子ども理解」である。子どもは保護者や保育者の前で、個や集団の中で、様々な生活場面で、多様な姿をみせることから、保育者は子どもの行動などから多面的な理解を深めていく必要がある。また、保育者は子どもを常に成長・発達する存在ととらえ、日々の園生活の中で子どもの観察を随時行い、子どもへの認識を繰り返し修正することが重要となる。
本授業では、乳幼児期の内面等の発達について理解を深めながら、子どもの生活する姿などから理解するための基本的な考え方や方法、それを保育に位置づけていくことなどについて学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度、演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、乳幼児理解の基本的な考え方
2. 乳幼児期の発達理解(発達の意味)
3. 幼児教育・保育の充実のための基本的な視点
4. 発達や学びの連続性を確保するための視点
5. 幼児教育・保育におけるを評価と小学校の評価の考え方
6. よりよい保育を構築するために1(幼児を肯定的に捉える、活動の意味を理解する)
7. よりよい保育を構築するために2(発達する姿・つまずきから捉える、個と集団の関係から捉える)
8. よりよい保育を構築するために3(保育を振り返り、見直す)
9. 幼児理解と評価の基本的な考え方
10. 行動からの理解1(保育につながる記録、観察演習にむけて)
11. 行動からの理解2(行動観察の実際【観察演習】)
12. 行動からの理解3(演習の成果発表)
13. まとめ

科目名	幼児理解論	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	三宅　茂夫		

[成績評価方法]
まとめ（70%）
課題レポート（10%）
演習課題（10%）
発表（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
「まとめ」の後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：課題レポート、演習課題、発表、まとめを総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：課題レポート、演習課題、発表、まとめを総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：課題レポート、演習課題、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：責任感／社会や組織の一員としての自覚を持ち、その規範やルールに従って行動し、その発展に貢献する能力・姿勢
成績評価方法：課題レポート、演習課題、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：演習課題、発表を総合的に評価する。

[教科書（ISBN）]
書籍名:幼児理解に基づいた評価　平成３１年３月 著者名:文部科学省／著 出版社名:チャイルド本社 ISBN:9784805402832

[参考書（ISBN）]

科目名	幼稚園教育課程論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教育課程の意味や構造を理解し、その基盤となる「幼稚園教育要領」等から教育課程の編成に関する基礎的事項について理解し、指導計画作成において必要となる知識や技能の修得を目指す。

[授業概要]
幼稚園とは、学校教育法に示されるように「義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長すること」を目的とした、法が定めるところの教育機関(学校)である。したがって、幼稚園では、目的に沿った教育が計画的に実施されなければならない。このような教育が展開される際に、柱となるのが教育課程である。教育課程の編成は、学校教育法施行規則に定められているように、「幼稚園教育要領」に準拠しなければならない。
本授業では、学校教育における幼稚園教育の文脈を明確にしながら、「幼稚園教育要領」を丁寧に読み解き、教育課程に関する基礎的事項や、教育課程を基盤とした指導計画作成において必要となる知識や技能について学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度、演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、教育や保育の意味
2. 学校教育のパラダイム変革
3. 「資質・能力」の育成と幼稚園教育
4. 幼稚園教育の意義と目的、目標
5. 幼児教育の基本について1(環境を通して行う教育、幼児期にふさわしい生活の展開)
6. 幼児教育の基本について3(遊びを通しての総合的な指導、一人ひとりの発達の特性に応じた指導)
7. 幼児教育における領域概念1
8. 幼児教育における領域概念2
9. 教育課程の意味と構造、編成と指導計画
10. カリキュラム・マネジメントと保育評価
11. 「資質・能力」を育む教育課程と教育実践
12. 幼・保・小・地域連携をめざした教育課程と実践
13. まとめ

科目名	幼稚園教育課程論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	三宅　茂夫		

[成績評価方法]
まとめ（60%）
レポート課題（20%）
演習課題（10%）
発表（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
「まとめ」の後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：まとめ、レポート課題、演習課題、発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：まとめ、レポート課題、演習課題、発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：まとめ、レポート課題、演習課題総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：まとめ、レポート課題、演習課題、発表を総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、演習課題、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、演習課題、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート課題、演習課題、発表を総合的に評価する。

[教科書（ISBN）]
書籍名:教育・保育カリキュラム論 著者名:田中亨胤／編　三宅茂夫／編 出版社名:みらい ISBN:9784860154783

[参考書（ISBN）]
書籍名:幼稚園教育要領解説　平成30年3月 著者名: 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814475

科目名	幼稚園教育課程論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	三宅　茂夫		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	○

[到達目標]
教育課程の意味や構造を理解し、その基盤となる「幼稚園教育要領」等から教育課程の編成に関する基礎的事項について理解し、指導計画作成において必要となる知識や技能の修得を目指す。

[授業概要]
幼稚園とは、学校教育法に示されるように「義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長すること」を目的とした、法が定めるところの教育機関(学校)である。したがって、幼稚園では、目的に沿った教育が計画的に実施されなければならない。このような教育が展開される際に、柱となるのが教育課程である。教育課程の編成は、学校教育法施行規則に定められているように、「幼稚園教育要領」に準拠しなければならない。
本授業では、学校教育における幼稚園教育の文脈を明確にしながら、「幼稚園教育要領」を丁寧に読み解き、教育課程に関する基礎的事項や、教育課程を基盤とした指導計画作成において必要となる知識や技能について学ぶ。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
前回の授業内容を復習し理解して、次回の授業の予習をしておくこと。日常的に授業に関係する情報に関心を持ち、問題意識を持って、積極的に学びを進めること。授業内容が講義の場合は予習・復習合わせて4時間程度、演習の場合は予習・復習合わせて2時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション、教育や保育の意味
2. 学校教育のパラダイム変革
3. 「資質・能力」の育成と幼稚園教育
4. 幼稚園教育の意義と目的、目標
5. 幼児教育の基本について1(環境を通して行う教育、幼児期にふさわしい生活の展開)
6. 幼児教育の基本について3(遊びを通しての総合的な指導、一人ひとりの発達の特性に応じた指導)
7. 幼児教育における領域概念1
8. 幼児教育における領域概念2
9. 教育課程の意味と構造、編成と指導計画
10. カリキュラム・マネジメントと保育評価
11. 「資質・能力」を育む教育課程と教育実践
12. 幼・保・小・地域連携をめざした教育課程と実践
13. まとめ

科目名	幼稚園教育課程論	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	三宅　茂夫		

[成績評価方法]
まとめ（60%）
レポート課題（20%）
演習課題（10%）
発表（10%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
「まとめ」の後、解答の解説を行う。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：まとめ、レポート課題、演習課題、発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：まとめ、レポート課題、演習課題、発表を総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：まとめ、レポート課題、演習課題総合的に評価する。

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：まとめ、レポート課題、演習課題、発表を総合的に評価する。

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、演習課題、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：レポート課題、演習課題、発表を総合的に評価する。

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート課題、演習課題、発表を総合的に評価する。

[教科書（ISBN）]
書籍名:教育・保育カリキュラム論 著者名:田中亨胤／編　三宅茂夫／編 出版社名:みらい ISBN:9784860154783

[参考書（ISBN）]
書籍名:幼稚園教育要領解説　平成30年3月 著者名: 出版社名:フレーベル館 ISBN:9784577814475

科目名	Reading Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル	英文読解力を鍛えよう！	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)		反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
中学校の英語教員に求められる基礎的な英語読解能力を習得する。

[授業概要]
・Sense Group Reading ／ Shadowing ／ Scanning 等、英語読解のための効果的な手法を用いて内容を把握する。
・現行の中学校教科書に掲載されている多様なトピックや種々のタスクに準じた教材を通じて実践力を身につける。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1. オリエンテーション／ Unit1 Peace, Education & Hope: Malala
2. Unit2 Food Savings: OzHarvest Market
3. Unit3 Safety: An Eye on Crime
4. Unit4 Work: Work Balance
5. Unit5 Exercise: Sport BMX and Urban Fun?
6. Unit6 Happiness: Happiness
7. Unit7 Entertainment: Sports and Games
8. Unit8 Medical Science Health: Medical Science
9. Unit9 Psychology: Resilience
10. Unit10 Facts: Efforts to Flag Fake-news
11. Unit11 Intelligence: Brain Development
12. Unit12 Friendship: Yosegaki Hinomaru
13. Unit13 Humanity: A Hero ／ 最終レポート

科目名	Reading Ⅰ	後期	1 単位
サブタイトル	英文読解力を鍛えよう！	演習	
担当者	齋藤　由紀		

[成績評価方法]
筆記テスト（60%）、授業中の課題（40%）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
筆記テスト及び授業中の課題解答と正答例は授業時に紹介解説し、その内容を全員で共有する。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：上記、成績評価方法による

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：上記、成績評価方法による

[教科書（ISBN）]
書籍名:Dear Learners -Drop Everything and Read- 著者名:町田純子　他 出版社名:南雲堂 ISBN:978-4-523-17900-9

[参考書（ISBN）]

科目名	Reading Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	水野　邦太郎		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
1. 一人ひとりが自分の希望やニーズに役立つよう賢い本の選択ができ、好きな時に好きな場所で自分のペースで洋書の読書をすすめていけるようになる。
2. 簡単でやさしい英語をたくさん読んで、Reading for Pleasure を経験する。
3. 読んだ本の「感想」を、3分で教室の仲間に伝えられる（使用言語は、英語と日本語）
4. 自分の読みを多くの仲間との相互作用のなかで深化させながら解釈力を高める。

[授業概要]
オンライン・ライブラリーから読みたい洋書を選び、授業の時間外に読む。「1冊以上(5000語以上)/週」のペースで読む。本のジャンルは以下から好きに選べる: 絵本、児童文学、日本文学、自伝・伝記、動物、スポーツ、音楽、食・健康・精神・身体、教育・子育て、自然・環境問題、映画、科学・社会・政治、外国事情。
　毎週、読了後、自分のお気に入りの本について魅力を語ったReaction Report（RR）を書く（使用言語は主に日本語）。RRは、ブクログ(https://booklog.jp/)に投稿する。
　教室では4人グループやペアを組み、今週読んできた本を、英語や日本語で紹介し語り合う。教室で一人ひとりが自分の読書体験を表現し仲間と共有することを通して「仲間と読み合う」面白さを経験していく。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
毎週、予習復習合わせて4時間程度。
・授業時間外に「1冊以上(5000語以上)/週」のペースで洋書を読む。
・読了後、自分のお気に入りの本について魅力を語ったReaction Report（RR）を書く（使用言語は主に日本語）。RRは「ブクログ(https://booklog.jp/)」に投稿する。

[授業計画]
第1回目のオリエンテーションで、オンライン・ライブラリーの使い方について説明する。
第2回～第13回は、毎回、105分の構成は、次の①～③の3部構成からなる。
①速読（30分）
② 4人グループやペアをつくり、今週、各自が読んできた本を、日本語や英語で紹介し語り合う（45分）。
③洋書の読み方や速読の方法をプリントを通じて学ぶ(30分)。

1. オリエンテーション
2. 速読①、本の紹介①、洋書の読み方①
3. 速読②、本の紹介②、洋書の読み方②
4. 速読③、本の紹介③、洋書の読み方③
5. 速読④、本の紹介④、洋書の読み方④
6. 速読⑤、本の紹介⑤、洋書の読み方⑤
7. 速読⑥、本の紹介⑥、洋書の読み方⑥
8. 速読⑦、本の紹介⑦、洋書の読み方⑦
9. 速読⑧、本の紹介⑧、洋書の読み方⑧
10. 速読⑨、本の紹介⑨、洋書の読み方⑨
11. 速読⑩、本の紹介⑩、洋書の読み方⑩
12. 速読⑪、本の紹介⑪、洋書の読み方⑪
13. まとめと振り返り

科目名	Reading Ⅱ	前期	1 単位
サブタイトル		演習	
担当者	水野　邦太郎		

[成績評価方法]
① 速読の本を読んだ後のクイズの総正解数 50%
② 毎週提出する読んだ本のリアクション・レポート　50%

[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]
授業中及び、manaba 掲示板を利用して行う。

[オフィスアワー(質問等の受付方法)]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]

学科DP番号／DP内容:教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法:① 速読の本を読んだ後のクイズの総正解数
② 毎週提出する読んだ本のリアクション・レポート

学科DP番号／DP内容:教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法:① 速読の本を読んだ後のクイズの総正解数
② 毎週提出する読んだ本のリアクション・レポート

学科DP番号／DP内容:教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法:① 速読の本を読んだ後のクイズの総正解数
② 毎週提出する読んだ本のリアクション・レポート

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法:① 速読の本を読んだ後のクイズの総正解数
② 毎週提出する読んだ本のリアクション・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法:① 速読の本を読んだ後のクイズの総正解数
② 毎週提出する読んだ本のリアクション・レポート

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_:計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法:① 速読の本を読んだ後のクイズの総正解数
② 毎週提出する読んだ本のリアクション・レポート

[教科書(ISBN)]

[参考書(ISBN)]

科目名	理科概説	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校教諭として必要な理科基礎実験の知識や技術が習得できるようになることを目指す。

[授業概要]
小学校理科全般の教科内容について講義を行う。特に、小学校学習指導要領の目標や内容および指導計画について解説するとともに、物理・化学・生物・地学分野ごとに下記のテーマについて実験・実習を行い、結果をまとめてレポートを提出する。
講義内では、情報機器を活用した教材提示の手法も適時指導する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
初回の授業前に、本科目受講するにあたっての注意などの説明をmanabaにアップします。必ずそれを見て理解した上で受講すること。
各回の授業においては、事前に配布するプリントをよく読み、実験・演習内容を理解しておくこと。また、前回の実験・演習のレポートを提出すること。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.(1)てこ、輪軸、滑車(物理担当:村田)
2.(2)浮力と比重(物理担当:村田)
3.(3)光と反射(物理担当:村田)
4.(1)細胞(生物担当:稲垣)
5.(2)染色体及び組織・器官(生物担当:稲垣)
6.(3)消化と酵素(生物担当:稲垣)
7.(1)溶液の濃度・調製法(化学担当:稲垣)
8.(2)酸と塩基・中和滴定(化学担当:稲垣)
9.(3)糖類の性質(還元性)(化学担当:稲垣)
10.(1)月(地学担当:村田)
11.(2)太陽(地学担当:村田)
12.(3)星(地学担当:村田)
13. まとめ(稲垣・村田)

科目名	理科概説	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂		

[成績評価方法]
レポート（60点）と試験（40点）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
Manabaでレポート課題を回答するため自宅学習でのPCは必須。
講義では電子テキストを閲覧するため、携帯電話、タブレット、PCのいずれかのデバイスが必要となる。
提出されたレポート課題の採点後は、模範解答等を配布、もしくはmanabaにアップする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート・試験

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：レポート・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート・試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　理科編 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	理科概説	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート		グループワーク	○
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校教諭として必要な理科基礎実験の知識や技術が習得できるようになることを目指す。

[授業概要]
小学校理科全般の教科内容について講義を行う。特に、小学校学習指導要領の目標や内容および指導計画について解説するとともに、物理・化学・生物・地学分野ごとに下記のテーマについて実験・実習を行い、結果をまとめてレポートを提出する。
講義内では、情報機器を活用した教材提示の手法も適時指導する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
初回の授業前に、本科目受講するにあたっての注意などの説明をmanabaにアップします。必ずそれを見て理解した上で受講すること。
各回の授業においては、事前に配布するプリントをよく読み、実験・演習内容を理解しておくこと。また、前回の実験・演習のレポートを提出すること。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.(1)てこ、輪軸、滑車（物理担当：村田）
2.(2)浮力と比重（物理担当：村田）
3.(3)光と反射（物理担当：村田）
4.(1)細胞（生物担当：稲垣）
5.(2)染色体及び組織・器官（生物担当：稲垣）
6.(3)消化と酵素（生物担当：稲垣）
7.(1)溶液の濃度・調製法（化学担当：稲垣）
8.(2)酸と塩基・中和滴定（化学担当：稲垣）
9.(3)糖類の性質（還元性）（化学担当：稲垣）
10.(1)月（地学担当：村田）
11.(2)太陽（地学担当：村田）
12.(3)星（地学担当：村田）
13. まとめ（稲垣・村田）

科目名	理科概説	後期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂		

[成績評価方法]
レポート（60点）と試験（40点）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
Manabaでレポート課題を回答するため自宅学習でのPCは必須。
講義では電子テキストを閲覧するため、携帯電話、タブレット、PCのいずれかのデバイスが必要となる。
提出されたレポート課題の採点後は、模範解答等を配布、もしくはmanabaにアップする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-1／教育学・保育学における基本的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート・試験

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：レポート・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：自己理解／自分自身の性格や価値観を理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：多様性理解／自分とは異なる社会的・文化的背景を持つ人々が存在し、多様な価値観が存在することを理解する能力・姿勢
成績評価方法：レポート・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：論理的思考力／筋道に沿って物事を考え、結論を導く能力
成績評価方法：レポート・試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　理科編 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	理科教育法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校教諭として必要な理科基礎実験の知識や技術が習得できるようになることをめざす。

[授業概要]
小学校理科全般の教科内容及びその指導法について講義を行う。特に、小学校学習指導要領の目標や内容および指導計画について解説するとともに、学習指導案の作成や指導上の留意点、学習評価の考え方を理解し、模擬授業の実施とそのふりかえりを通して授業改善の視点を身につけさせる。また、情報通信機器及び教材の効果的な活用と当該教材の目標及び主な内容、全体構造理解のために物理・化学・生物・地学分野ごとに下記のテーマについて実験・実習を行い、結果をまとめてレポートを提出する。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
事前に配布するプリントをよく読んで、実験・演習内容を理解しておくこと。また、前回の実験・演習のレポートを提出すること。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1:(1)電気の回路（物理担当：村田）
2:(2)豆電球（物理担当：村田）
3:(3)磁石及び指導案作成（物理担当：村田）
4:(1)光合成（生物担当：稲垣）
5:(2)呼吸と発酵（生物担当：稲垣）
6:(3)花から実への指導案作成および模擬授業の実施（生物担当：稲垣）
7:(1)固体の精製（再結晶）（化学担当：稲垣）
8:(2)気体の発生法と性質（化学担当：稲垣）
9:(3)ものの温度と体積の指導案作成および模擬授業の実施（化学担当：稲垣）
10:(1)気象（地学担当：村田）
11:(2)水と地形（地学担当：村田）
12:(3)地層と化石・岩石（地学担当：村田）
13:まとめ（稲垣・村田）

科目名	理科教育法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂		

[成績評価方法]
レポート（60点）と試験（40点）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
Manabaでレポート課題を回答するため自宅学習でのPCは必須。
講義では電子テキストを閲覧するため、携帯電話、タブレット、PCのいずれかのデバイスが必要となる。
提出されたレポート課題の採点後は、模範解答等を配布、もしくはmanabaにアップする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート・試験

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：レポート・試験

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：レポート・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レポート・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート・試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　理科編 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	理科教育法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂		

[アクティブラーニング授業]

PBL(課題解決型)	○	反転授業	○
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
小学校教諭として必要な理科基礎実験の知識や技術が習得できるようになることをめざす。

[授業概要]
小学校理科全般の教科内容及びその指導法について講義を行う。特に、小学校学習指導要領の目標や内容および指導計画について解説するとともに、学習指導案の作成や指導上の留意点、学習評価の考え方を理解し、模擬授業の実施とそのふりかえりを通して授業改善の視点を身につけさせる。また、情報通信機器及び教材の効果的な活用と当該教材の目標及び主な内容、全体構造理解のために物理・化学・生物・地学分野ごとに下記のテーマについて実験・実習を行い、結果をまとめてレポートを提出する。

[準備学修(予習・復習)の内容・時間]
事前に配布するプリントをよく読んで、実験・演習内容を理解しておくこと。また、前回の実験・演習のレポートを提出すること。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1:(1)電気の回路(物理担当:村田)
2:(2)豆電球(物理担当:村田)
3:(3)磁石及び指導案作成(物理担当:村田)
4:(1)光合成(生物担当:稲垣)
5:(2)呼吸と発酵(生物担当:稲垣)
6:(3)花から実への指導案作成および模擬授業の実施(生物担当:稲垣)
7:(1)固体の精製(再結晶)(化学担当:稲垣)
8:(2)気体の発生法と性質(化学担当:稲垣)
9:(3)ものの温度と体積の指導案作成および模擬授業の実施(化学担当:稲垣)
10:(1)気象(地学担当:村田)
11:(2)水と地形(地学担当:村田)
12:(3)地層と化石・岩石(地学担当:村田)
13:まとめ(稲垣・村田)

科目名	理科教育法	前期	2 単位
サブタイトル		講義	
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂		

[成績評価方法]
レポート（60点）と試験（40点）

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
Manabaでレポート課題を回答するため自宅学習でのPCは必須。
講義では電子テキストを閲覧するため、携帯電話、タブレット、PCのいずれかのデバイスが必要となる。
提出されたレポート課題の採点後は、模範解答等を配布、もしくはmanabaにアップする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-2／教育学・保育学における専門的な知識・技能を修得している。
成績評価方法：レポート・試験

学科DP番号／DP内容：教育2-2／子どもの成長や発達を踏まえ、教育・保育の計画や評価を考えることができる。
成績評価方法：レポート・試験

学科DP番号／DP内容：教育2-3／子どもたちに対して創造的に教育・保育の実践を行うことができる。
成績評価方法：レポート・試験

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：レポート・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：協働性／立場や意見の相違を乗り越えて、他者と協力して行動する（協働する）能力・姿勢
成績評価方法：レポート・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：レポート・試験

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：計画・実行力／課題の解決に向けた計画を立て、それを実行する能力
成績評価方法：レポート・試験

[教科書（ISBN）]
書籍名:小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説　理科編 著者名: 出版社名: ISBN:

[参考書（ISBN）]

科目名	理科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂		

[アクティブラーニング授業]

PBL（課題解決型）		反転授業	
ディスカッション・ディベート		グループワーク	
プレゼンテーション		実習、フィールドワーク	
その他		実務経験のある教員による授業	

[到達目標]
将来、小学校教員として理科の授業ができる資質を身につける。

[授業概要]
小学校の理科は、「エネルギー・粒子」、「生命・地球」、の二つの分野からなるが、演習では「物理」、「化学」、「生物」、「地学」の4分野に分けて行う。理科は観察や実験など体験を通して学ぶことが大切なため、「理科概説」や「理科教育法」では主に実験・演習などの実技に重点をおいている。しかし、各分野は範囲が広いため、理科概説各分野3回、理科教育法各分野3回の合計6回の授業ではそれぞれの分野が網羅できない。そこで、理科概説や理科教育法で扱わなかった分野を取り上げるとともに、理科の理論面での強化を図る。

[準備学修（予習・復習）の内容・時間]
「理科概説」や「理科教育法」の内容を理解し、疑問点や質問内容を明確にしておくこと。各回、予習復習合わせて4時間程度。

[授業計画]
1.地球から見た月・太陽・星の動き（地学：村田）
2.地震と地殻変動（地学：村田）
3.岩石（地学：村田）
4等速度・加速度運動（物理：村田）
5.物体のいろいろな運動（物理：村田）
6.仕事とエネルギー（物理：村田）
7.化学の基礎、物質の構造（化学：稲垣）
8.物質の状態（化学：稲垣）
9.物質の変化、物質の性質（化学：稲垣）
10.器具の取り扱い、細胞と生殖、植物のつくり（生物：稲垣）
11.種子の発芽、光合成、植物の分類、動物の分類（生物：稲垣）
12.ヒトのからだとしくみ、生物のつながり（生物：稲垣）
13.まとめ

科目名	理科教材研究	後期	2 単位
サブタイトル		演習	
担当者	村田　恵子、稲垣　善茂		

[成績評価方法]
試験（80%）・課題（20%）
＊毎回の授業と課題にしっかり取り組み、試験に臨むこと。

[課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法]
Manabaでレポート課題を回答するため自宅学習でのPCは必須。
講義では電子テキストを閲覧するため、携帯電話、タブレット、PCのいずれかのデバイスが必要となる。
提出されたレポート課題の採点後は、模範解答等を配布、もしくはmanabaにアップする。

[オフィスアワー（質問等の受付方法）]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[メールアドレス]
詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。

[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー（DP）]

学科DP番号／DP内容：教育1-3／教員としてふさわしい一般教養を身に付けている。
成績評価方法：試験・課題

学科DP番号／DP内容：教育2-1／子どもの成長や発達を多角的な視点から捉えることができる。
成績評価方法：試験・課題

学科DP番号／DP内容：教育3-1／教育学・保育学の幅広い知識・技能を主体的に修得していく意欲と態度がある。
成績評価方法：試験・課題

[この授業と関連する大学全体の教育目標]

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：主体性／自分の意志・判断で行動する能力・姿勢
成績評価方法：試験・課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：表現力／自分の考えを適切な手段・方法で表現し、他者に伝えて、理解を得る能力・姿勢
成績評価方法：試験・課題

教育目標が示す資質・能力等／資質・能力等の内容_：問題発見力／現状を分析して問題を明らかにし、その解決方法を見出せる能力
成績評価方法：試験・課題

[教科書（ISBN）]

[参考書（ISBN）]